

令和元年度

呉市民意識調査結果報告書

令和2(2020)年3月

呉市

< 目 次 >

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の内容	1
3	調査の設計	1
4	回収結果	1
5	調査地区	1
6	集計・分析上の注意事項	2
7	回答者属性	3
II	調査結果の詳細	5
1	呉市の住みやすさについて	5
2	呉市の主要課題に対する意識について	26
(1)	健康づくり	26
(2)	少子化対策・高齢化対策	36
(3)	人権尊重	40
(4)	男女共同参画	47
(5)	教育	48
(6)	市民協働	53
(7)	安全・安心	59
(8)	観光・交流	81
(9)	農水産業	83
(10)	商工業	90
(11)	環境	93
(12)	公共施設	99
(13)	空き家対策	106
(14)	高次都市機能	107
3	呉市の政策全般に対する満足度・重要度	111

◇呉市民意識調査 調査票

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の呉市に対するイメージや生活にかかわるさまざまな分野についての意見・評価などを探ることにより、今後の市政運営の参考資料とする。

2 調査の内容

- (1) 回答者の属性
- (2) 呉市の住みやすさ
- (3) 地域の主要課題
 - ①健康づくり
 - ②少子化対策・高齢化対策
 - ③人権尊重
 - ④男女共同参画
 - ⑤教育
 - ⑥市民協働
 - ⑦安全・安心
 - ⑧観光・交流
 - ⑨農水産業
 - ⑩商工業
 - ⑪環境
 - ⑫公共施設
 - ⑬空き家対策
 - ⑭高次都市機能
- (4) 満足度・重要度
- (5) 自由意見

3 調査の設計

- (1) 調査地域 呉市全域
- (2) 調査対象 呉市に居住する満20歳以上男女個人
- (3) 標本数 4,000人
- (4) 抽出方法 層化無作為抽出法(住民基本台帳からの抽出)
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査実施期間 令和元年12月9日(月)(発送)
～12月27日(金)(締切)

4 回収結果

- (1) 有効回収数 1,577票
- (2) 有効回収率 39.4%

5 調査地区

市内を市役所支所管轄区域および支所を置いていない中央部の区域により、次の18地区に区分した。

- (1) 中央
- (2) 吉浦
- (3) 警固屋
- (4) 阿賀
- (5) 広
- (6) 仁方
- (7) 宮原
- (8) 天応
- (9) 昭和
- (10) 郷原
- (11) 下蒲刈
- (12) 川尻
- (13) 音戸
- (14) 倉橋
- (15) 蒲刈
- (16) 安浦
- (17) 豊浜
- (18) 豊

6 集計・分析上の注意事項

(1) 図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入したものであり、端数処理のため、合計は必ずしも100%にならない場合がある。

なお、複数回答は100%にはならない。

(2) 対象者の抽出は、各地区ともに同一の抽出率で抽出すると調査対象数が非常に少なくなる地区がある。そのため、各地区ごとに原則100人を調査対象者とし、特に人口が多い地区には人口規模に応じて調査対象者を追加した。このため、回収されたデータと母集団調査対象の構成比をほぼ同じにするため、ウェイトバックによるサンプル補正集計を行った。なお、ウェイトバックした見かけ上の値による集計を行っており、報告書内に記載する集計上のサンプル数と前述4の有効回収数とは異なる。

(3) 統計学上、50サンプル以下の集計（回答者数）は結果の信頼性が低くなるため、本調査における属性別集計の一部は参考値として示す。

■地区別回収数及び補正後サンプル数

地区	20歳以上人口(人)	構成比(%)	配布数(件)	回収数(件)	ウェイト	補正後サンプル数(件)
中央	42,405	22.9	800	296	1.241	361
吉浦	8,441	4.6	170	61	1.198	72
警固屋	3,924	2.1	100	38	0.894	33
阿賀	12,496	6.8	250	95	1.139	106
広	36,566	19.8	700	280	1.131	312
仁方	5,253	2.8	110	40	1.137	45
宮原	6,081	3.3	130	65	0.810	52
天応	3,215	1.7	100	38	0.733	27
昭和	27,132	14.7	520	213	1.103	231
郷原	3,685	2.0	100	37	0.862	31
下蒲刈	1,269	0.7	100	50	0.220	11
川尻	6,972	3.8	140	73	0.827	59
音戸	9,796	5.3	200	80	1.060	83
倉橋	4,563	2.5	100	36	1.098	39
蒲刈	1,516	0.8	100	32	0.410	13
安浦	8,940	4.8	180	39	1.985	76
豊浜	1,232	0.7	100	38	0.281	10
豊	1,634	0.9	100	36	0.393	14
不明				30		
合計	185,120	100.0	4,000	1,577		1,575

(注) 1. ウェイトとは、各地区の母集団（人口）に対する抽出率（回収率）を一律とするため、各地区回収数に重み付けとして乗じる係数のこと。抽出率が一律となるように補正することを、ウェイトバックという。

【計算式】ウェイト＝地区ごとの人口÷地区ごとの回収数×（回収数合計（1,577人）÷人口合計（185,120人））なお、居住地区不明の30件を各地区に按分するため、補正後サンプル数は（回収数）×（ウェイト）とは一致しない場合がある。

2. ウェイトバック後の地区別合計は、端数処理の関係で回収数と一致していない。

7 回答者属性

以下の件数はウェイトバック後の集計数値を示しているため、端数処理の関係でサンプル数（全体）と内訳の合計が一致しない場合がある。

F1 性別

項目	件数	割合 (%)
男性	646	41.0
女性	886	56.3
無回答	43	2.7
サンプル数（全体）	1,575	100.0

F2 年齢

項目	件数	割合 (%)
20歳代	90	5.7
30歳代	131	8.3
40歳代	184	11.7
50歳代	195	12.4
60～64歳	132	8.4
65～74歳	396	25.1
75歳以上	408	25.9
無回答	39	2.5
サンプル数（全体）	1,575	100.0

F3 居住地区

項目	件数	割合 (%)
中央	361	22.9
吉浦	72	4.6
警固屋	33	2.1
阿賀	106	6.7
広	312	19.8
仁方	45	2.9
宮原	52	3.3
天応	27	1.7
昭和	231	14.7
郷原	31	2.0
下蒲刈	11	0.7
川尻	59	3.7
音戸	83	5.3
倉橋	39	2.5
蒲刈	13	0.8
安浦	76	4.8
豊浜	10	0.6
豊	14	0.9
サンプル数（全体）	1,575	100.0

F4 職業

項目	件数	割合 (%)
農林水産業の自営・家族従業者	28	1.8
商工、販売、サービス業の自営・家族従業者	61	3.9
開業医、弁護士、薬剤師等の個人事業者	5	0.3
会社員・団体職員	295	18.7
会社役員・団体役員	32	2.0
国家公務員	37	2.3
地方公務員	47	3.0
学生	19	1.2
家事専業	229	14.5
パート・アルバイト	164	10.4
無職	548	34.8
その他	59	3.7
無回答	51	3.2
サンプル数（全体）	1,575	100.0

F5 家族構成

項目	件数	割合 (%)
1人世帯	244	15.5
1世代家族 (夫婦やパートナーのみ)	559	35.5
2世代家族(親と子)	627	39.8
3世代家族 (親と子と孫)	83	5.3
その他	19	1.2
無回答	43	2.7
サンプル数（全体）	1,575	100.0

F6 同居家族〔複数回答〕

項目	件数	割合 (%)
0～2歳児	56	3.6
3～5歳児	72	4.6
小学生	115	7.3
中学生	64	4.1
高校生	67	4.3
大学生	68	4.3
社会人	564	35.8
家事専業	155	9.8
パート・アルバイト	145	9.2
無職	151	9.6
高齢者（65～74歳）	344	21.8
高齢者（75歳以上）	395	25.1
上記の該当者はいない	160	10.2
無回答	117	7.4
サンプル数（全体）	1,575	100.0

F9 居住形態

項目	件数	割合 (%)
1戸建て持ち家	1,155	73.4
1戸建て借家	50	3.2
分譲マンション	132	8.4
賃貸マンション・アパート	126	8.0
社宅・官舎・寮	23	1.5
公営住宅	39	2.5
その他	18	1.1
無回答	32	2.0
サンプル数（全体）	1,575	100.0

F7 市内在住年数

項目	件数	割合 (%)
2年未満	35	2.2
2年以上	29	1.8
5年以上	47	3.0
10年以上	96	6.1
20年以上	1,330	84.4
無回答	38	2.4
サンプル数（全体）	1,575	100.0

F8 通勤・通学先

項目	件数	割合 (%)
呉市内	616	39.1
広島市	80	5.1
東広島市	38	2.4
その他呉市外	52	3.3
なし	660	41.9
無回答	129	8.2
サンプル数（全体）	1,575	100.0

II 調査結果の詳細

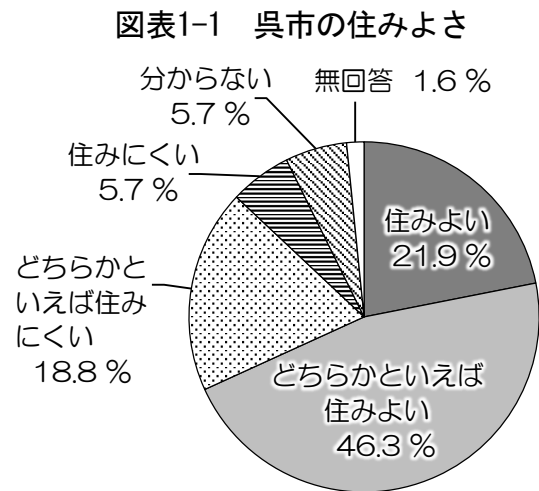
1 呉市の住みやすさについて

◇呉市を『住みよい』と感じている人	⇒	68.2%
◇呉市に『愛着』を感じている人	⇒	79.3%
◇住んでいる地域での人口変化に不安を感じている人	⇒	46.2%
◇今の居住地にこれからも『住み続けたい』と思う人	⇒	64.0%

問1 あなたは、呉市を「住みよい」まちだと思いますか。(○は1つ)

呉市の住みよさは、「住みよい (21.9%) 」と「どちらかといえば住みよい (46.3%) 」を合わせた合計での「住みよい」が、68.2%となっている。

なお、平成26年度の前回調査の「住みよい (前回22.5%) 」, 「どちらかといえば住みよい (同47.0%) 」と比較すると、それぞれ微減しており、合計での「住みよい」 (同69.5%) は1.3ポイント減少している。



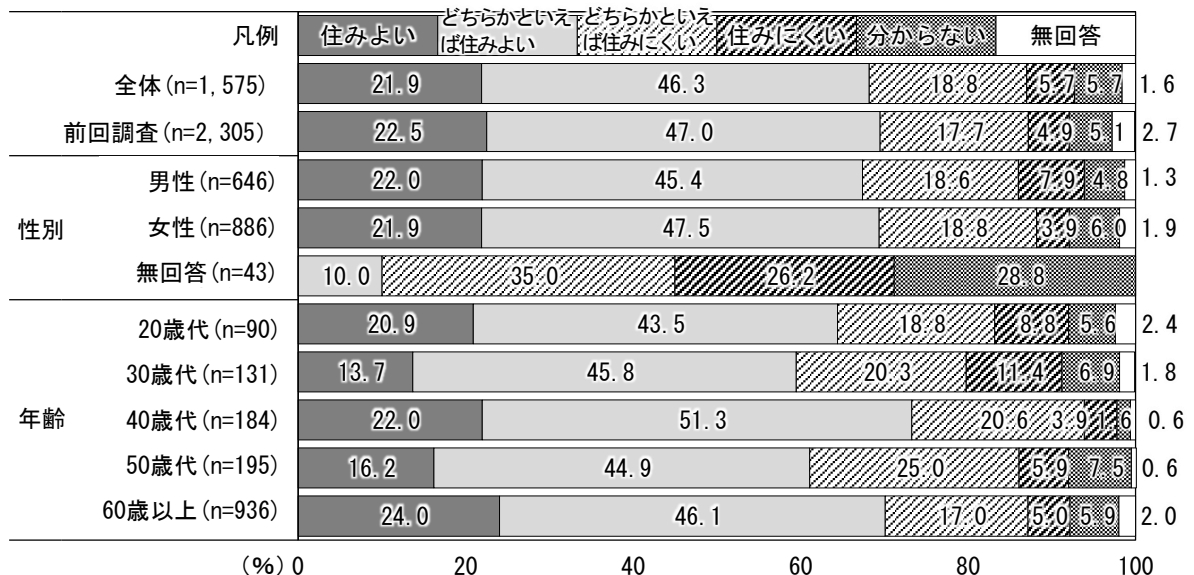
(n=1,575)

<性別・年齢層別>

性別でみると、「住みよい」と感じている人(「どちらかといえば住みよい」を含む)は、女性 (69.4%) が男性 (67.4%) より2.0ポイント多い。

年齢層別でみると、「住みよい」と感じている人(「どちらかといえば住みよい」を含む)は、40歳代が73.3%で最も多くなっている。

図表 1-2 呉市の住みよさ<性別・年齢層別>

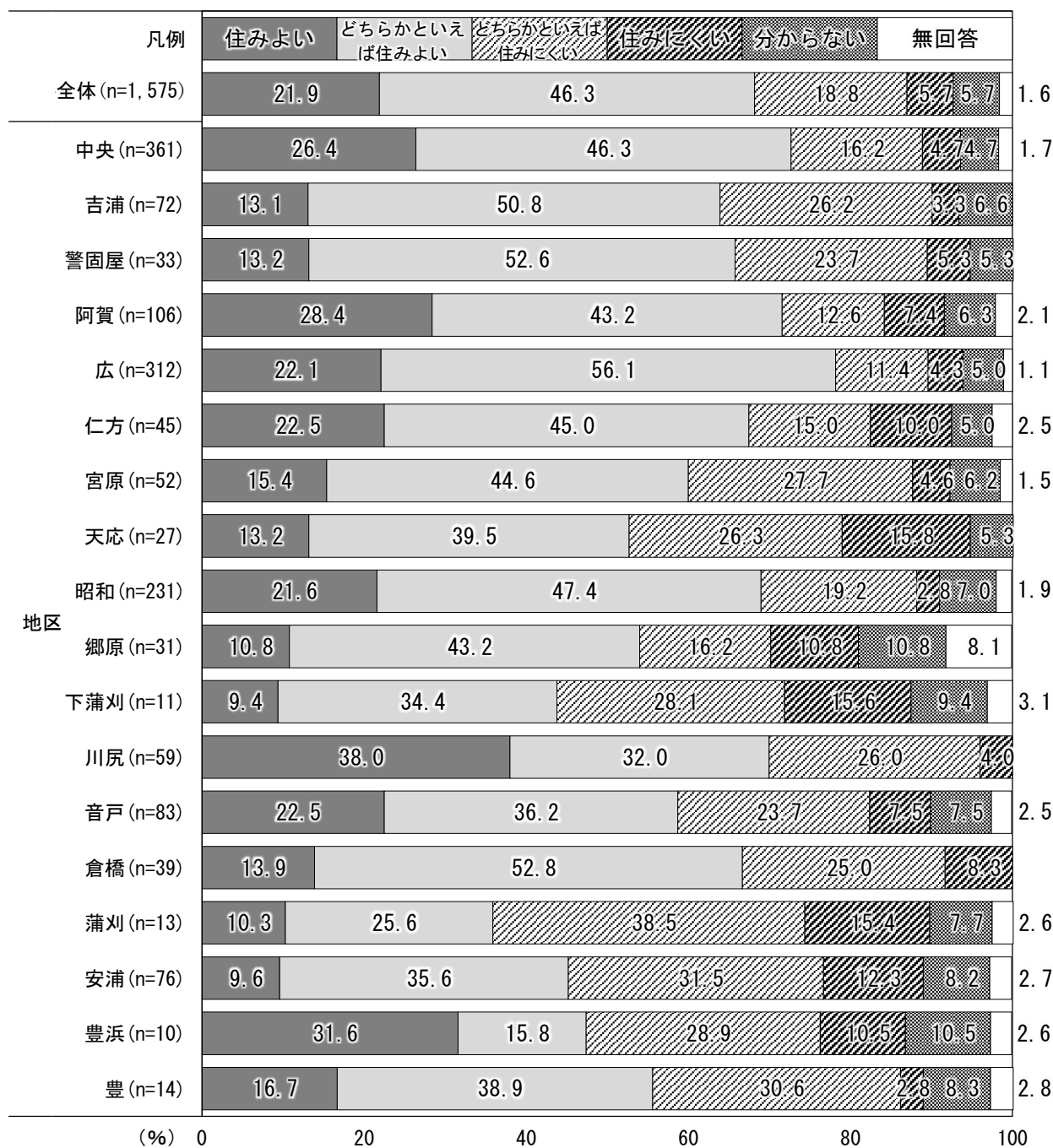


<地区別>

「住みよい」と感じている人（「どちらかといえば住みよい」を含む）は、広地区（78.2%）が最も多く、次いで中央地区（72.7%）、阿賀地区（71.6%）の順となっている。

一方、「住みにくい」と感じている人（「どちらかといえば住みにくい」を含む）は、蒲刈地区（53.9%）が最も多く、次いで安浦地区（43.8%）、下蒲刈地区（43.7%）の順となっている。

図表 1-3 呉市の住みよさ<地区別>

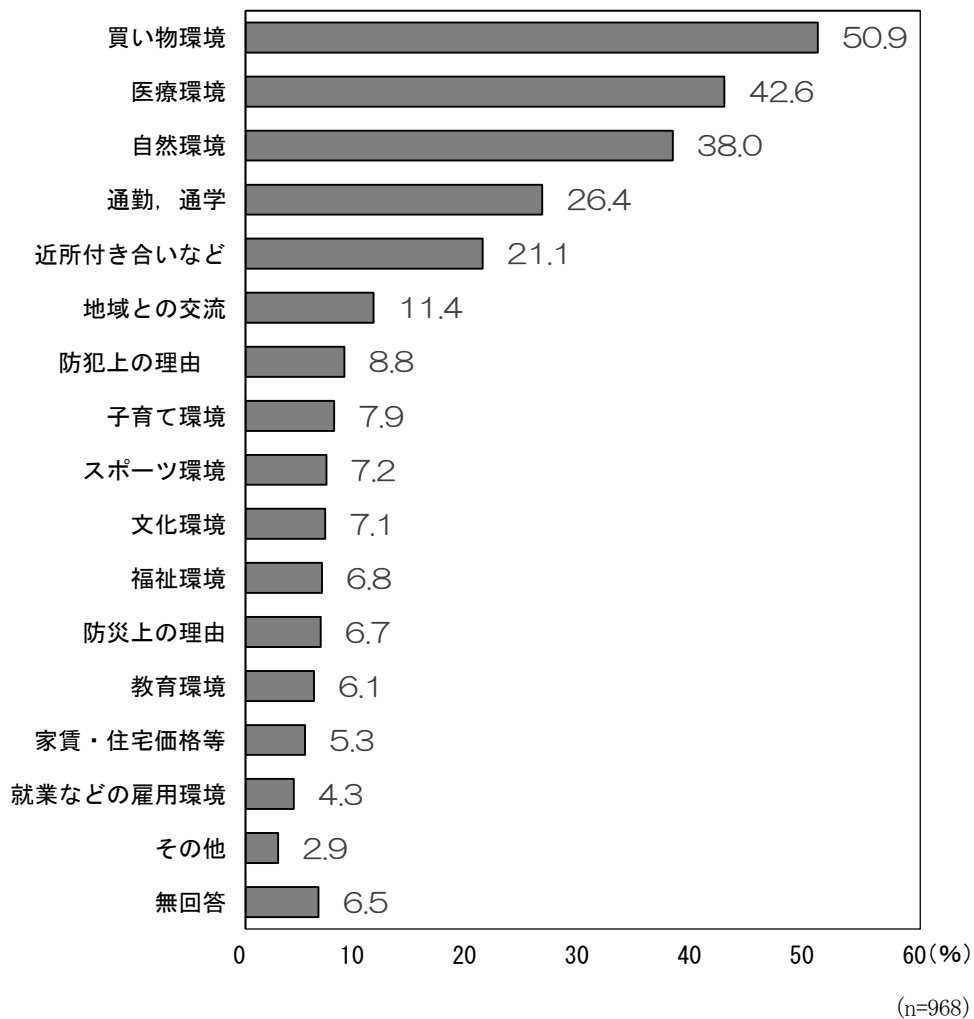


問1-1 上記問1で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」に回答した方のみ
 住みよい又は住みにくいと感ずる要因は、何ですか。（〇はいくつでも）

「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答した人が住みよいと感ずている要因は、「買い物環境（50.9%）」が最も多く、次いで「医療環境（42.6%）」、「自然環境（38.0%）」の順となっている。

また、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と回答した人が住みにくいと感ずている要因も、「買い物環境（63.3%）」が最も多く、次いで「通勤、通学（38.8%）」、「医療環境（31.5%）」の順となっており、これらは3割を超えている。

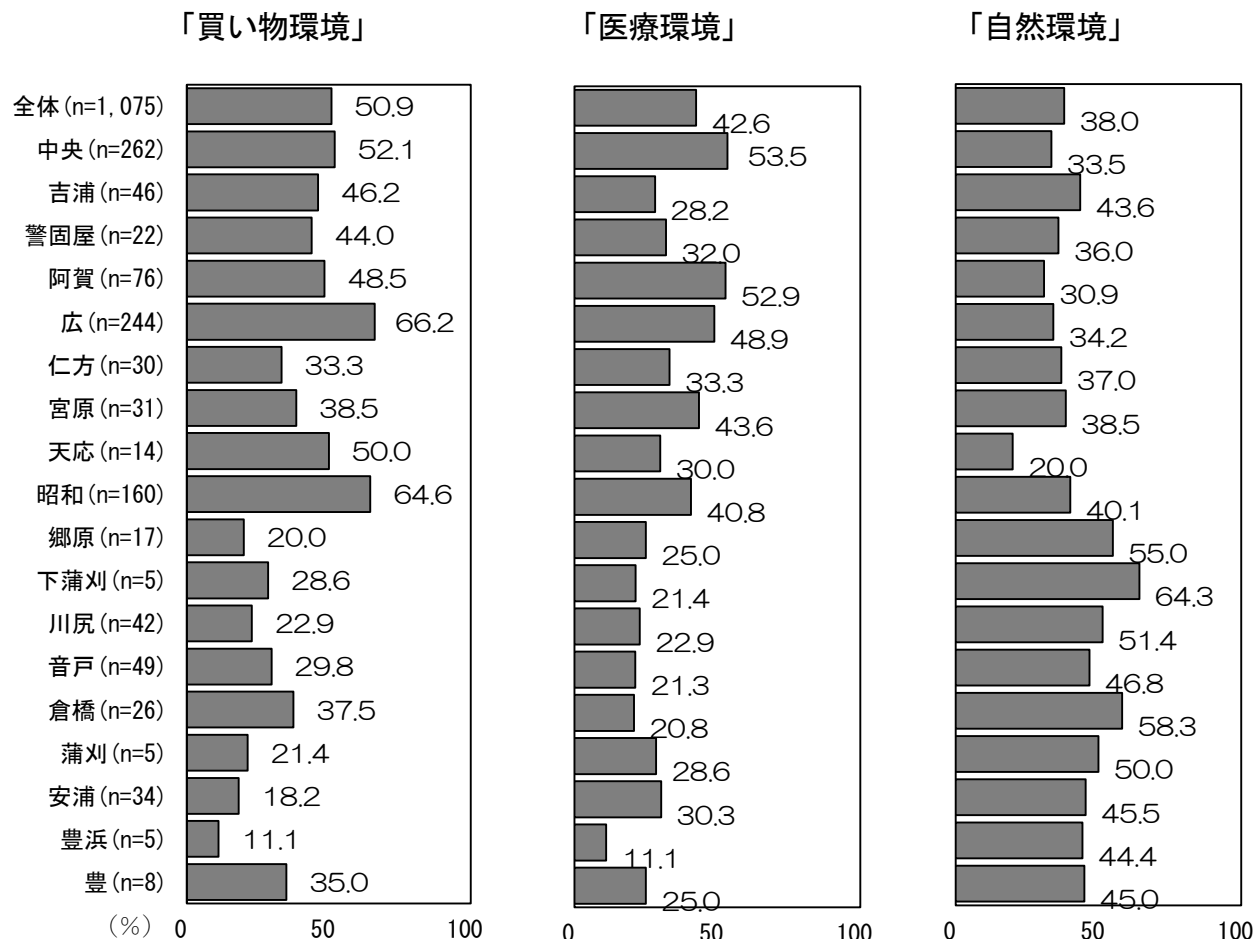
図表 1-4 住みよいと感ずる要因



<地区別>

上位3項目について地区別で見ると、「買い物環境」では広地区(66.2%)，昭和地区(64.6%)が6割を超えており，特に多くなっている。また，「医療環境」は中央地区(53.5%)，阿賀地区(52.9%)，「自然環境」は下蒲刈地区(64.3%)，倉橋地区(58.3%)で多くなっている。

図表 1-5 住みよいと感ずる要因<地区別>



図表 1-6 住みよいと感ずる要因<地区別>

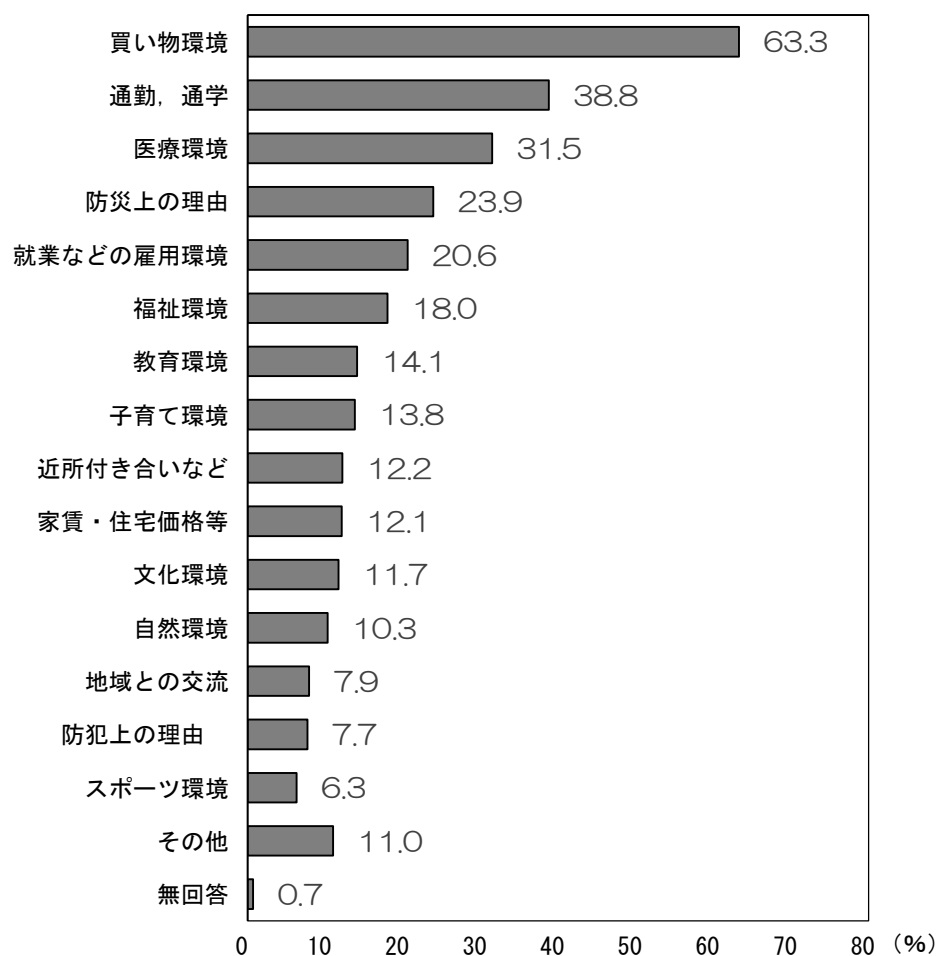
(単位：%)

地区名	第1位		第2位		第3位	
全体 (n=1,075)	買い物環境	50.9	医療環境	42.6	自然環境	38.0
中央 (n=262)	医療環境	53.5	買い物環境	52.1	自然環境	33.5
吉浦 (n=46)	買い物環境	46.2	自然環境	43.6	通勤, 通学	30.8
警固屋 (n=22)	買い物環境	44.0	自然環境	36.0	医療環境	32.0
阿賀 (n=76)	医療環境	52.9	買い物環境	48.5	自然環境	30.9
広 (n=244)	買い物環境	66.2	医療環境	48.9	通勤, 通学	38.4
仁方 (n=30)	自然環境	37.0	買い物環境 近所付き合いなど 医療環境	33.3	通勤, 通学 地域との交流	18.5
宮原 (n=31)	医療環境	43.6	買い物環境 自然環境	38.5	通勤, 通学	25.6
天応 (n=14)	買い物環境	50.0	通勤, 通学	40.0	近所付き合いなど 医療環境	30.0
昭和 (n=160)	買い物環境	64.6	医療環境	40.8	自然環境	40.1
郷原 (n=17)	自然環境	55.0	子育て環境	30.0	医療環境	25.0
下蒲刈 (n=5)	自然環境	64.3	買い物環境	28.6	地域との交流 医療環境	21.4
川尻 (n=42)	自然環境	51.4	近所付き合いなど	25.7	通勤, 通学 買い物環境 医療環境	22.9
音戸 (n=49)	自然環境	46.8	近所付き合いなど	31.9	買い物環境	29.8
倉橋 (n=26)	自然環境	58.3	買い物環境	37.5	近所付き合いなど 医療環境	20.8
蒲刈 (n=5)	自然環境	50.0	防犯上の理由 地域との交流 医療環境	28.6	買い物環境	21.4
安浦 (n=34)	自然環境	45.5	通勤, 通学 近所付き合いなど 医療環境	30.3	買い物環境	18.2
豊浜 (n=5)	近所付き合いなど 自然環境	44.4	防犯上の理由 地域との交流	16.7	買い物環境 医療環境	11.1
豊 (n=8)	近所付き合いなど	55.0	自然環境	45.0	買い物環境 地域との交流	35.0

※ ■は全体で第1位の項目

住みにくいと感じる要因を前回調査と比較すると、「買い物環境（前回49.9%）」、「通勤、通学（同37.3%）」の上位2要因に変動はないものの、「買い物環境」は前回調査より13.4ポイント増加している。

図表 1-7 住みにくいと感じる要因

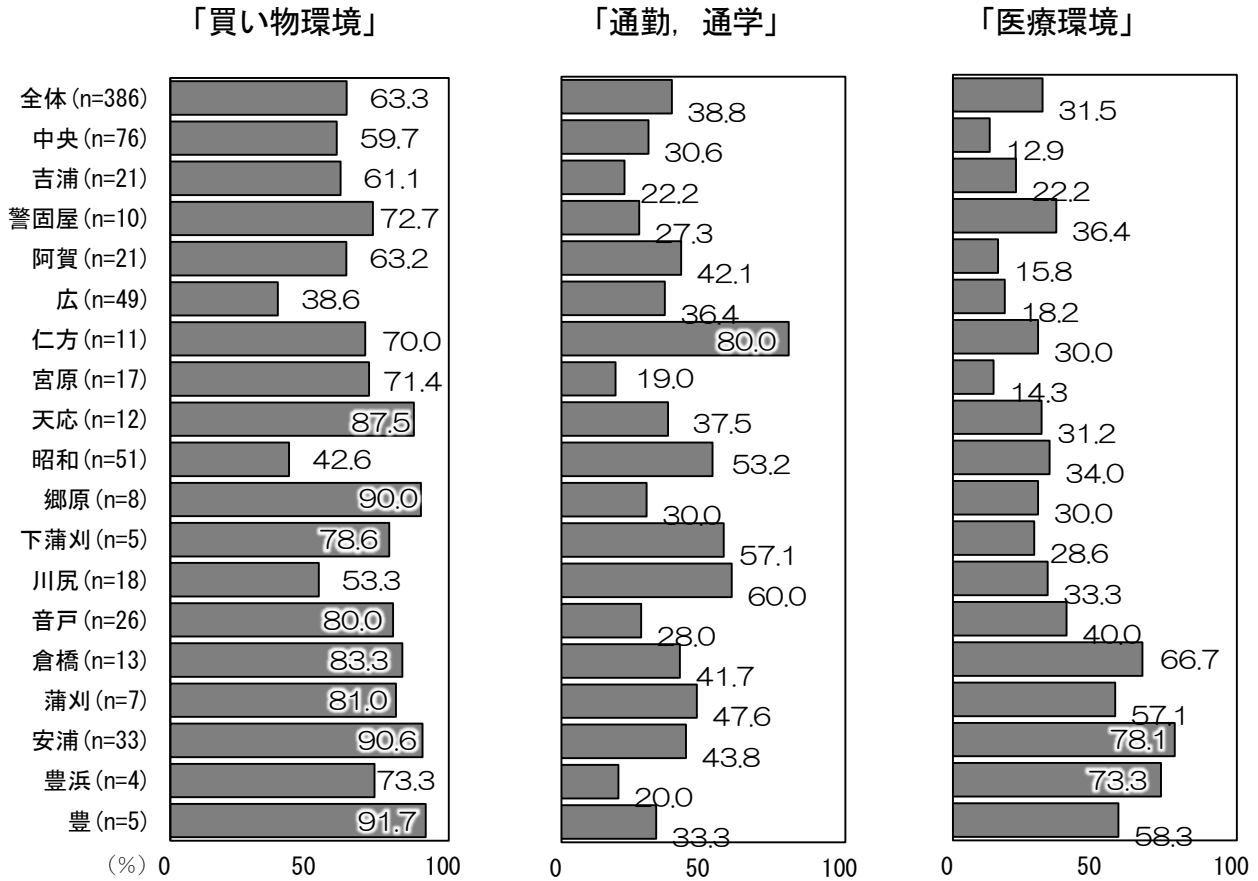


(n=408)

<地区別>

上位3項目について地区別でみると、「買い物環境」では豊地区（91.7%），安浦地区（90.6%），郷原地区（90.0%）が9割を超えており，特に多くなっている。また，「通勤，通学」は仁方地区（80.0%），「医療環境」は安浦地区（78.1%）がそれぞれ最も多くなっている。

図表 1-8 住みにくいと感ずる要因<地区別>



図表 1-9 住みにくいと感ずる要因<地区別>

(単位：%)

地区名	第1位	第2位	第3位
全体 (n=386)	買い物環境 63.3	通勤, 通学 38.8	医療環境 31.5
中央 (n=76)	買い物環境 59.7	通勤, 通学 就業などの雇用環境 30.6	防災上の理由 27.4
吉浦 (n=21)	買い物環境 61.1	防災上の理由 44.4	自然環境 27.8
警固屋 (n=10)	買い物環境 72.7	防災上の理由 54.5	医療環境 36.4
阿賀 (n=21)	買い物環境 63.2	通勤, 通学 42.1	就業などの雇用環境 36.8
広 (n=49)	買い物環境 38.6	通勤, 通学 36.4	家賃・住宅価格等 22.7
仁方 (n=11)	通勤, 通学 80.0	買い物環境 70.0	近所付き合いなど 医療環境 就業などの雇用環境 30.0
宮原 (n=17)	買い物環境 71.4	防災上の理由 33.3	その他 28.6
天応 (n=12)	買い物環境 87.5	通勤, 通学 37.5	医療環境 31.2
昭和 (n=51)	通勤, 通学 53.2	買い物環境 42.6	医療環境 34.0
郷原 (n=8)	買い物環境 90.0	通勤, 通学 医療環境 就業などの雇用環境 30.0	防犯上の理由 防災上の理由 子育て環境 20.0
下蒲刈 (n=5)	買い物環境 78.6	通勤, 通学 57.1	医療環境 28.6
川尻 (n=18)	通勤, 通学 60.0	買い物環境 53.3	スポーツ環境 医療環境 33.3
音戸 (n=26)	買い物環境 80.0	医療環境 40.0	通勤, 通学 28.0
倉橋 (n=13)	買い物環境 83.3	医療環境 66.7	通勤, 通学 41.7
蒲刈 (n=7)	買い物環境 81.0	医療環境 57.1	通勤, 通学 47.6
安浦 (n=33)	買い物環境 90.6	医療環境 78.1	通勤, 通学 43.8
豊浜 (n=4)	買い物環境 医療環境 73.3	就業などの雇用環境 46.7	子育て環境 教育環境 33.3
豊 (n=5)	買い物環境 91.7	医療環境 58.3	防災上の理由 就業などの雇用環境 41.7

※ ■は全体で第1位の項目

問2 あなたは、呉市に「愛着」を感じますか。(〇は1つ)

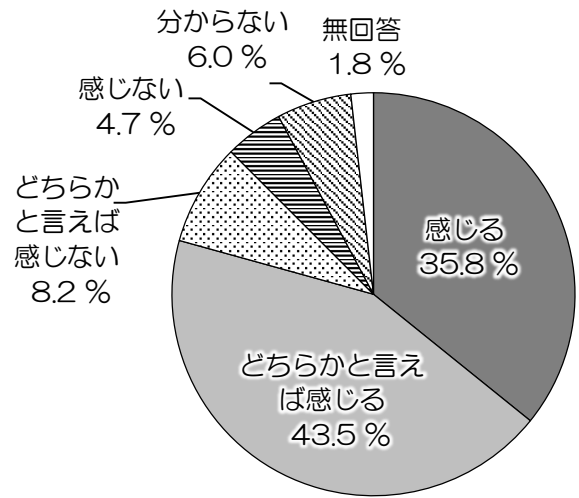
呉市への愛着については、「感じる(35.8%)」と「どちらかと言えば感じる(43.5%)」を合わせた、合計での「感じる」は79.3%となり、前回調査(選択肢「どちらかと言えば感じる」、「どちらかと言えば感じない」は無い)の「感じる(前回69.7%)」と比べて9.6ポイント増加している

<性別・年齢層別>

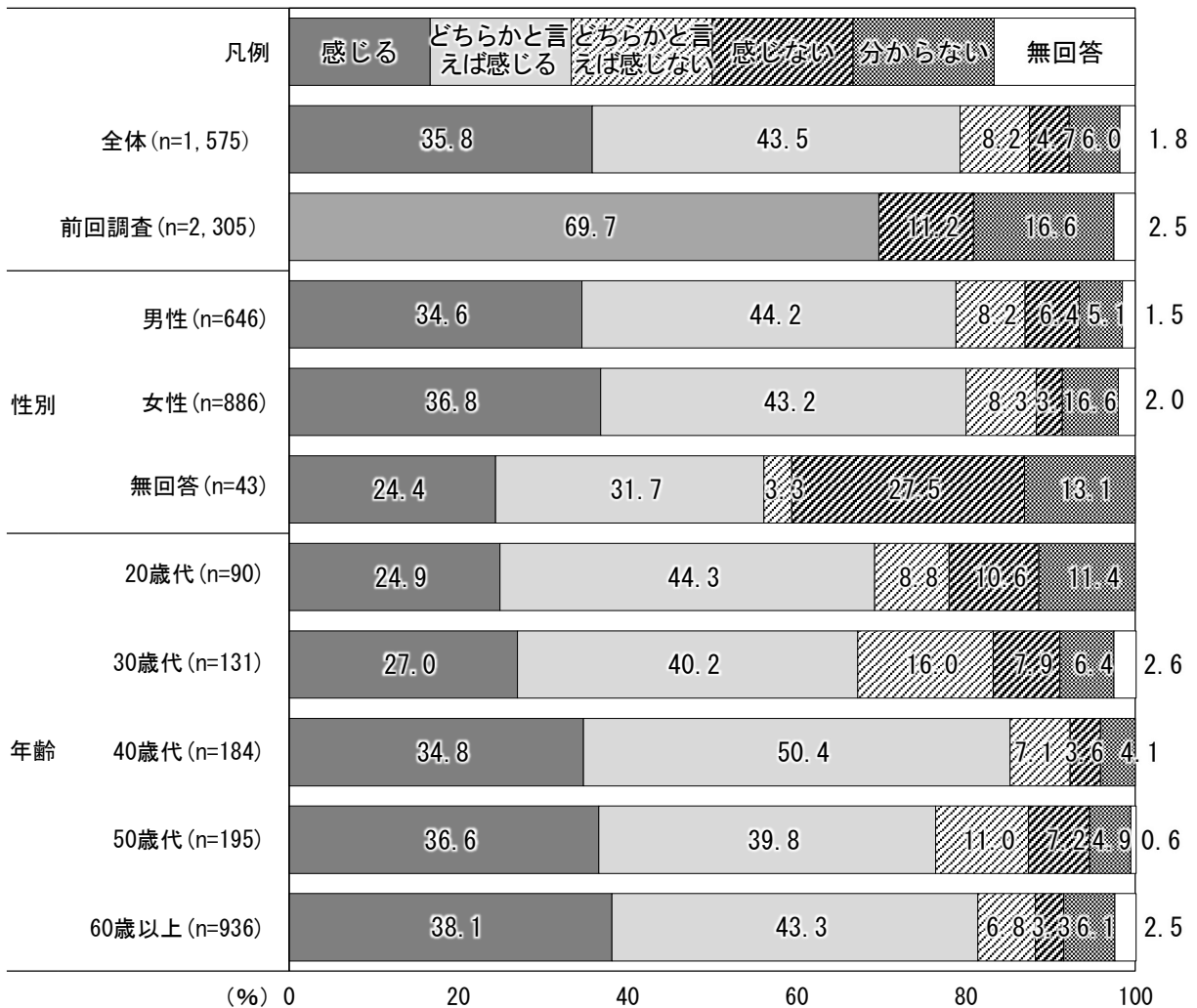
性別では、大きな差は生じていない。

年齢層別では、「感じる」は、60歳以上(38.1%)で最も多く、年齢が上がるほど増加傾向にある。

図表2-1 呉市への「愛着」



(n=1,575)

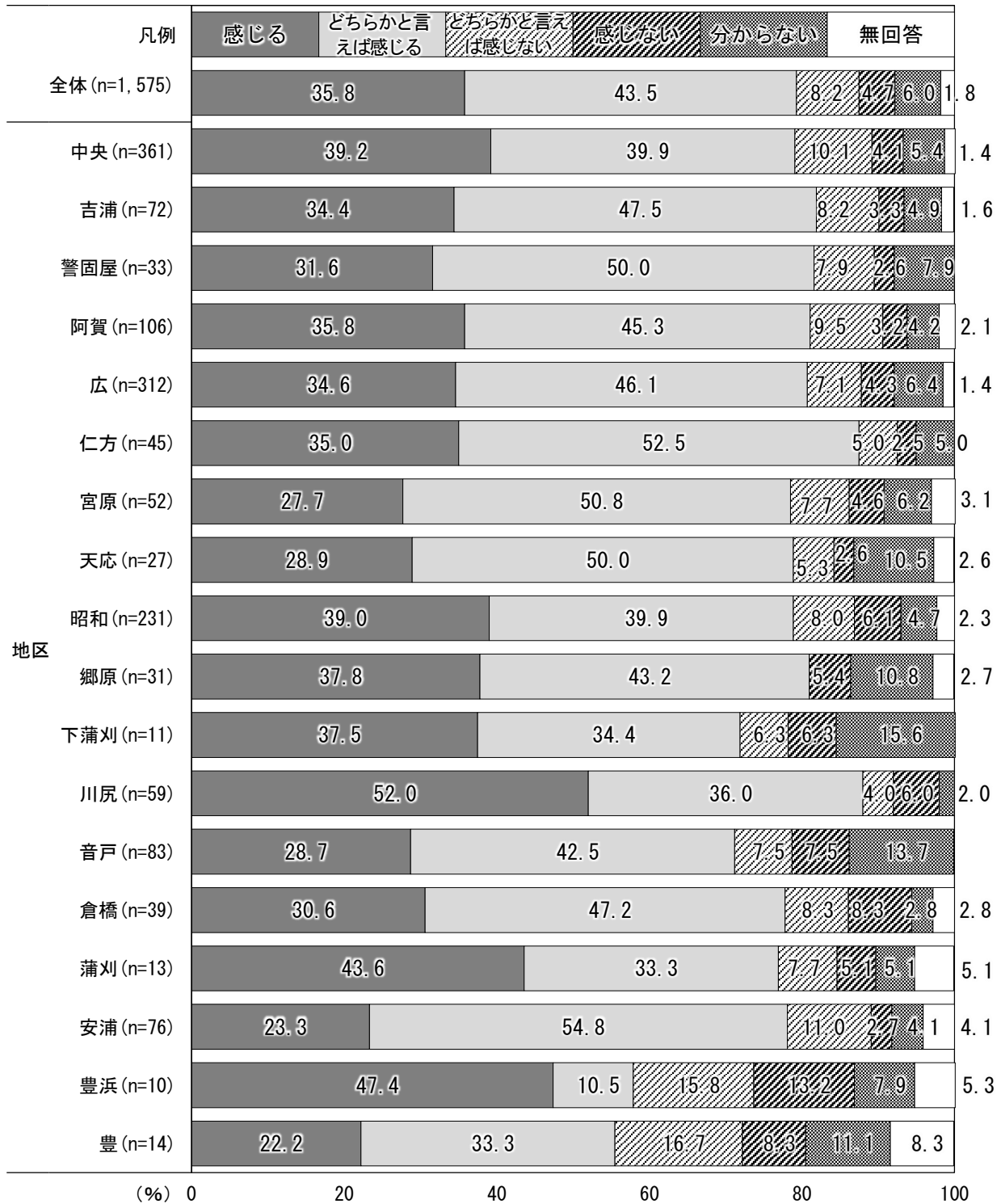


<地区別>

地区別では、「感じる」は、川尻地区（52.0%）で最も多く、次いで豊浜地区（47.4%）、蒲刈地区（43.6%）の順となっている。また、「どちらかと言えば感じる」を合わせた割合では、16地区（16/18地区）で7割を超えている。

一方、「どちらかと言えば感じない」、「感じない」、「分からない」を合わせた比率は、豊浜地区（36.9%）、豊地区（36.1%）で多くなっている。

図表 2-3 呉市への「愛着」<地区別>

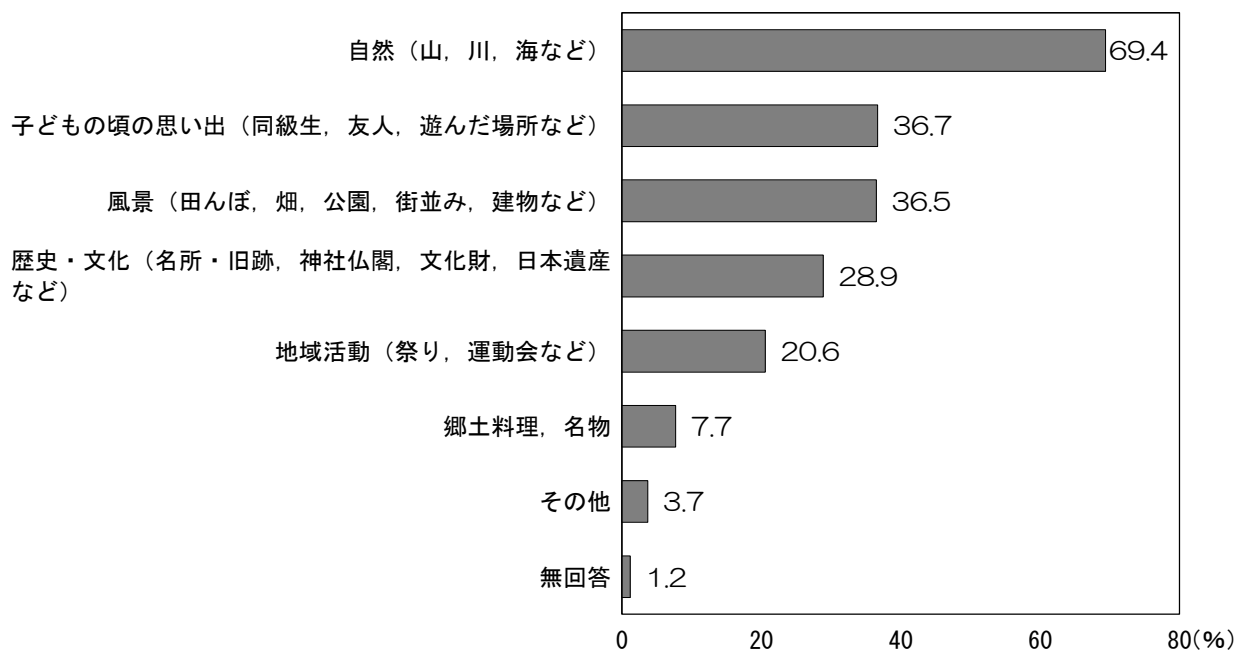


問2-1 上記問2で「感じる」「どちらかと言えば感じる」に回答した方のみ
どんなところに愛着を感じますか。(〇はいくつでも)

「感じる」と回答した人が愛着を感じている要因は、「自然（山、川、海など）（69.4%）」が最も多く、次いで「子どもの頃の思い出（同級生、友人、遊んだ場所など）（36.7%）」、「風景（田んぼ、畑、公園、街並み、建物など）（36.5%）」、「歴史・文化（名所・旧跡、神社仏閣、文化財、日本遺産など）（28.9%）」の順となっている。

なお、前回調査と比較すると、順位は同様の結果となっているが「子どもの頃の思い出（同級生、友人、遊んだ場所など）（前回42.6%）」は、5.9ポイント減少している。

図表 2-4 「愛着」を感じるどころ

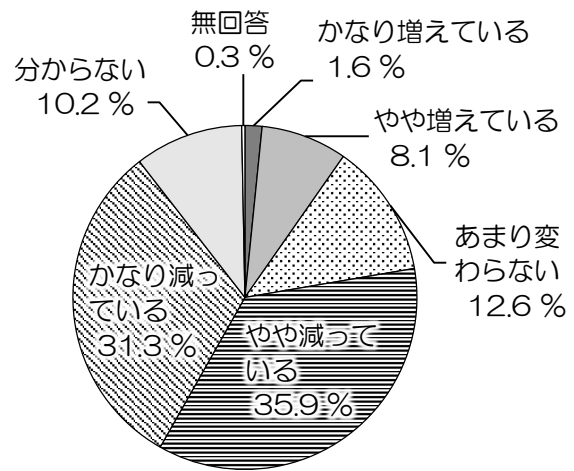


問3 あなたは、お住まいの地域（ご近所）で、近年人口がどう変化していると思いますか。（〇は1つ）

住んでいる地域の近年の人口変化については、減っていると感じている人（「かなり減っている」と「やや減っている」）が、67.2%と約7割を占めており、前回調査（前回60.2%）と比べて7.0ポイント増加している。

一方、増えていると感じている人（「かなり増えている」と「やや増えている」）は、9.7%となっており、前回調査（前回13.1%）と比べて3.4ポイント減少している。

図表 3-1 今の居住地での近年の人口変化



(n=1,575)

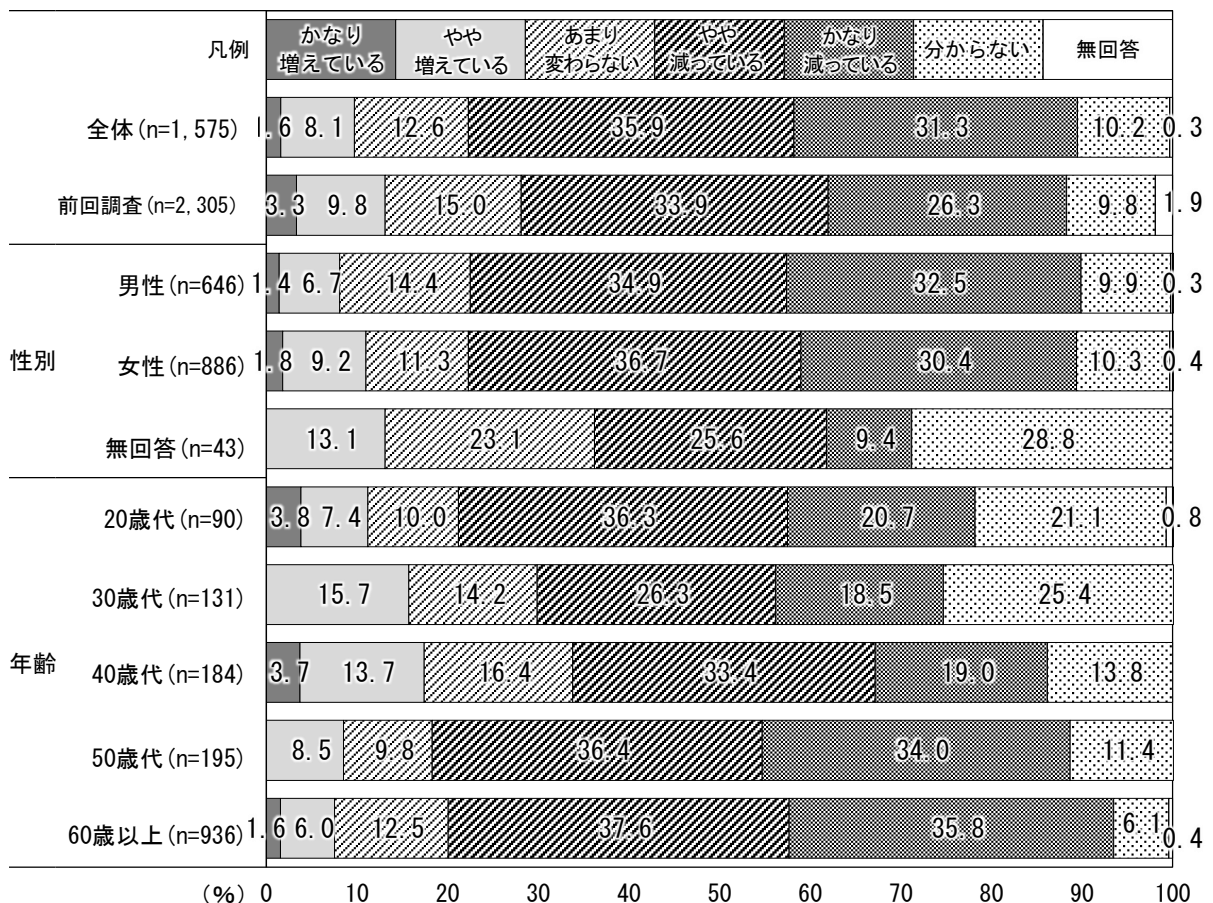
<性別・年齢層別>

性別では、ほとんど差異は生じていない。

年齢層別では、「減っている」が、60歳以上（73.4%）で最も多くなっている。

一方、20歳代、30歳代は、他の年代よりも「分からない」が多くなっている。

図表 3-2 今の居住地での近年の人口変化<性別・年齢層別>

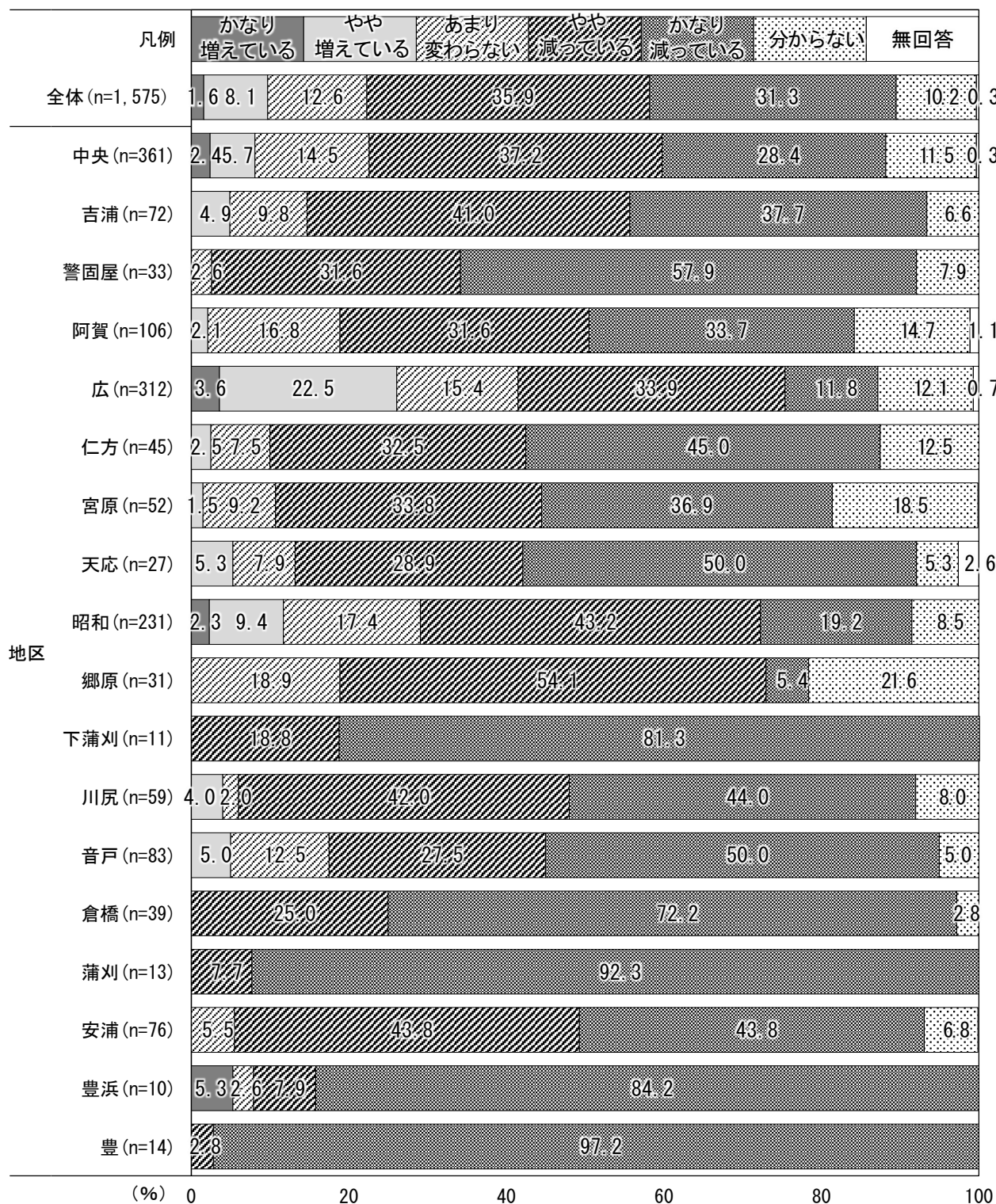


<地区別>

かなり減っていると感じている人は，豊地区（97.2%）で最も多く，蒲刈地区（92.3%），豊浜地区（84.2%），下蒲刈地区（81.3%）の安芸灘地域で多くなっている。

一方，増えていると感じている人は，広地区（26.1%），昭和地区（11.7%），で1割を超えている。

図表 3-3 今の居住地での近年の人口変化<地区別>



問4 お住まいの地域（ご近所）での人口の変化について、どう思われますか。
（○は1つ）

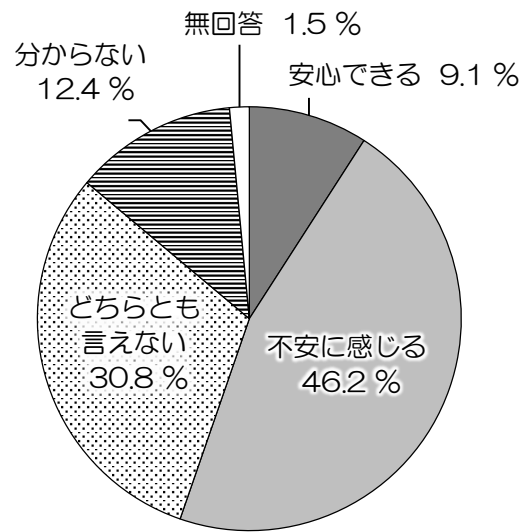
人口の変化について、不安を感じる人（46.2%）が約5割を占めており、「安心できる（9.1%）」は、約1割にとどまっている。また、前回調査と比べて「不安を感じる（前回41.0%）」は、5.2ポイント増加している。

<性別・年齢層別>

性別では、ほとんど差異は生じていない。

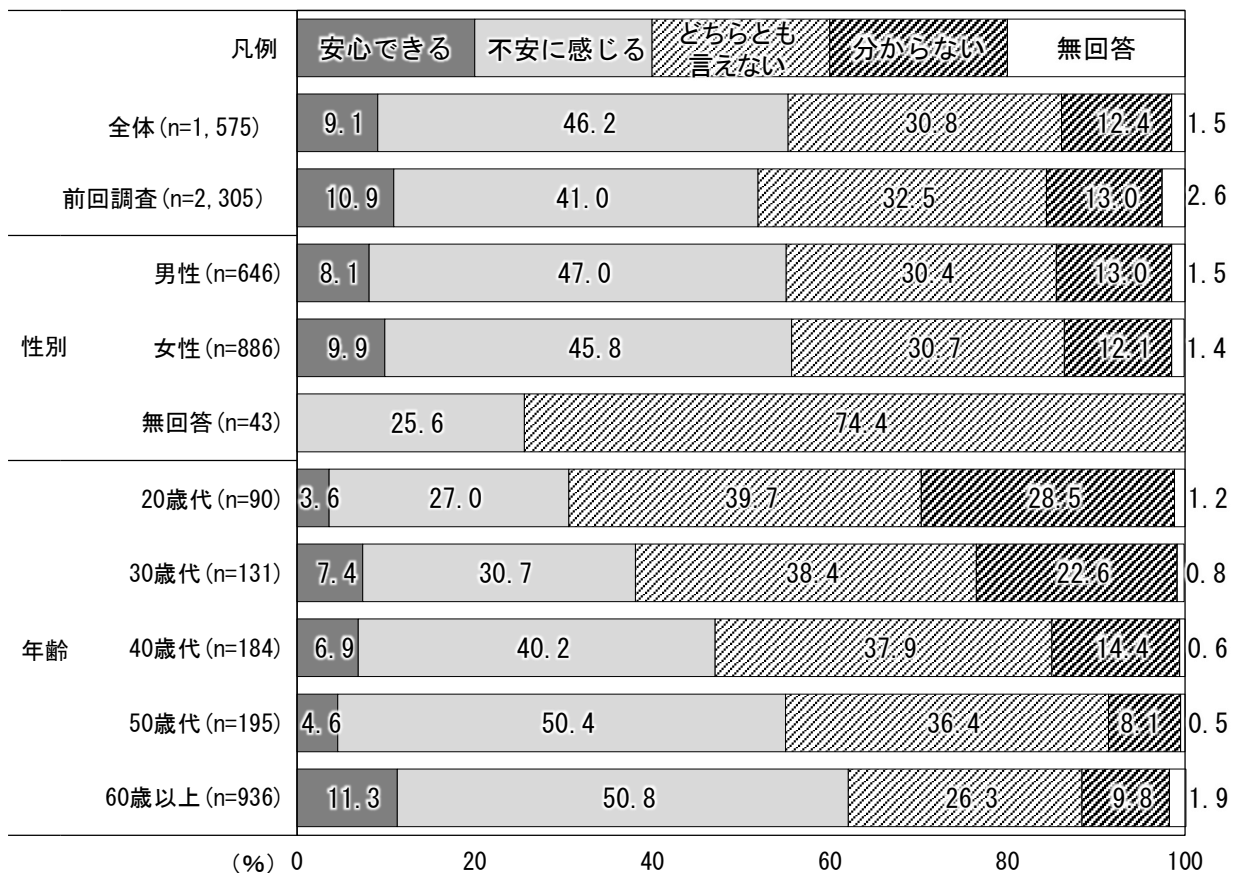
年齢層別では、「不安を感じる」は、60歳以上（50.8%）が最も多く、年齢が上がるほど多くなる傾向にある。なお、20歳代、30歳代では「わからない」が2割以上と多くなっている。

図表 4-1 人口変化についての考え



(n=1,575)

図表 4-2 人口変化についての考え<性別・年齢層別>

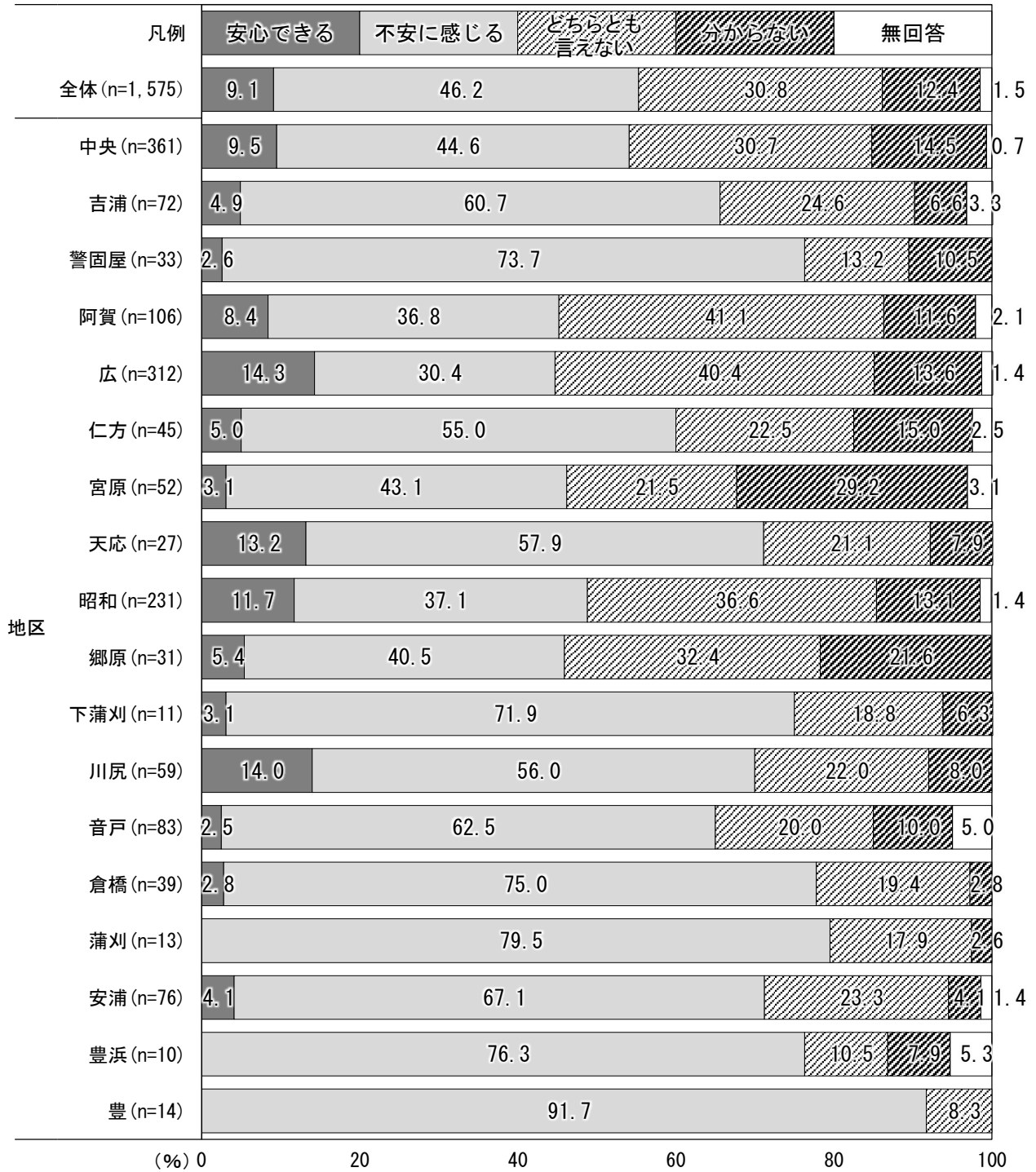


<地区別>

地区別では、「不安を感じる」は、豊地区（91.7%）が最も多く、9割以上を占めている。また、蒲刈地区（79.5%）、豊浜地区（76.3%）、倉橋地区（75.0%）などでも、7割以上を占めている。

一方、「安心できる」とする人は、広地区（14.3%）が最も多く、川尻地区（14.0%）、天応地区（13.2%）、昭和地区（11.7%）で1割を超えている。

図表 4-3 人口変化についての考え<地区別>

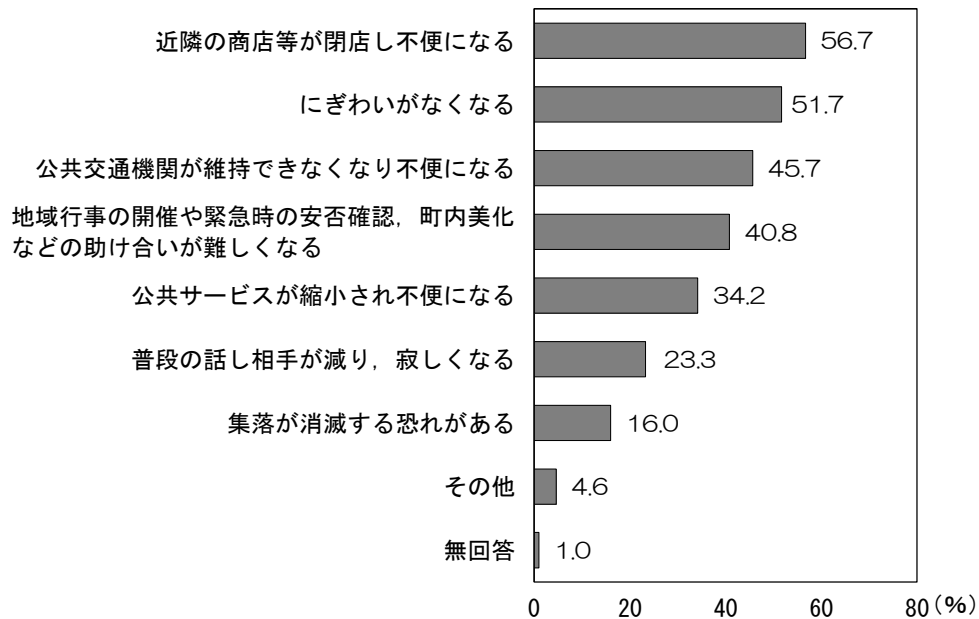


問4-1 上記問4で「不安を感じる」に回答した方のみ
なぜ不安を感じるのですか。（〇はいくつでも）

人口変化に不安を感じる理由は、「近隣の商店等が閉店し不便になる（56.7%）」が最も多く、次いで「にぎわいがなくなる（51.7%）」、「公共交通機関が維持できなくなり不便になる（45.7%）」、「地域行事の開催や緊急時の安否確認、町内美化などの助け合いが難しくなる（40.8%）」の順となっている。

なお、前回調査では選択肢に無かった「近隣の商店等が閉店し不便になる（56.7%）」が、第一位となっている。

図表 4-4 人口変化を不安を感じる理由



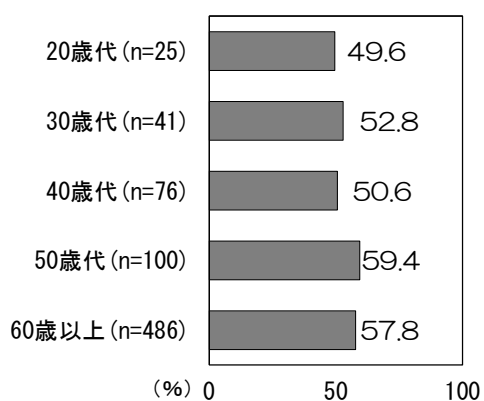
<年齢層別>

上位2項目の年齢層別では、「近隣の商店等が閉店し不便になる」は、50歳代（59.4%）が最も多く、20歳代（49.6%）が最も少なくなっている。

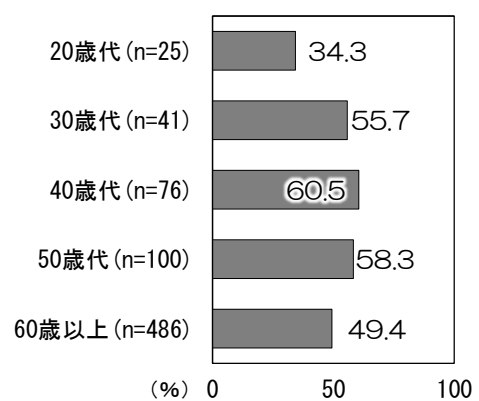
一方、「にぎわいがなくなる」は、40歳代（60.5%）で最も多く、20歳代（34.3%）が最も少なくなっている。

図表 4-5 人口変化を不安を感じる理由 上位2項目<年齢層別>

「近隣の商店等が閉店し不便になる」



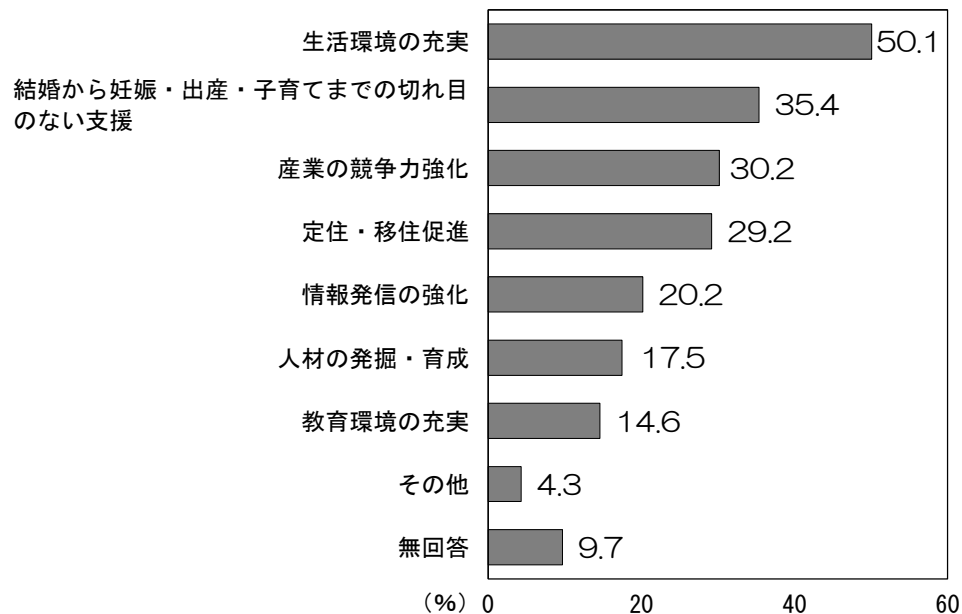
「にぎわいがなくなる」



問5 人口減少を少しでも抑えるためには、どのような取組が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

人口減少を抑制するために必要な取組では、「生活環境の充実(50.1%)」が最も多く、次いで「結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援(35.4%)」, 「産業の競争力強化(30.2%)」, 「定住・移住促進(29.2%)」の順となっている。

図表 5-1 人口減少を抑制するために必要な取組

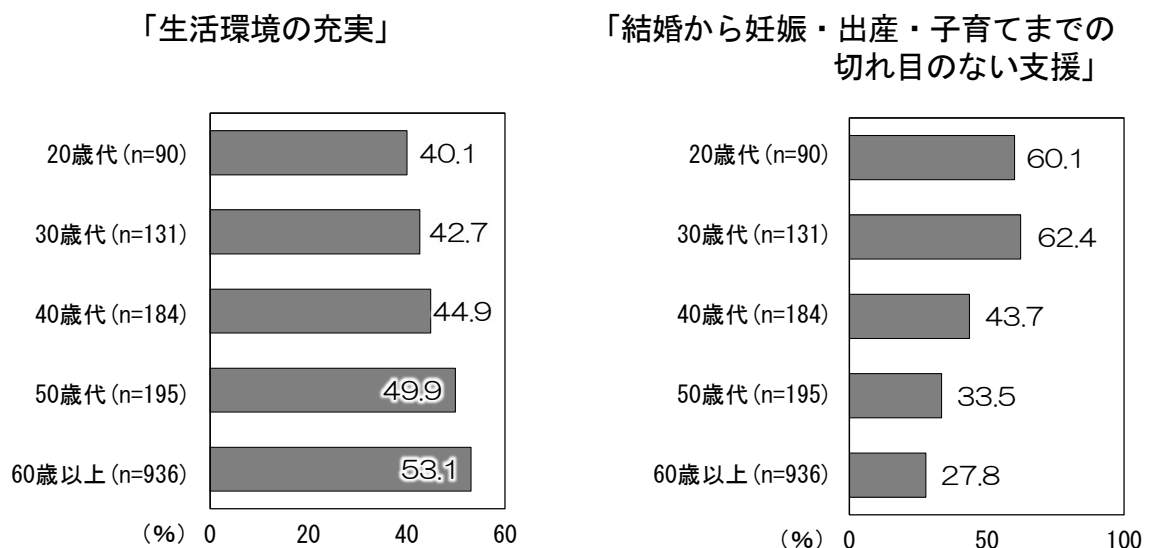


<年齢層別>

上位2項目の年齢層別では、「生活環境の充実」は、60歳以上(53.1%)で過半数となるなど、年齢が上がるほど多くなっている。

また、「結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援」は、子育て世代の多い20歳代(60.1%), 30歳代(62.4%)が多く、6割を占めている。

図表 5-2 人口減少を抑制するために必要な取組 上位2項目<年齢層別>



問6 あなたは、今住んでいる地域に、これからも「住み続けたい」と思いますか。
(○は1つ)

今の居住地への居住意向は、「住み続けたい(64.0%)」が6割以上を占め、「移りたい」は11.8%となっている。

なお、前回調査と比較すると、「住み続けたい(前回63.5%)」はほぼ同じであり、「移りたい(同15.9%)」は4.1ポイント減少している。

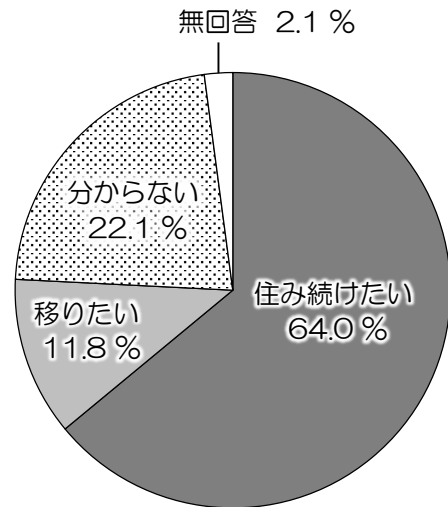
<性別・年齢層別>

性別では、ほとんど差異は生じていない。

年齢層別では、「住み続けたい」は、60歳以上が71.9%で最も多く、20歳代が33.6%と最も少ない。

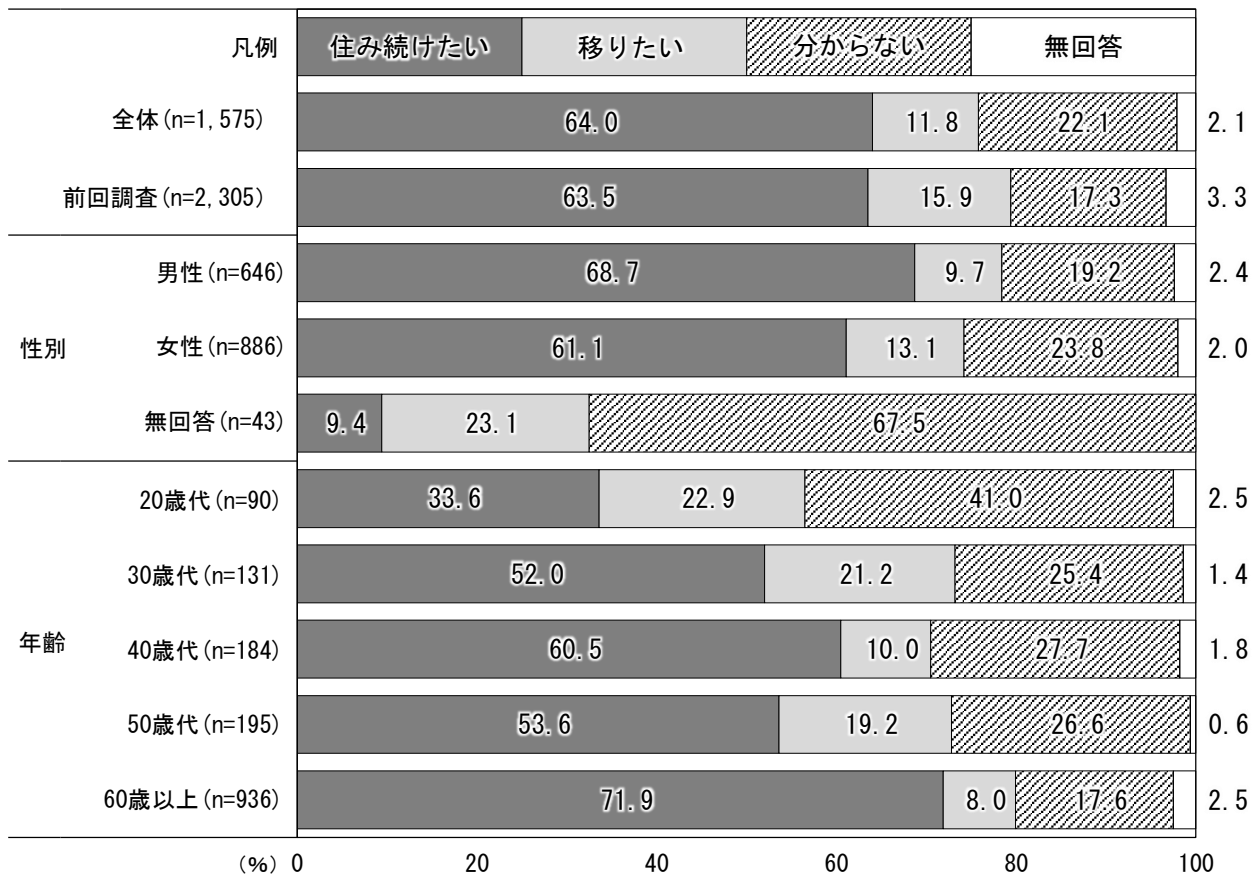
一方、「移りたい」は、20歳代と30歳代で2割を超えている。

図表 6-1 今の居住地への居住意向



(n=1,575)

図表 6-2 今の居住地への居住意向<性別・年齢層別>

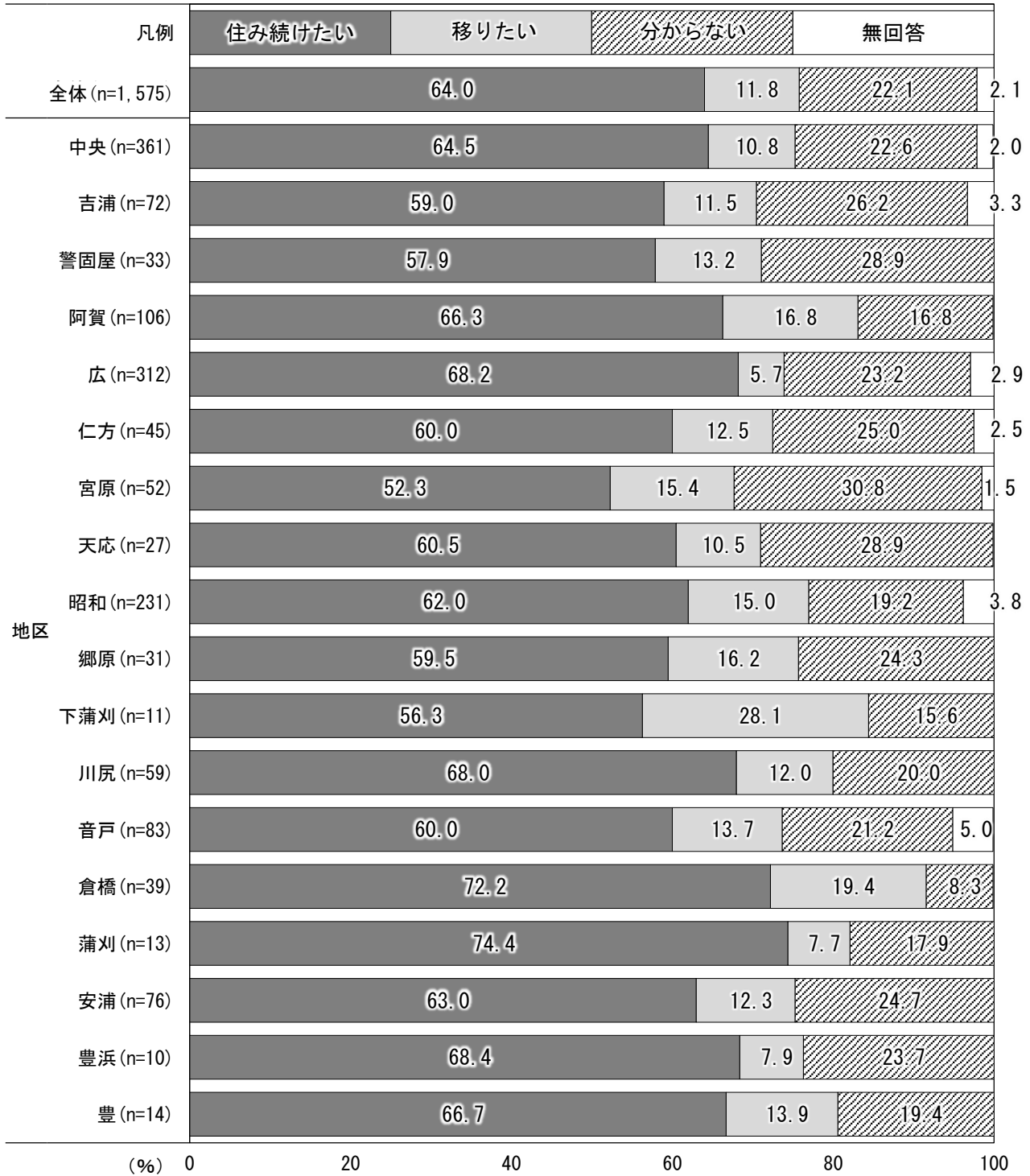


<地区別>

地区別では、「住み続けたい」は、蒲刈地区（74.4%）が最も多く、次いで倉橋地区（72.2%）、豊浜地区（68.4%）の順となっている。

一方、「移りたい」は、下蒲刈地区（28.1%）が最も多く、次いで倉橋地区（19.4%）、阿賀地区（16.8%）の順となっている。

図表 6-3 今の居住地への居住意向<地区別>



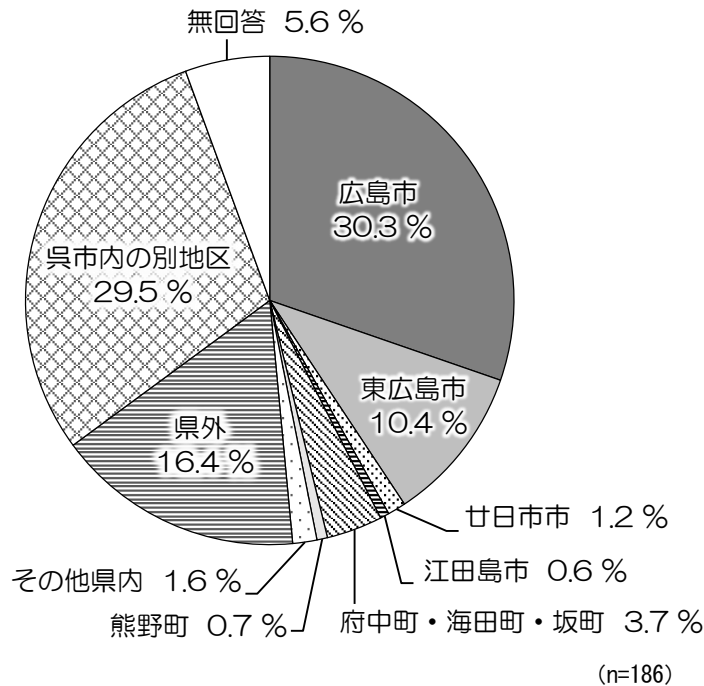
問6-1 上記問6で「移りたい」に回答した方のみ
どの地域へ移りたいと思いますか。(〇は1つ)

「移りたい」と回答した人の希望転居地域は、「広島市 (30.3%)」, 「呉市内の別地区 (29.5%)」, 「県外 (16.4%)」の順となっている。

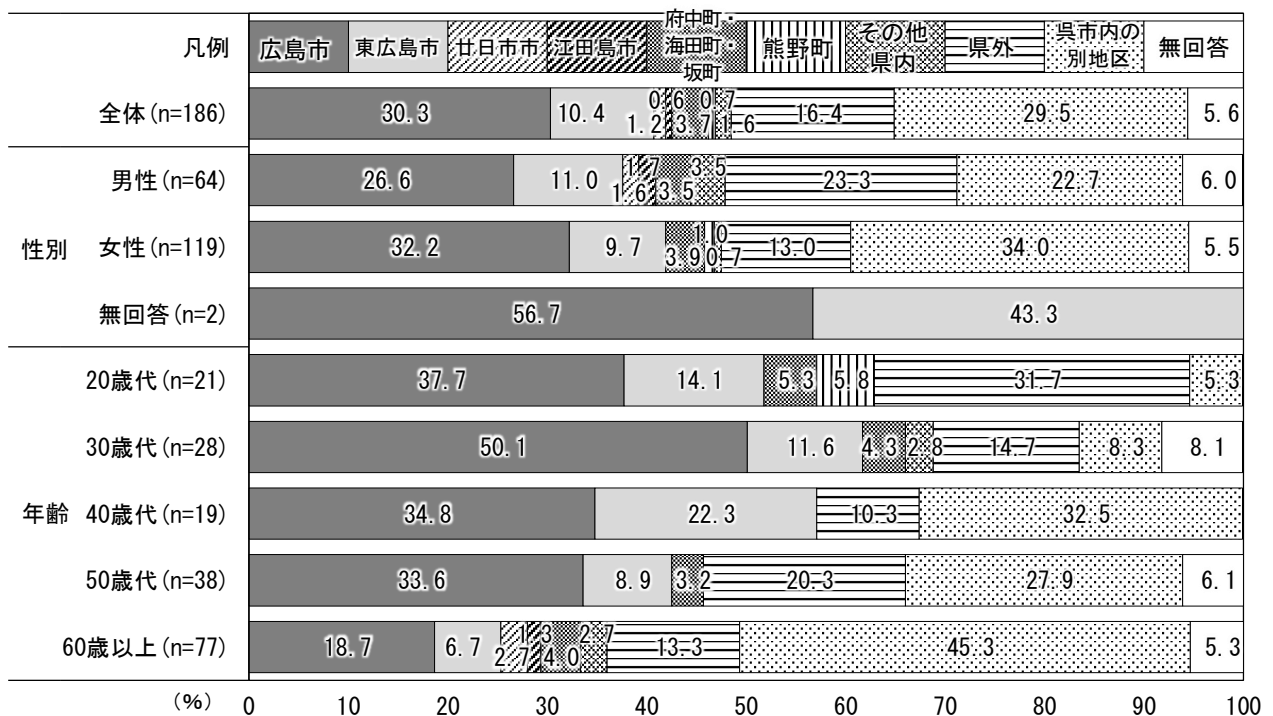
「呉市内の別地区」という市内転居が29.5%, 隣接する「広島市 (30.3%)」, 「東広島市 (10.4%)」を合わせて40.7%となるなど, 比較的近隣に転居したい意向が強いと考えられる。

年齢層別では, 30歳代の「広島市 (50.1%)」が5割を超えている。

図表 6-4 移りたい地域



図表 6-5 移りたい地域<性別・年齢層別>



問6-2 上記問6で「移りたい」に回答した方のみ
 他の地域（市内，市外）へ移りたいと思う理由は，何ですか。
 （〇はいくつでも）

他の地域（市内，市外）へ移りたいと思う理由は，「買い物環境（55.2%）」が最も多く，次いで「通勤，通学（34.8%）」，「医療環境（32.6%）」の順となっている。

図表 6-6 他の地域へ移りたいと思う理由



2 呉市の主要課題に対する意識について

(1) 健康づくり

◇現在、『健康である』と感じている人	⇒ 71.8%
◇定期的な運動を行っている人	⇒ 37.3%
◇健康増進の運動のために必要な環境整備	
1位 各種運動教室・講座の充実（まちづくりセンターなど）	33.3%
2位 ウォーキング・ランニングコースの整備	32.8%
◇健康診査を受診している人	⇒ 72.7%

問7 あなたは現在、健康であると感じていますか。（○は1つ）

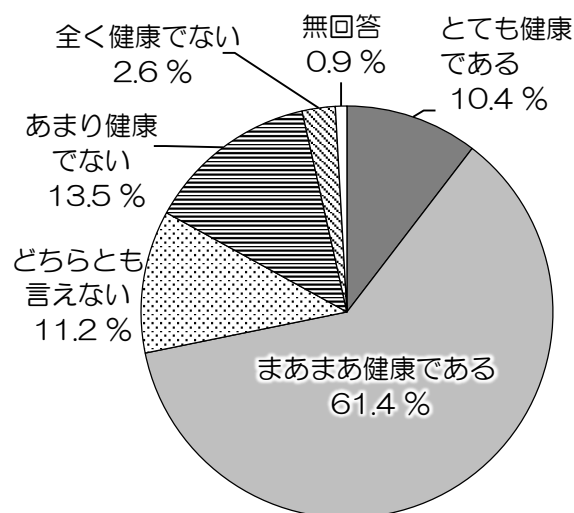
現在の健康状態については、「とても健康である（10.4%）」と「まあまあ健康である（61.4%）」を合わせた「健康である」と感じている人（71.8%）が、7割を占めている。なお、前回調査（前回72.3%）と比較すると、ほぼ同程度となっている。

<性別・年齢層別>

性別では、「とても健康である」と「まあまあ健康である」を合わせた「健康である」と感じている人は、ほとんど差が生じていない。

年齢層別では、「とても健康である」は、20歳代（28.7%）が最も多く、年齢層が上がるほど少なくなり、60歳以上（8.0%）が最も少ない。

図表 7-1 健康状態の認識



図表 7-2 健康状態の認識<性別・年齢層別>

凡例	とても健康である	まあまあ健康である	どちらとも言えない	あまり健康でない	全く健康でない	無回答
全体 (n=1,575)	10.4	61.4	11.2	13.5	2.6	0.9
前回調査 (n=2,305)	12.1	60.2	9.2	13.4	3.3	1.7
性別						
男性 (n=646)	10.4	61.2	12.5	12.8	2.2	0.8
女性 (n=886)	10.4	62.0	9.7	14.1	2.8	1.0
無回答 (n=43)	24.4	50.2	13.1	12.3		
年齢						
20歳代 (n=90)	28.7	57.6	7.6	6.0		
30歳代 (n=131)	17.0	62.6	11.5	7.2		1.7
40歳代 (n=184)	10.2	68.2	11.6	7.0		1.2
50歳代 (n=195)	9.7	73.7	7.7	7.2		1.2
60歳以上 (n=936)	8.0	57.7	11.9	17.7	3.6	1.1

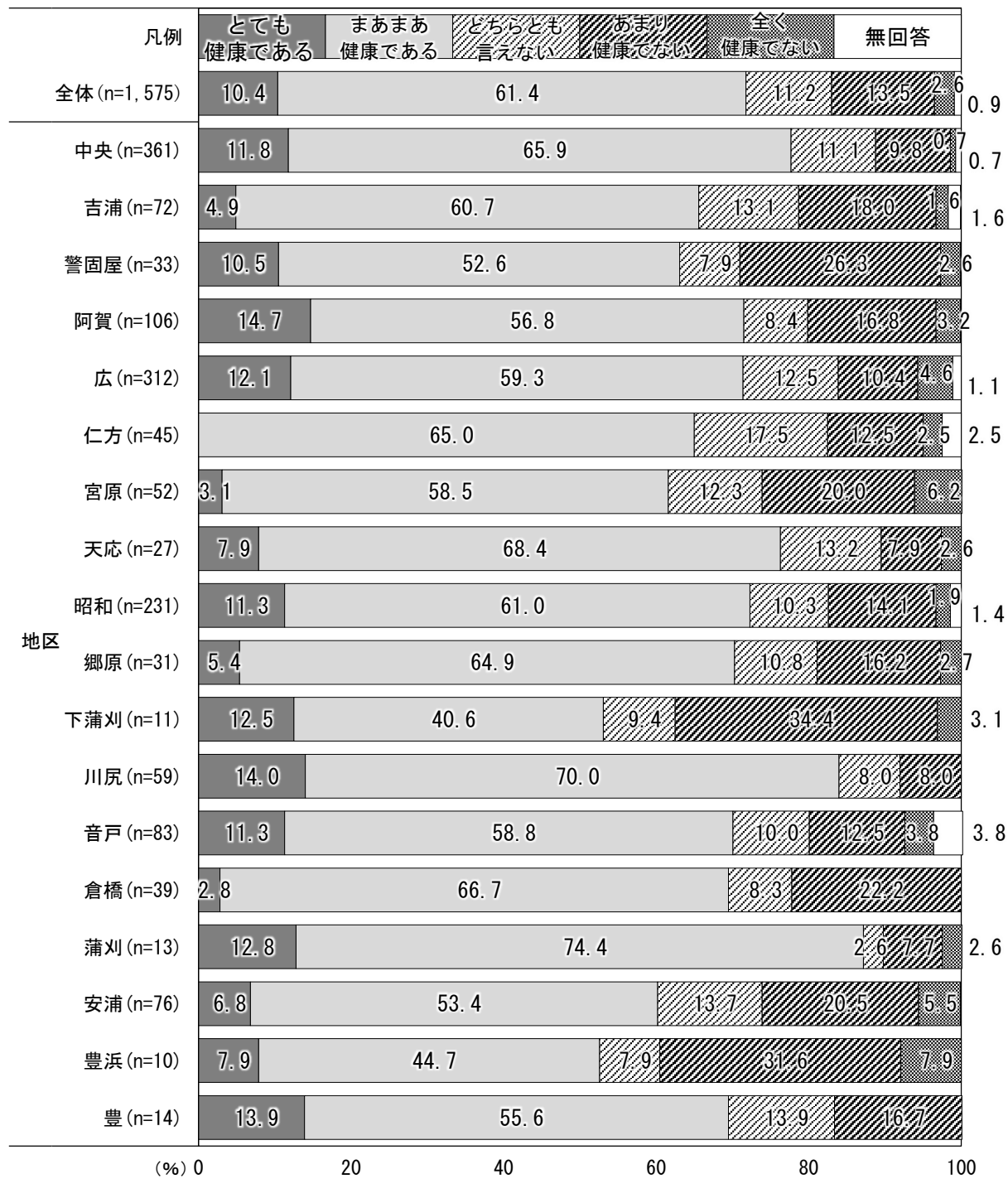
(%) 0 20 40 60 80 100

<地区別>

地区別では、半数（9/18）の地区が、「とても健康である」と「まあまあ健康である」を合わせて7割を超えている。蒲刈地区（87.2%）が最も多く、次いで川尻地区（84.0%）、中央地区（77.7%）の順となっている。

一方、「あまり健康でない」と「全く健康でない」は、豊浜地区（39.5%）、下蒲刈地区（37.5%）で3割を超えている。

図表 7-3 健康であると感じるか<地区別>



問8 健康増進に向けて、あなたは現在、定期的な運動（1回30分以上の運動を週2回以上）をしていますか。（○は1つ）

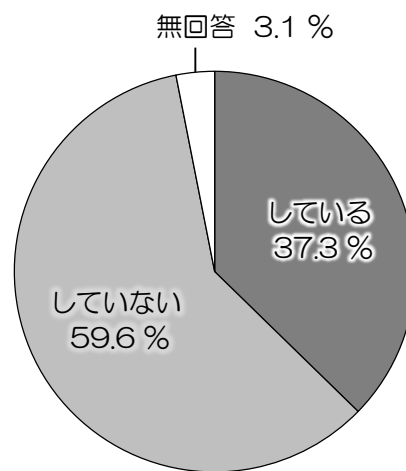
定期的（週2回以上）な運動については、「していない（59.6%）」が「している（37.3%）」を22.3ポイント上回っている。なお、前回調査（週3回以上）と比較すると、「していない（前回67.1%）」は7.5ポイント減少している。

＜性別・年齢層別＞

性別では、「している」と答えた男性が43.3%、女性が33.1%となり、男性が10.2ポイント上回っている。

年齢層別では、「している」は、60歳以上が44.0%で最も多く、他の年齢層では3割以下にとどまっている。

図表 8-1 定期的な運動



(n=1,575)

図表 8-2 定期的な運動 ＜性別・年齢層別＞

凡例	している	していない	無回答
全体 (n=1,575)	37.3	59.6	3.1
前回調査 (n=2,305)	29.8	67.1	3.0
性別			
男性 (n=646)	43.3	53.6	3.2
女性 (n=886)	33.1	63.8	3.1
無回答 (n=43)	22.7	77.3	
年齢			
20歳代 (n=90)	23.9	75.8	0.4
30歳代 (n=131)	23.7	74.4	1.8
40歳代 (n=184)	28.1	70.1	1.8
50歳代 (n=195)	28.9	68.8	2.3
60歳以上 (n=936)	44.0	52.1	3.8

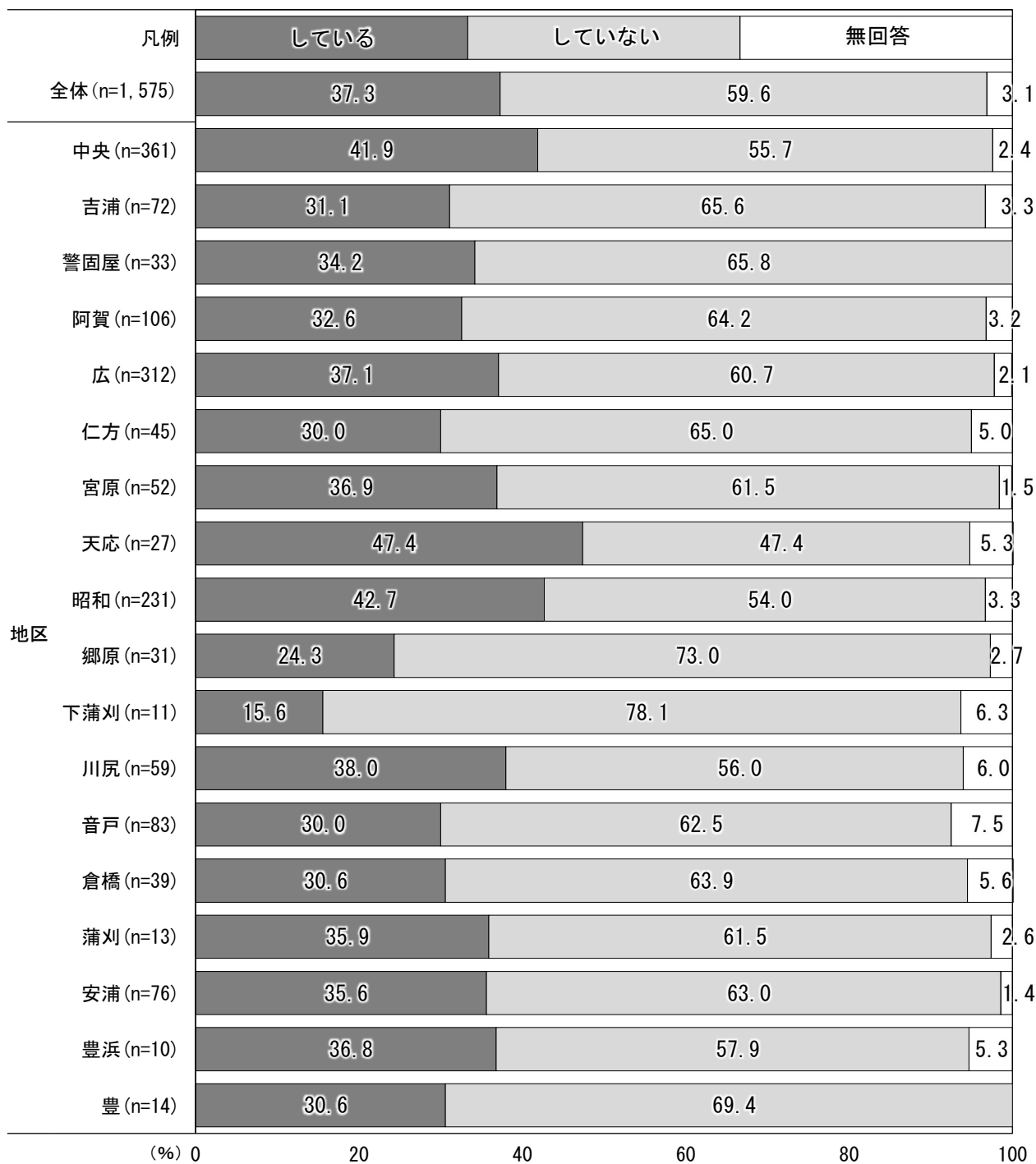
(%) 0 20 40 60 80 100

<地区別>

地区別では、「している」は、天応地区（47.4%）が最も多く、次いで昭和地区（42.7%）、中央地区（41.9%）の順となっている。

一方、「していない」は、下蒲刈地区（78.1%）が最も多く、郷原地区（73.0%）、豊地区（69.4%）の順となっている。

図表 8-3 定期的な運動 <地区別>

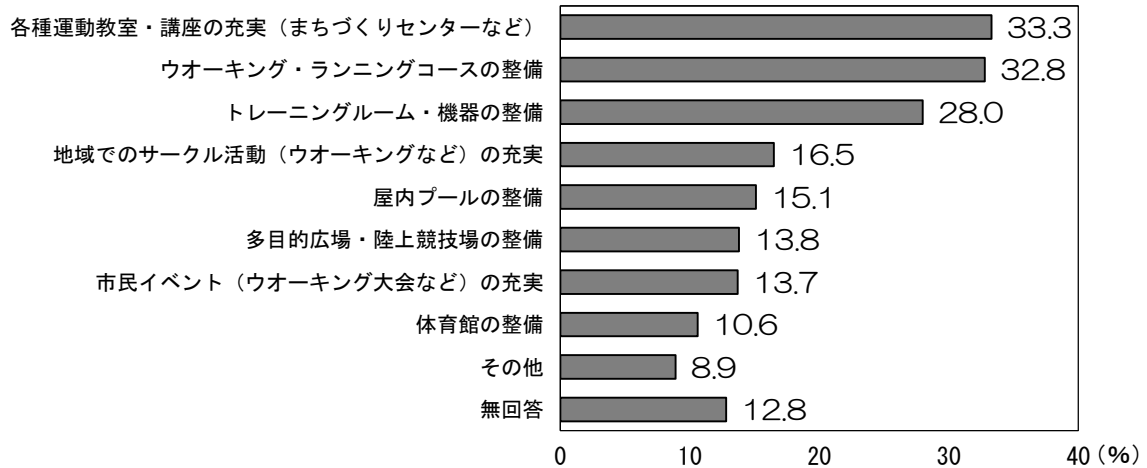


問9 あなたは、健康増進のための運動を行っていく上で、どのような環境整備が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

健康増進のために必要な環境整備では、「各種運動教室・講座の充実(まちづくりセンターなど) (33.3%)」が最も多く、次いで、「ウォーキング・ランニングコースの整備 (32.8%)」、「トレーニングルーム・機器の整備 (28.0%)」の順となっている。

なお、前回調査と比較すると、「ウォーキング・ランニングコースの整備(前回29.5%)」や「各種運動教室・講座の充実(まちづくりセンターなど)(同29.4%)」は、前回調査と同様に上位に位置している。

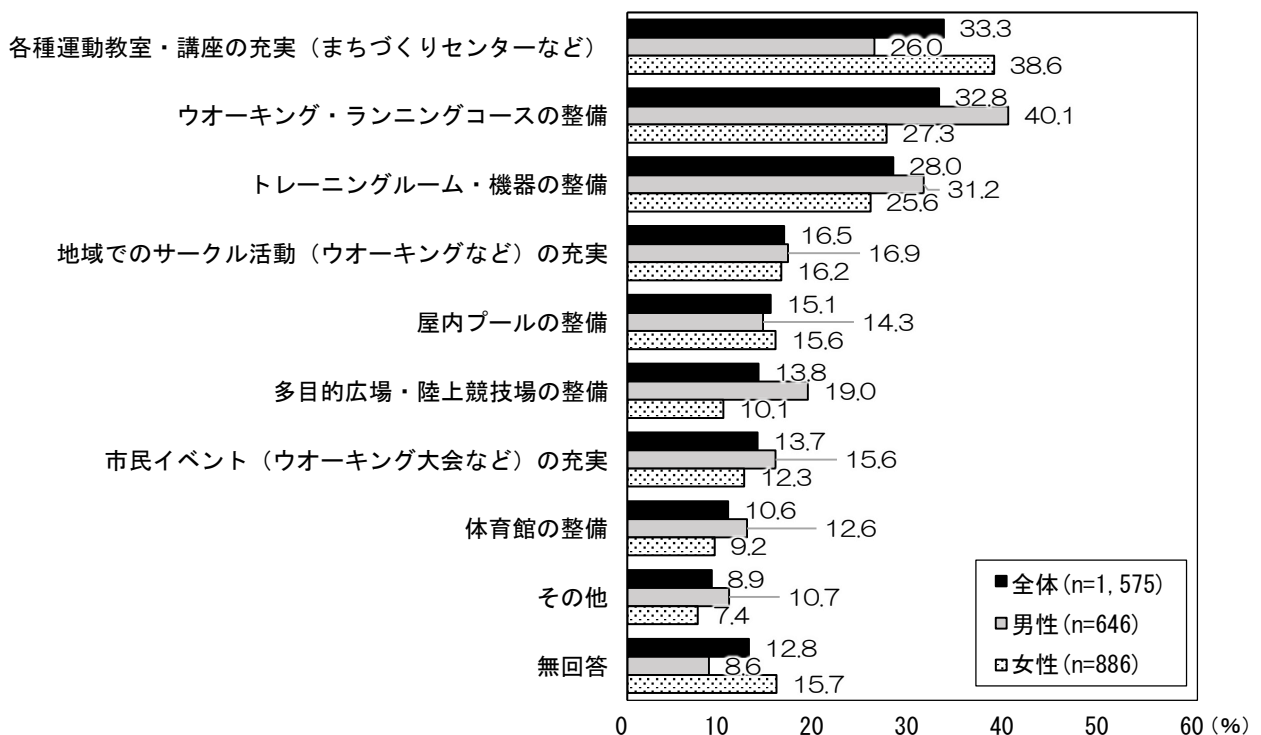
図表 9-1 健康増進のために必要だと思う環境整備



<性別>

性別で見ると、「各種運動教室・講座の充実(まちづくりセンターなど)」では、男性が26.0%、女性が38.6%であり、女性が12.6ポイント多くなっている。「ウォーキング・ランニングコースの整備」では、男性が40.1%、女性が27.3%で男性が12.8ポイント多くなっている。

図表 9-2 健康増進のために必要だと思う環境整備<性別>



<年齢層別>

年齢層別で見ると、「各種運動教室・講座の充実(まちづくりセンターなど)」では、30歳代(34.0%)、40歳代(32.5%)、50歳代(36.2%)、60歳以上(35.0%)が3割を超えているが、20歳代(12.7%)は他の年代に比べて低くなっている。

また、「ウオーキング・ランニングコースの整備」では、30歳代(41.3%)、40歳代(43.8%)、50歳代(40.4%)が4割を超えており、他の年代に比べて特に多くなっている。

図表 9-3 健康増進のために必要だと思う環境整備<年齢層別>

	(%)									
	各種運動教室・講座の充実(まちづくりセンターなど)	ウオーキング・ランニングコースの整備	トレーニングルーム・機器の整備	地域でのサークル活動(ウオーキングなど)の充実	屋内プールの整備	多目的広場・陸上競技場の整備	市民イベント(ウオーキング大会など)の充実	体育館の整備	その他	無回答
20歳代 (n=90)	12.7	31.8	34.6	16.4	20.1	24.4	14.5	21.3	4.5	3.5
30歳代 (n=131)	34.0	41.3	33.6	14.4	19.6	19.4	19.3	23.1	10.7	1.5
40歳代 (n=184)	32.5	43.8	31.7	11.2	18.0	17.8	16.9	14.4	11.6	6.6
50歳代 (n=195)	36.2	40.4	31.8	15.0	20.1	16.8	13.0	9.4	10.4	8.7
60歳以上 (n=936)	35.0	27.9	25.2	18.3	12.4	10.7	12.5	7.4	8.5	17.2

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問10 生活習慣病などの早期発見・早期治療に向けて、あなたは毎年、健康診査を受診していますか。(〇は1つ)

健康診査の受診の有無については、「受診している(72.7%)」が7割を占め、前回調査(前回61.7%)と比較すると11.0ポイント増加している。

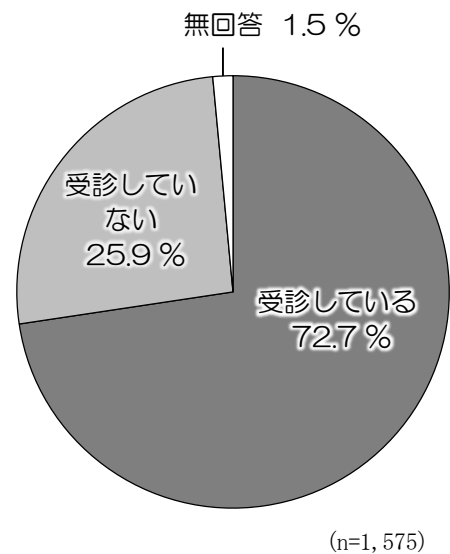
「受診していない(25.9%)」は、前回調査(前回36.8%)と比較すると、10.9ポイント減少した。

<性別・年齢層別>

性別では、「受診している」と答えた男性が77.8%、女性が69.1%となり、男性が8.7ポイント高い。

年齢層別では、「受診している」は、50歳代までは年齢層が上がるほど多くなるが、60歳以上は減少している。

図表 10-1 健康診査の受診の有無



図表 10-2 健康診査の受診 <性別・年齢層別>

凡例	受診している	受診していない	無回答
全体 (n=1,575)	72.7	25.9	1.5
前回調査 (n=2,305)	61.7	36.8	1.5
性別			
男性 (n=646)	77.8	20.7	1.5
女性 (n=886)	69.1	29.4	1.5
無回答 (n=43)	48.1	51.9	
年齢			
20歳代 (n=90)	70.1	29.9	
30歳代 (n=131)	72.8	27.2	
40歳代 (n=184)	81.8	17.0	1.2
50歳代 (n=195)	83.1	15.8	1.1
60歳以上 (n=936)	69.2	28.9	1.9

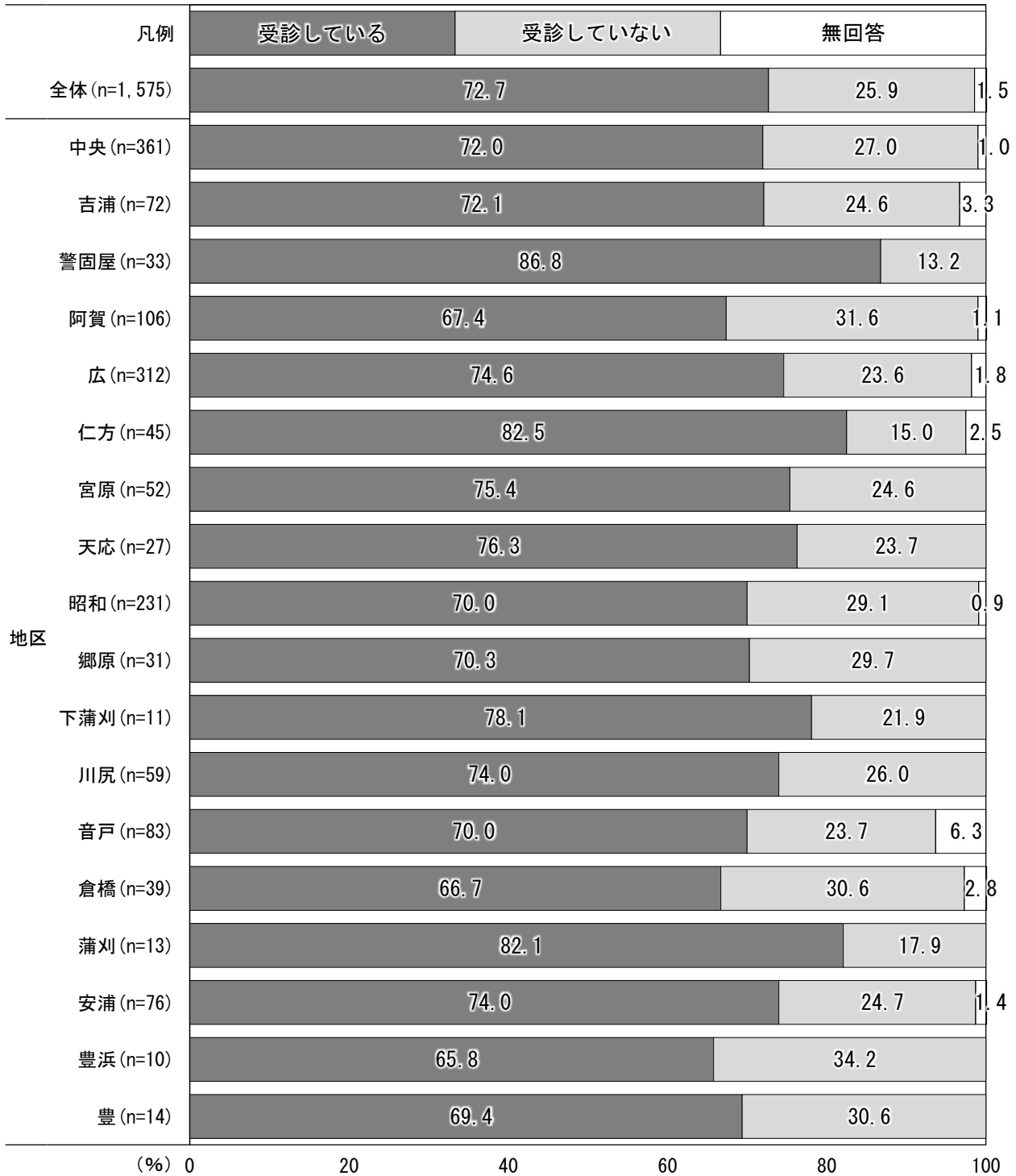
(%) 0 20 40 60 80 100

<地区別>

地区別では、「受診している」の割合が高いのは、警固屋地区（86.8%），仁方地区（82.5%），蒲刈地区（82.1%）の順となっている。

一方、「受診していない」の割合が高いのは、豊浜地区（34.2%），阿賀地区（31.6%），倉橋地区（30.6%），豊地区（30.6%）の順となっている。

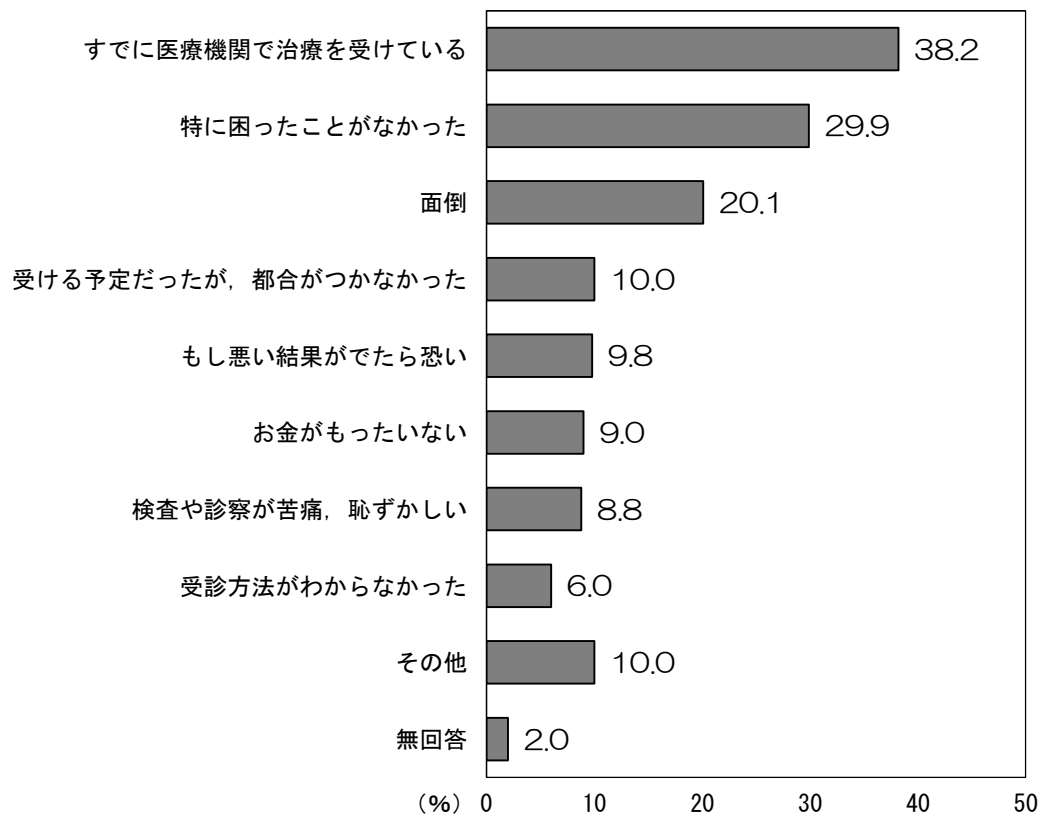
図表 10-3 健康診査の受診 <地区別>



問10-1 上記問10で「受診していない」に回答した方のみ
健康診査を受診しない理由は、何ですか。（〇はいくつでも）

健康診査を受診しない理由は、「すでに医療機関で治療を受けている（38.2%）」が最も多く、次いで「特に困ったことがなかった（29.9%）」、「面倒（20.1%）」の順となっている。

図表 10-4 健康診査を受診しない理由



<年齢層別>

「受信していない」の割合が高い年齢層別では、60歳以上は「すでに医療機関で治療を受けている（51.3%）」、20歳代は「特に困ったことがなかった（45.0%）」、「面倒（44.7%）」、「お金がもったいない（28.3%）」、30歳代は「受信方法がわからなかった（22.2%）」が、他の年代に比べて高い。

図表 10-5 健康診査を受診しない理由（年齢層別）

	(%)									
	すでに医療機関で治療を受けている	特に困ったことがなかった	面倒	受ける予定だったが、都合がつかなかった	もし悪い結果がでたら怖い	お金がもったいない	検査や診察が苦痛、恥ずかしい	受診方法がわからなかった	その他	無回答
20歳代 (n=27)	10.5	45.0	44.7	4.1	7.9	28.3	4.1	8.5	12.2	0.0
30歳代 (n=36)	3.4	36.6	21.7	18.5	15.5	17.4	8.6	22.2	15.8	4.1
40歳代 (n=32)	3.5	20.7	28.1	28.5	10.1	13.8	7.2	8.3	27.5	0.0
50歳代 (n=31)	22.5	30.6	30.8	14.9	18.2	11.4	24.8	3.9	11.0	3.8
60歳以上 (n=277)	51.3	28.2	14.4	6.5	7.9	5.4	7.9	3.6	6.9	1.8

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

(2) 少子化対策・高齢化対策

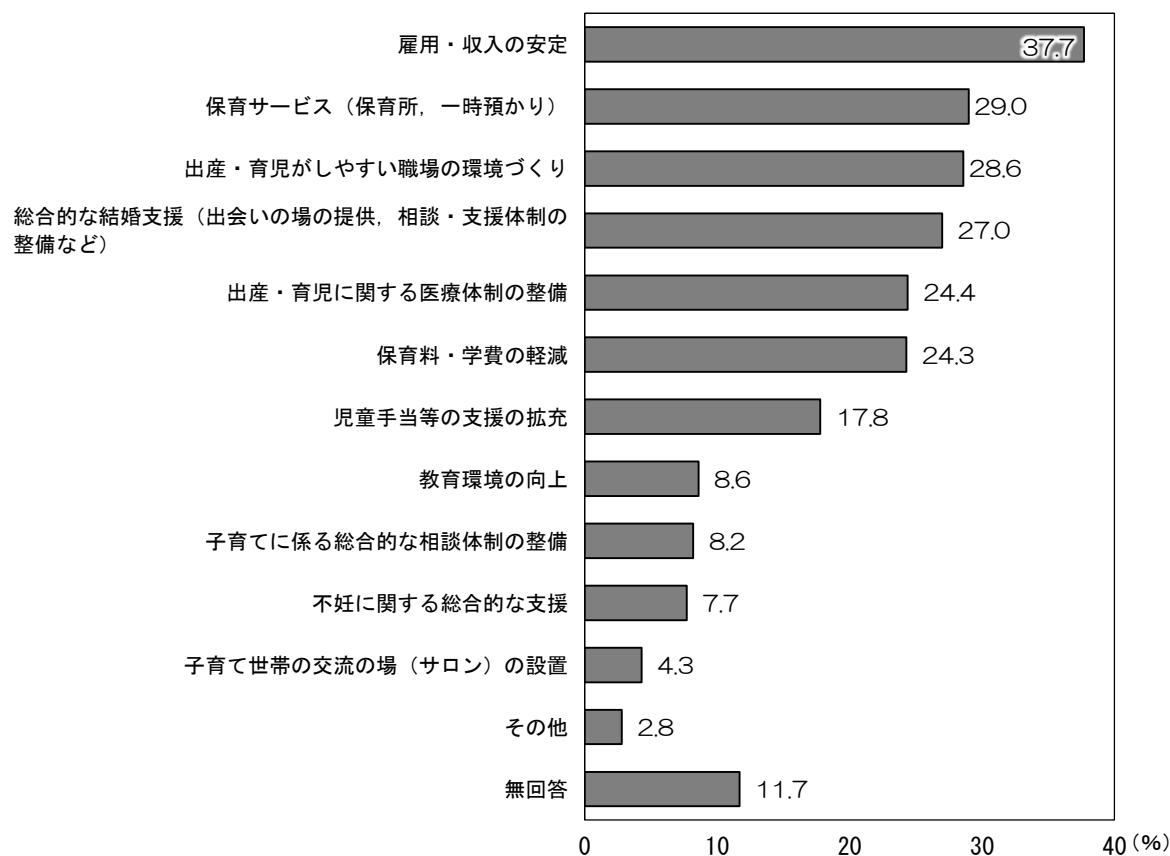
◇少子化対策として充実すべき取組		
1位	雇用・収入の安定	37.7%
2位	保育サービス（保育所，一時預かり）	29.0%
◇高齢化対策として充実すべき取組		
1位	生活支援（買い物，食事など）	33.4%
2位	高齢者の活躍の場の創出（再就職，ボランティアなど）	33.3%

問11 呉市では1年間に生まれてくる子どもの数が減少しています（H20年度1,865人→H30年度1,280人）。あなたは、少子化を少しでも抑えるために、どのような取組を充実させたいと思いますか。（〇は3つまで）

少子化対策として充実すべき取組は、「雇用・収入の安定（37.7%）」が最も多く、次いで「保育サービス（保育所，一時預かり）（29.0%）」，「出産・育児がしやすい職場の環境づくり（28.6%）」，「総合的な結婚支援（出会いの場の提供，相談・支援体制の整備など）（27.0%）」の順となっている。

前回調査では、「子育てに係る経済的負担の軽減（前回52.8%）」が第一位であったが、選択肢を変更した「保育料・学費の軽減（24.3%）」と「児童手当等の支援の拡充（17.8%）」の経済的な理由を合わせると42.1%となっている。また、選択肢として追加した「雇用・収入の安定」にも回答が分散しているものと考えられる。

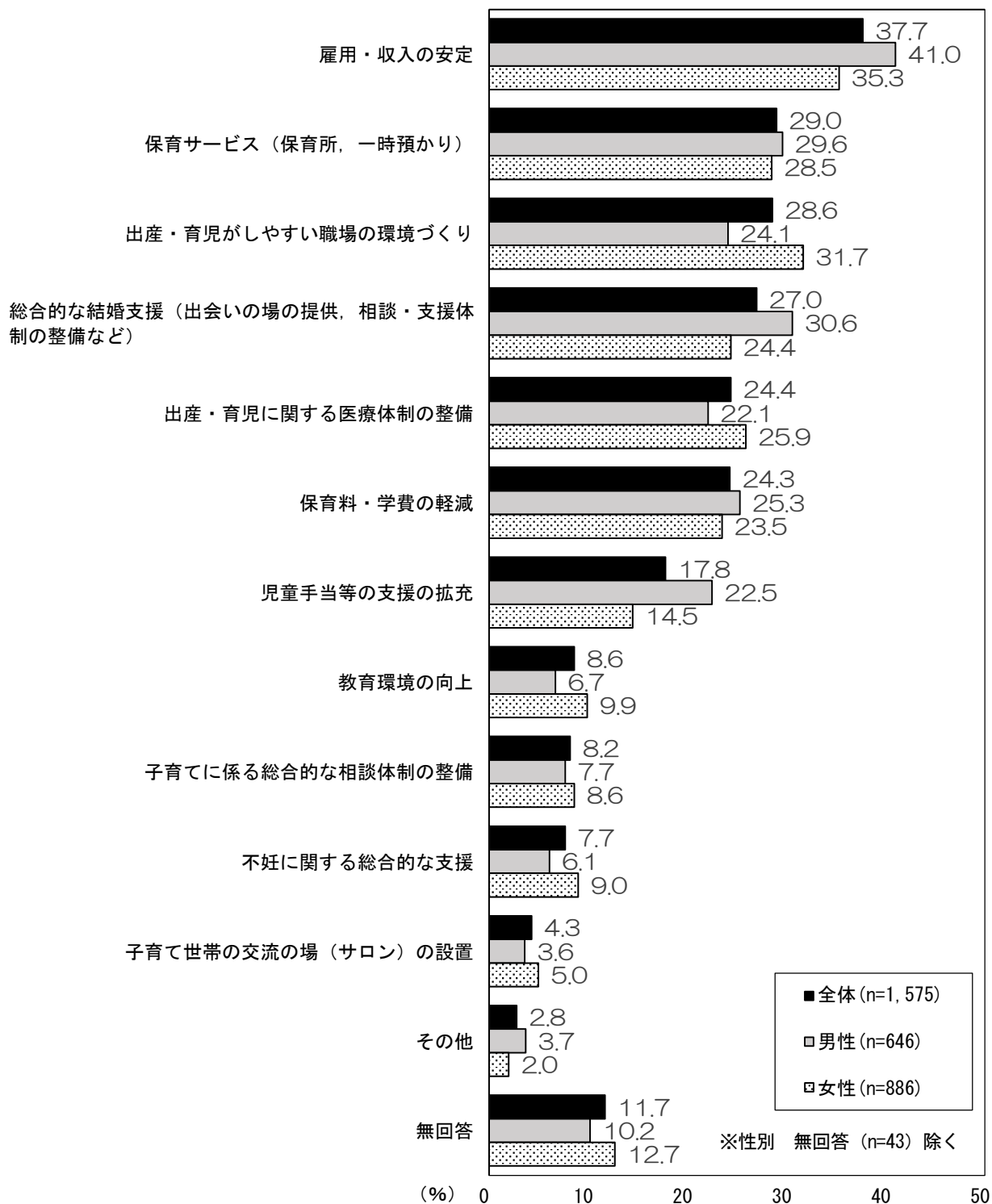
図表 11-1 少子化対策として充実すべき取組



<性別>

性別でみると、「雇用・収入の安定」では、男性が 41.0%，女性が 35.3%で男性が 5.7 ポイント多くなっており、「出産・育児がしやすい職場環境づくり」では、女性が 31.7%，男性が 24.1%で女性が 7.6 ポイント多くなっている。

図表 11-2 少子化対策として充実すべき取組<性別>



<年齢層別>

年齢層別でみると、「雇用・収入の安定」が、40歳代（42.5%）、50歳代（40.8%）、60歳以上（38.1%）で最も多くなっている。

図表 11-3 少子化対策として充実すべき取組<年齢層別>

(%)

	雇用・収入の安定	保育サービス（保育所、一時預かり）	出産・育児がしやすい職場の環境づくり	総合的な結婚支援（出会いの場の提供、相談・支援体制の整備など）	出産・育児に関する医療体制の整備	保育料・学費の軽減	児童手当等の支援の拡充	教育環境の向上	子育てに係る総合的な相談体制の整備	不妊に関する総合的な支援	子育て世帯の交流の場（サロン）の設置	その他	無回答
20歳代 (n=90)	31.5	32.9	19.3	29.6	29.0	29.5	18.5	5.1	8.9	8.6	1.6	2.5	14.3
30歳代 (n=131)	28.2	28.7	26.4	20.1	34.9	33.8	29.4	9.8	4.1	15.7	4.2	2.4	10.9
40歳代 (n=184)	42.5	30.7	30.2	19.3	23.4	31.8	21.7	9.2	6.1	12.7	5.7	5.8	7.6
50歳代 (n=195)	40.8	31.4	31.8	18.3	29.7	29.2	18.4	9.9	6.9	11.4	2.6	2.6	8.4
60歳以上 (n=936)	38.1	27.7	28.9	31.2	21.6	20.1	15.4	8.4	9.5	4.8	4.7	2.4	12.9

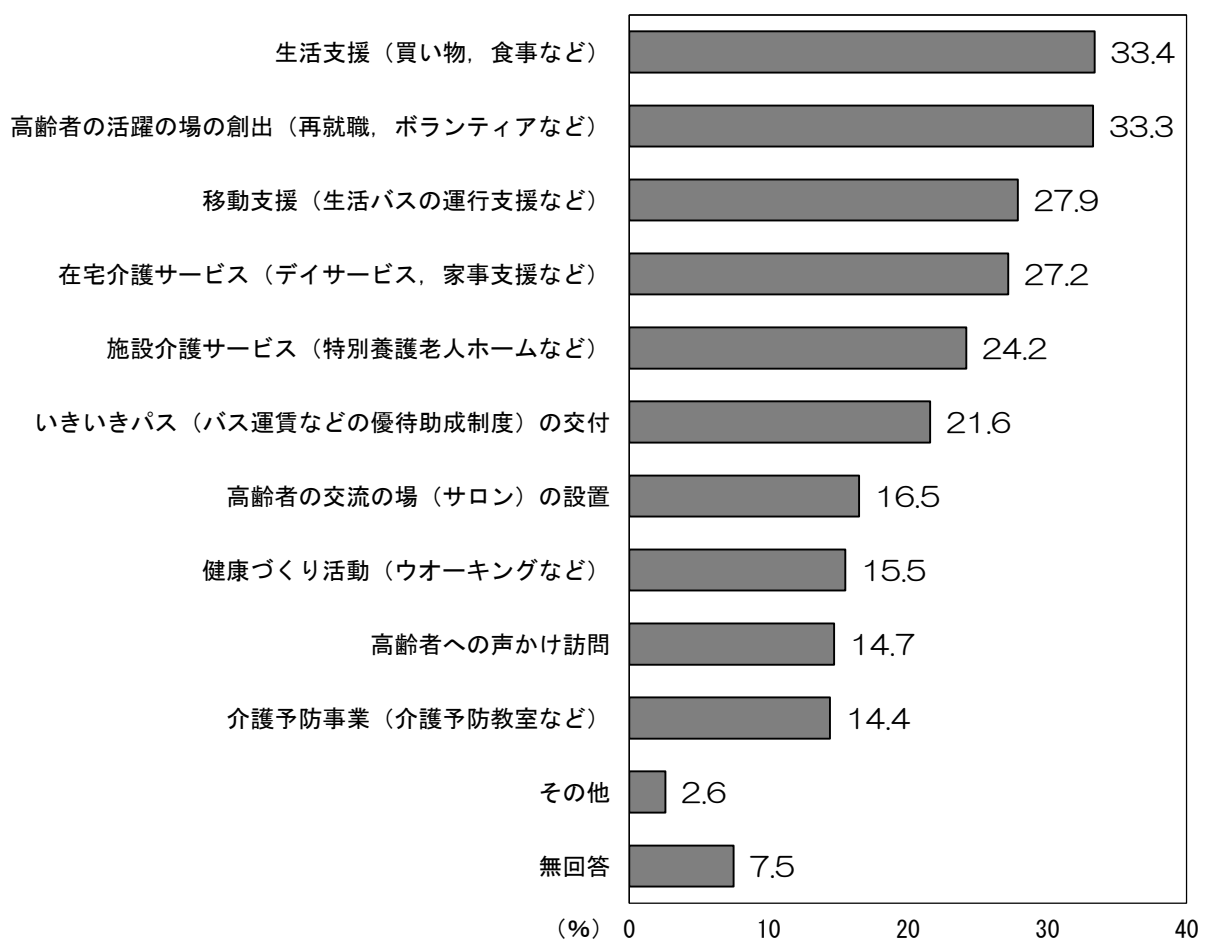
※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問12 呉市では高齢化が進展しています（H21年3月末：28.0%→H31年3月末：34.8%）。あなたは、高齢化社会に対応するため、どのような取組を充実させたいと思いますか。（〇は3つまで）

高齢化対策として充実すべき取組は、「生活支援（買い物，食事など）（33.4%）」が最も多く，次いで「高齢者の活躍の場の創出（再就職，ボランティアなど）（33.3%）」，「移動支援（生活バスの運行支援など）（27.9%）」，「在宅介護サービス（デイサービス，家事支援など）（27.2%）」の順となっている。

前回調査では，「在宅介護サービス（デイサービス，家事支援など）（前回42.3%）」が第一位であったが，今回は，「生活支援」や「高齢者の活躍の場の創出」，「移動支援」が上位となっている。

図表 12-1 高齢化対策として充実すべき取組



(3) 人権尊重

- ◇差別はなくすべきであると考えている人 ⇒ 83.6%
- ◇身近な人の差別的な発言を注意する人 ⇒ 54.6%

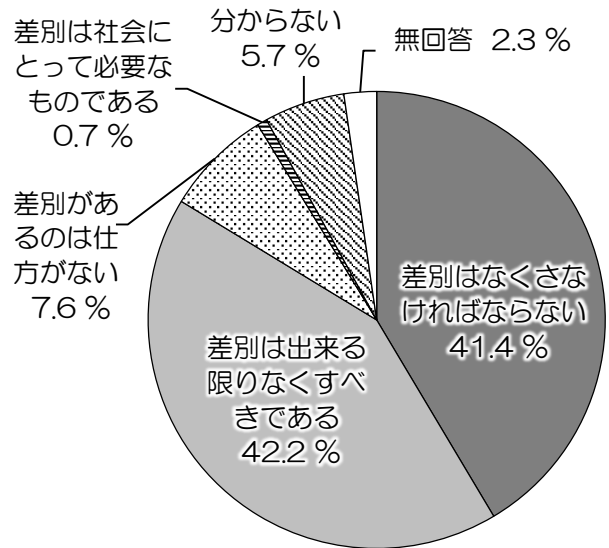
問13 性別・障がいの有無・国籍などを理由にした様々な差別があります。「差別」について、あなたのお考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

「差別」についての考え方は、「差別はなくさなければならない(41.4%)」と、「差別は出来る限りなくすべきである(42.2%)」を合わせた「差別はなくすべきである」と考えている人は、83.6%を占めている。なお、前回調査(前回84.0%)とほぼ同程度となっている。

<性別・年齢層別>

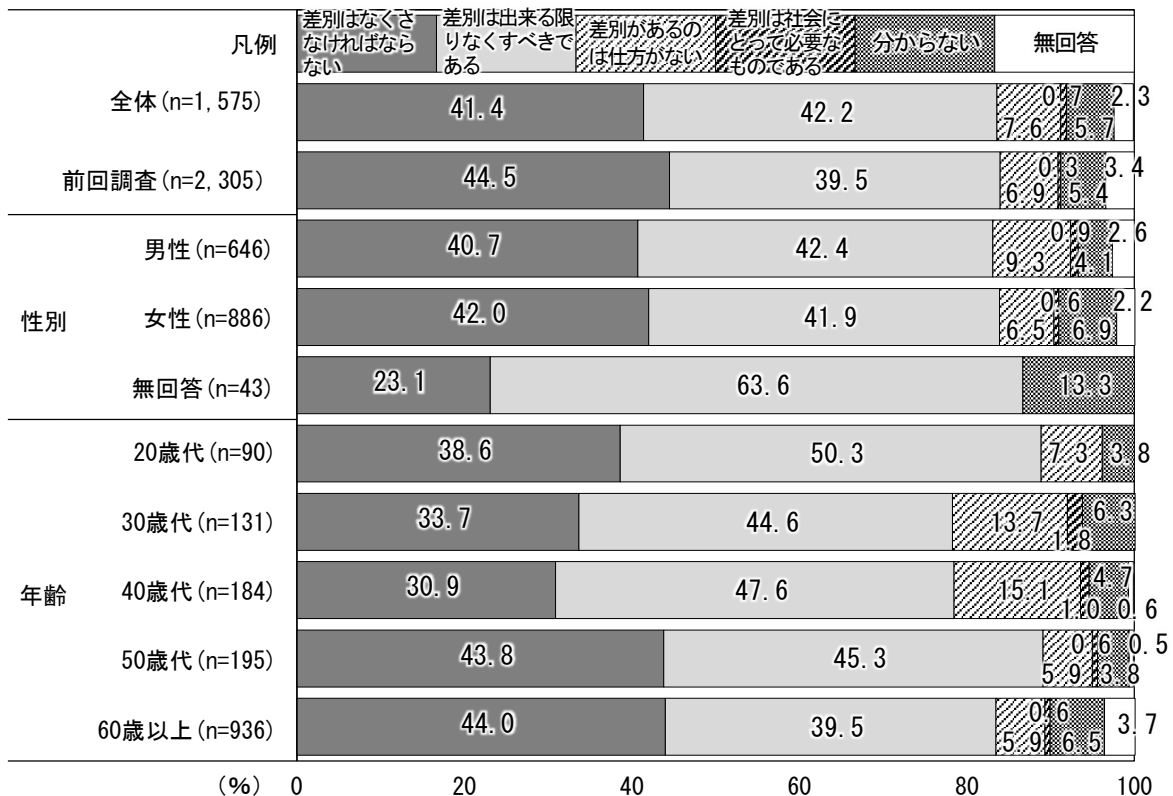
年齢層別では、50歳代、60歳以上で「差別はなくさなければならない」がやや多くなっている。

図表 13-1 「差別」についての考え方



(n=1,575)

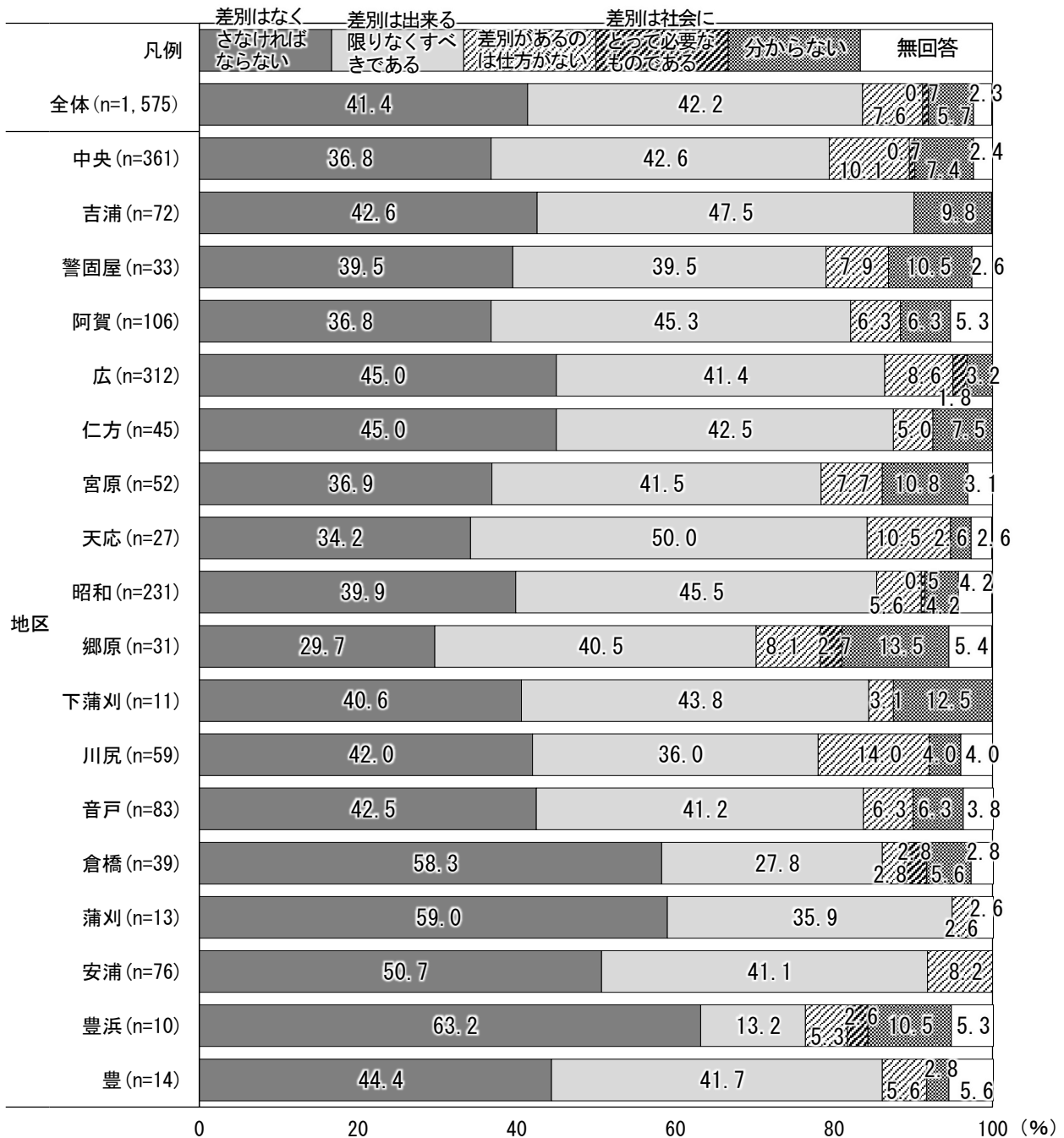
図表 13-2 「差別」についての考え方<性別・年齢層別>



<地区別>

地区別では、「差別はなくさなければならぬ」は豊浜地区（63.2%），蒲刈地区（59.0%），倉橋地区（58.3%）の順に多くなっている。

図表 13-3 「差別」に対する考え<地区別>



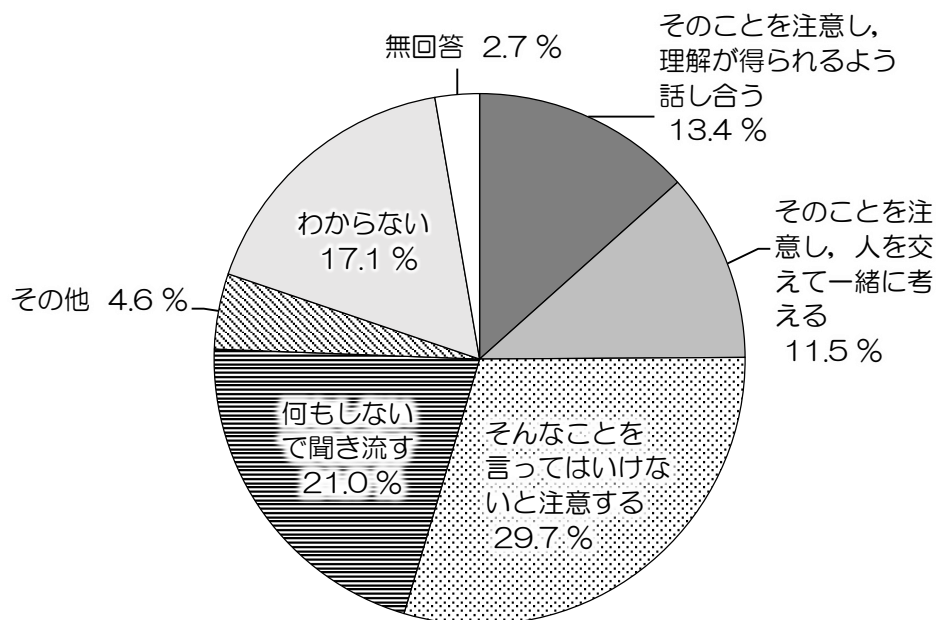
問 14 身近な人が差別的なことを言うのを聞いたとき、あなたならどうしますか。
(〇は1つ)

身近な人の差別的な発言への対応は、「注意する（話し合う、一緒に考えるを含む）」が54.6%となり、前回調査（前回57.3%）と同様に5割を超えているものの、2.7ポイント減少している。

また、「何もしないで聞き流す（21.0%）」は、前回調査（前回20.1%）より0.9ポイント増加している。

注意の詳細は、「そんなことを言ってはいけないと注意する（29.7%）」が最も多く、3割程度となっている。

図表 14-1 身近な人の差別的な発言への対応



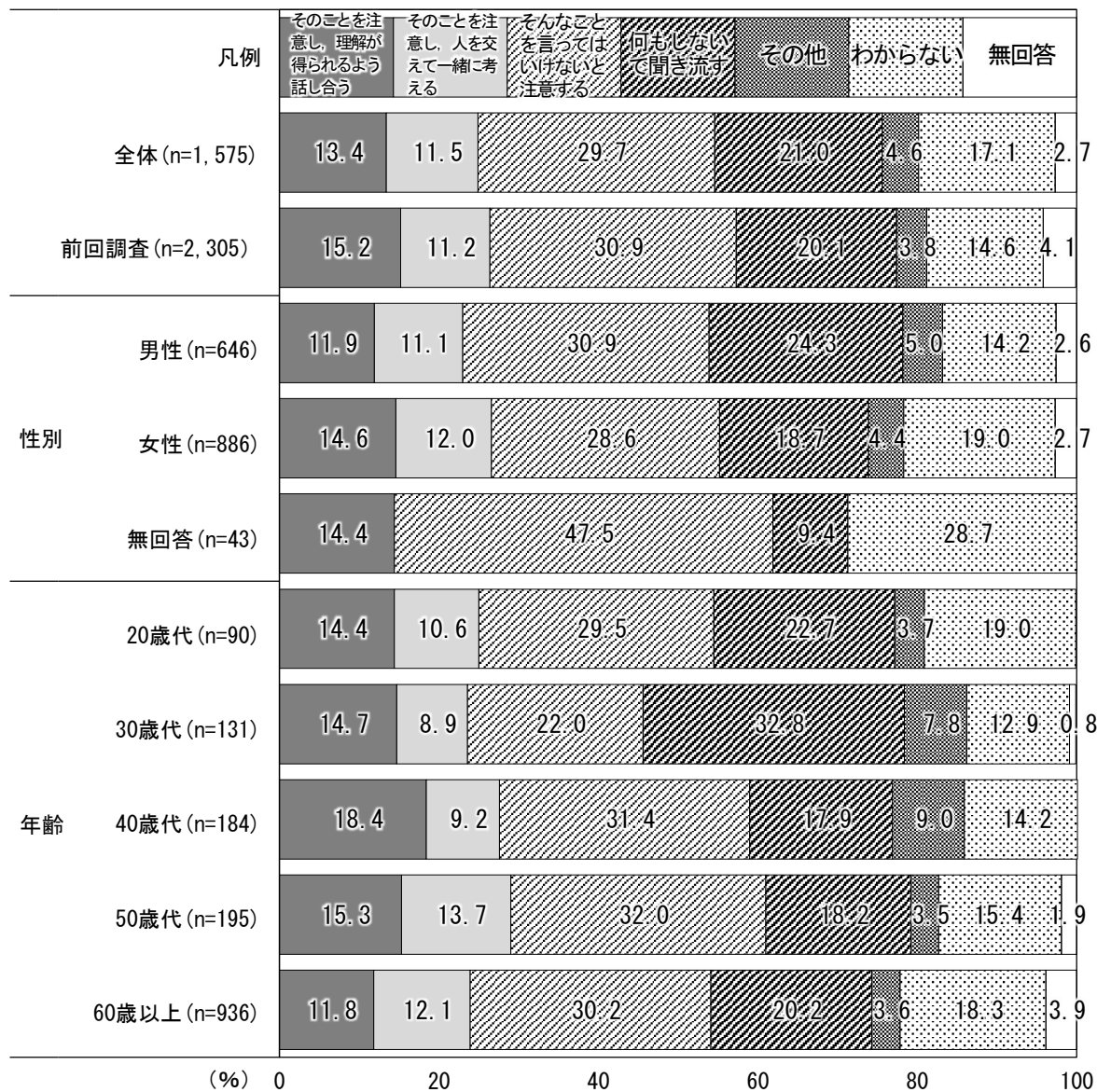
(n=1,575)

<性別・年齢層別>

年齢層別では、「注意する（話し合う，一緒に考えるを含む）」は，50歳代（61.0%），40歳代（59.0%）で多くなっている。

一方，「何もしないで聞き流す」は，30歳代（32.8%）が最も多くなっている。

図表 14-2 身近な人の差別的な発言への対応<性別・年齢層別>

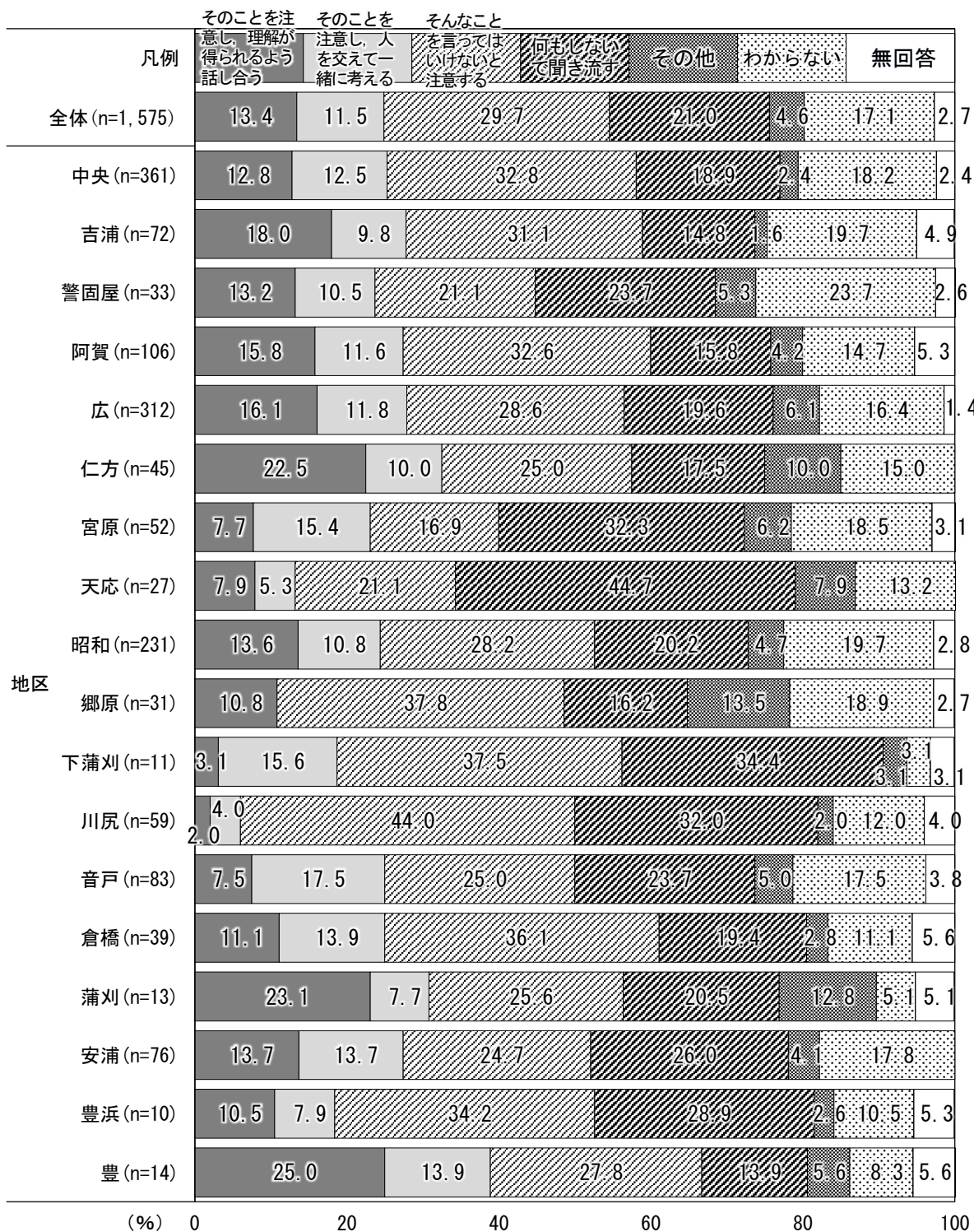


<地区別>

地区別では、「注意する（話し合う、一緒に考えるを含む）」は、豊地区（66.7%）が最も多く、倉橋地区（61.1%）、阿賀地区（60.0%）の順となっている。

一方、「何もしないで聞き流す」は、天応地区（44.7%）が最も多く、下蒲刈地区（34.4%）、宮原地区（32.3%）、川尻地区（32.0%）の順となっている。

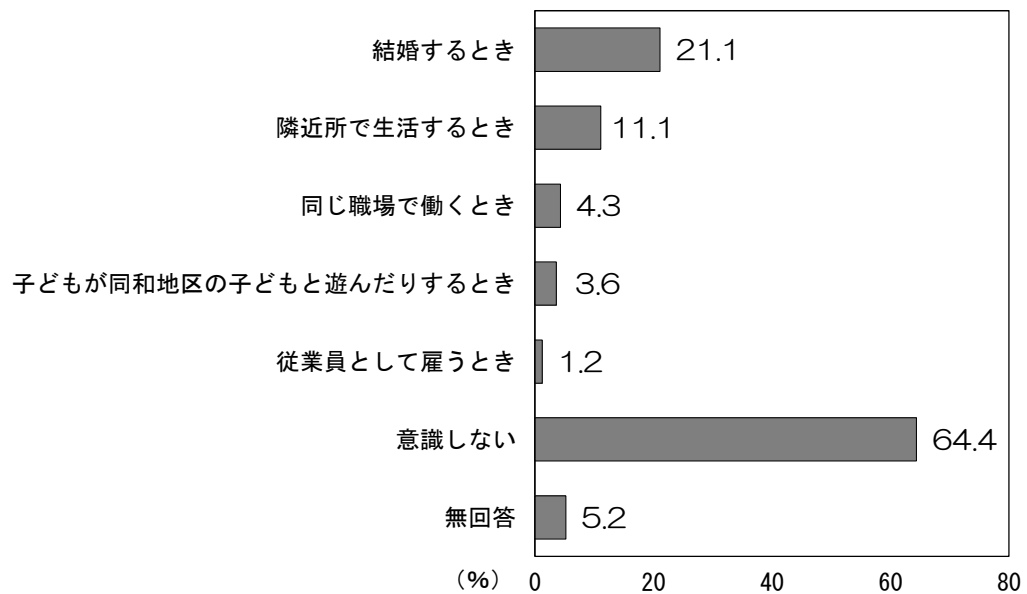
図表 14-3 身近な人の差別的な発言への対応<地区別>



問15 あなたは、次のような場面で、同和地区の人を意識することがありますか。
(〇はいくつでも)

同和地区の人を意識することについては、「意識しない(64.4%)」が最も多く、次いで「結婚するとき(21.1%)」、「隣近所で生活するとき(11.1%)」となっている。

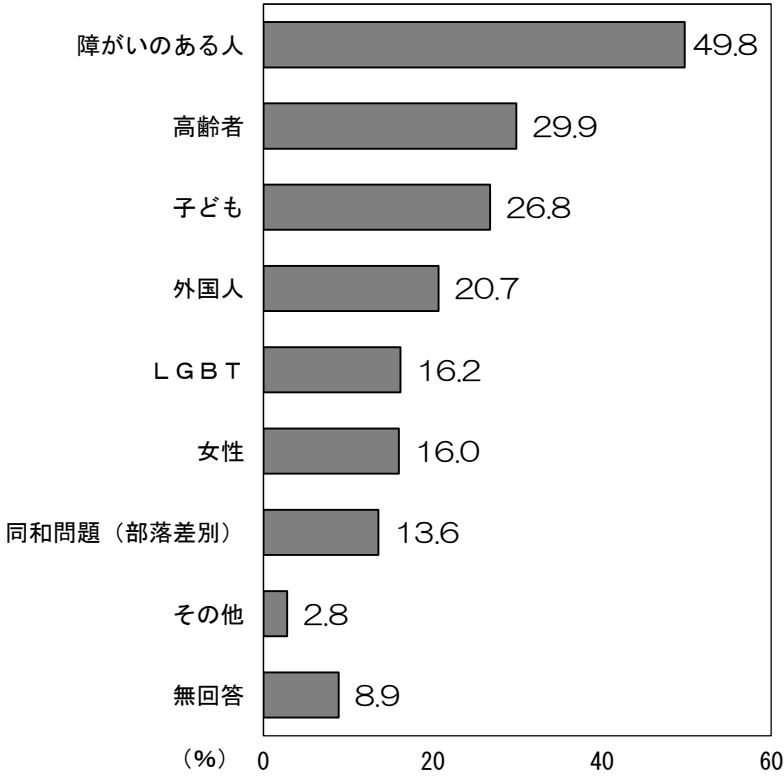
図表 15-1 同和地区の人への意識



問16 あなたは、次の人権課題の中で、特に取組が必要であると思うものは何ですか。
(〇はいくつでも)

人権課題の中で、特に取組が必要な方については、「障がいのある人 (49.8%)」が最も多く、次いで「高齢者 (29.9%)」, 「子ども (26.8%)」, 「外国人 (20.7%)」の順となっている。

図表 16-1 特に取組が必要であると思う人権課題



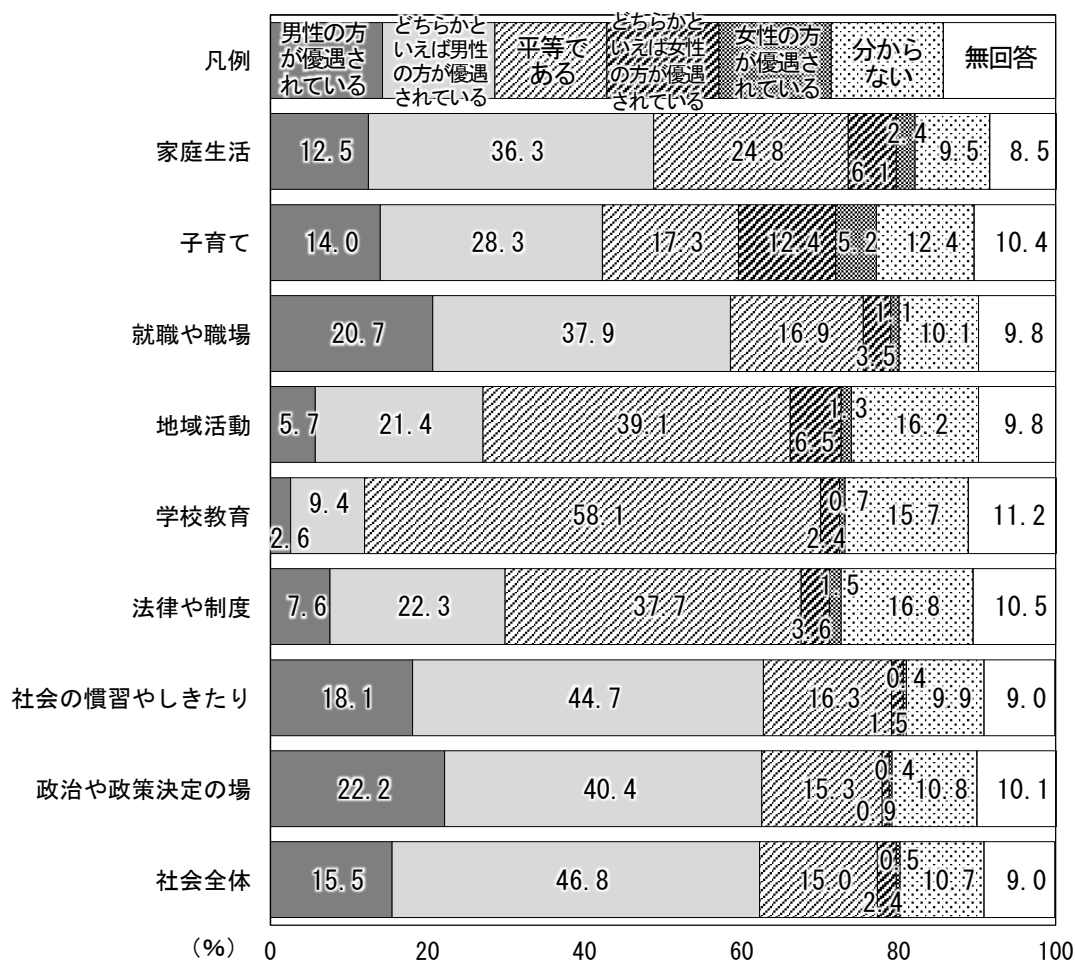
(4) 男女共同参画

◇男女の地位		男性優遇	平等	女性優遇
①家庭生活	⇒	48.8%	24.8%	8.5%
②子育て	⇒	42.3%	17.3%	17.6%
③就職や職場	⇒	58.6%	16.9%	4.6%
④地域活動	⇒	27.1%	39.1%	7.8%
⑤学校教育	⇒	12.0%	58.1%	3.1%
⑥法律や制度	⇒	29.9%	37.7%	5.1%
⑦社会の慣習やしきたり	⇒	62.8%	16.3%	1.9%
⑧政治や政策決定の場	⇒	62.6%	15.3%	1.3%
⑨社会全体	⇒	62.3%	15.0%	2.9%

問17 あなたは、次にあげる分野で、男女が平等になっていると感じますか。それぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

男女の地位について、「平等である」と感じている分野は、「学校教育（58.1%）」が最も多く、次いで「地域活動（39.1%）」、「法律や制度（37.7%）」の順となっている。なお、前回調査とほぼ同様な傾向となっている。

図表 17-1 男女の平等



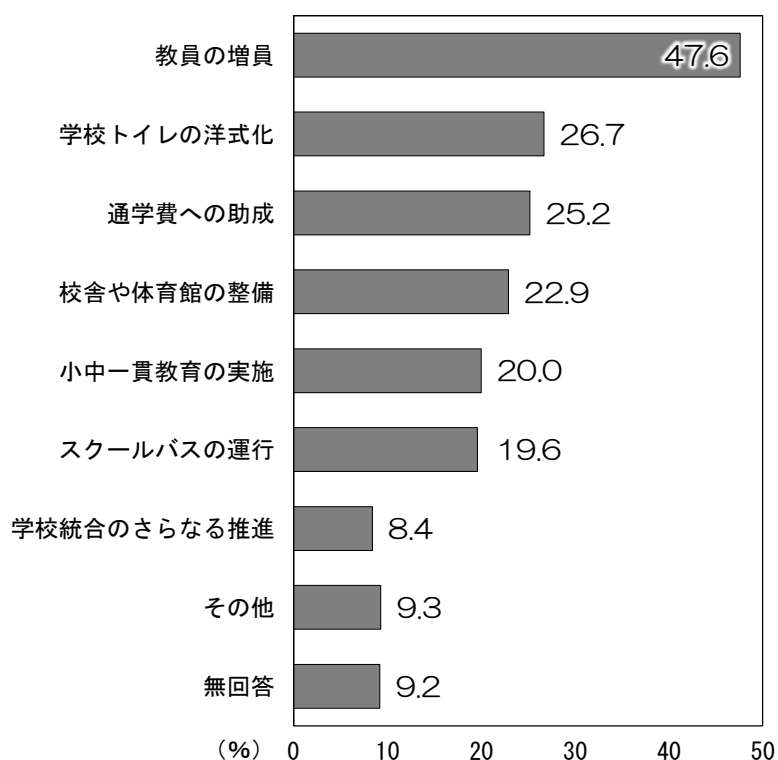
(5) 教育

◇教育環境の向上に向けて取り組むべきこと		
1位	教員の増員	47.6%
2位	学校トイレの洋式化	26.7%
◇豊かな心を育むために必要な取組		
1位	子どもが「本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）」できる機会を増やすこと	51.1%
2位	地域のよさ（自然，歴史，伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと	48.7%

問18 更なる教育環境の向上に向けて，今後，どのような取組を進めていけばよいと思いますか。（〇はいくつでも）

教育環境の向上に向けて必要な取組は，「教員の増員（47.6%）」が最も多く，次いで「学校トイレの洋式化（26.7%）」，「通学費への助成（25.2%）」の順となっている。

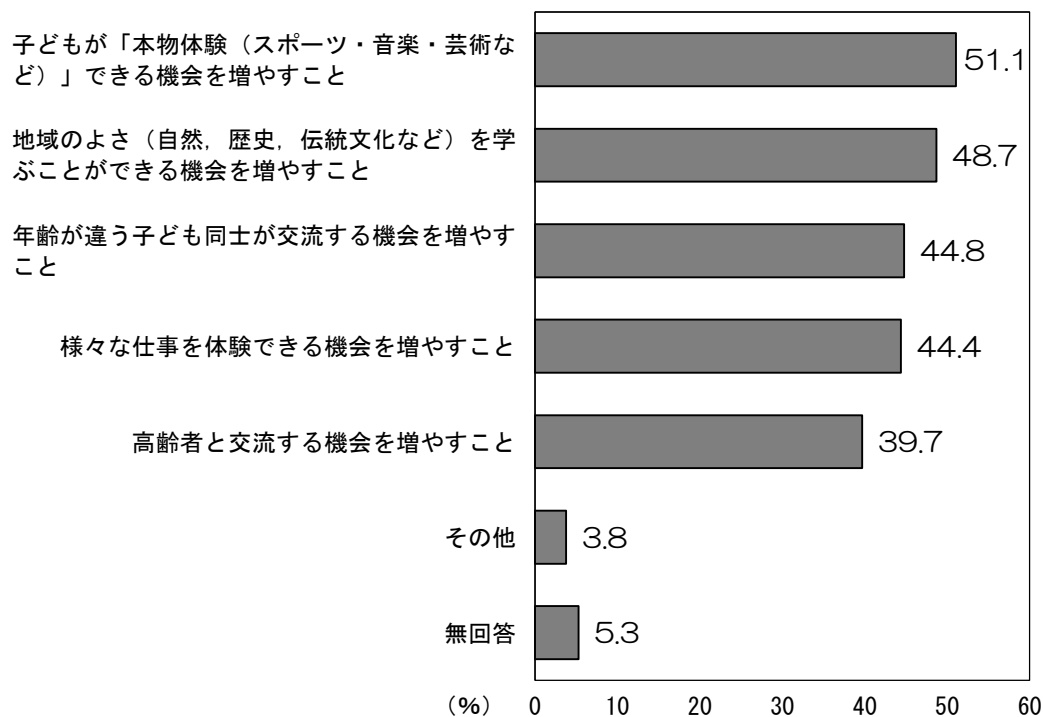
図表 18-1 教育環境の向上に向けて取り組むべきこと



問19 呉市では、子どもたちの豊かな人間性と自立心を育む「呉の教育」に取り組んでいます。子どもたちの豊かな心を育むために、今後、どのような取組が必要だと思いませんか。（〇はいくつでも）

子どもたちの豊かな心を育むために必要な取組は、「子どもが『本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）』できる機会を増やすこと（51.1%）」、「地域のよさ（自然、歴史、伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと（48.7%）」、「年齢が違う子ども同士が交流する機会を増やすこと（44.8%）」、「様々な仕事を体験できる機会を増やすこと（44.4%）」となっており、いずれも4割を超えている。

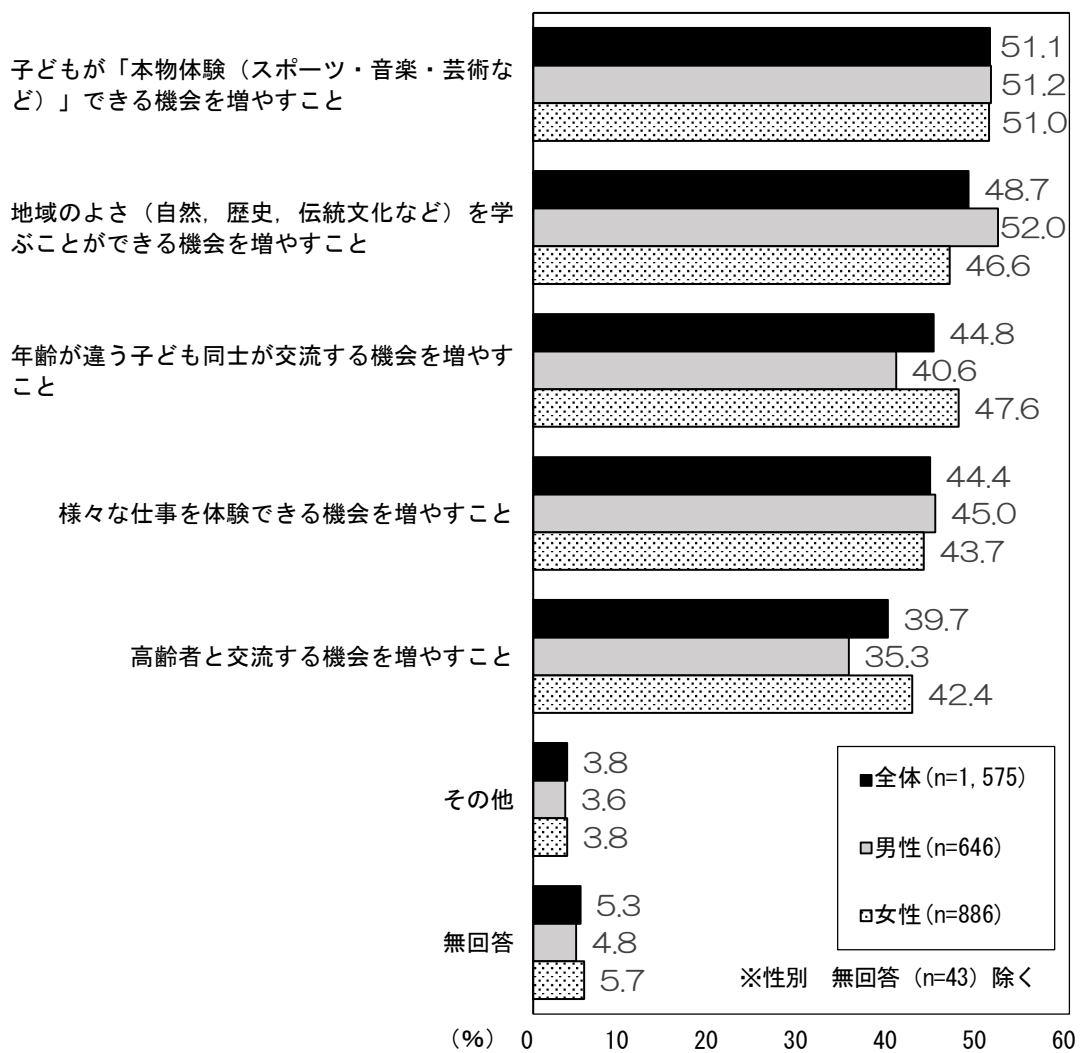
図表 19-1 豊かな心を育むために必要な取組



<性別>

性別で見ると、「地域のよさ（自然，歴史，伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと」では，男性52.0%，女性46.6%であり，男性が5.4ポイント多く，「年齢が違う子ども同士が交流する機会を増やすこと」では，男性 40.6%，女性 47.6%であり，女性が7.0ポイント多くなっている。

図表 19-2 豊かな心を育むために必要な取組<性別>



<年齢層別>

年齢層別でみると、「子どもが『本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）』できる機会を増やすこと」では、30歳代（65.5%）が特に多くなっている。また、「地域のよさ（自然、歴史、伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと」では60歳以上（51.7%）が最も多くなっている。

図表 19-3 豊かな心を育むために必要な取組<年齢層別>

(%)

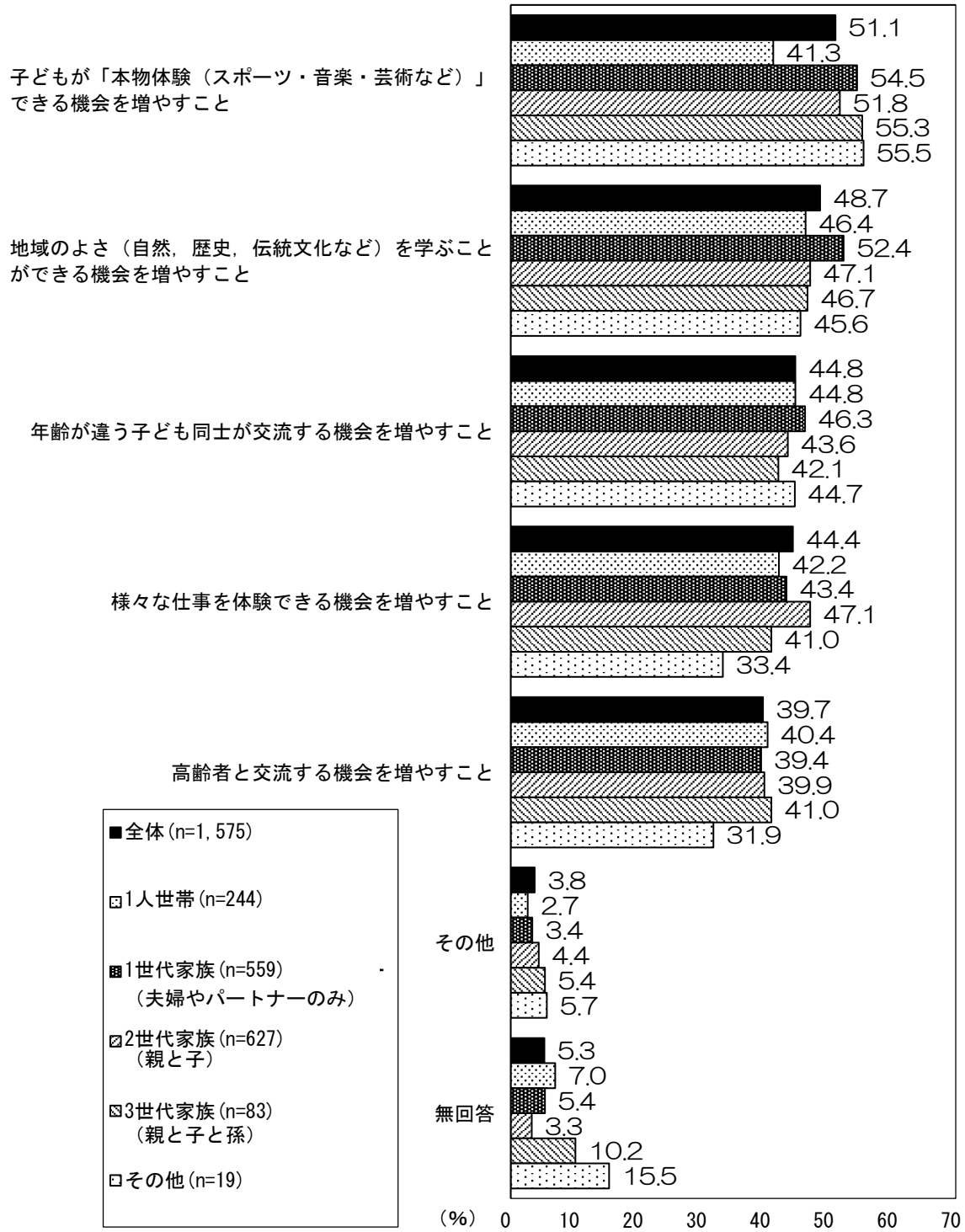
	子どもが「本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）」できる機会を増やすこと	地域のよさ（自然、歴史、伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと	年齢が違う子ども同士が交流する機会を増やすこと	様々な仕事を体験できる機会を増やすこと	高齢者と交流する機会を増やすこと	その他	無回答
20歳代 (n=90)	50.4	39.3	42.6	39.5	35.6	4.4	2.4
30歳代 (n=131)	65.5	49.1	46.9	57.9	36.0	4.9	0.0
40歳代 (n=188)	50.6	42.1	43.6	45.2	42.4	7.4	0.6
50歳代 (n=195)	55.7	44.6	41.4	48.9	44.5	7.3	2.6
60歳以上 (n=936)	48.5	51.7	45.6	42.2	39.0	2.2	7.8

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

<家族構成別>

家族構成別でみると、「子どもが『本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）』できる機会を増やすこと」は3世代家族（55.3%）, 「地域のよさ（自然, 歴史, 伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと」は1世代家族（52.4%）でやや多くなっている。

図表 19-4 豊かな心を育むために必要な取組<家族構成別>



(6) 市民協働

◇お住まいの地域で地域活動に参加している人	⇒ 37.7%
◇今後、参加してみたい地域活動	
1位 ボランティア活動 ⇒ 22.8%	2位 自治会 ⇒ 11.0%
◇地域活動の維持や地域の課題解決に向けて必要だと思う取組	
1位 地域活動に参加していない人が参加しやすい環境づくり	56.5%
2位 将来の担い手の確保（子どもや学生、外国人など）	30.4%

問20 あなたは現在、活動の場所を問わず、何らかの地域活動に参加していますか。
(○は1つ)

地域活動の参加の有無については、「参加している(37.7%)」が4割弱を占めている。

なお、前回調査(前回38.6%)と比較して、同様の傾向である。

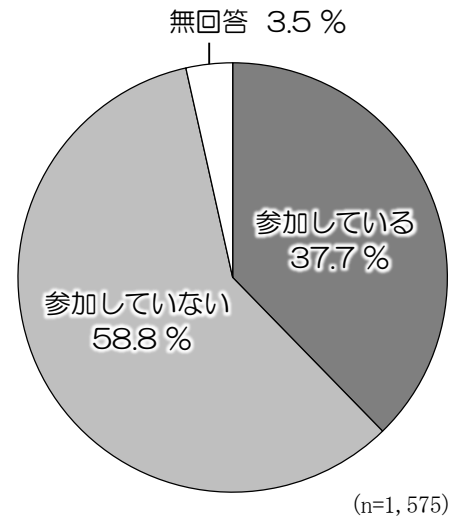
<性別・年齢層別>

性別では、「参加している」と答えた男性が39.4%、女性が36.8%で、男性が2.6ポイント高い。

年齢層別では、「参加している」は、20歳代(19.4%)が比較的低いが、年齢層が高くなるほど参加率が上昇し、60歳以上では40.4%となっている。

前回調査と比較して、20歳代の参加率(前回15.0%)が4.4ポイント増加している。

図表 20-1 地域の活動への参加の有無



図表 20-2 地域活動への参加の有無<性別・年齢層別>

凡例	参加している	参加していない	無回答
全体 (n=1,575)	37.7	58.8	3.5
前回調査 (n=2,305)	38.6	57.0	4.4
性別			
男性 (n=646)	39.4	58.2	2.4
女性 (n=886)	36.8	58.8	4.4
無回答 (n=43)	3.3	96.7	
年齢			
20歳代 (n=90)	19.4	80.6	
30歳代 (n=131)	30.9	69.1	
40歳代 (n=184)	37.5	60.8	1.8
50歳代 (n=195)	38.6	59.3	2.1
60歳以上 (n=936)	40.4	54.6	5.0

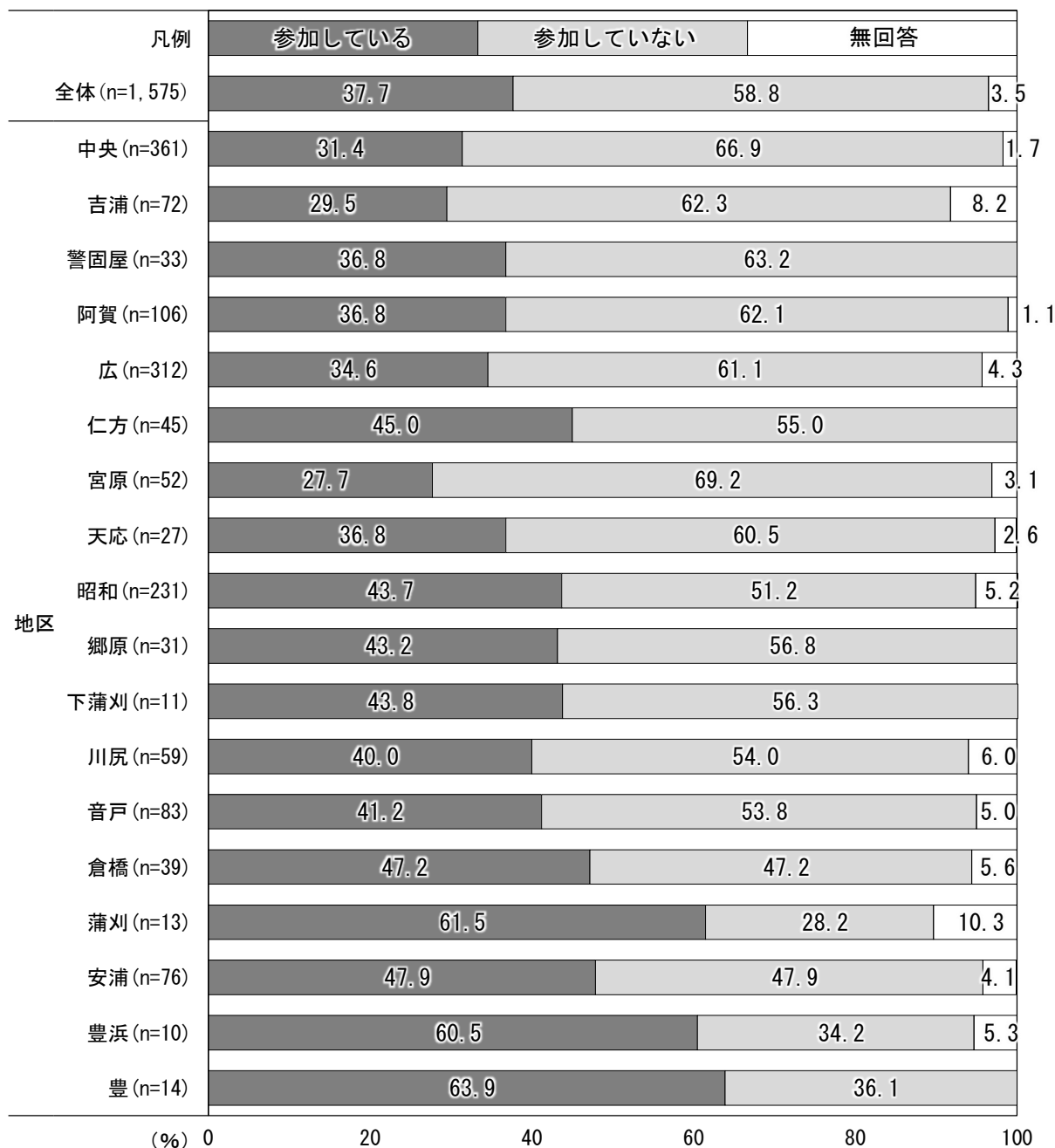
(%) 0 20 40 60 80 100

<地区別>

地区別では、「参加している」は、豊地区（63.9%）が最も多く、蒲刈地区（61.5%）、豊浜地区（60.5%）で6割を超えている。

一方、「参加していない」は、宮原地区（69.2%）、中央地区（66.9%）、警固屋地区（63.2%）、吉浦地区（62.3%）の順で多くなっている。

図表 20-3 地域活動への参加の有無<地区別>

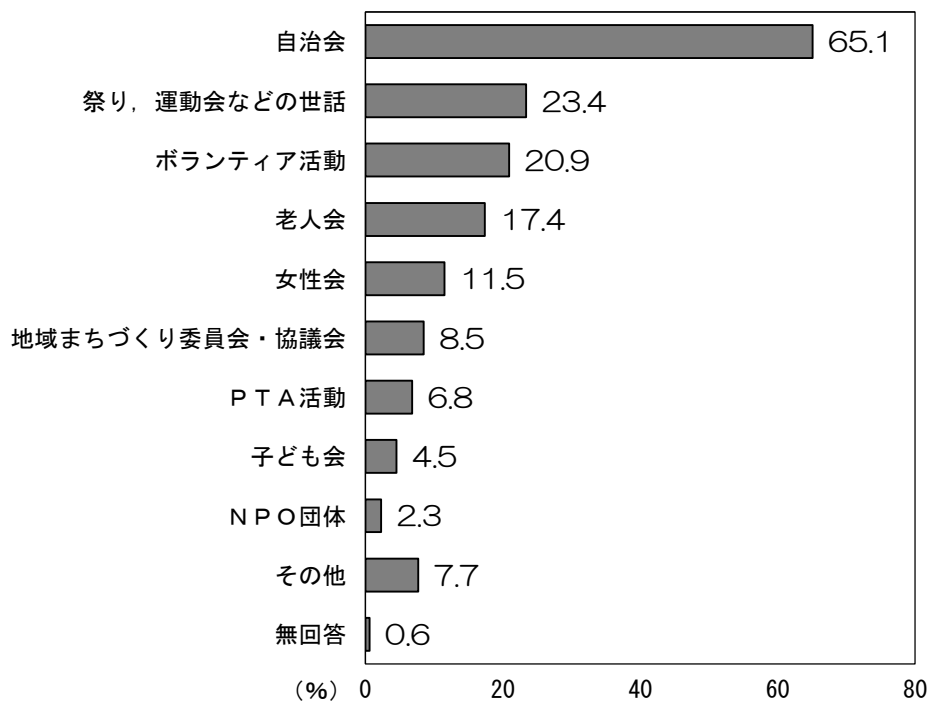


問20-1 上記問20で「参加している」に回答した方のみ
 どのような地域活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

参加している地域活動は、「自治会 (65.1%)」が最も多く、次いで「祭り，運動会などの世話 (23.4%)」，「ボランティア活動 (20.9%)」の順となっている。

なお，前回調査と比較すると，「ボランティア活動 (前回 18.3%)」が2.6ポイント増加し，4位から3位に上昇している。

図表 20-4 参加している地域活動

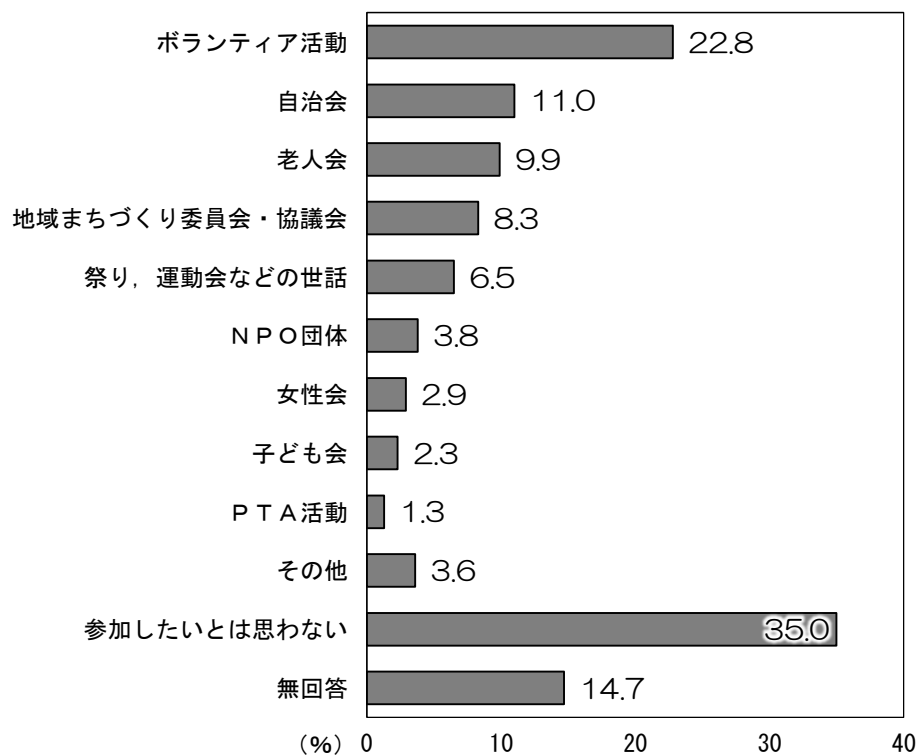


問21 今後、どのような地域活動に参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、参加してみたい地域活動は、「ボランティア活動(22.8%)」が最も多く、次いで「自治会(11.0%)」、「老人会(9.9%)」の順となっている。

一方、「参加したいとは思わない」は、35.0%となっており、前回調査(前回43.8%)より8.8ポイント減少している。

図表 21-1 今後、参加してみたい地域活動

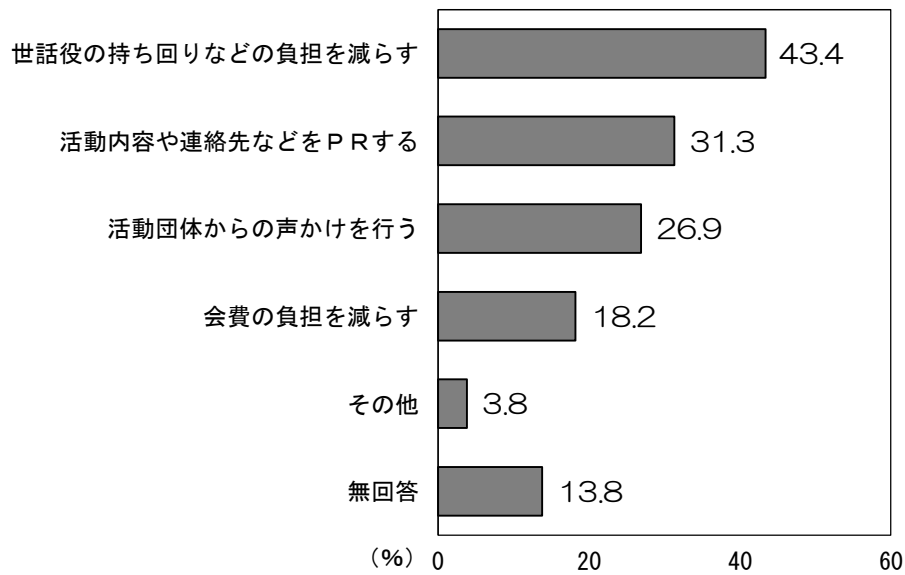


問22 どうすれば、地域活動に参加しやすくなると思いますか。(〇はいくつでも)

地域活動に参加しやすくなる取組は、「世話役の持ち回りなどの負担を減らす(43.4%)」が最も多く、次いで「活動内容や連絡先などをPRする(31.3%)」、「活動団体からの声かけを行う(26.9%)」の順となっている。

なお、前回調査と比較すると、前回も第一位となった「世話役の持ち回りなどの負担を減らす(前回35.5%)」が7.9ポイント増加している。

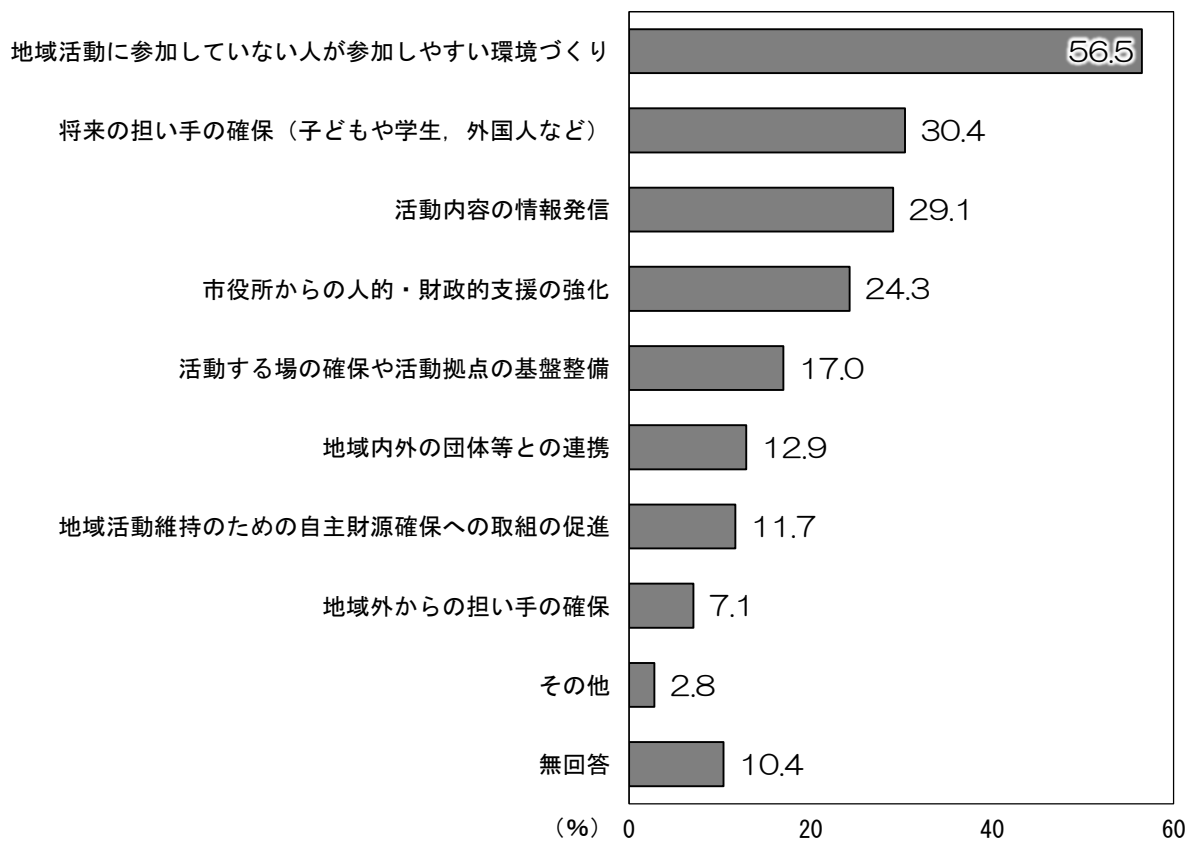
図表 22-1 地域活動に参加しやすくなると思うこと



問23 人口減少や高齢化の影響により、自治会をはじめとするコミュニティの維持が難しくなっている地域がある中で、今後の呉市において、地域活動の維持や地域の課題解決に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

今後、必要な取組については、「地域活動に参加していない人が参加しやすい環境づくり（56.5%）」が最も多く、次いで、「将来の担い手の確保（子どもや学生、外国人など）（30.4%）」、「活動内容の情報発信（29.1%）」、「市役所からの人的・財政的支援の強化（24.3%）」の順となっている。

図表 23-1 地域活動の維持や地域の課題解決に向けて必要だと思う取組



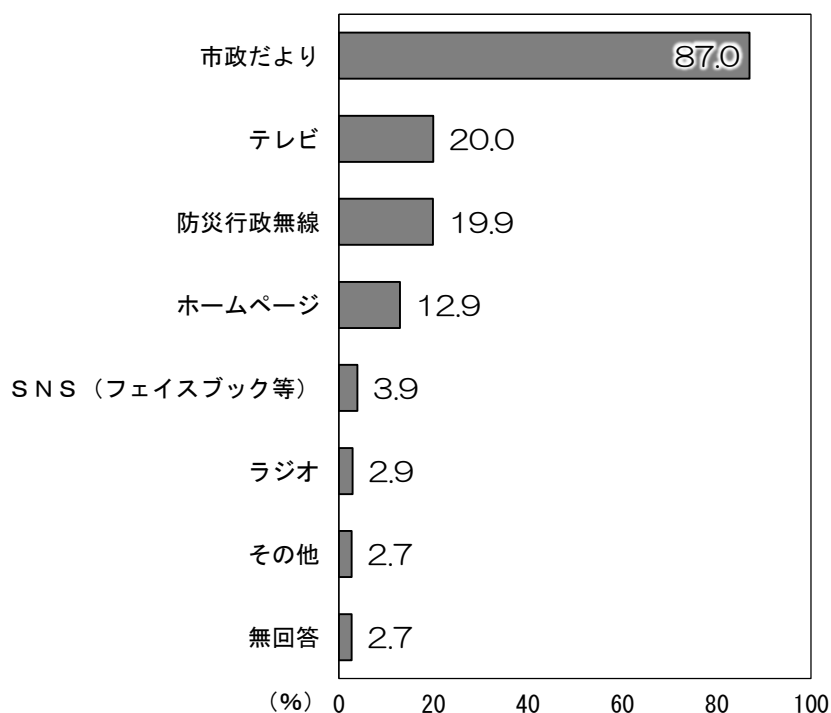
(7) 安全・安心

◇市役所からの発信情報の確認手段					
1位	市政だより	⇒ 87.0%	2位	テレビ	⇒ 20.0%
◇台風や大雨のときの避難情報を確認するようにしている人				⇒ 87.5%	
◇自宅の近くの呉市が指定する避難所を知っている人				⇒ 88.0%	
◇災害に対する不安			不安	不安はない	
①	河川の氾らん，低地部の浸水	⇒	51.8%	36.8%	
②	山崩れ，崖崩れ	⇒	60.5%	30.6%	
③	高潮・津波，沿岸部の浸水	⇒	35.2%	50.4%	
④	地震	⇒	79.5%	10.6%	
⑤	建物火災	⇒	59.4%	26.9%	
⑥	林野火災	⇒	35.3%	49.7%	
◇行っている防災対策					
1位	食料や懐中電灯など，非常時に持ち出すものを準備している		40.7%		
2位	学校や公園など，避難する場所を決めている		30.9%		

問 24 あなたは，市役所が発信している情報を，どのような方法で確認していますか。
(〇はいくつでも)

市役所からの発信情報の確認手段は，「市政だより（87.0%）」が大部分を占めている。次いで，「テレビ（20.0%）」，「防災行政無線（19.9%）」の順となっているが，これらは2割程度となっている。また，「ホームページ」は12.9%にとどまっている。

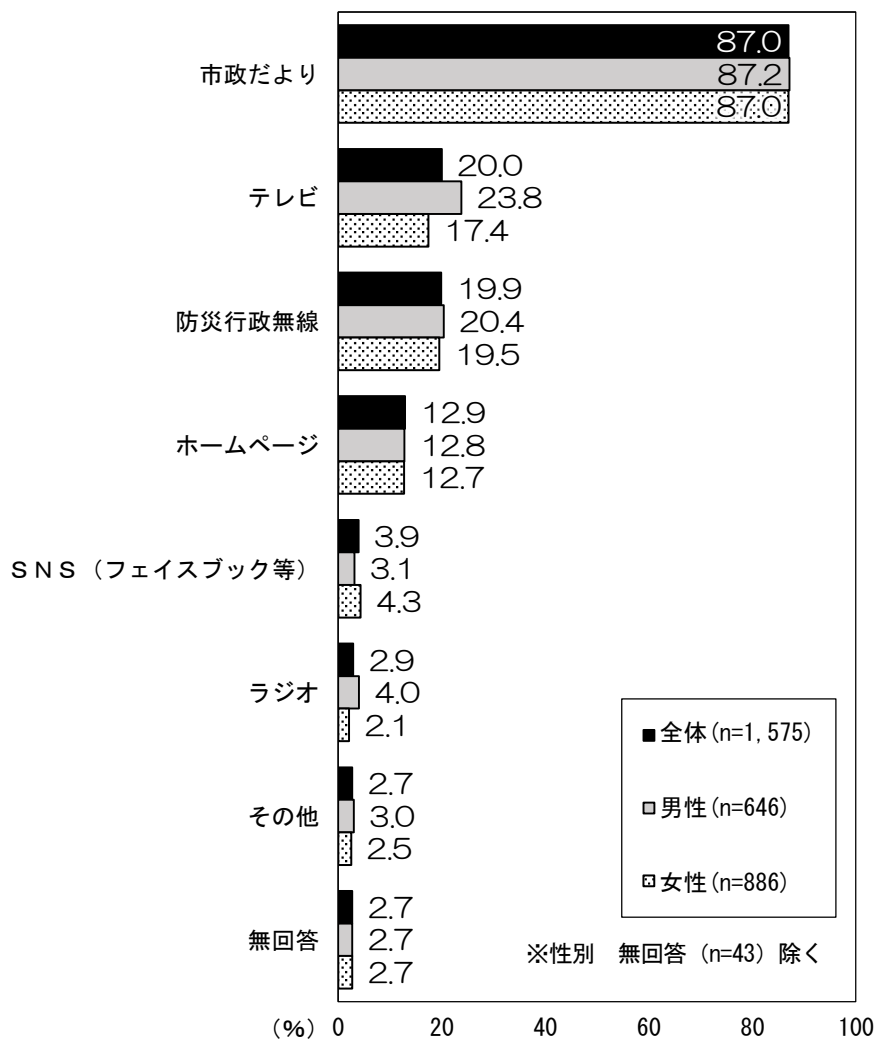
図表 24-1 市役所からの発信情報の確認手段



<性別>

性別で見ると、全体的には特に大きな差はないが、「テレビ」が男性 23.8%、女性 17.4%であり、男性が 6.4 ポイント高い。

図表 24-2 市役所からの発信情報の確認手段<性別>



<年齢層別>

年齢層別で見ると、「市政だより」は、20歳代が52.8%、30歳代が76.9%、40歳代が86.9%、50歳代が88.5%、60歳以上が91.4%と、全年齢層で一番多くなっている。

なお、20歳代は、「テレビ」、「ホームページ」、「SNS」が年齢層別の1位となっている。一方、「防災行政無線」は最下位となっている。

図表 24-3 市役所からの発信情報の確認手段<年齢層別>

(%)

	市政 だより	テレビ	防災行政 無線	ホーム ページ	SNS (フェイ スブック 等)	ラジオ	その他	無回答
20歳代 (n=90)	52.8	30.4	6.5	28.9	16.0	0.0	2.4	2.4
30歳代 (n=131)	76.9	16.9	12.0	23.6	10.0	1.7	3.0	3.5
40歳代 (n=184)	86.9	19.3	17.3	23.2	3.7	2.5	1.8	1.2
50歳代 (n=195)	88.5	17.0	17.7	23.2	5.3	1.7	2.0	2.3
60歳以上 (n=936)	91.4	20.3	23.3	5.7	1.6	3.7	2.9	3.1

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問 25 台風や大雨のとき、避難情報を確認するようにしていますか。(〇は1つ)

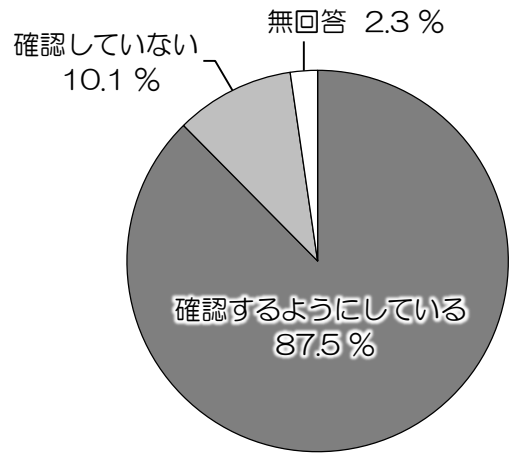
避難情報の確認は、「確認するようにしている(87.5%)」がほとんどを占める。

一方、「確認していない」は、10.1%となっている。

<性別・年齢層別>

年齢層別では、20歳代で「確認していない」が20.8%と多くなっている。

図表 25-1 避難情報の確認



(n=1,575)

図表 25-2 避難情報の確認<性別・年齢層別>

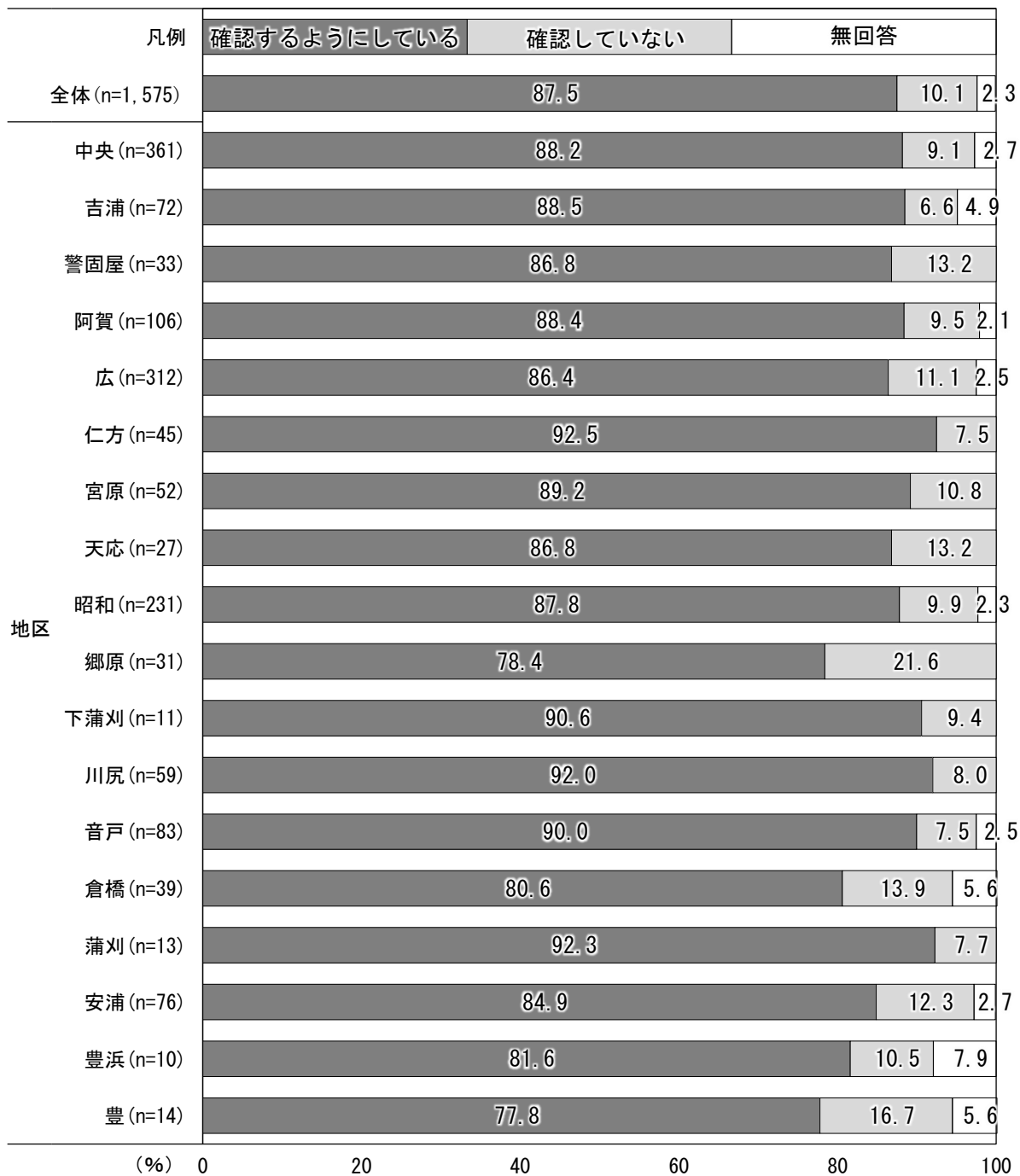
凡例	確認するようにしている	確認していない	無回答
全体 (n=1,575)	87.5	10.1	2.3
性別			
男性 (n=646)	86.1	12.3	1.6
女性 (n=886)	88.5	8.6	2.9
無回答 (n=43)	100.0		
年齢			
20歳代 (n=90)	77.9	20.8	1.3
30歳代 (n=131)	90.4	8.7	0.9
40歳代 (n=184)	91.4	8.0	0.6
50歳代 (n=195)	91.9	7.5	0.5
60歳以上 (n=936)	86.4	10.2	3.2

(%) 0 20 40 60 80 100

<地区別>

地区別では、いずれの地区でも「確認するようにしている」が7割以上となっている。一方、「確認していない」は、郷原地区（21.6%）、豊地区（16.7%）、倉橋地区（13.9%）でやや多くなっている。

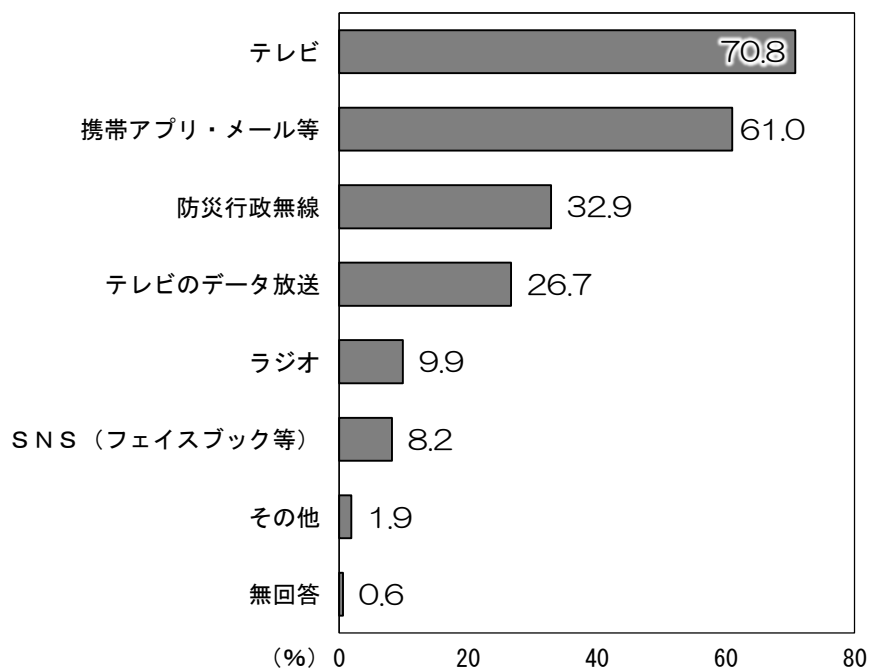
図表 25-3 避難情報の確認<地区別>



問25-1 上記問25で「確認するようにしている」に回答した方のみ
どのような方法で避難情報を確認していますか。(〇はいくつでも)

避難情報の確認方法は、「テレビ(70.8%)」が最も多く、次いで「携帯アプリ・メール等(61.0%)」、「防災行政無線(32.9%)」、「テレビのデータ放送(26.7%)」の順となっている。

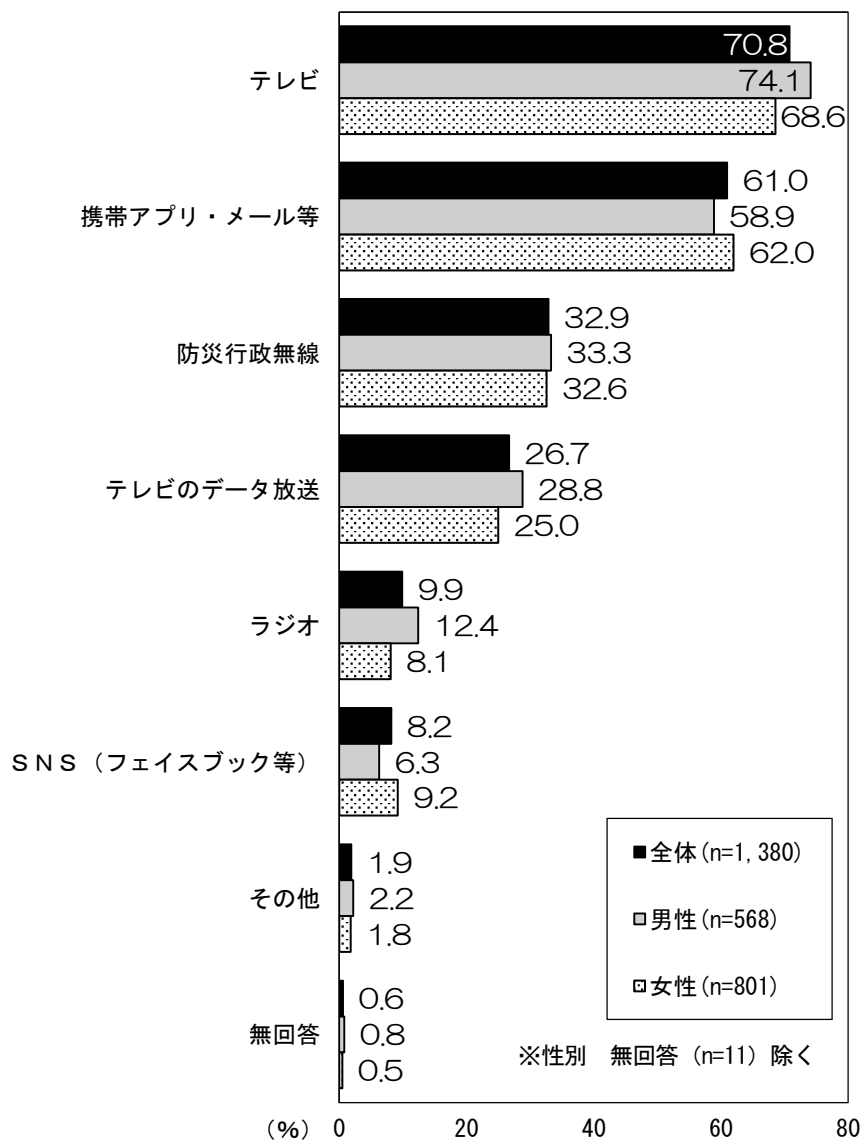
図表 25-4 避難情報の確認方法



<性別>

性別で見ると、「テレビ」は男性 74.1%、女性 68.6%で男性が 5.5 ポイント多く、「テレビのデータ放送」は男性 28.8%、女性 25.0%で男性が 3.8 ポイント多くなっている。また、「携帯アプリ・メール等」は男性 58.9%、女性 62.0%で女性が 3.1 ポイント多く、「SNS（フェイスブック等）」は男性 6.3%、女性 9.2%で女性が 2.9 ポイント多くなっており、男性のほうがテレビで避難情報を確認することが多く、女性のほうが携帯アプリ・メールやSNSなどで避難情報を確認することが多い。

図表 25-5 避難情報の確認方法<性別>



<年齢層別>

年齢層別でみると、「テレビ」は20歳代（60.1%）が最も少なく、60歳以上（73.5%）が最も多くなっており、「SNS（フェイスブック等）」は20歳代（38.1%）が最も多く、60歳以上（1.7%）が最も少なくなっている。

図表 25-6 避難情報の確認方法<年齢層別>

	テレビ	携帯アプリ・メール等	防災行政無線	テレビのデータ放送	ラジオ	SNS（フェイスブック等）	その他	無回答
20歳代 (n=72)	60.1	73.8	19.5	26.0	4.5	38.1	3.1	0.0
30歳代 (n=120)	68.9	79.8	29.3	23.7	6.4	25.9	2.8	0.9
40歳代 (n=172)	65.0	85.1	20.9	31.9	9.2	13.9	0.5	0.7
50歳代 (n=182)	69.5	81.9	27.9	28.2	8.7	8.5	2.4	0.2
60歳以上 (n=827)	73.5	47.5	37.8	25.8	11.4	1.7	1.9	0.7

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問26 自宅の近くの呉市が指定する避難所（学校，まちづくりセンターなど）を知っていますか。（○は1つ）

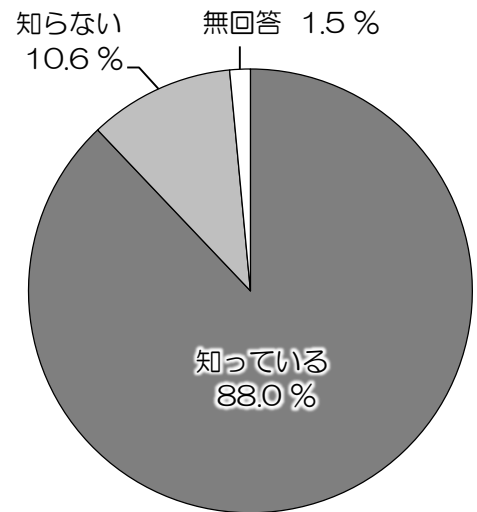
避難所の理解状況は、「知っている（88.0%）」が9割程度を占めている。

一方、「知らない」は10.6%となっている。

＜性別・年齢層別＞

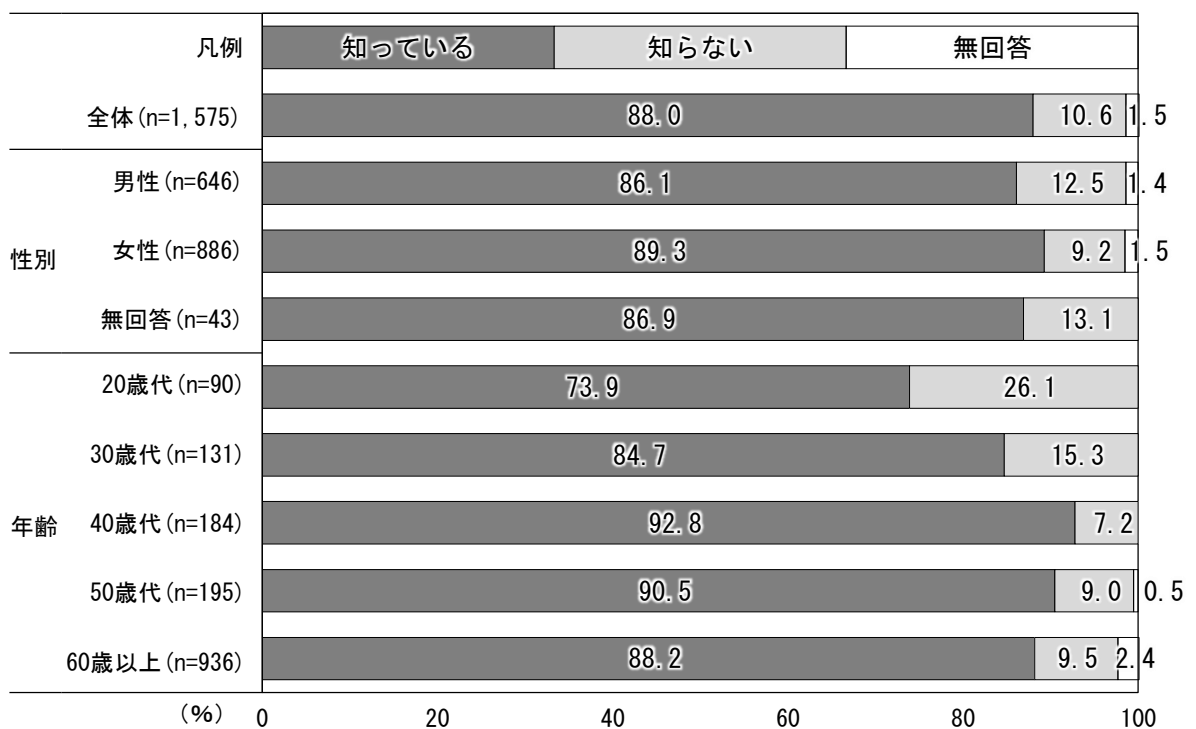
性別・年齢層別では、「知っている」が大部分を占めるものの、「知らない」は20歳代（26.1%）で、4人に1人となっている。

図表 26-1 避難所の把握



(n=1,575)

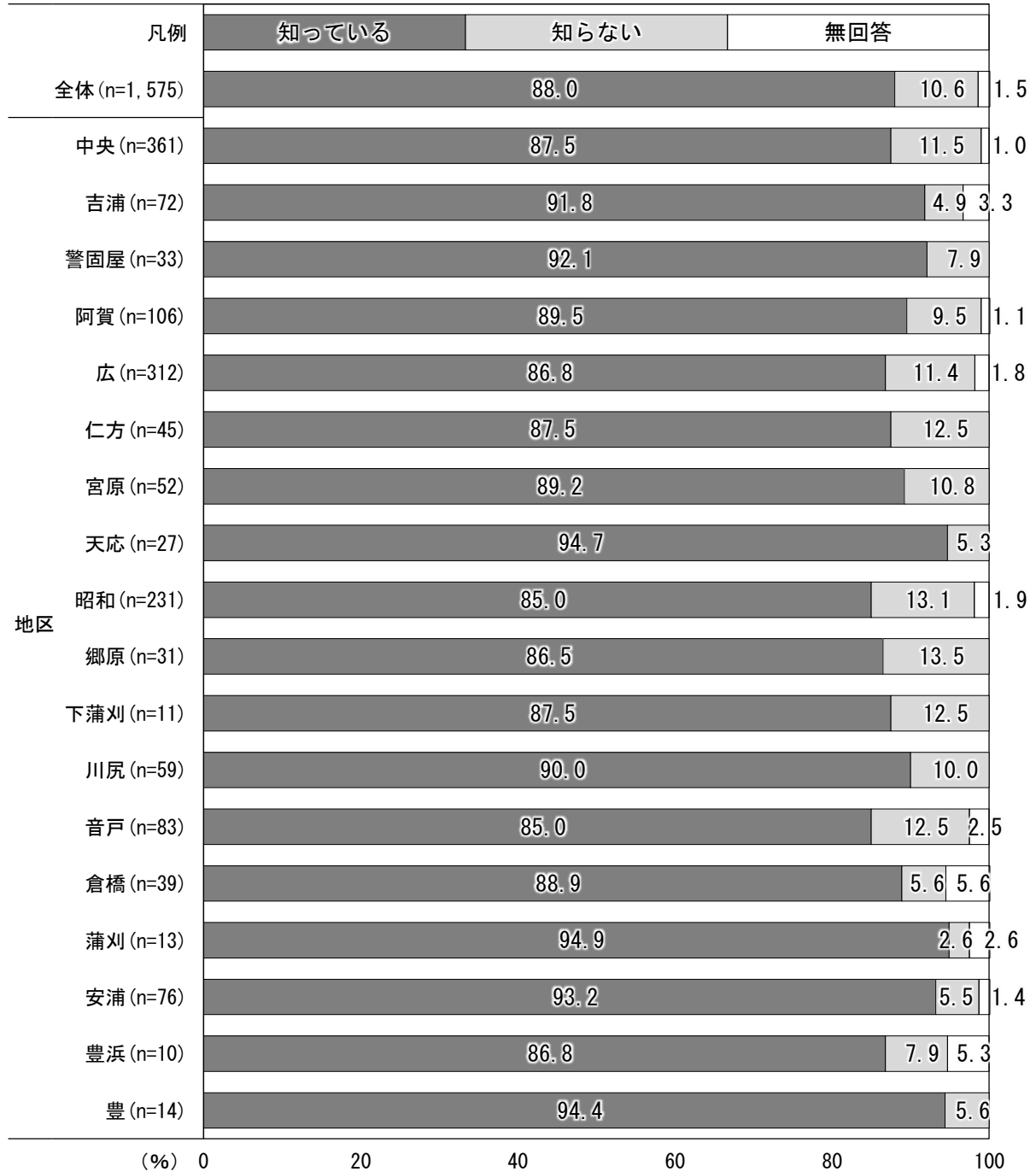
図表 26-2 避難所の把握＜性別・年齢層別＞



<地区別>

地区別では、「知っている」が大部分を占めるものの、「知らない」は郷原地区（13.5%）で最も多く、次いで昭和地区（13.1%）、仁方地区（12.5%）、下蒲刈地区（12.5%）、音戸地区（12.5%）の順となっている。

図表 26-3 避難所の把握<地区別>



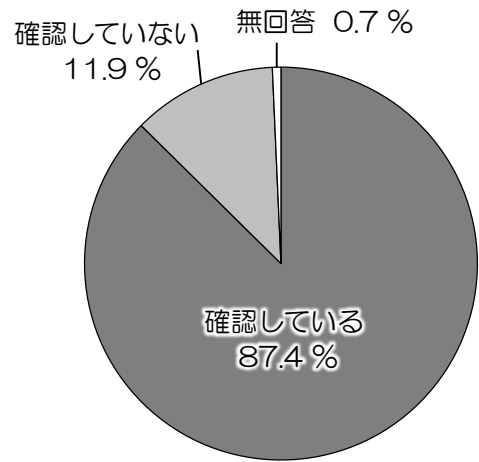
問26-1 上記問26で「知っている」に回答した方のみ

自宅から避難所までの避難経路を確認していますか。(〇は1つ)

避難経路の確認状況は、「確認している(87.4%)」が9割程度を占めている。

一方、「確認していない」は11.9%となっている。

図表 26-4 避難経路の確認

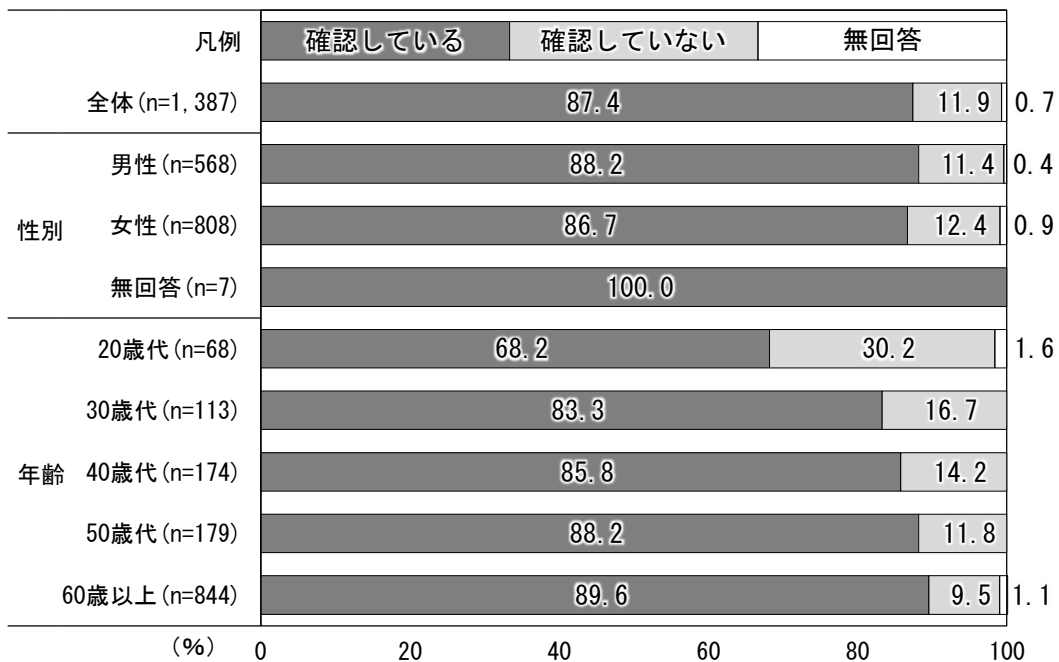


(n=1,387)

<性別・年齢層別>

性別・年齢層別では、「確認している」が大部分を占めるものの、「確認していない」が20歳代(30.2%)で多くなっている。

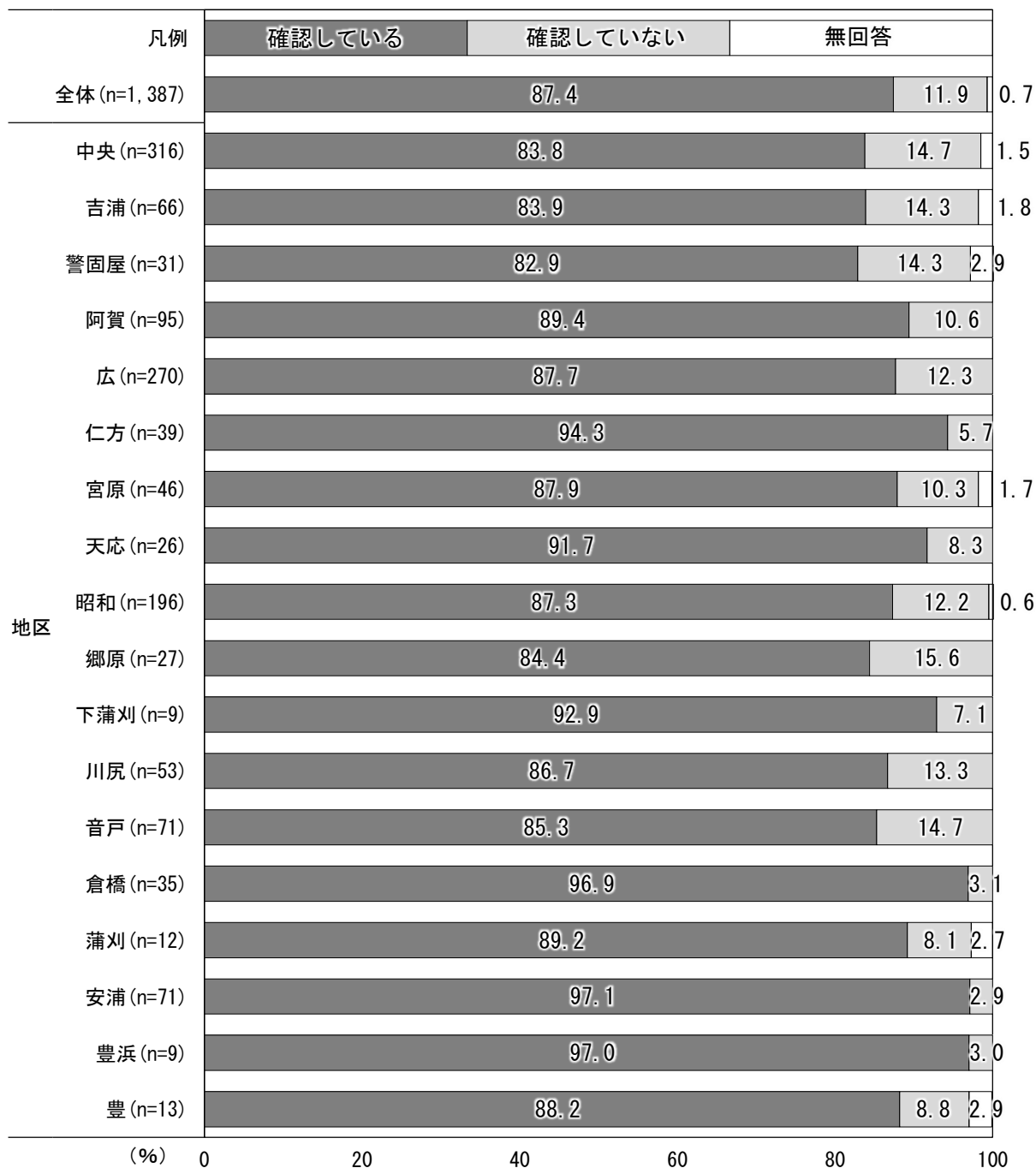
図表 26-5 避難経路の確認<性別・年齢層別>



<地区別>

地区別では、「確認している」が大部分を占めるものの、「確認していない」が郷原地区（15.6%）が最も多く、次いで中央地区（14.7%）、音戸地区（14.7%）、吉浦地区（14.3%）、警固屋地区（14.3%）の順となっている。

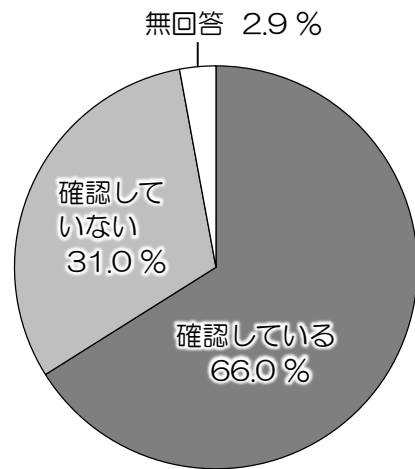
図表 26-6 避難経路の確認<地区別>



問27 自分の自宅や職場，学校が災害に対して安全かどうか確認していますか。
(〇は1つ)

災害に対する安全の確認についてみると、「確認している（66.0%）」が2/3を占めるものの、「確認していない」が31.0%となっている。

図表 27-1 安全性の確認

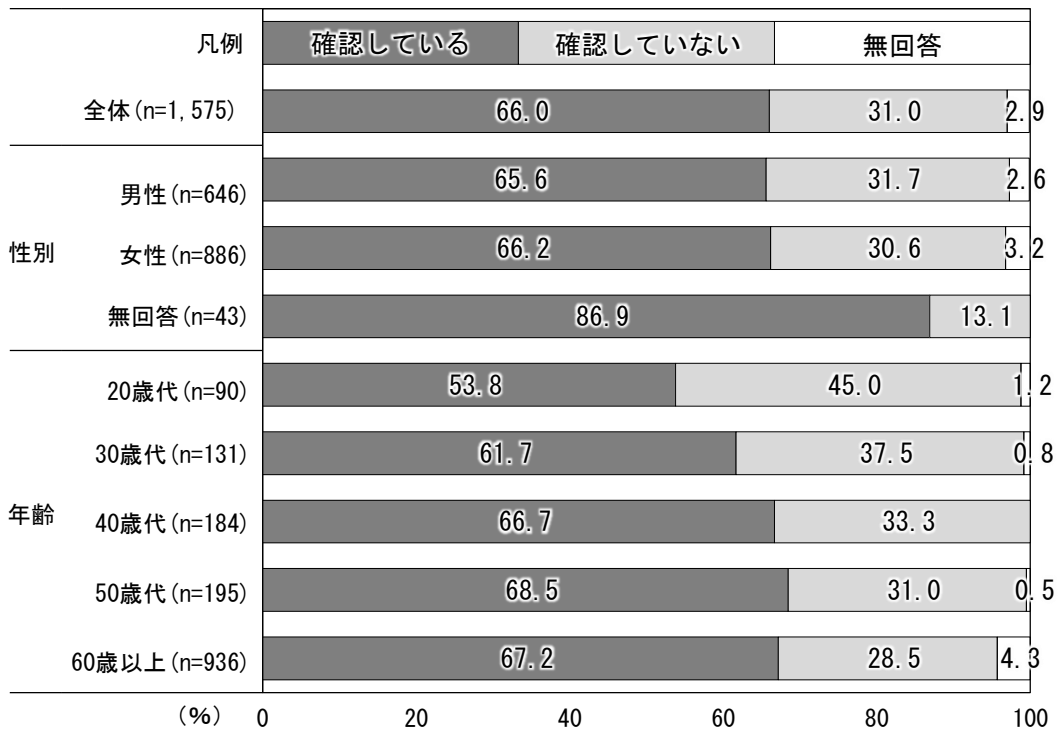


(n=1,575)

＜性別・年齢層別＞

性別・年齢層別にみると、「確認している」が多いものの、「確認していない」が20歳代（45.0%），30歳代（37.5%）でやや多くなっている。

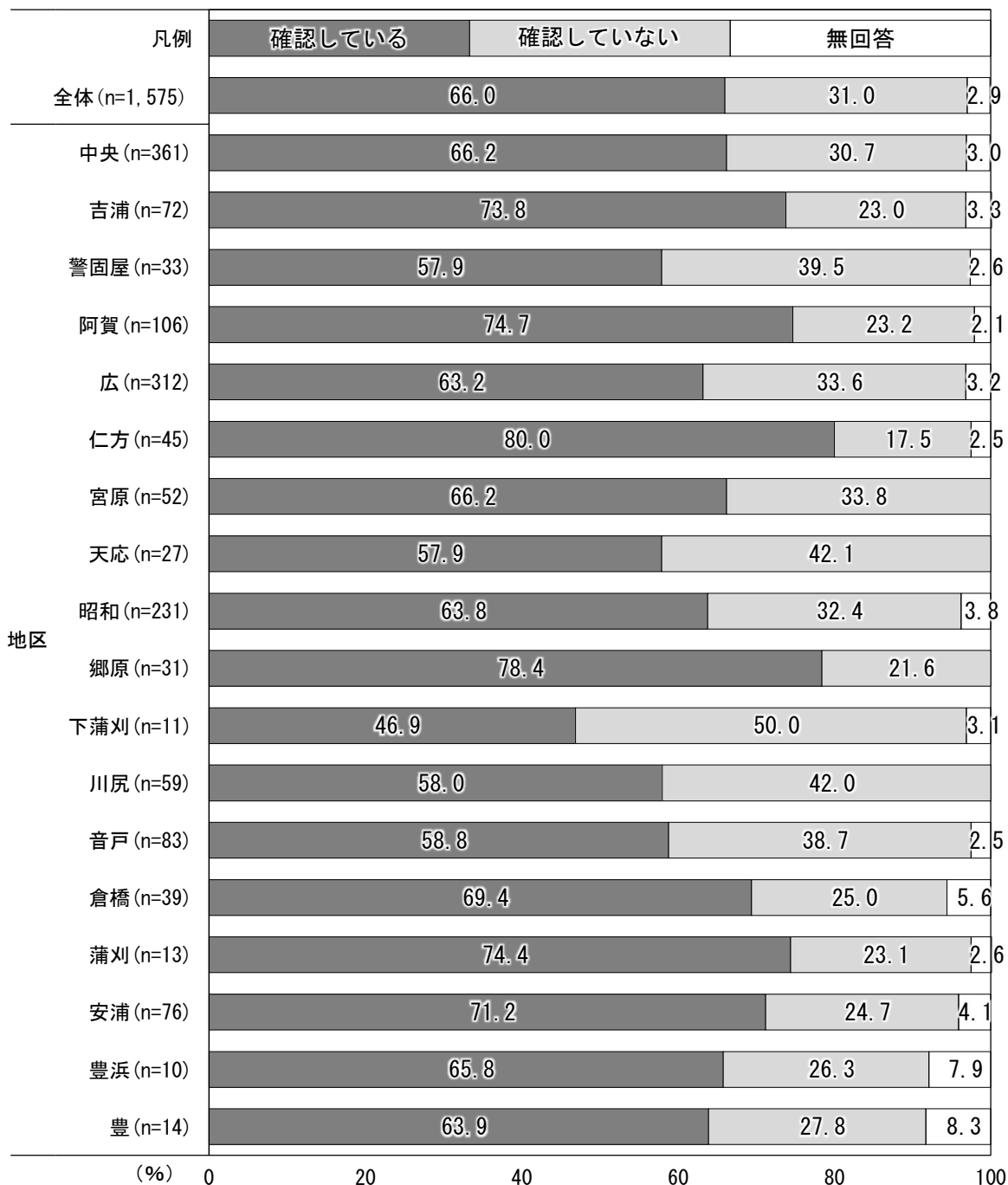
図表 27-2 安全性の確認＜性別・年齢層別＞



<地区別>

地区別では、「確認している」が多くなっているものの、「確認していない」が下蒲刈地区（50.0%）、天応地区（42.1%）、川尻地区（42.0%）、警固屋地区（39.5%）、音戸地区（38.7%）では、4～5割程度と多くなっている。

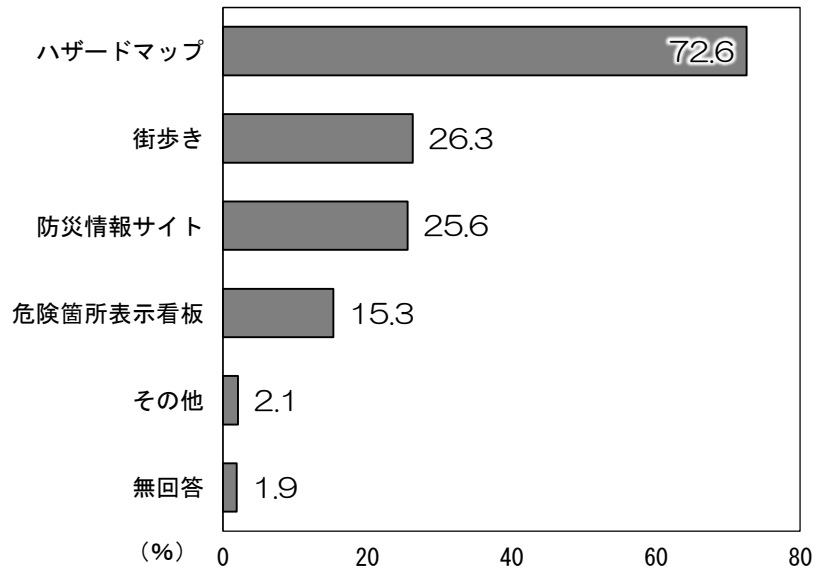
図表 27-3 安全性の確認<地区別>



問27-1 上記問27で「確認している」に回答した方のみ
 どのような方法で安全を確認していますか。(〇はいくつでも)

安全確認の方法は、「ハザードマップ (72.6%)」が最も多く、次いで「街歩き (26.3%)」, 「防災情報サイト (25.6%)」の順となっている。

図表 27-4 安全性の確認方法



<年齢層別>

年齢層別でみると、「ハザードマップ」は全年齢層で1位となっており、50歳代 (86.8%)、40歳代 (85.6%)、30歳代 (81.6%) は8割を超えている。「街歩き」は60歳以上 (31.1%) が特に多くなっている。

図表 27-5 安全性の確認方法<年齢層別>

	(%)					
	ハザードマップ	街歩き	防災情報サイト	危険箇所表示看板	その他	無回答
20歳代 (n=49)	68.5	13.5	27.8	11.1	6.5	0.0
30歳代 (n=82)	81.6	17.0	26.8	12.1	0.0	1.1
40歳代 (n=125)	85.6	19.1	25.0	13.4	1.3	0.0
50歳代 (n=136)	86.8	19.4	19.7	14.1	2.5	1.6
60歳以上 (n=643)	66.1	31.1	26.4	16.6	2.0	2.5

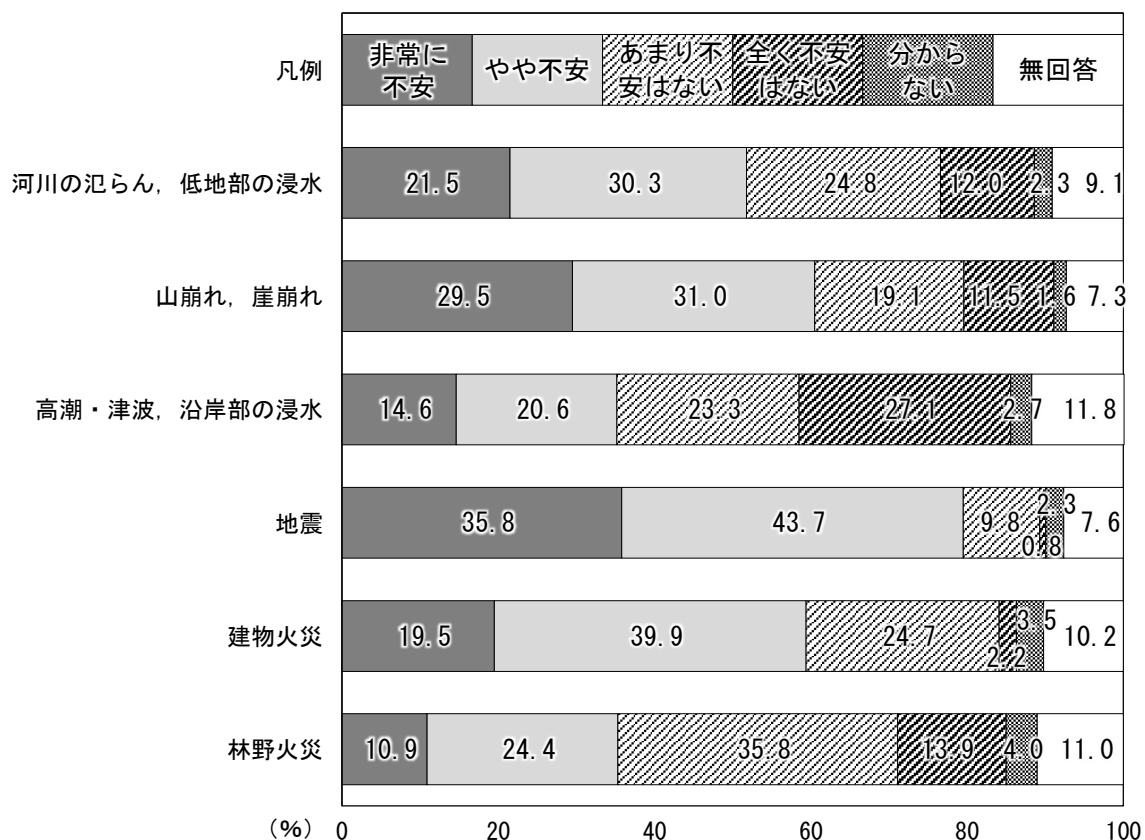
※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問28 あなたの住んでいる地域では、次に掲げる災害について不安がありますか。
それぞれについてお答えください。（それぞれ〇は1つ）

災害に対する不安は、『地震』が最も多く、「非常に不安（35.8%）」、「やや不安（43.7%）」を合わせると79.5%となり、8割を占めている。同様に『山崩れ、崖崩れ』が60.5%、『建物火災』が59.4%となっている。

なお、前回調査と比較すると、地震（前回73.7%）が5.8ポイント、山崩れ、崖崩れ（同51.3%）が9.2ポイント、河川の氾らん、低地部の浸水（同40.7%）が11.1ポイント増加している。

図表 28-1 災害に対する不安

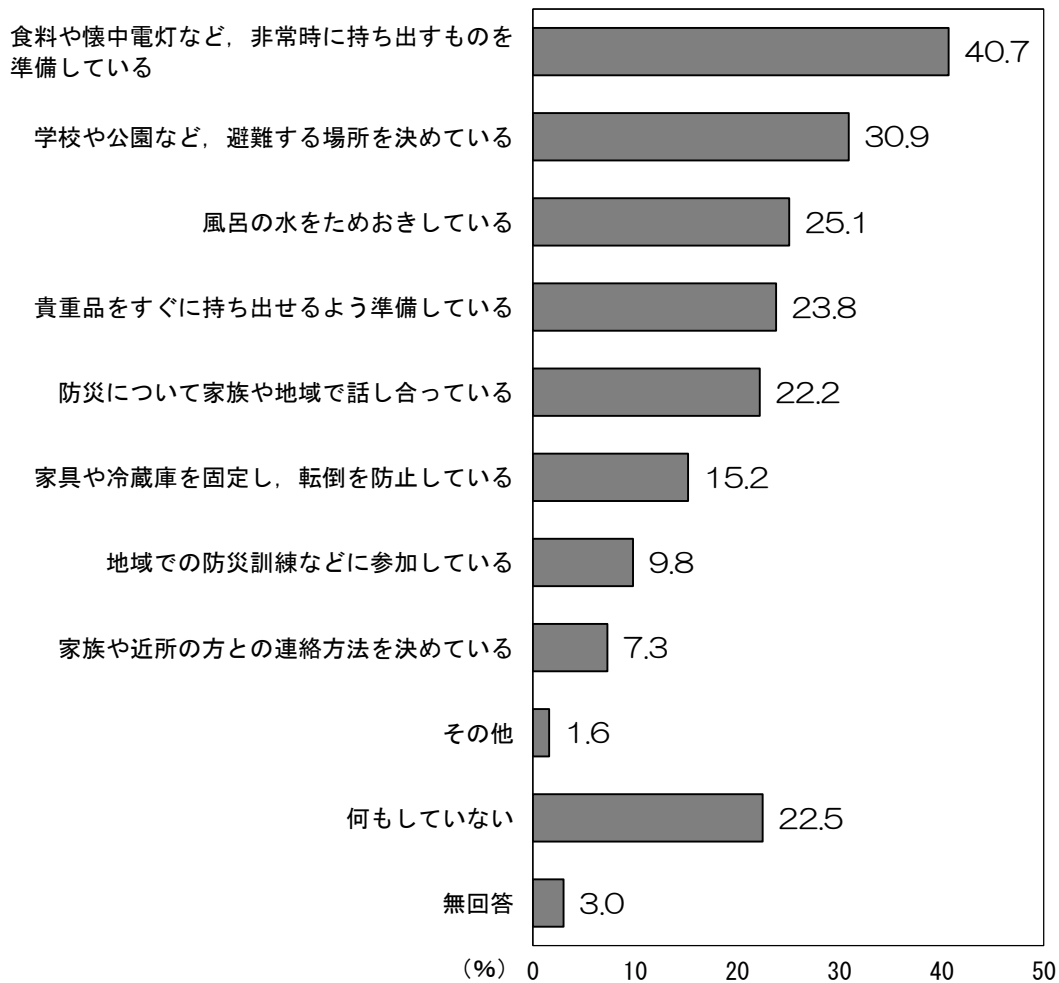


問29 災害に備えて、日頃からどのような対策を行っていますか。(〇はいくつでも)

日頃から行っている防災対策は、「食料や懐中電灯など、非常時に持ち出すものを準備している(40.7%)」が最も多く、次いで「学校や公園など、避難する場所を決めている(30.9%)」、「風呂の水のためおきしている(25.1%)」の順となっている。

なお、「何もしていない(22.5%)」は、前回調査(前回9.2%)よりも13.3ポイント増加している。

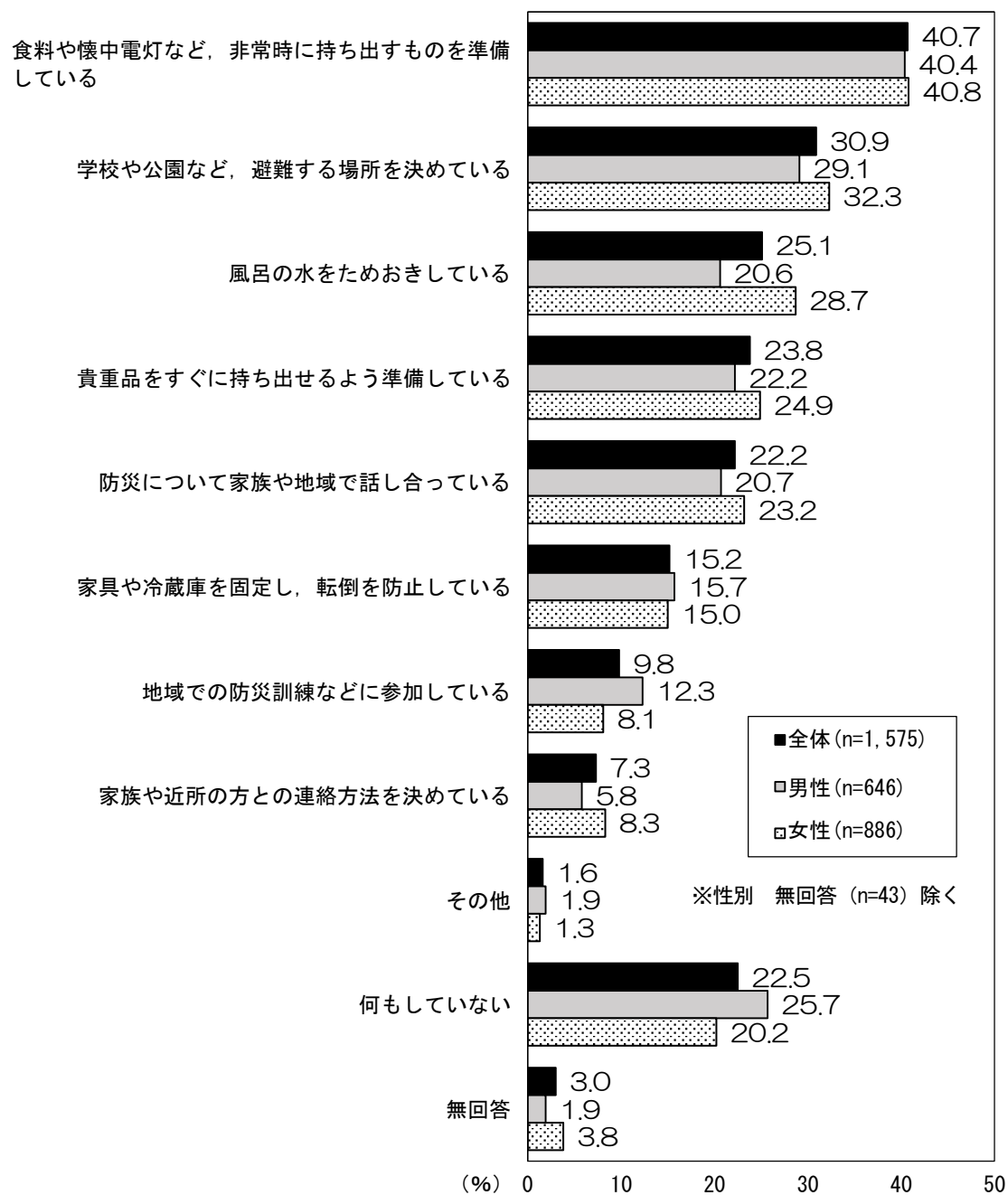
図表 29-1 行っている防災対策



<性別>

性別でみると、「風呂の水をためおきしている」は男性20.6%、女性28.7%であり、女性が8.1ポイント多くなっている。また、「何もしていない」は男性25.7%、女性20.2%であり、男性が5.5ポイント多くなっている。

図表 29-2 行っている防災対策<性別>



<年齢層別>

年齢層別では、「食料や懐中電灯など、非常時に持ち出すものを準備している」は30歳代（45.1%）、40歳代（41.2%）、50歳代（39.7%）、60歳以上（41.4%）で1位となっている。また、「何もしていない」は20歳代（39.7%）が特に多くなっている。

図表 29-3 行っている防災対策<年齢層別>

	食料や懐中電灯など、非常時に持ち出すものを準備している	学校や公園など、避難する場所を決めている	風呂の水をためおきしている	貴重品をすぐに取り出せるよう準備している	防災について家族や地域で話し合っている	家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している	地域での防災訓練などに参加している	家族や近所の方との連絡方法を決めている	その他	何もしていない	無回答
20歳代 (n=90)	29.5	20.8	6.0	18.3	23.1	12.4	1.2	4.8	1.3	39.7	0.0
30歳代 (n=131)	45.1	33.3	13.5	16.8	18.6	9.1	2.4	7.8	1.4	31.0	1.6
40歳代 (n=184)	41.2	38.7	15.2	18.4	31.8	17.6	3.8	8.9	1.6	20.4	2.8
50歳代 (n=195)	39.7	28.6	23.7	17.4	22.0	18.6	3.4	6.6	1.6	22.2	0.0
60歳以上 (n=936)	41.4	30.4	30.8	27.6	20.8	15.3	14.0	7.2	1.7	20.2	4.0

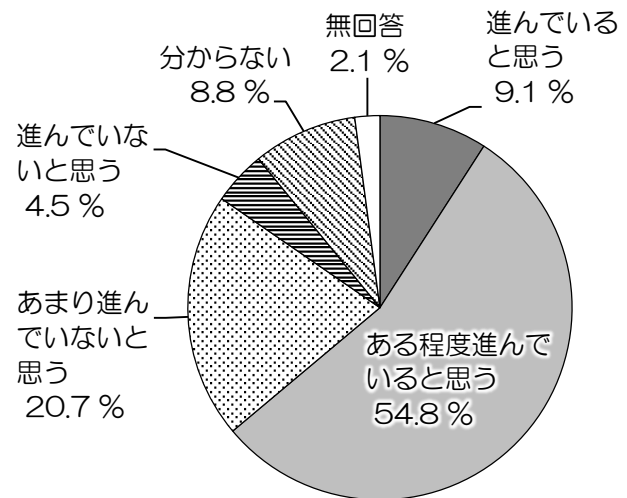
※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問30 あなたは、平成30年7月豪雨災害から復旧・復興が進んでいると思いますか。
(○は1つ)

復旧・復興の進捗状況は、「ある程度進んでいると思う(54.8%)」が過半数を占めており、「進んでいると思う(9.1%)」を含めて63.9%が進んでいると感じている。

一方で、「あまり進んでいない(20.7%)」と「進んでいないと思う(4.5%)」を合わせると25.2%となり、4人に1人は復旧・復興が進んでいないと感じている。

図表 30-1 復旧・復興の進捗状況



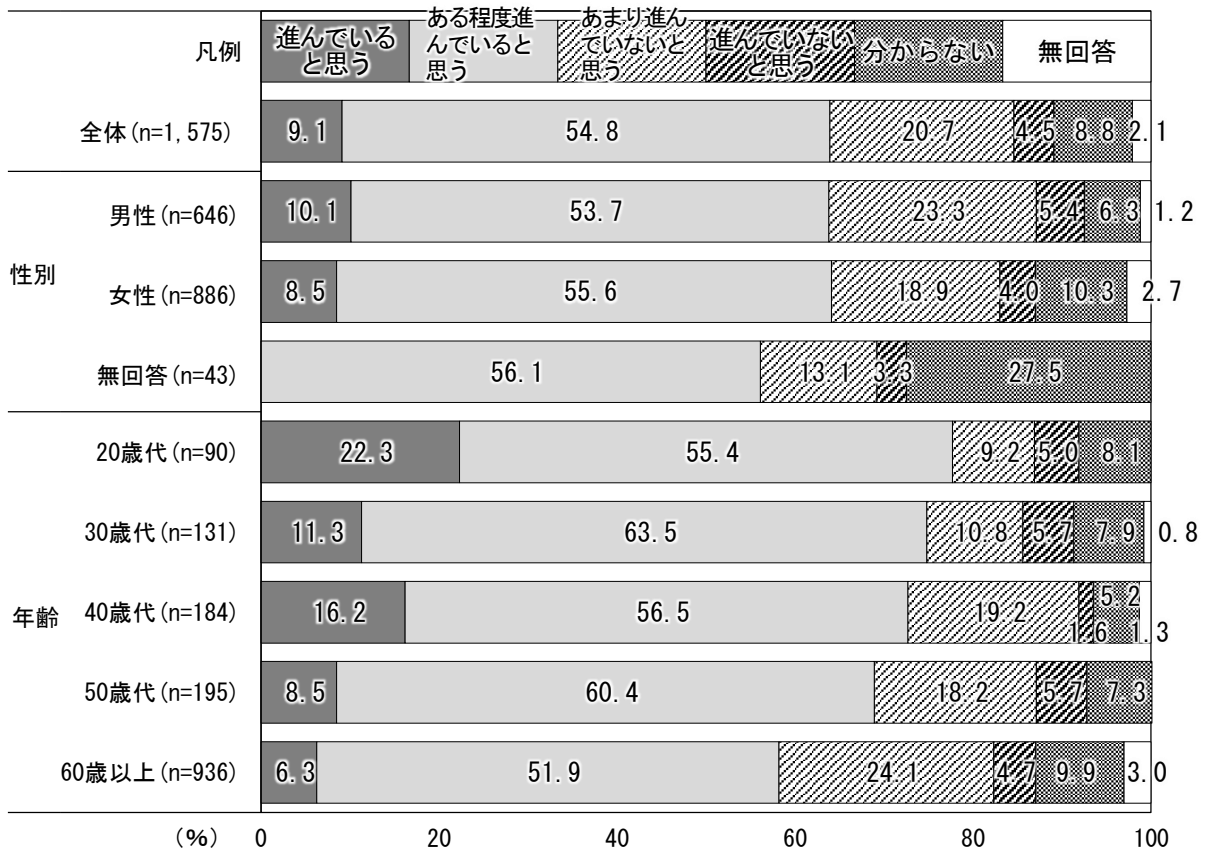
(n=1,575)

<性別・年齢層別>

性別では、男女とも「進んでいると思う」と「ある程度進んでいると思う」の合計が6割を超えている。

年齢層別では、年齢層が高くなるほど「あまり進んでいないと思う」と「進んでいないと思う」の合計が増加している。

図表 30-2 復旧・復興の進捗状況<性別・年齢層別>

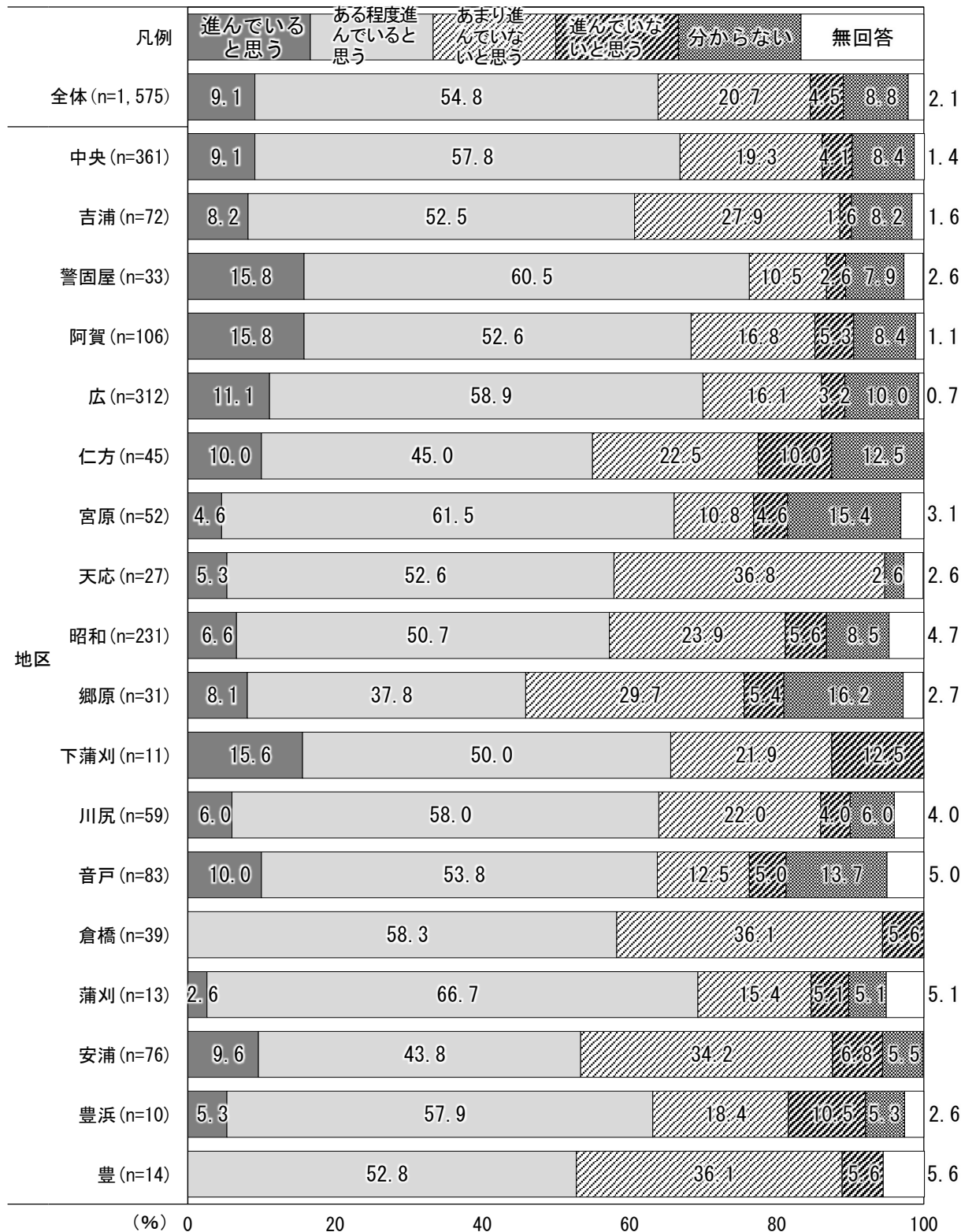


<地区別>

地区別では、ほとんどの地域（17/18地区）で「進んでいると思う（ある程度進んでいると思うを含む）」が、5割を超えているが、郷原地区は45.9%となっている。

一方、安浦地区（41%），豊地区（41.7%），倉橋地区（41.7%）では「進んでいないと思う（あまり進んでいないと思うを含む）」が4割を超えている。

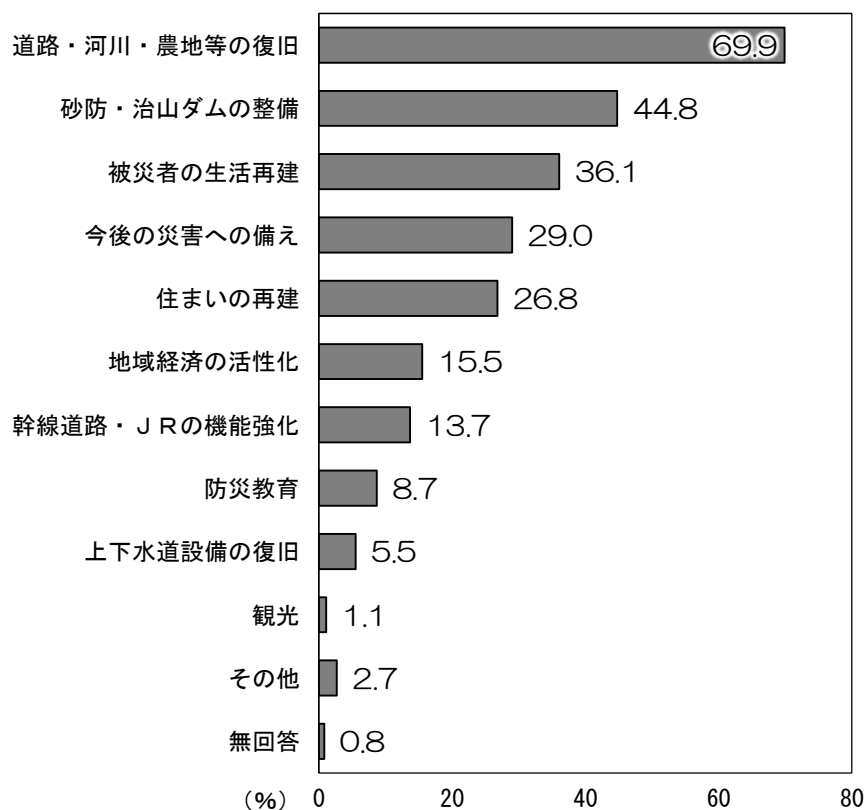
図表 30-3 復旧・復興の進捗状況<地区別>



問30-1 上記問30で「あまり進んでいないと思う」「進んでいないと思う」に回答した方のみ
 復旧・復興が「あまり進んでいない」「進んでいない」と思う分野はどれですか。(〇はいくつでも)

復旧・復興が「あまり進んでいない」「進んでいない」と思う分野は、「道路・河川・農地などの復旧（69.9%）」が最も多く、次いで「砂防・治山ダムの整備（44.8%）」、「被災者の生活再建（36.1%）」、「今後の災害への備え（29.0%）」、「住まいの再建（26.8%）」の順となっている。

図表 30-4 復旧・復興が「あまり進んでいない」「進んでいない」と思う分野



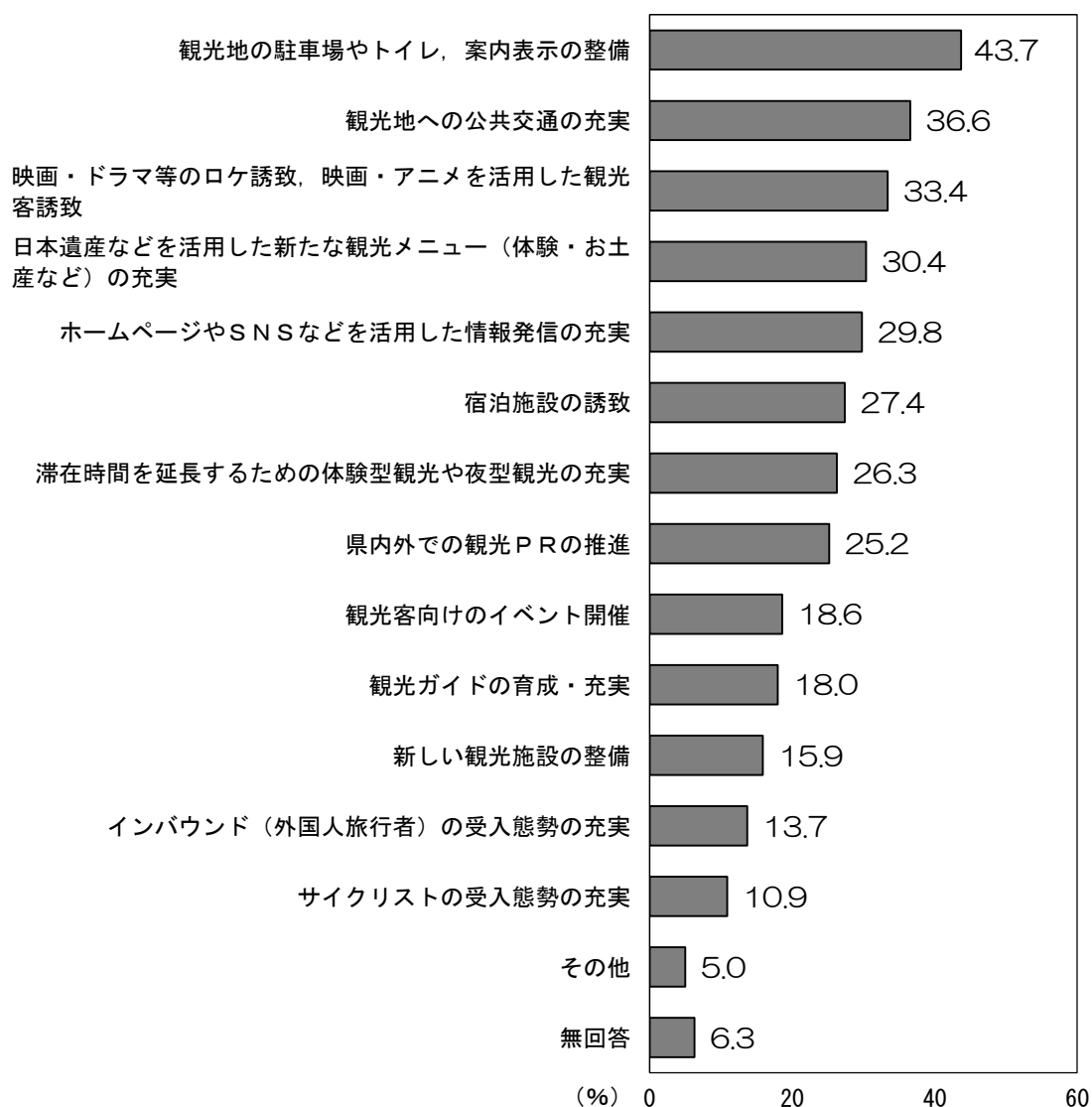
(8) 観光・交流

◇多くの観光客に来ていただくために必要だと思う取組	
1位 観光地の駐車場やトイレ, 案内表示の整備	43.7%
2位 観光地への公共交通の充実	36.6%

問31 あなたは、多くの観光客の方に呉市へ来ていただくために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

観光客の誘致に必要な取組は、「観光地の駐車場やトイレ, 案内表示の整備(43.7%)」が最も多く、次いで「観光地への公共交通の充実(36.6%)」, 「映画・ドラマ等のロケ誘致, 映画・アニメを活用した観光客誘致(33.4%)」, 「日本遺産などを活用した新たな観光メニュー(体験・お土産など)の充実(30.4%)」の順となっている。

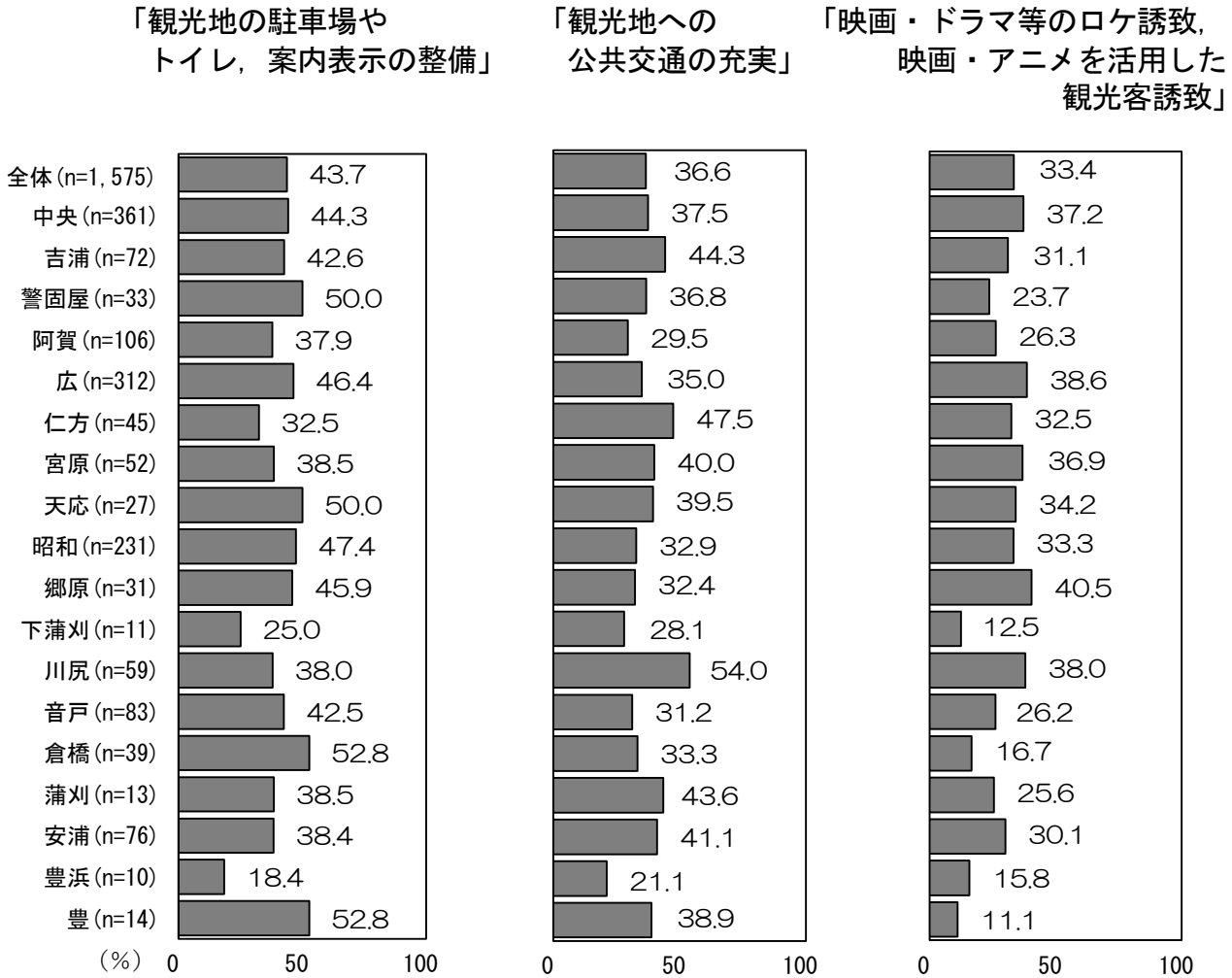
図表 31-1 多くの観光客に来ていただくために必要だと思う取組



<地区別>

上位3項目について地区別でみると、「観光地の駐車場やトイレ、案内表示の整備」は倉橋地区、豊地区が52.8%、「観光地への公共交通の充実」は川尻地区が54.0%、「映画・ドラマ等のロケ誘致、映画・アニメを活用した観光客誘致」は郷原地区が40.5%でそれぞれ最も高い。

図表 31-2 多くの観光客に来ていただくために必要だと思う取組 上位3項目
<地区別>



(9) 農水産業

◇広島県産や呉市産などの「地元産」を意識する人	⇒ 65.3%
◇呉市の特産品だと思う農水産物	
1位 ちりめんいりこ	⇒ 74.9%
2位 みかん	⇒ 72.7%
◇呉市の農水産業を発展させていくために必要な取組	
1位 農水産業の新規参入者や後継者を育成する	46.4%
2位 市民が積極的に地元産を購入する	45.5%
◇呉市の農水産業、農漁村に期待するもの	
1位 新鮮な農水産物・食料の供給	70.3%
2位 自然環境の保全	35.4%

問32 あなたは、食料品を購入するとき、広島県産や呉市産などの「地元産」を意識することがありますか。(○は1つ)

食料品を購入するとき、広島県産や呉市産などの「地元産」を意識することの有無については、「意識することがある(65.3%)」が3分の2を占めている。

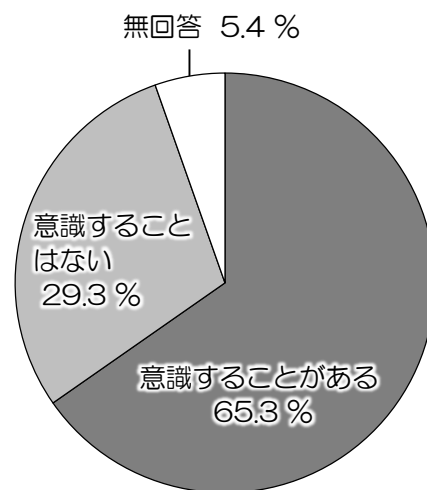
なお、前回調査(前回65.0%)と比較すると、ほぼ同水準であった。

<性別・年齢層別>

性別では、「意識することがある」は、男性が58.1%、女性は70.4%で女性の方が12.3ポイント高い。

年齢層別では、「意識することがある」は20歳代(41.2%)から40歳代(71.0%)にかけて年齢層が進むにつれて多くなっている。

図表32-1 呉市産などの「地元産」の意識



(n=1,575)

図表 32-2 呉市産などの「地元産」の意識<性別・年齢層別>

凡例	意識することがある	意識することがない	無回答
全体 (n=1,575)	65.3	29.3	5.4
前回調査 (n=2,305)	65.0	31.7	3.3
性別			
男性 (n=646)	58.1	37.8	4.1
女性 (n=886)	70.4	23.2	6.4
無回答 (n=43)	64.2	35.8	
年齢			
20歳代 (n=90)	41.2	57.2	1.6
30歳代 (n=131)	55.5	43.7	0.8
40歳代 (n=184)	71.0	27.0	2.0
50歳代 (n=195)	69.7	28.3	2.0
60歳以上 (n=936)	67.1	25.3	7.6

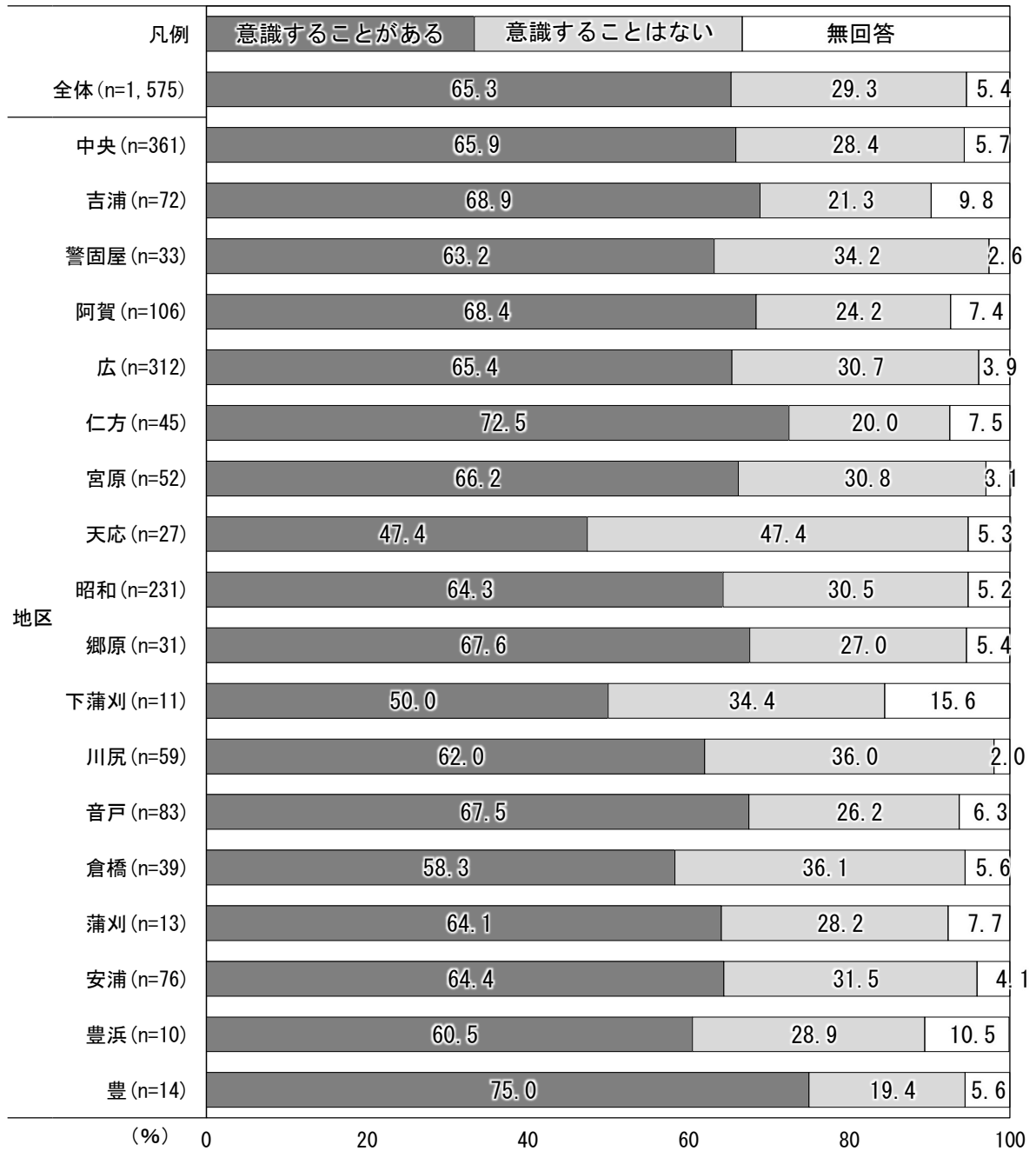
(%) 0 20 40 60 80 100

<地区別>

地区別では、「意識することがある」は、豊地区（75.0%）、仁方地区（72.5%）で7割を超えている。

一方、「意識することはない」は、天応地区（47.4%）のみ4割を超えている。

図表 32-3 呉市産などの「地元産」の意識<地区別>



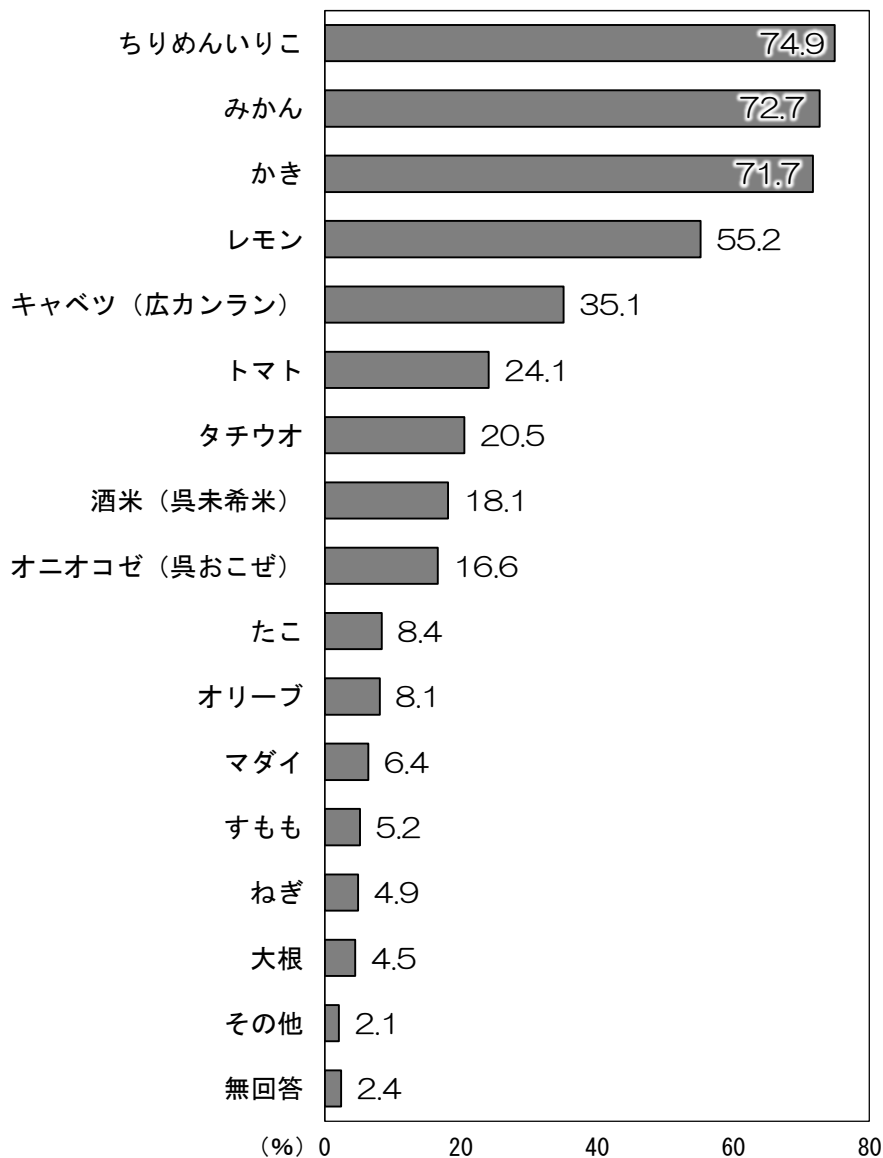
問33 呉市には、特色ある農水産物がたくさんあります。あなたが、呉市の特産品だと思う農水産物はどれですか。（〇はいくつでも）

呉市の特産品だと思う農水産物は、「ちりめんいりこ（74.9%）」が最も多く、次いで「みかん（72.7%）」、「かき（71.7%）」の順で7割を超えている。

また、「レモン（55.2%）」も5割を超えている。

なお、前回調査と比較すると、上位4品目に変化はないものの、追加した選択肢である「キャベツ（広カンラン）（35.1%）」が5位となっている。

図表 33-1 呉市の特産品だと思う農水産物

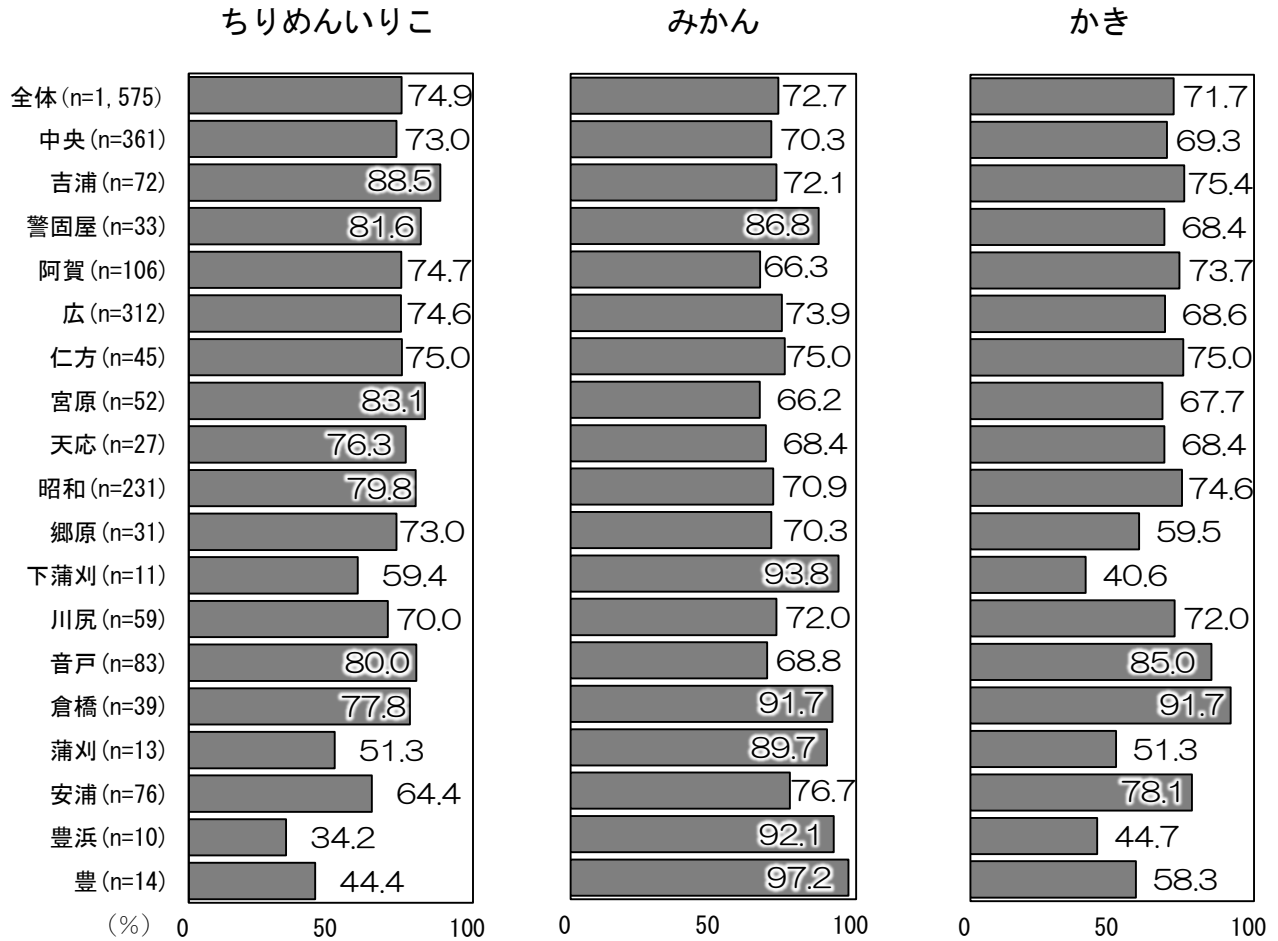


<地区別>

地区別で見ると、「ちりめんいりこ」は吉浦地区（88.5%），宮原地区（83.1%），警固屋地区（81.6%），音戸地区（80.0%）で8割を超えており，特に多くなっている。

また，「みかん」は豊地区（97.2%），下蒲刈地区（93.8%），豊浜地区（92.1%），倉橋地区（91.7%）で9割を超えており，「かき」は倉橋地区（91.7%），音戸地区（85.0%）で8割を超えており，特に多くなっている。

図表 33-2 呉市の特産品だと思う農水産物 上位3項目<地区別>

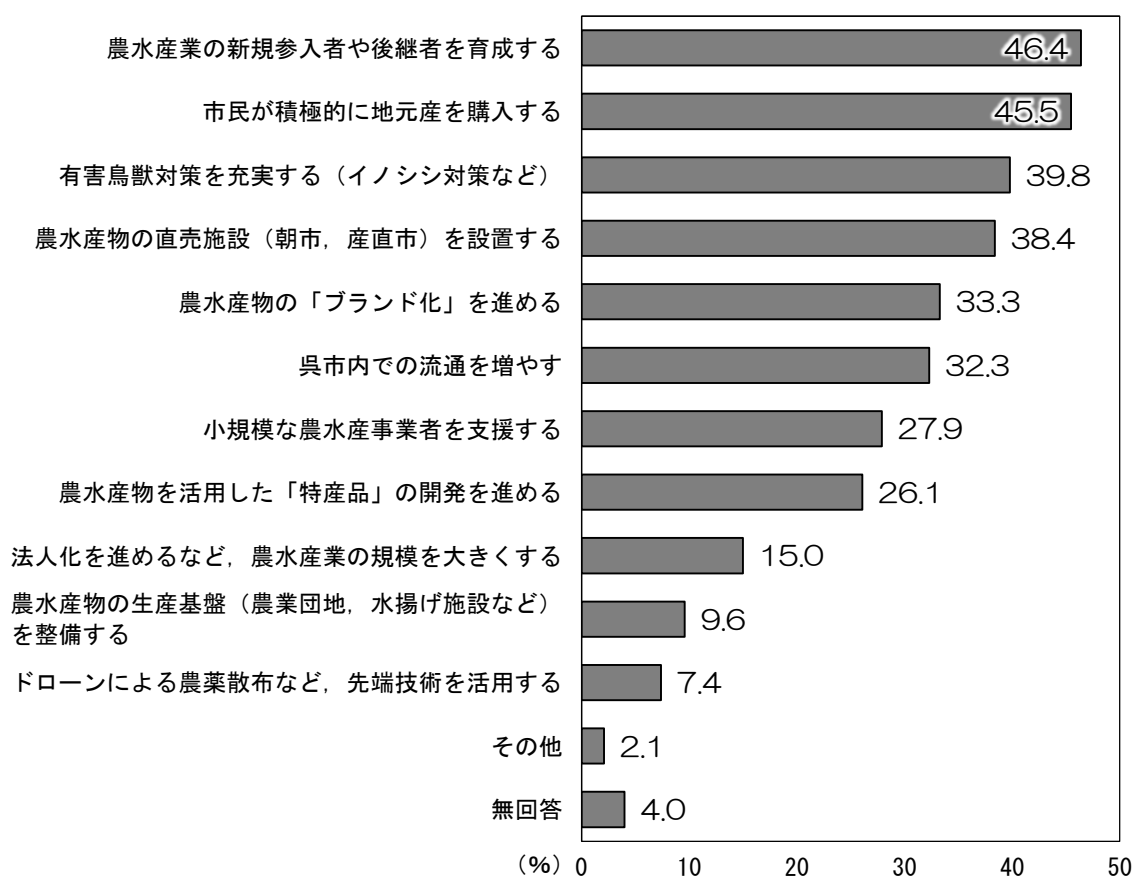


問34 あなたは今後、呉市の農水産業を発展させていくためには、どのような取組が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

今後、農水産業を発展させていくために必要な取組は、「農水産業の新規参入者や後継者を育成する（46.4%）」が最も多く、次いで「市民が積極的に地元産を購入する（45.5%）」、「有害鳥獣対策を充実する（イノシシ対策など）（39.8%）」、「農水産物の直売施設（朝市、産直市）を設置する（38.4%）」の順となっている。

なお、前回調査と比較すると、「農水産業の新規参入者や後継者を育成する（前回44.2%）」は、2.2ポイント、「有害鳥獣対策を充実する（同38.9%）」は0.9ポイント増加している。また、「市民が積極的に地元産を購入する（同48.4%）」は2.9ポイント、「農水産物の直売施設（朝市、産直市）を設置する（同39.8%）」は1.4ポイント減少している。

図表 34-1 農水産業を発展させていくために必要な取組

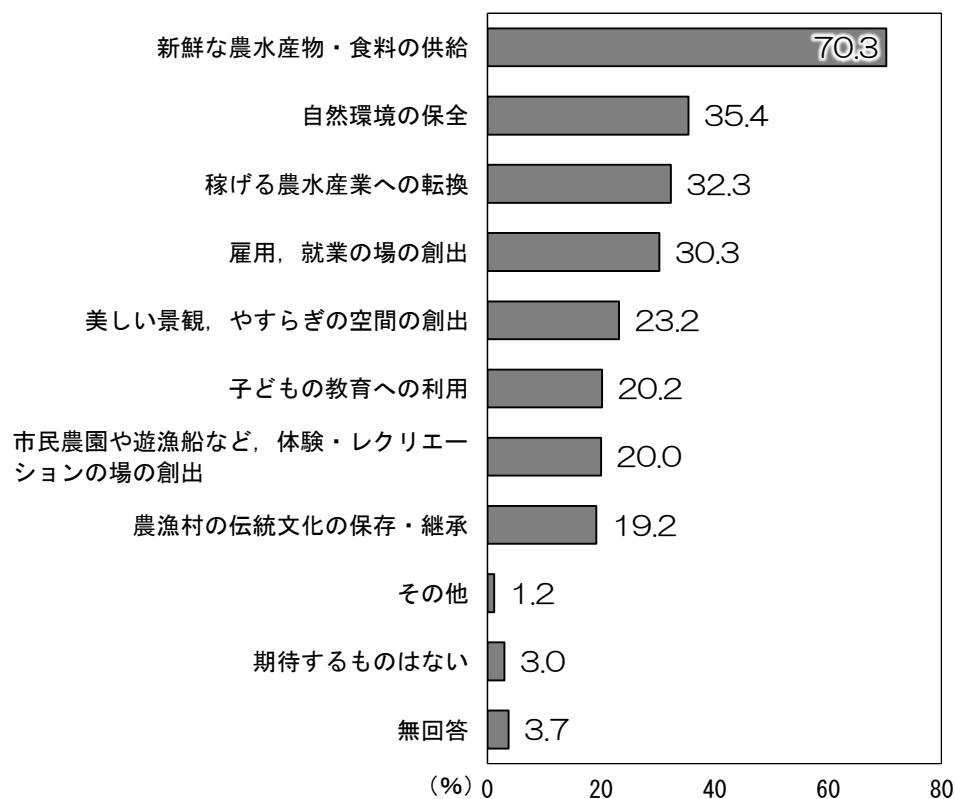


問35 あなたは、呉市の農水産業、農漁村に何を期待しますか。(〇はいくつでも)

呉市の農水産業、農漁村に期待するものは、「新鮮な農水産物・食料の供給(70.3%)」が最も多く、次いで「自然環境の保全(35.4%)」,「稼げる農水産業への転換(32.3%)」の順となっている。

なお、前回調査と比較すると、全体的な傾向に変化はないが、追加した選択肢「稼げる農水産業への転換」が上位に挙げられている。

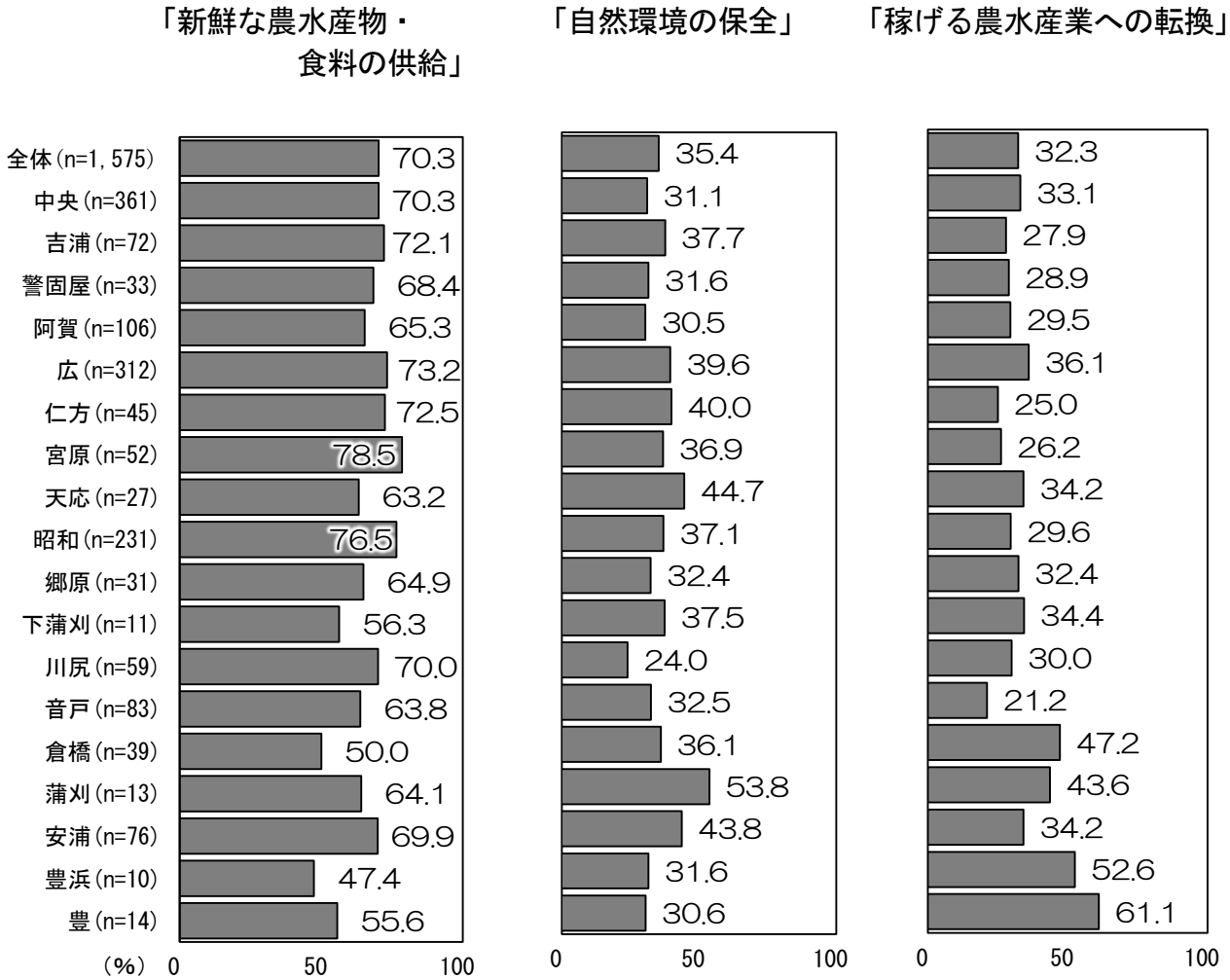
図表 35-1 農水産業、農漁村に期待するもの



<地区別>

地区別では、「新鮮な農水産物・食料の供給」は宮原地区（78.5%）, 「自然環境の保全」は蒲刈地区（53.8%）, 「稼げる農水産業への転換」は豊地区（61.1%）がそれぞれ最も高い。

図表 35-2 農水産業, 農漁村に期待するもの 上位3項目<地区別>



(10) 商工業

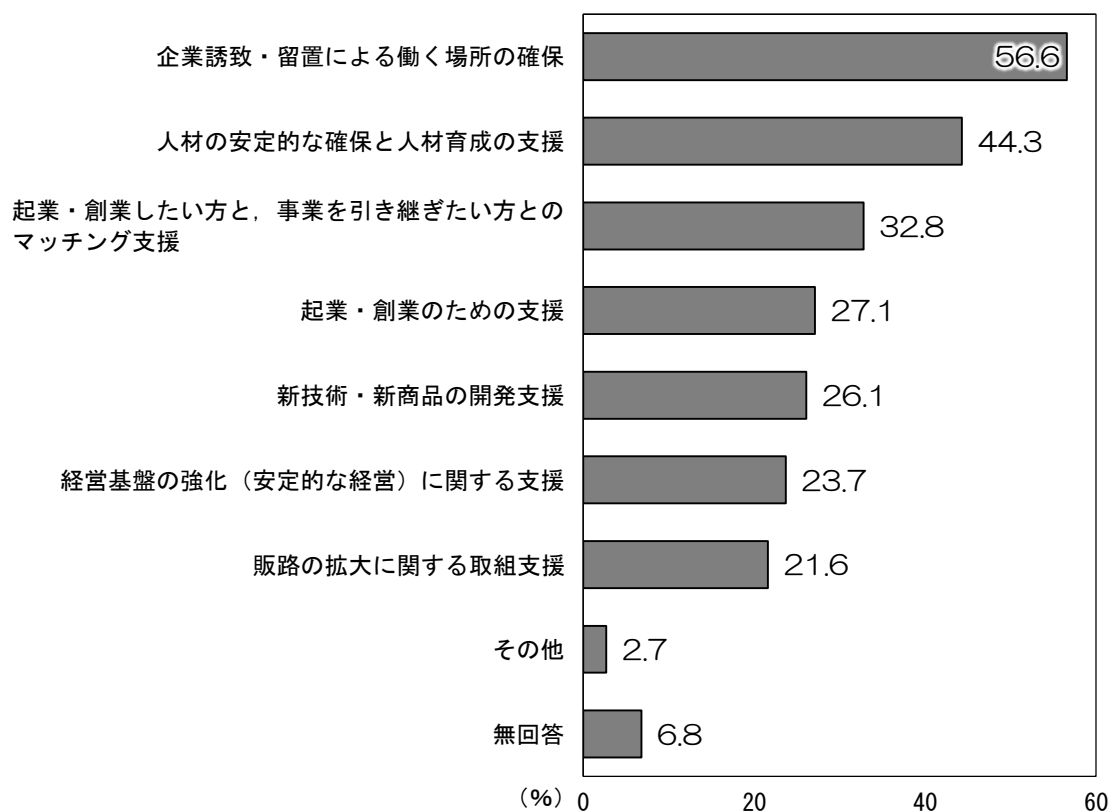
◇呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組

1位	企業誘致・留置による働く場所の確保	56.6%
2位	人材の安定的な確保と人材育成の支援	44.3%

問36 あなたは今後、呉市の商工業を発展させていくためには、呉市がどのような取組をする必要があると思いますか。（〇はいくつでも）

呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組は、「企業誘致・留置による働く場の確保（56.6%）」が最も多く、次いで「人材の安定的な確保と人材育成の支援（44.3%）」、「起業・創業したい方と、事業を引き継ぎたい方とのマッチング支援（32.8%）」の順となっている。

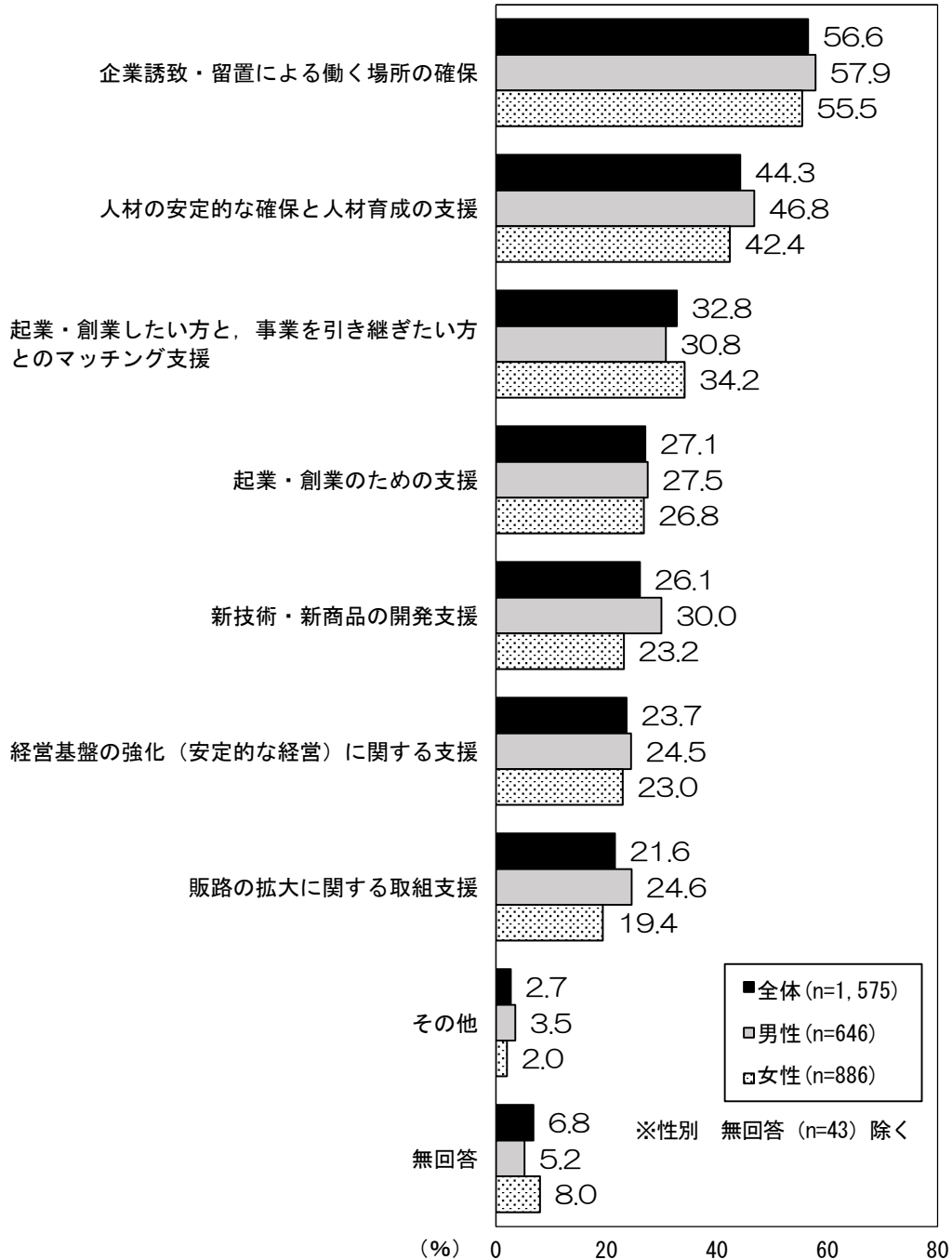
図表 36-1 呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組



<性別>

性別では、「人材の安定的な確保と人材育成の支援」は男性 46.8%，女性 42.4%で男性が 4.4 ポイント多く、「起業・創業したい方と、事業を引き継ぎたい方とのマッチング支援」は男性 30.8%，女性 34.2%で女性が 3.4 ポイント高い。

図表 36-2 呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組<性別>



<年齢層別>

年齢層別では、「企業誘致・留置による働く場所の確保」は60歳以上（61.8%），「人材の安定的な確保と人材育成の支援」は20歳代（54.3%）がそれぞれ最も高い。

図表 36-3 呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組<年齢層別>

	企業誘致・留置による働く場所の確保	人材の安定的な確保と人材育成の支援	起業・創業したい方と、事業を引き継ぎたい方とのマッチング支援	起業・創業のための支援	新技術・新商品の開発支援	経営基盤の強化（安定的な経営）に関する支援	販路の拡大に関する取組支援	その他	無回答
20歳代 (n=90)	36.9	54.3	30.6	27.4	26.4	20.2	9.9	2.4	5.3
30歳代 (n=131)	48.7	45.2	29.9	22.6	22.1	25.5	18.6	2.7	0.8
40歳代 (n=184)	44.2	49.0	42.1	32.0	23.7	22.4	17.5	2.3	1.2
50歳代 (n=195)	58.7	48.3	36.3	31.1	23.9	31.8	21.4	3.0	1.9
60歳以上 (n=936)	61.8	41.5	30.8	26.0	27.7	22.3	24.0	2.6	9.8

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

(11) 環境

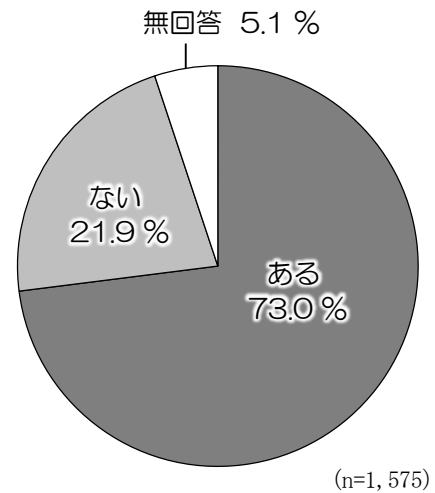
◇地球環境に配慮した取組を行っている人	⇒	73.0%
◇具体的な地球環境に配慮した取組		
1位 リサイクル（ごみの分別、店頭回収の利用等）		71.9%
2位 リデュース（マイバッグ持参、詰替商品の利用等）		65.4%
◇最も関心を持っている、気になっている環境分野		
1位 地球温暖化対策		53.5%
2位 ごみの減量化と適正処理		16.1%

問37 あなたは、普段の生活の中で、地球環境に配慮した取組として、何か行っていることはありますか。（○は1つ）

地球環境に配慮した取組の有無は、「ある（73.0%）」が7割以上を占めている。

なお、前回調査（前回84.2%）と比較すると、「ある」は11.2ポイント減少している。

図表37-1 地球環境に配慮した取組の有無

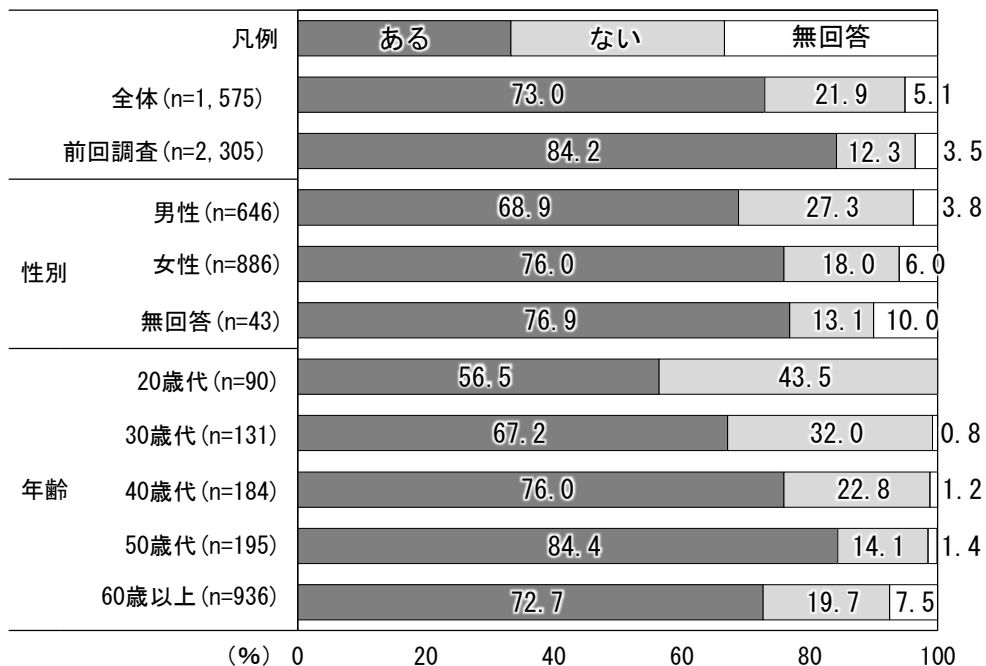


<性別・年齢層別>

性別では、「ある」は、男性が68.9%、女性が76.0%で女性が7.1ポイント高い。

年齢層別では、「ある」は、50歳代（84.4%）が最も多く、8割を超えている。

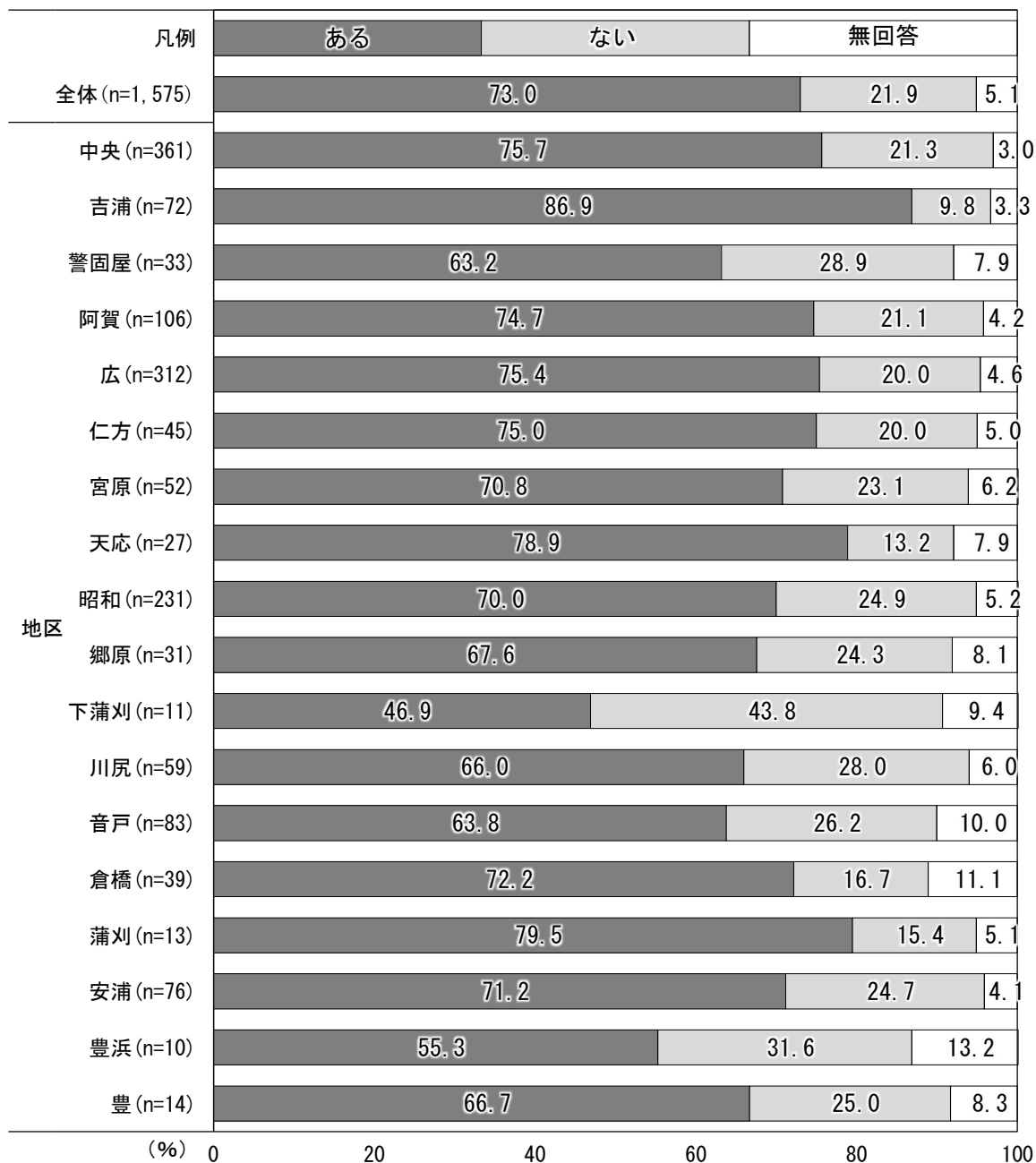
図表 37-2 地球環境に配慮した取組の有無<性別・年齢層別>



<地区別>

地区別では、ほとんどの地区（16/18地区）で「ある」が6割を超えているが、下蒲刈地区（46.9%）、豊浜地区（55.3%）は下回っている。
また、「ない」が3割を超える地区は、下蒲刈地区（43.8%）、豊浜地区（31.6%）となっている。

図表 37-3 地球環境に配慮した取組の有無<地区別>



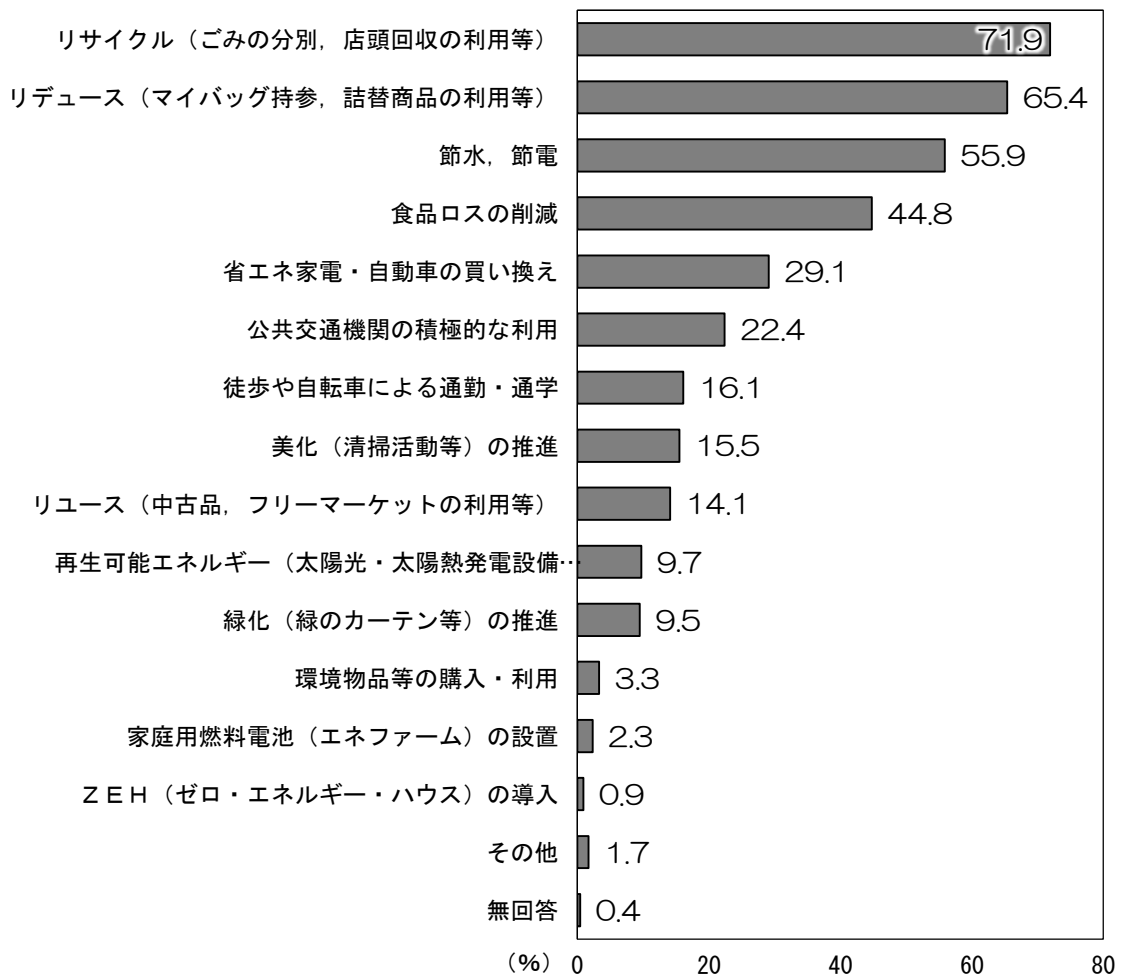
問37-1 上記問37で「ある」に回答した方のみ

具体的には、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

「ある」と回答した人が取り組んでいることは、「リサイクル（ごみの分別、店頭回収の利用等）（71.9%）」が最も多く、次いで「リデュース（マイバッグ持参、詰替商品の利用等）（65.4%）」、「節水、節電（55.9%）」、「食品ロスの削減（44.8%）」となっている。

なお、前回調査と比較すると、全体的な傾向に変化はないが、今回追加した選択肢の「食品ロスの削減（44.8%）」が上位となっている。

図表 37-4 普段実行している地球環境に配慮した取組



問38 あなたが最も関心を持っている、あるいは気になっている環境分野は何ですか。
(〇は1つ)

関心があるまたは気になっている環境分野は、「地球温暖化対策（53.5%）」が特に多く、次いで「ごみの減量化と適正処理（16.1%）」の順となっている。

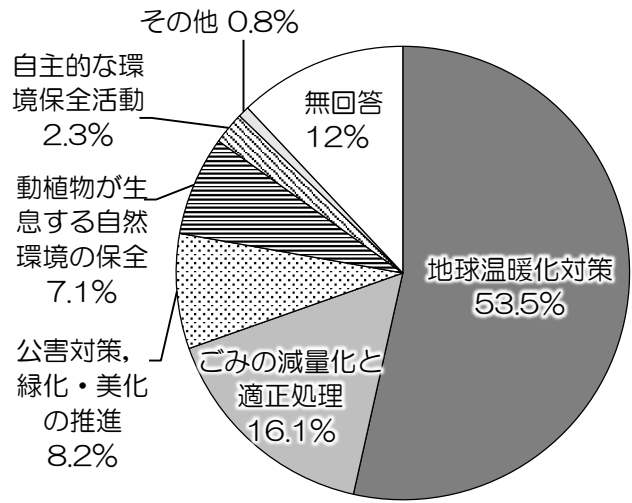
＜性別・年齢層別＞

「ごみの減量化と適正処理」は、女性が男性よりも3.2ポイント多くなっている。

年齢層別では、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代で「地球温暖化対策」が5割を超えている。

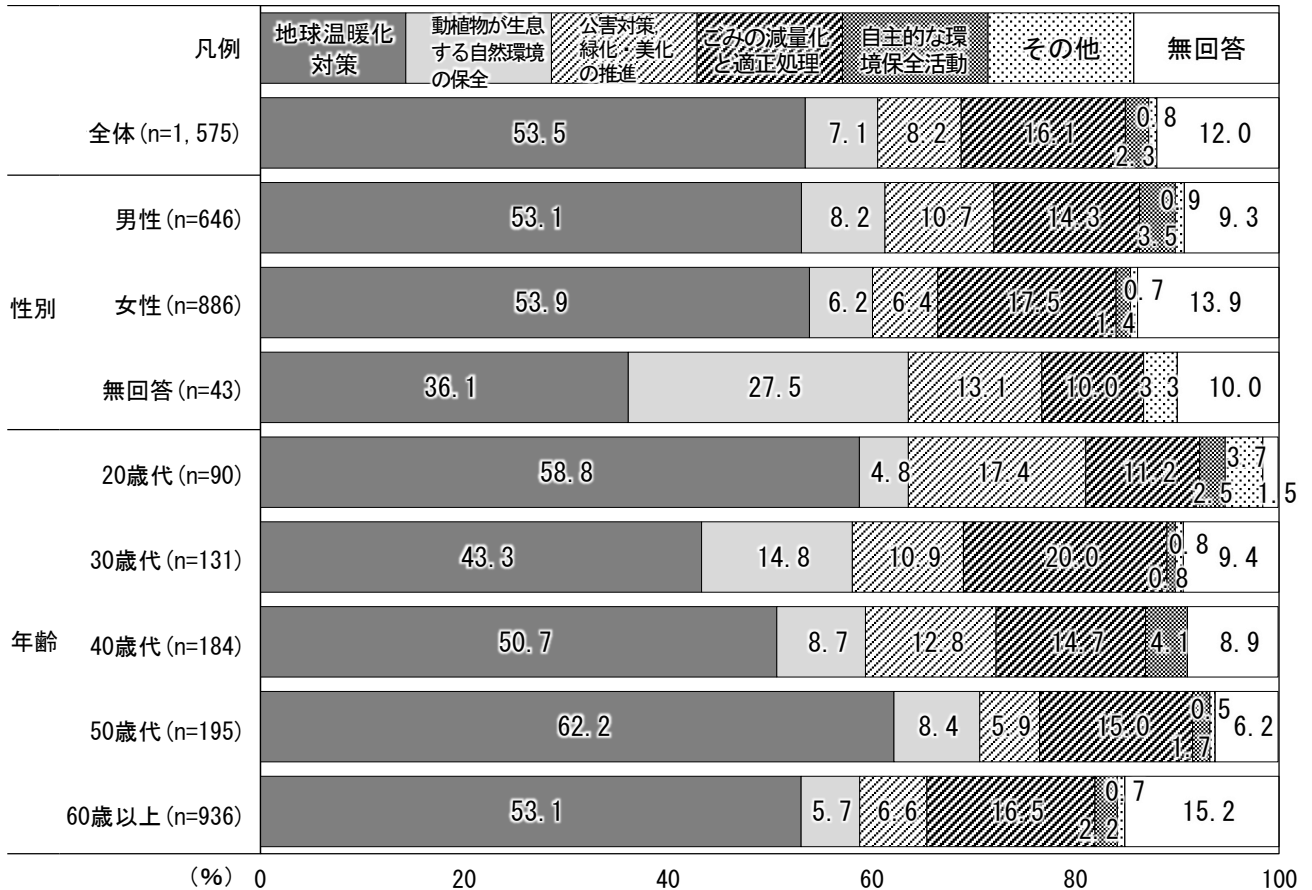
また、30歳代は「動植物が生息する自然環境の保全」が他の年齢層より多くなっている。

図表38-1 関心がある・気になっている環境分野



(n=1,575)

図表 38-2 最も関心を持っている、気になっている環境分野＜性別・年齢層別＞

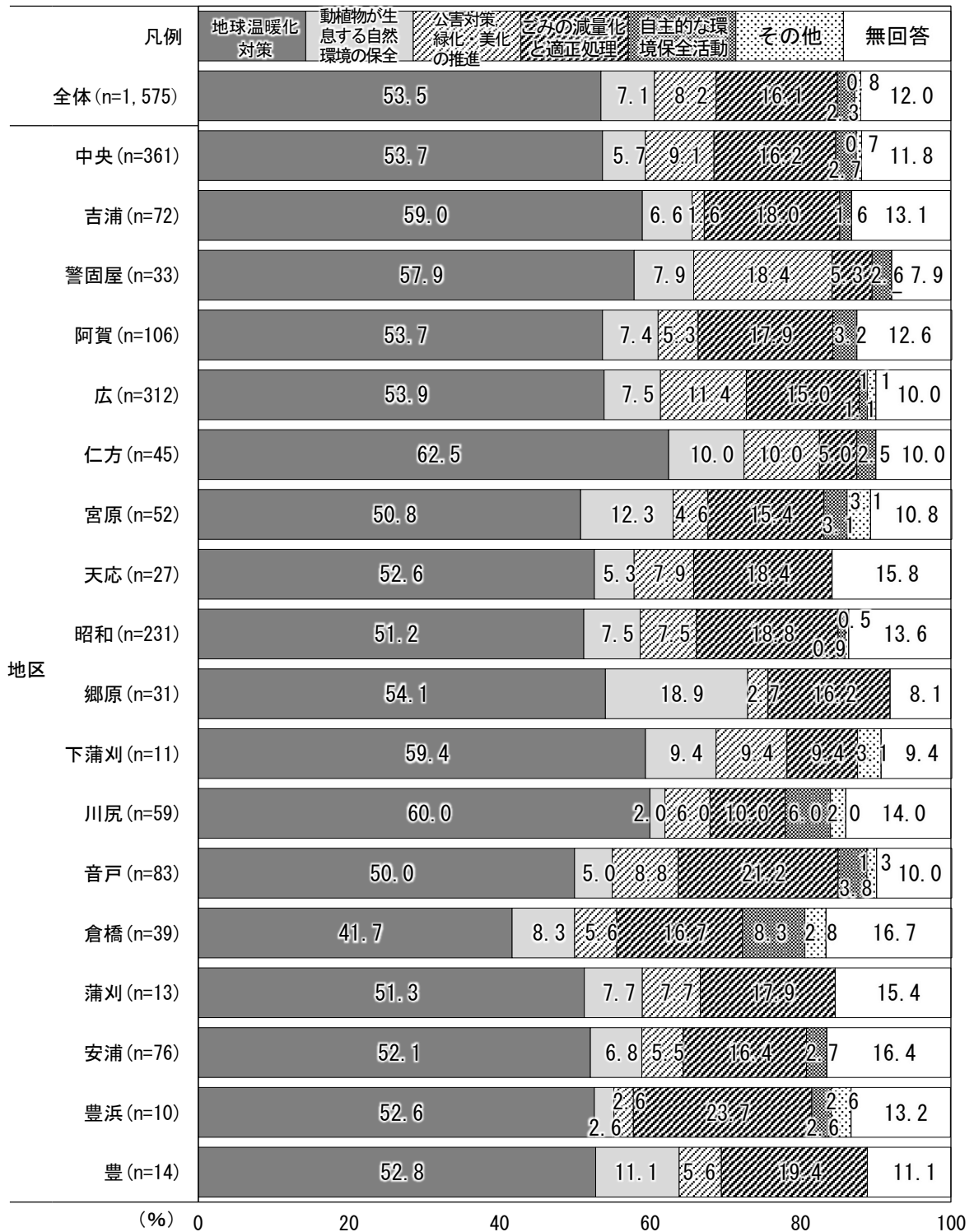


<地区別>

地区別では、「地球温暖化対策」は、仁方地区（62.5%）、川尻地区（60.0%）で6割を超えている。「動植物が生息する自然環境の保全」は郷原地区（18.9%）、宮原地区（12.3%）、豊地区（11.1%）の順となっている。

「公害対策、緑化・美化の推進」は警固屋地区（18.4%）、広地区（11.4%）、仁方地区（10.0%）の順となっており、「ごみの減量化と適正処理」は豊浜地区（23.7%）、音戸地区（21.2%）で2割を超えている。

図表 38-3 最も関心を持っている、気になっている環境分野<地区別>

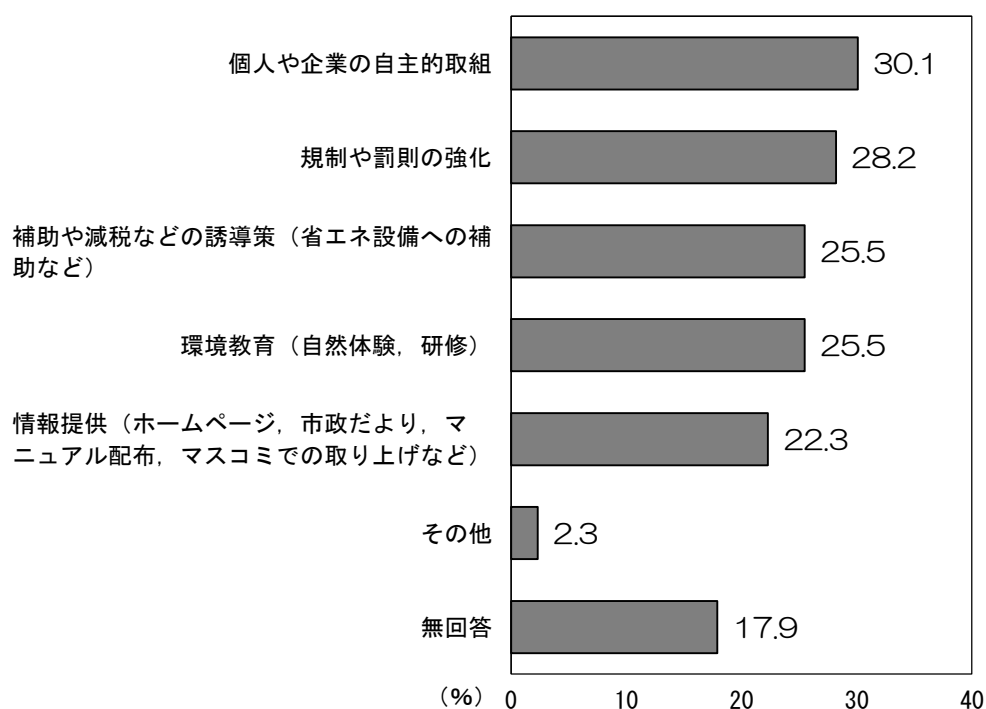


問38-1 問38で選んだ環境分野を改善するためにどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

環境分野を改善するために必要だと思う取組は、「個人や企業の自主的取組(30.1%)」が最も多く、次いで「規制や罰則の強化(28.2%)」、「補助や減税などの誘導策(省エネ設備への補助など)(25.5%)」、「環境教育(自然体験, 研修)(25.5%)」の順となっている。

また、「情報提供(ホームページ, 市政だより, マニュアル配布, マスコミでの取り上げなど)(22.3%)」も2割を上回っており、特定の項目に集中していない。

図表 38-4 環境分野を改善するために必要だと思う取組



(12) 公共施設

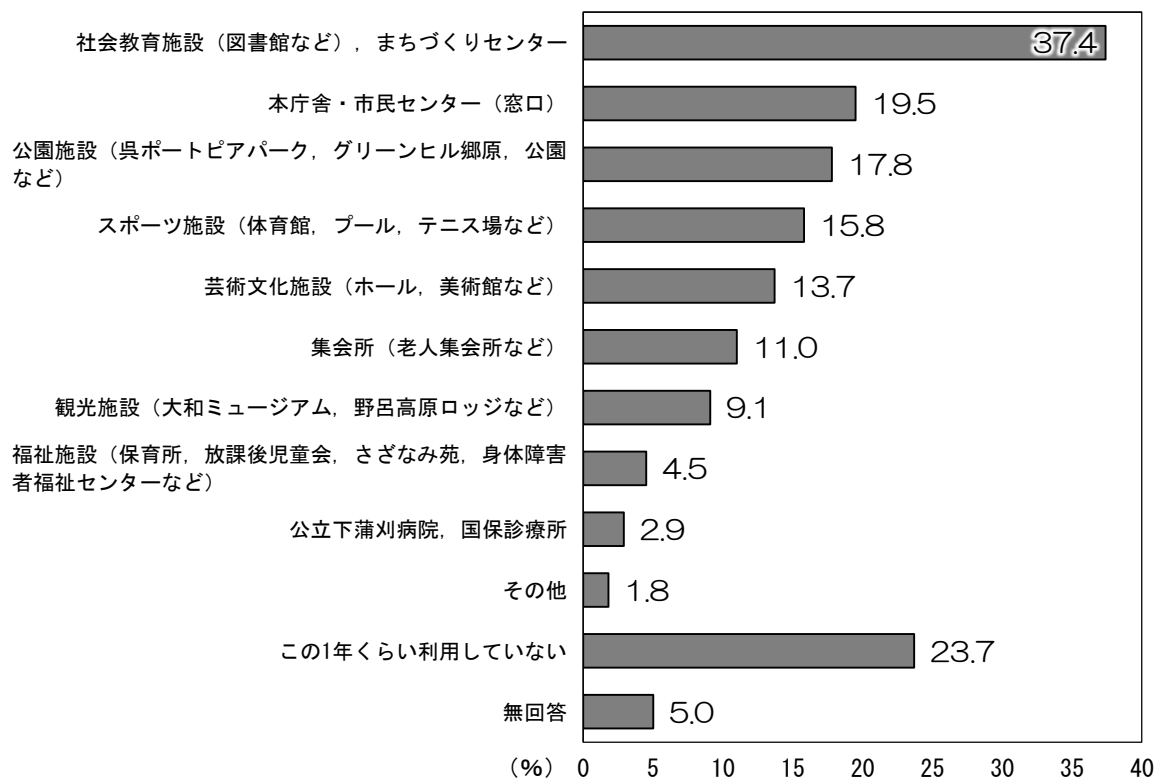
◇よく使う公共施設		
1位	社会教育施設（図書館など），まちづくりセンター	37.4%
2位	本庁舎・市民センター（窓口）	19.5%
3位	公園施設（呉ポートピアパーク，グリーンヒル郷原，公園など）	17.8%
◇重要だと思う公共施設		
1位	社会教育施設（図書館など），まちづくりセンター	60.3%
2位	スポーツ施設（体育館，プール，テニス場など）	45.9%
3位	福祉施設（保育所，放課後児童会，さざなみ苑，身体障害者福祉センターなど）	39.5%

問39 次に掲げる呉市の公共施設のうち，あなたがよく使う施設はどれですか。
（〇はいくつでも）

よく使う公共施設は，「社会教育施設（図書館など），まちづくりセンター（37.4%）」が最も多く，次いで「本庁舎・市民センター（窓口）（19.5%）」，「公園施設（呉ポートピアパーク，グリーンヒル郷原，公園など）（17.8%）」の順となっている。また，5人に1人が「この1年くらい利用していない（23.7%）」と回答している。

なお，前回調査と比較すると，全体的な傾向に変化はないが，今回追加した選択肢「公園施設（呉ポートピアパーク，グリーンヒル郷原，公園など）（17.8%）」が，上位に挙がっている。

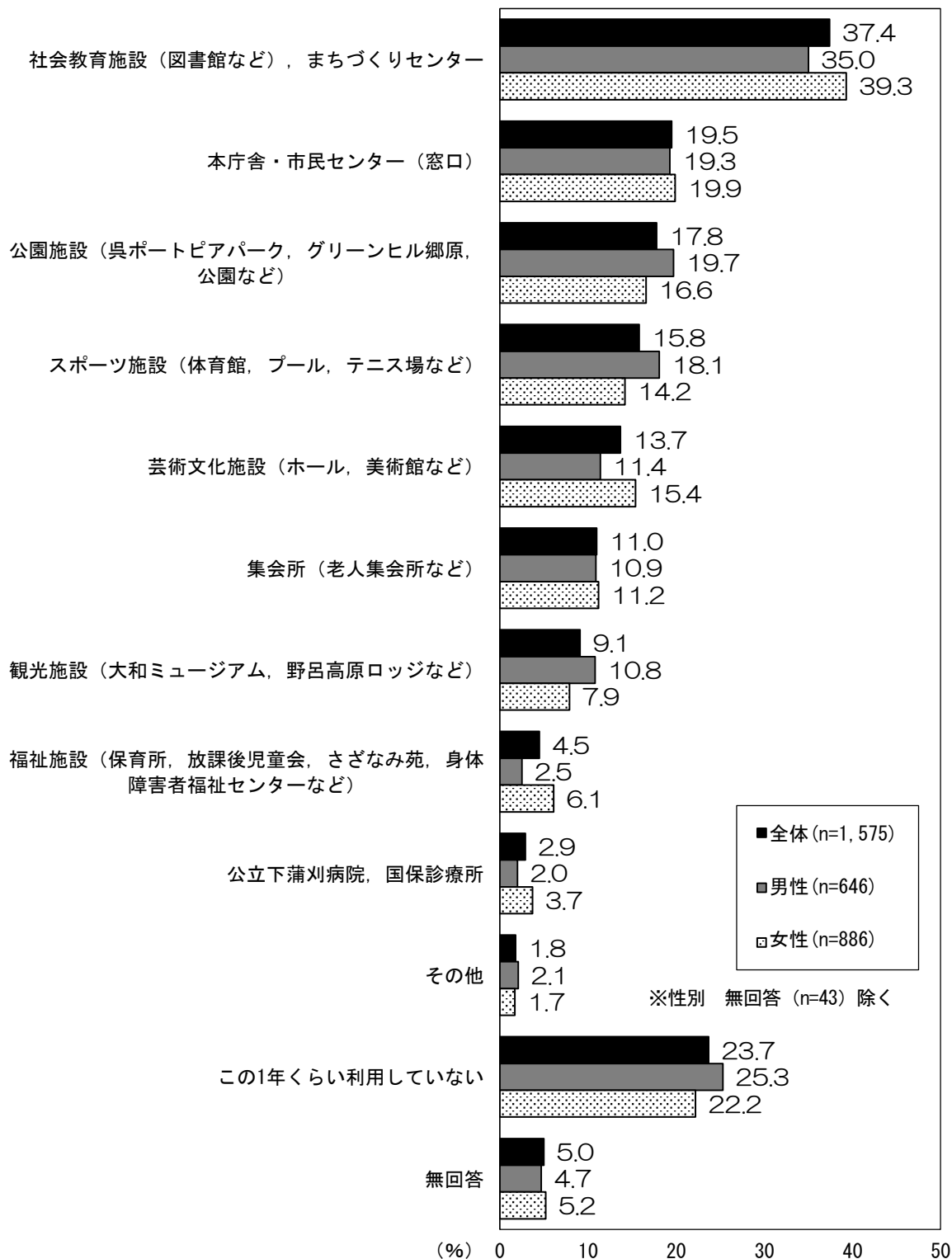
図表 39-1 よく使う公共施設



<性別>

性別では、「社会教育施設（図書館など），まちづくりセンター」は男性 35.0%，女性 39.3%で女性が 4.3 ポイント高い。また、「この1年くらい利用していない」は男性 25.3%，女性 22.2%で男性が 3.1 ポイント高い。

図表 39-2 よく使う公共施設<性別>



<年齢層別>

年齢層別でみると、「社会教育施設（図書館など）、まちづくりセンター」は全年齢層で最も多く、年齢層別では30歳代（44.4%）が最も多い。「この1年くらい利用していない」は20歳代、50歳代（28.7%）が最も高い。

図表 39-3 よく使う公共施設<年齢層別>

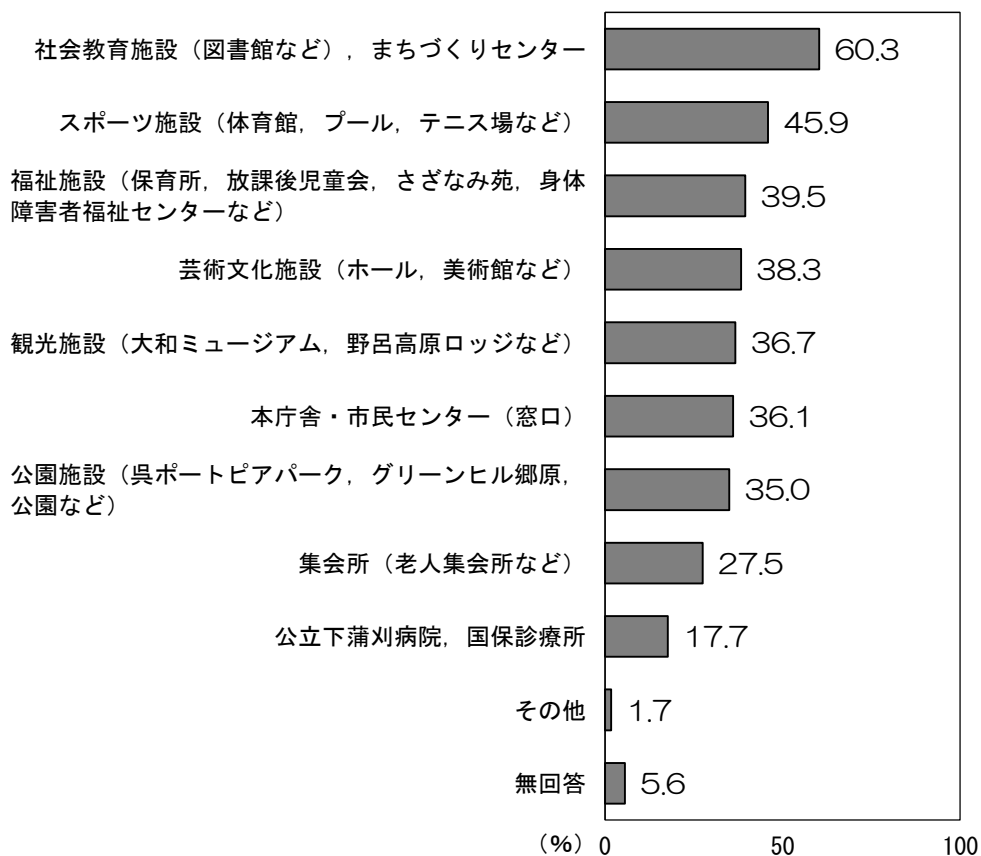
	社会教育施設（図書館など）、まちづくりセンター	本庁舎・市民センター（窓口）	公園施設（呉ポートピアパーク、グリーンヒル郷原、公園など）	スポーツ施設（体育館、プール、テニスコートなど）	芸術文化施設（ホール、美術館など）	集会所（老人集会所など）	観光施設（大和ミュージアム、野呂高原ロッジなど）	福祉施設（保育園、放課後児童会、さざなみ苑、身体障害者福祉センターなど）	公立下蒲刈病院、国保診療所	その他	この1年くらい利用していない	無回答
20歳代 (n=90)	31.5	15.8	17.3	15.3	6.1	1.3	3.5	12.2	0.7	2.5	28.7	0.0
30歳代 (n=131)	44.4	11.1	40.2	25.3	8.9	1.7	6.4	10.4	0.5	1.5	20.3	0.8
40歳代 (n=184)	39.4	20.9	28.5	16.3	9.9	3.2	10.7	8.3	1.5	0.6	23.3	1.2
50歳代 (n=195)	32.5	28.4	17.1	12.7	14.1	6.9	6.2	2.7	2.5	1.2	28.7	1.7
60歳以上 (n=936)	37.7	19.1	12.9	15.2	15.8	15.7	10.3	2.6	3.8	2.1	22.8	7.4

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問40 次に掲げる呉市の公共施設のうち、重要だと思ふ施設はどれですか。
(〇はいくつでも)

重要だと思ふ公共施設は、「社会教育施設（図書館など）、まちづくりセンター（60.3%）」が最も多く、次いで「スポーツ施設（体育館、プール、テニス場など）（45.9%）」、「福祉施設（保育所、放課後児童会、さざなみ苑、身体障害者福祉センターなど）（39.5%）」の順となっている。その他の施設も2～4割程度挙げられている。

図表 40-1 重要だと思ふ公共施設

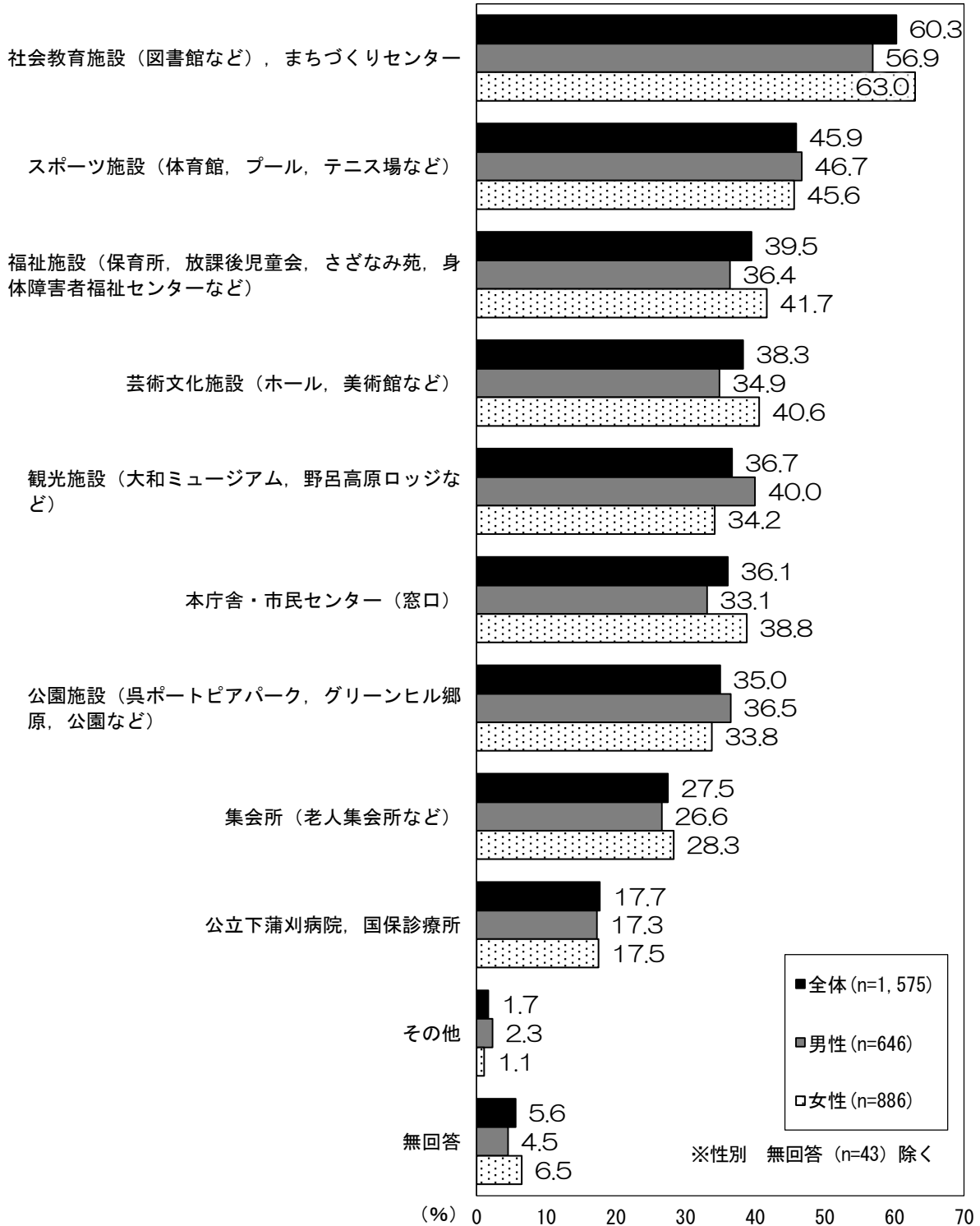


<性別>

性別では、「社会教育施設（図書館など），まちづくりセンター」は，女性（63.0%）が男性（56.9%）より6.1ポイント多くなっている。

「観光施設（大和ミュージアム，野呂高原ロッジなど）」では，男性（40.0%）が女性（34.2%）より5.8ポイント多くなっている。

図表 40-2 重要だと思う公共施設<性別>



<年齢層別>

年齢層別でみると、「社会教育施設（図書館など）、まちづくりセンター」は、20歳代を除く全年齢層で最も多い。一方、20歳代で最も多いのは「福祉施設（保育所、放課後児童会、さざなみ苑、身体障害者福祉センターなど）（46.8%）」となっている。

30歳代は、「社会教育施設（図書館など）、まちづくりセンター（63.6%）」、「スポーツ施設（体育館、プール、テニスコートなど）（61.5%）」、「福祉施設（保育所、放課後児童会、さざなみ苑、身体障害者福祉センターなど）（50.8%）」となっており、年齢層別で30歳代が最も多くなっている。

図表 40-3 重要だと思う公共施設<年齢層別>

	社会教育施設（図書館など）、まちづくりセンター	スポーツ施設（体育館、プール、テニスコートなど）	福祉施設（保育所、放課後児童会、さざなみ苑、身体障害者福祉センターなど）	芸術文化施設（ホール、美術館など）	観光施設（大和ミュージアム、野呂高原ロッジなど）	本庁舎・市民センター（窓口）	公園施設（呉ポートピアパーク、グリーンヒル郷原、公園など）	集会所（老人集会所など）	公立下蒲刈病院、国保診療所	その他	無回答
20歳代 (n=90)	42.6	40.5	46.8	27.2	52.0	26.1	35.5	15.0	19.1	0.0	0.0
30歳代 (n=131)	63.6	61.5	50.8	30.5	47.2	31.7	57.6	18.5	21.2	1.9	0.8
40歳代 (n=184)	62.9	52.3	36.5	37.0	42.0	35.7	49.0	17.7	18.4	1.7	2.3
50歳代 (n=195)	60.5	45.3	48.3	45.1	42.9	44.6	41.6	25.2	19.6	2.5	2.6
60歳以上 (n=936)	61.0	43.4	36.3	39.3	31.3	36.1	27.6	32.3	16.6	1.7	8.0

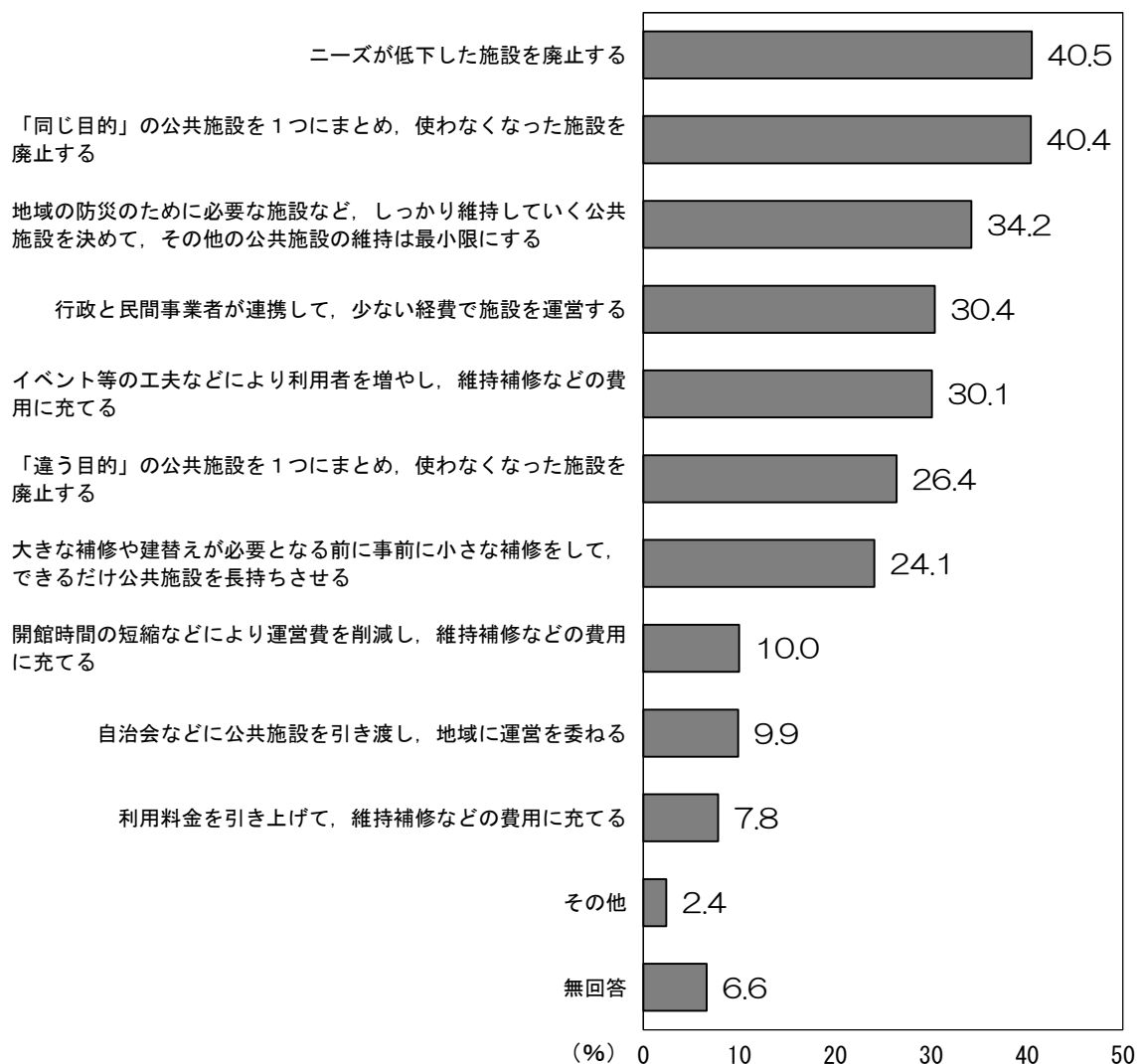
※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問41 今後、呉市の公共施設の老朽化が急速に進み、維持費が増えると思込まれます。一方で、人口減少等の影響により厳しい財政環境が続く、公共施設をこれまでどおり維持していくことが難しくなる恐れもあります。あなたは、呉市の公共施設をどうしたらいいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後の公共施設の維持・管理の考え方は、「ニーズが低下した施設を廃止する(40.5%)」が最も多く、次いで「『同じ目的』の公共施設を1つにまとめ、使わなくなった施設を廃止する(40.4%)」となっており、「廃止」に関する意向が多くなっている。

さらに、「地域の防災のために必要な施設など、しっかり維持していく公共施設を決めて、その他の公共施設の維持は最小限にする(34.2%)」、「行政と民間事業者が連携して、少ない経費で施設を運営する(30.4%)」が続いており、「縮小」に関する意向も多くなっている。

図表 41-1 今後の公共施設の維持・管理の考え方



(13) 空き家対策

◇空き家の増加に対応するために必要な取組

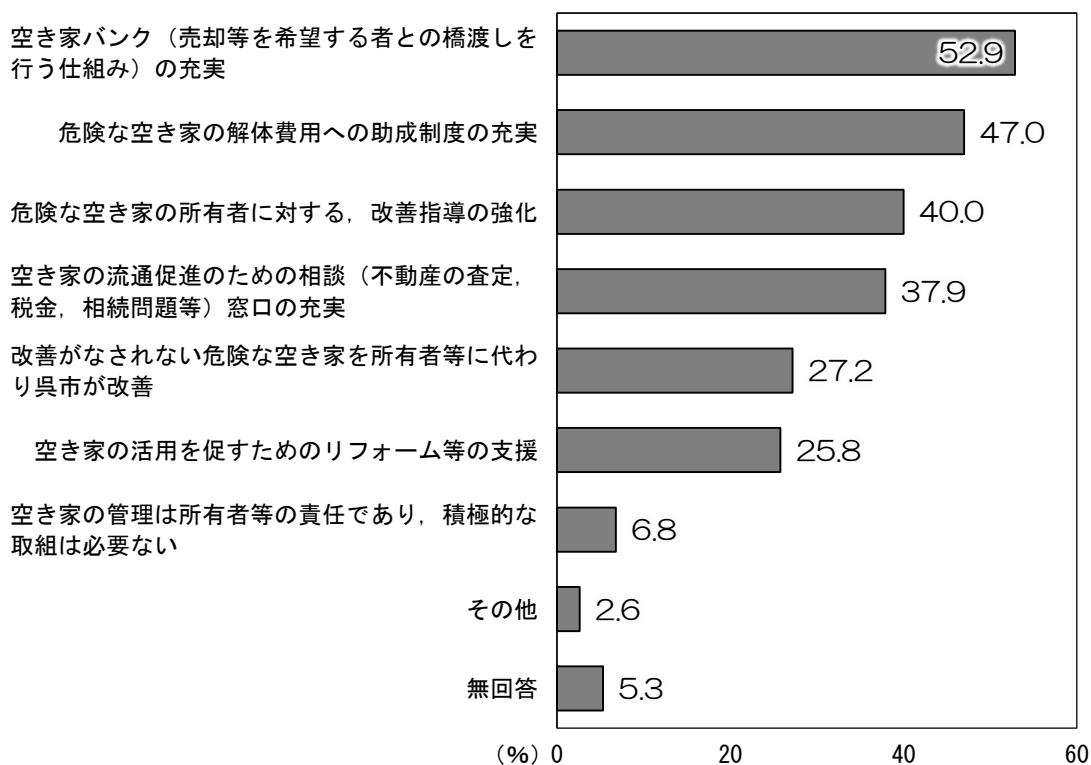
1位	空き家バンク（売却等を希望する者との橋渡しを行う仕組み）の充実	52.9%
2位	危険な空き家の解体費用への助成制度の充実	47.0%

問42 あなたは、空き家の増加に対応するため、どのような取組が必要だと思いますか。
（〇はいくつでも）

空き家の増加に対応するために必要な取組は、「空き家バンク（売却等を希望する者との橋渡しを行う仕組み）の充実（52.9%）」が最も多く、次いで「危険な空き家の解体費用への助成制度の充実（47.0%）」、「危険な空き家の所有者に対する、改善指導の強化（40.0%）」、「空き家の流通促進のための相談（不動産の査定、税金、相続問題等）窓口の充実（37.9%）」の順となっている。

なお、前回調査と比較すると、全体的な傾向に変化はない。

図表 42-1 空き家の増加に対応するために必要な取組



(14) 高次都市機能

◇主要都市にふさわしい施設や設備が充分であると感じている人	⇒ 10.3%
◇今後、整備していくべき都市機能	
1位 JR呉線の機能強化	52.0%
2位 安全で円滑な幹線道路網の整備	49.2%

問43 あなたは、呉市には、広島県の主要都市としてふさわしい施設や設備（高い水準の都市機能）が十分に備わっている、と感じていますか。（○は1つ）

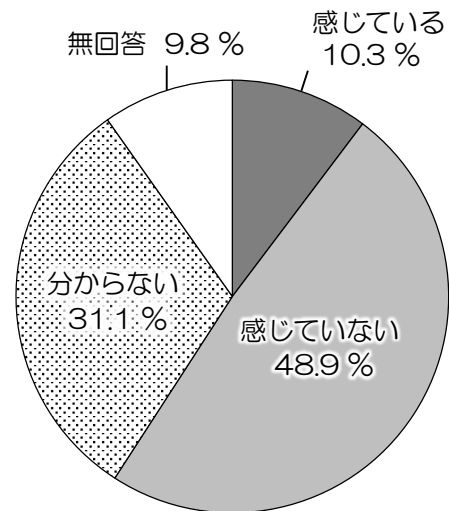
主要都市としてふさわしい施設や設備の充足感は、「感じていない（48.9%）」が「感じている（10.3%）」を38.6ポイント上回っている。

前回調査と比較すると「感じている（前回13.6%）」は3.3ポイント減少し、「感じていない（同45.8%）」が3.1ポイント増加している。

<性別・年齢層別>

性別では、男性で「感じていない」が5割を超えており、年齢層別では20歳代から50歳代で「感じていない」が5割を超えている。

図表 43-1 高次都市機能の充足感



(n=1,575)

図表 43-2 高次都市機能の充足感<性別・年齢層別>

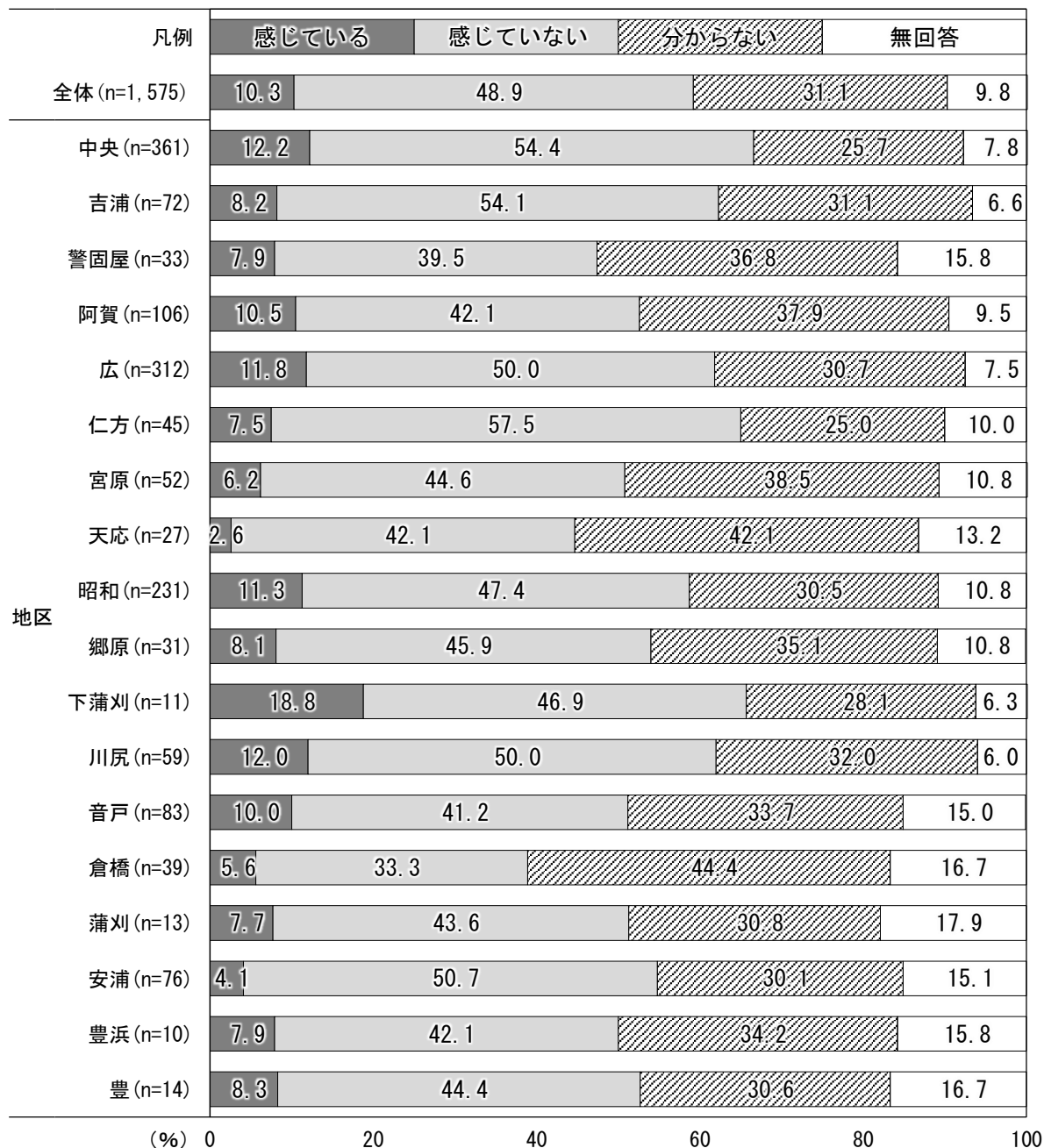
凡例	感じている	感じていない	分からない	無回答
全体 (n=1,575)	10.3	48.9	31.1	9.8
前回調査 (n=2,305)	13.6	45.8	31.5	9.1
性別				
男性 (n=646)	10.9	52.5	27.3	9.3
女性 (n=886)	9.8	45.9	34.2	10.1
無回答 (n=43)	10.0	90.0		
年齢				
20歳代 (n=90)	10.1	56.4	30.6	2.9
30歳代 (n=131)	9.9	62.5	25.9	1.7
40歳代 (n=184)	11.7	56.0	29.6	2.7
50歳代 (n=195)	8.6	61.9	21.0	8.6
60歳以上 (n=936)	10.4	42.1	34.1	13.4

(%) 0 20 40 60 80 100

<地区別>

地区別では、「感じている」は、下蒲刈地区（18.8%）が最も多く、次いで中央地区（12.2%）、川尻地区（12.0%）の順となっているが、いずれも2割未満となっている。一方、「感じていない」は、仁方地区（57.5%）が最も多く、次いで中央地区（54.4%）、吉浦地区（54.1%）、安浦地区（50.7%）の順となっており、5割を超えている。

図表 43-3 高次都市機能の充足感<地区別>

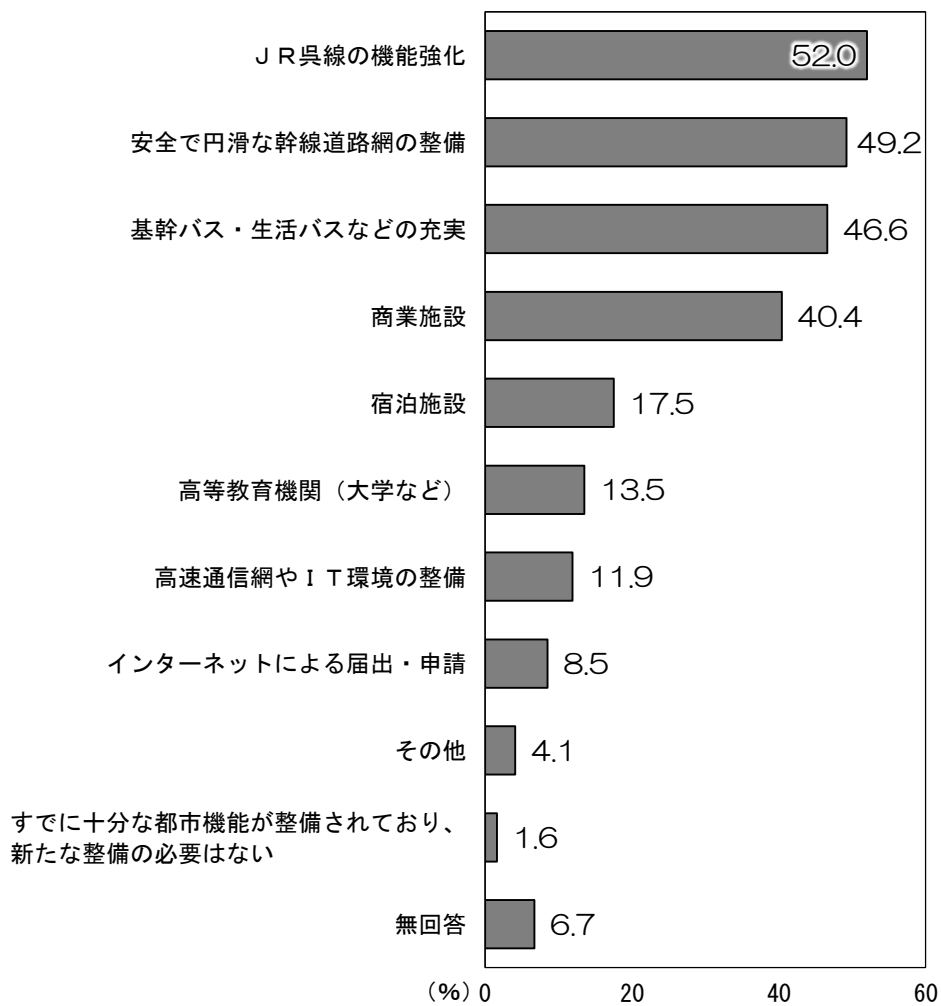


問44 今後、どういった部分に力を入れて、都市機能を整備していくべきであると思いますか。(〇はいくつでも)

今後、整備していくべき都市機能は、「JR呉線の機能強化(52.0%)」が最も多く、次いで「安全で円滑な幹線道路網の整備(49.2%)」、「基幹バス・生活バスなどの充実(46.6%)」、「商業施設(40.4%)」となっている。

なお、前回調査と比較すると、「市の中心部の活性化(前回51.8%)」、「公共交通機関(バス、JR)(同40.1%)」、「高速道路、空港へのアクセス(幹線道路網)(同36.3%)」であることから、「JR呉線の機能強化」と「安全で円滑な幹線道路網の整備」への期待が強くなっている。

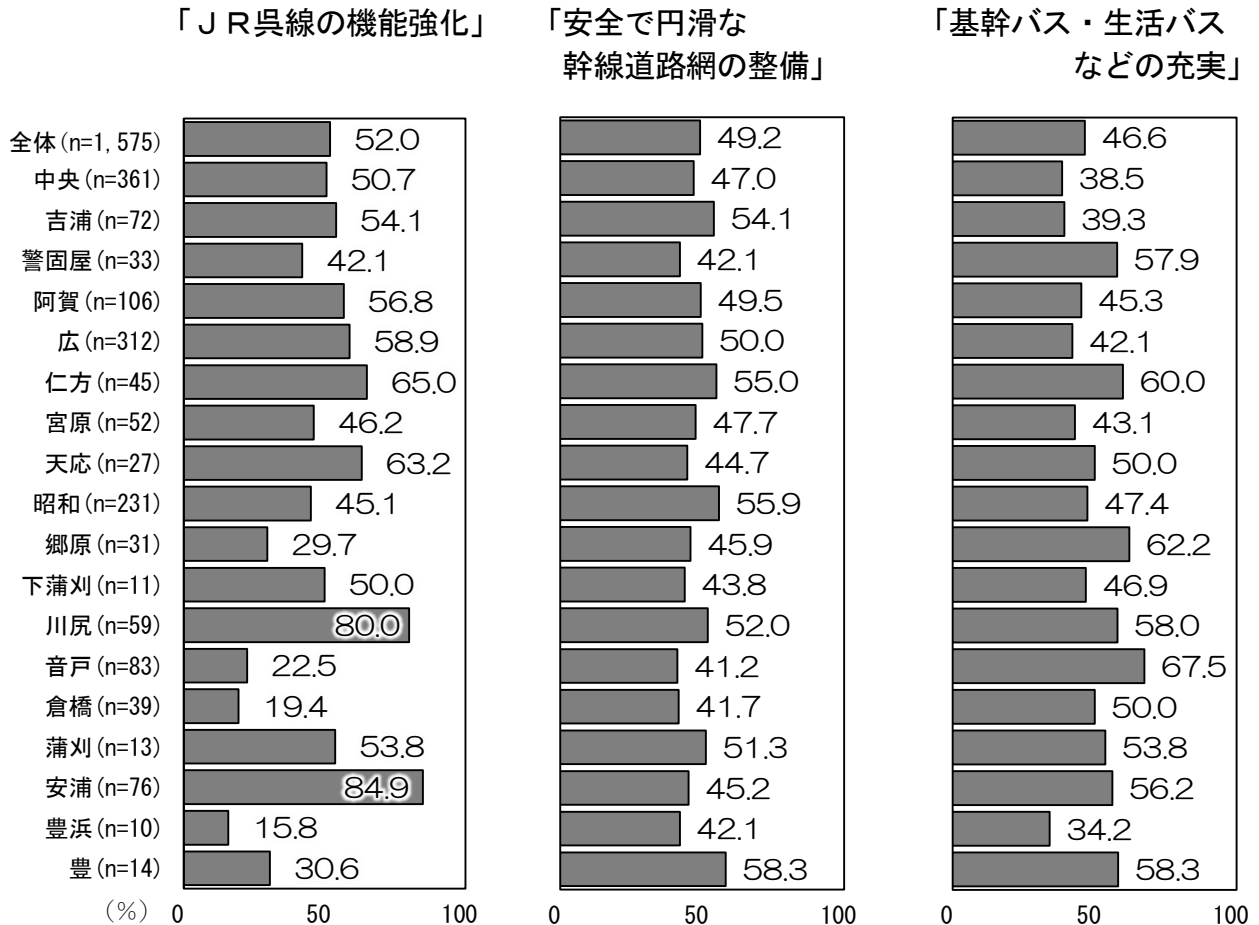
図表 44-1 今後、整備していくべき都市機能



<地区別>

地区別では、「JR呉線の機能強化」は安浦地区（84.9%）、川尻地区（80.0%）で8割を超えているが、豊浜地区（15.8%）、倉橋地区（19.4%）では2割弱と低くなっている。また、「安全で円滑な幹線道路網の整備」は全ての地区が5割前後となっており、大きな差はない。「基幹バス・生活バスなどの充実」は音戸地区（67.5%）、郷原地区（62.2%）で6割を超えており、特に多くなっている。

図表 44-2 今後、整備していくべき都市機能 上位3項目<地区別>



3 呉市の政策全般に対する満足度・重要度

◇満足度は、プラスは	18項目	最大値は『消防・救急』	0.806	
		マイナスは 12項目	最小値は『商業』	-0.299
◇重要度が高い項目				
1位	消防・救急	⇒	1.522	
2位	防災、災害対応	⇒	1.513	

問45 次の表は、呉市が行っている様々な行政サービスの項目を示しています。あなたは、これらの項目について、現在、どれくらい満足していますか。また、今後のまちづくりを進めていく上で、どれくらい重要であると思われますか。あなたのお気持ちに最も近いものを、「満足度」・「重要度」からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

※呉市の政策全般に対する満足度・重要度 分野別質問項目

市民生活分野	
1	市民主体のまちづくり（地域まちづくり委員会・協議会，地域行事（祭り，運動会，町内清掃）など）
2	人権啓発，男女共同参画（人権尊重，男女共同参画に関する講演会など）
3	消防・救急（救急・消防活動など）
4	防災，災害対応（浸水対策，急傾斜地の崩壊対策工事など）
5	消費生活，防犯，交通安全（消費生活センター，防犯活動，交通安全運動など）
6	国際交流・多文化共生（国際交流センターなど）
7	広報（市政だより，市ホームページ，テレビ・ラジオ広報など）
福祉保健分野	
8	健康づくり（ウォーキング大会，健診の受診促進，食育など）
9	子育て支援（保育所，子育て支援センター，ファミリーサポートセンターなど）
10	高齢者支援（介護予防事業，生きがい活動，いきいきバス（高齢者バス運賃助成）の交付など）
11	障がい者支援（障がい者の社会参加・自立の支援，交通費の助成など）
12	社会保障（生活保護，国民健康保険，介護保険など）
教育分野	
13	学校教育（小学校，中学校，呉高等学校の施設整備，小中一貫教育など）
14	青少年育成（講座の開催，青少年の非行防止啓発活動など）
15	文化活動（ホール，美術館，博物館の管理・運営，イベントの実施など）
16	スポーツ・レクリエーション（スポーツ施設の整備，スポーツイベントの実施など）
自然環境分野	
17	森林・川の保全，公害防止（河川の浄化活動，騒音や水質・大気の汚染濃度の測定など）
18	ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策（ごみ処理，資源物回収，家庭用燃料電池（エネファーム）設置補助など）
産業分野	
19	企業誘致，新技術の研究開発（企業誘致・留置，新技術・新商品の開発支援など）
20	農業，漁業（遊休農地対策，新規参入者や後継者の育成，特産品のブランド化など）
21	観光（インバウンド・観光客誘致，観光案内・PR，イベント開催など）
22	雇用対策（就労支援，雇用環境の整備など）
23	商業（商店街の活性化，小売業，流通業，起業・創業支援への支援など）
都市基盤分野	
24	都市機能のレベルアップ（幹線道路網の整備，高速通信網やIT環境の整備など）
25	インフラ整備（日常生活基盤）（上下水道，身近な生活道路，公園の維持管理など）
26	住宅，宅地（居住環境の整備，区画整理による宅地開発，空き家対策など）
27	交通体系（交通渋滞の緩和，バスなど公共交通機関の運行など）
28	港湾（高潮対策，呉港へのクルーズ誘致など）
都市経営分野	
29	行財政改革（財政の健全化）
30	職員の資質向上（職員の意識改革，能力開発など）

呉市が行っている行政サービスの満足度と重要度について、『市民生活分野』『福祉保健分野』『教育分野』『自然環境分野』『産業分野』『都市基盤分野』『都市経営分野』の7分野30項目に対し、下記のとおり評価点を算出した。

※「満足」2点, 「やや満足」1点, 「どちらともいえない」0点, 「やや不満」-1点, 「不満」-2点
 ※「重要」2点, 「やや重要」1点, 「どちらともいえない」0点, 「あまり重要でない」-1点, 「重要でない」-2点

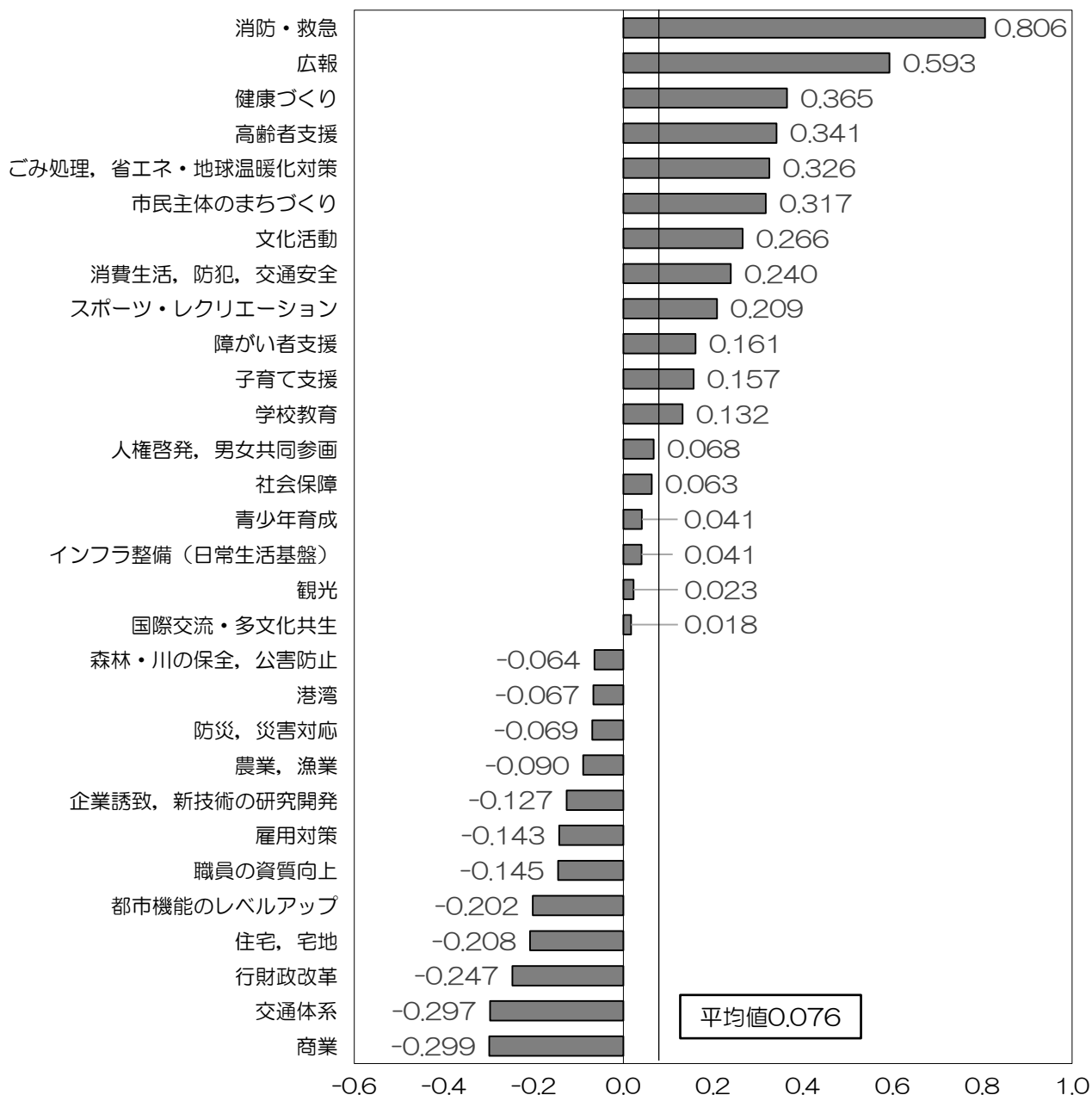
行政サービスの満足度＜全体＞

全項目の満足度の平均値は、0.076となった。

満足度の評価が高い項目は、「消防・救急（0.806）」が最も高く、次いで「広報（0.593）」、「健康づくり（0.365）」の順となっている。

また、満足度の評価が低い項目は、「商業（-0.299）」が最も低く、次いで「交通体系（-0.297）」、「行財政改革（-0.247）」の順となっている。

図表 45-1 行政サービスの満足度＜全体＞



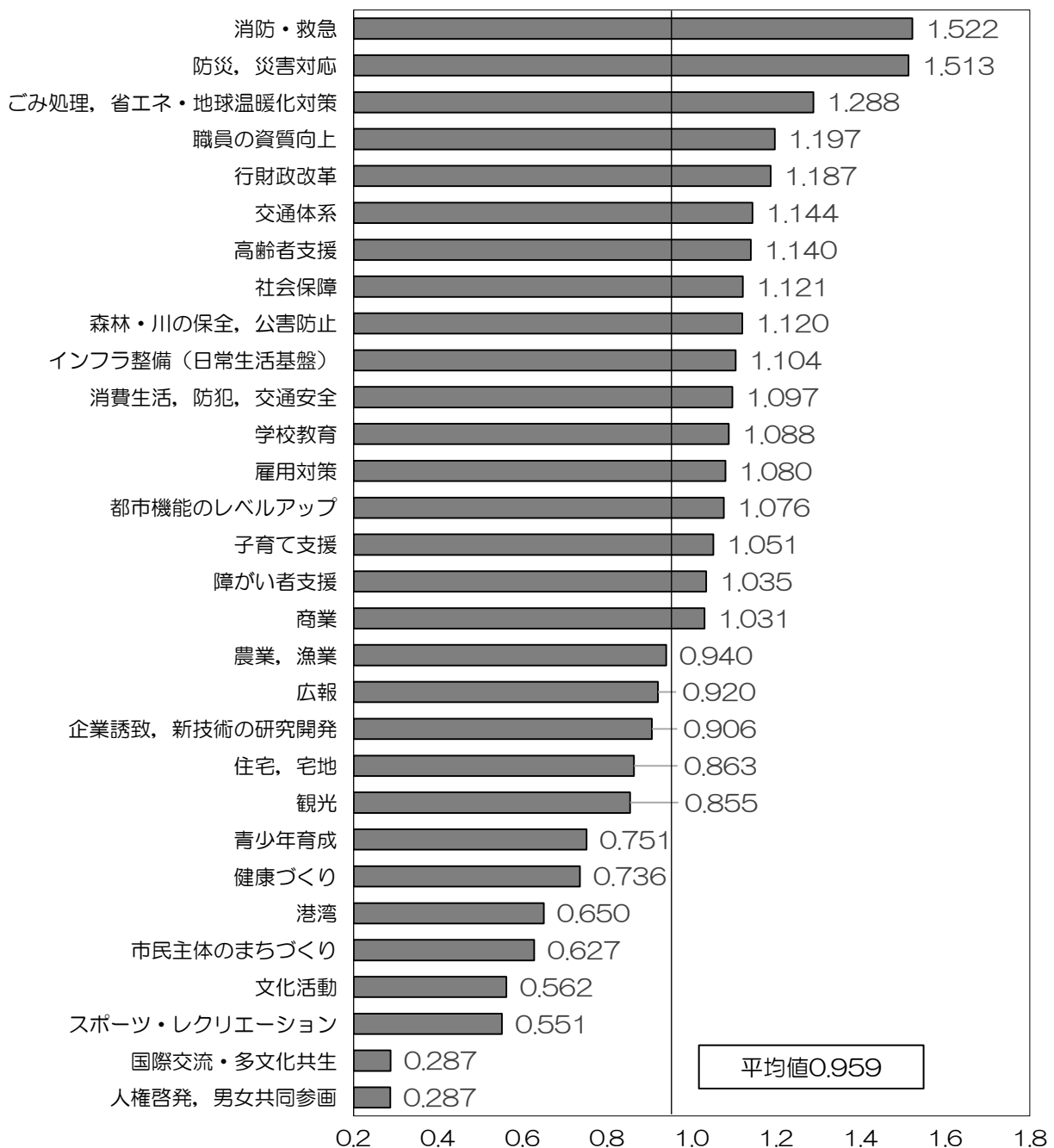
行政サービスの重要度＜全体＞

全項目の重要度の平均値は、0.959となった。

重要度の評価が高い項目は、「消防・救急（1.522）」が最も高く、次いで「防災，災害対応（1.513）」，「ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策（1.288）」の順となっている。

また，重要度の評価が低い項目は，「人権啓発，男女共同参画（0.287）」と「国際交流・多文化共生（0.287）」が最も低く，次いで「スポーツ・レクリエーション（0.551）」の順となっている。

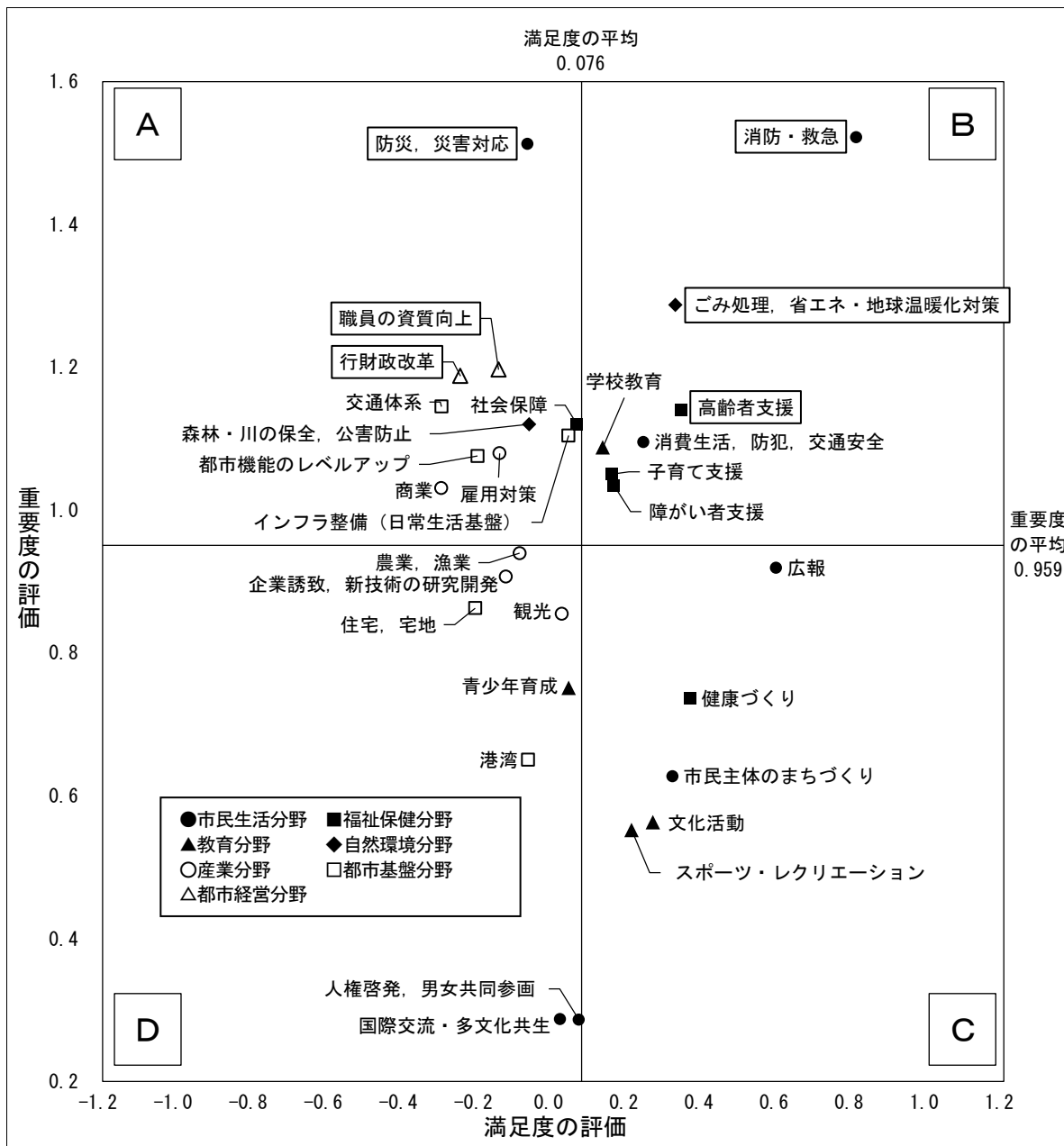
図表 45-2 行政サービスの重要度＜全体＞



図表 45-3 行政サービスの満足度と重要度の相関図<全体>

全体では、**A**（満足度が低く、重要度が高い）に該当する項目は、「防災，災害対応」，「職員の資質向上」，「行財政改革」等となっている。

また、**B**（満足度が高く、重要度が高い）に該当する項目は、「消防・救急」，「ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策」，「高齢者支援」となっている。

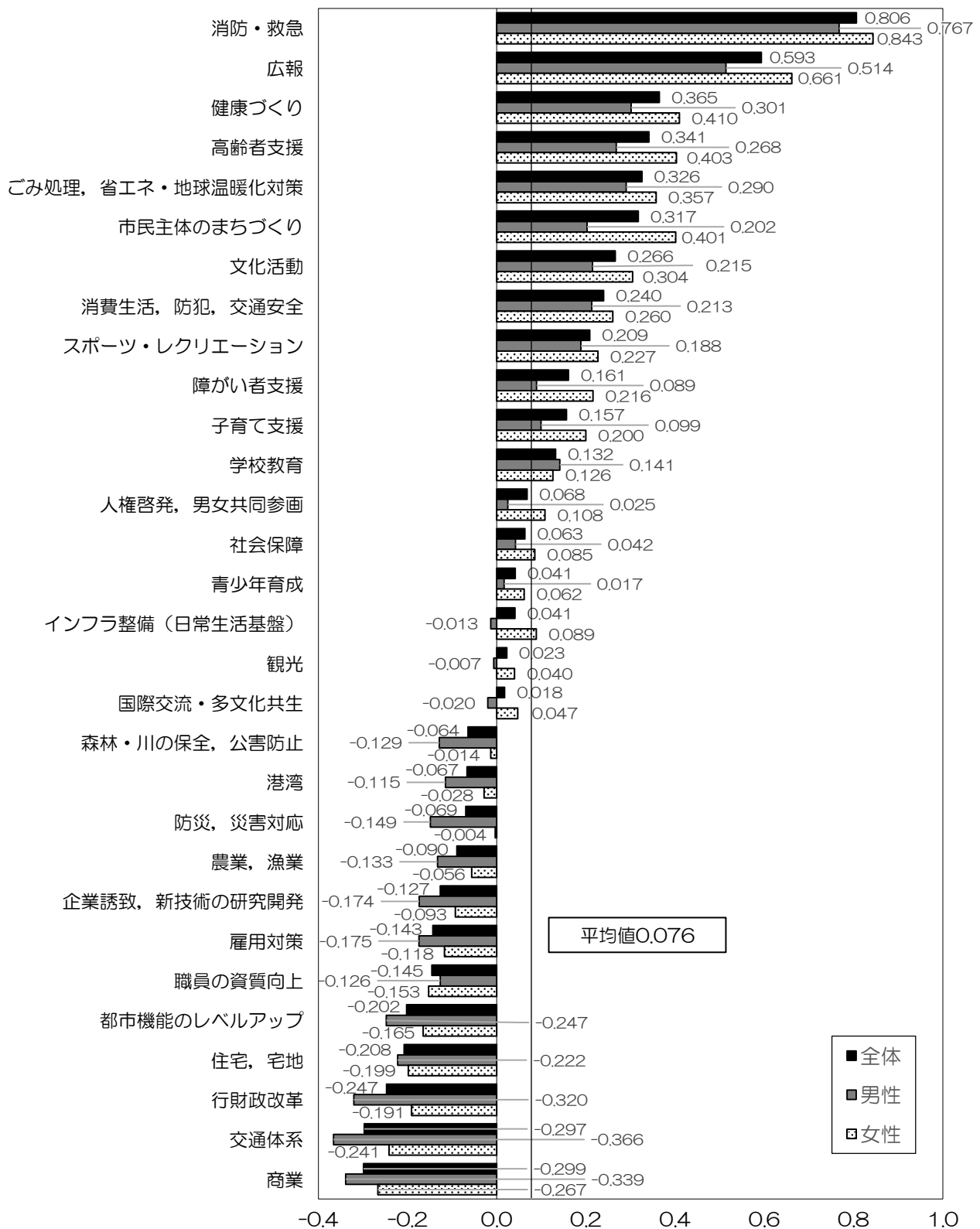


行政サービスの満足度＜性別＞

性別では、男女ともに「消防・救急」、「広報」、「健康づくり」の順で満足度の評価が高くなっている。

また、男性は、「交通体系」、「商業」、「行財政改革」の順で満足度の評価が低く、女性は、「商業」、「交通体系」、「住宅、宅地」の順で満足度の評価が低くなっている。

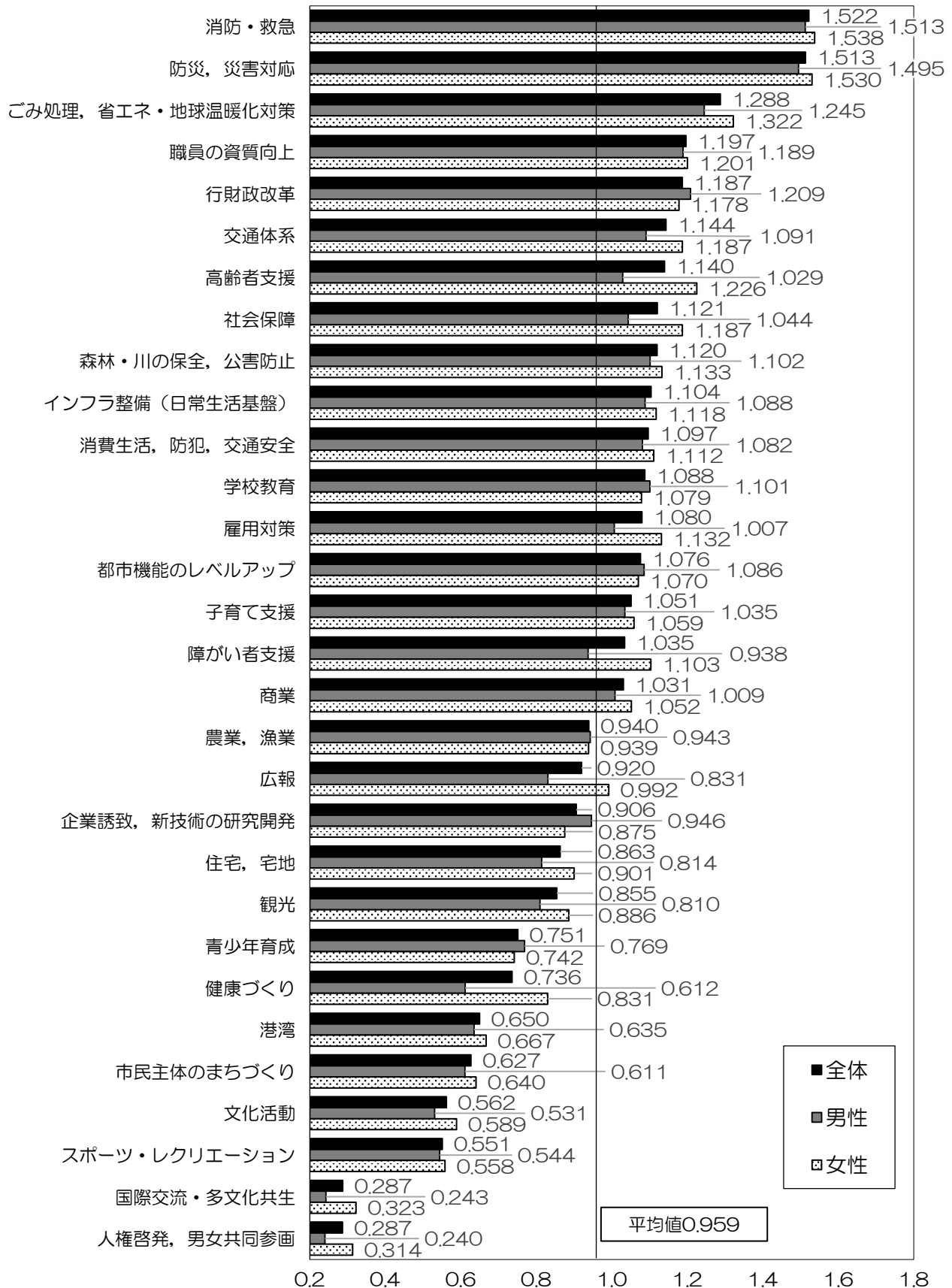
図表 45-4 行政サービスの満足度＜性別＞



行政サービスの重要度＜性別＞

性別では、男女ともに、「消防・救急」、「防災、災害対応」、「ごみ処理、省エネ地球温暖化対策」の順で重要度の評価が高くなっている。

図表 45-5 行政サービスの重要度＜性別＞



行政サービスの満足度＜年齢層別＞

年齢層別での満足度の評価が高い項目は、20歳代、30歳代、50歳代では「消防・救急」，「広報」，「市民主体のまちづくり」，40歳代では，「消防・救急」，「広報」，「健康づくり」，60歳以上では，「消防・救急」，「広報」，「高齢者支援」の順となっている。

また，いずれの年齢層も「商業」，「交通体系」，「行財政改革」の満足度の評価が低くなっている。

図表 45-6 行政サービスの満足度＜年齢層別＞

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
消防・救急	0.719	0.646	0.872	0.597	0.874
広報	0.544	0.389	0.546	0.385	0.690
健康づくり	0.209	0.240	0.422	0.161	0.442
高齢者支援	0.167	0.117	0.139	0.088	0.491
ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策	0.124	0.123	0.364	0.094	0.423
市民主体のまちづくり	0.227	0.315	0.312	0.211	0.353
文化活動	0.222	0.140	0.305	0.179	0.304
消費生活，防犯，交通安全	0.189	0.234	0.225	0.133	0.273
スポーツ・レクリエーション	0.156	0.116	0.219	0.141	0.242
障がい者支援	0.098	0.116	0.166	0.036	0.204
子育て支援	0.056	0.118	0.294	0.058	0.162
学校教育	0.111	-0.053	0.070	-0.016	0.208
人権啓発，男女共同参画	0.011	0.061	0.059	0.000	0.097
社会保障	0.033	-0.015	0.022	-0.171	0.145
青少年育成	-0.034	0.038	0.037	-0.032	0.069
インフラ整備（日常生活基盤）	-0.067	-0.154	0.054	-0.162	0.122
観光	0.056	-0.038	0.049	-0.047	0.036
国際交流・多文化共生	0.011	0.069	0.048	-0.062	0.021
森林・川の保全，公害防止	-0.056	-0.069	0.097	-0.131	-0.087
港湾	-0.121	-0.085	-0.011	-0.153	-0.053
防災，災害対応	-0.022	-0.077	-0.059	-0.169	-0.059
農業，漁業	0.057	-0.070	-0.082	-0.188	-0.093
企業誘致，新技術の研究開発	-0.101	-0.146	-0.151	-0.349	-0.068
雇用対策	-0.100	-0.285	-0.065	-0.330	-0.099
職員の資質向上	-0.172	-0.192	-0.126	-0.347	-0.090
都市機能のレベルアップ	-0.371	-0.354	-0.253	-0.429	-0.100
住宅，宅地	-0.256	-0.408	-0.146	-0.326	-0.162
行財政改革	-0.375	-0.366	-0.281	-0.454	-0.162
交通体系	-0.562	-0.531	-0.330	-0.571	-0.167
商業	-0.295	-0.473	-0.350	-0.455	-0.228

行政サービスの重要度＜年齢層別＞

年齢層別での重要度の評価が高い項目は、20歳代、30歳代は、「防災、災害対応」、
「消防・救急」、
「子育て支援」、40歳代、50歳代は、「防災、災害対応」、
「消防・救急」、
「ごみ処理、省エネ・地球温暖化対策」、60歳以上は、「消防・救急」、
「防災、災害対応」、
「ごみ処理、省エネ・地球温暖化対策」の順となっている。

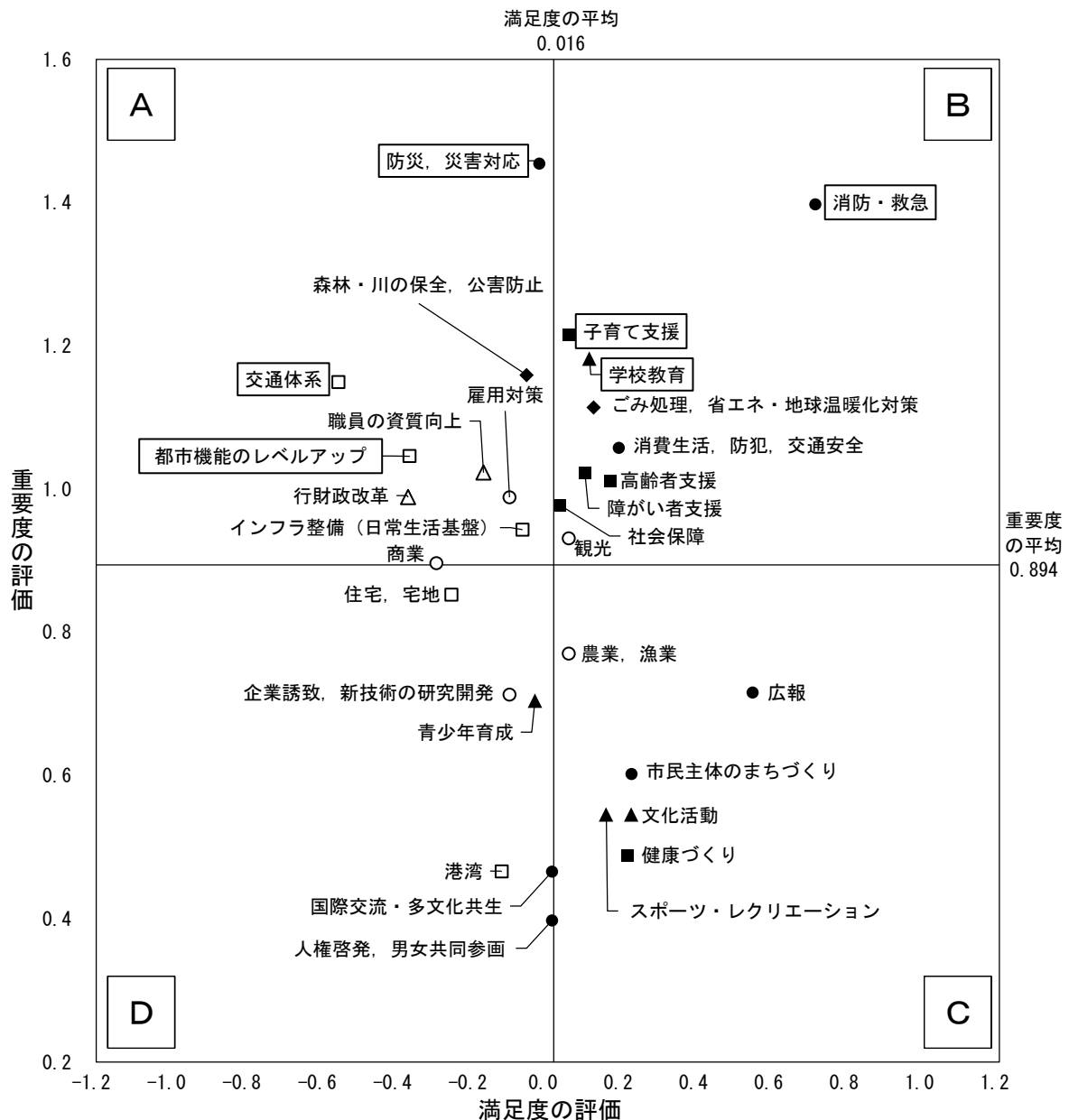
図表 45-7 行政サービスの重要度＜年齢層別＞

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
消防・救急	1.414	1.456	1.596	1.497	1.542
防災、災害対応	1.455	1.640	1.669	1.574	1.460
ごみ処理、省エネ・地球温暖化対策	1.126	1.169	1.282	1.312	1.324
職員の資質向上	1.035	1.064	1.080	1.276	1.243
行財政改革	1.000	1.032	1.176	1.198	1.237
交通体系	1.149	1.230	1.102	1.217	1.125
高齢者支援	1.035	0.865	1.101	1.193	1.202
社会保障	0.989	1.072	1.118	1.122	1.143
森林・川の保全、公害防止	1.159	1.087	1.073	1.170	1.121
インフラ整備（日常生活基盤）	0.954	1.103	1.085	1.238	1.098
消費生活、防犯、交通安全	1.070	1.177	1.140	1.096	1.084
学校教育	1.195	1.198	1.249	1.182	1.001
雇用対策	1.000	1.238	1.136	1.214	1.017
都市機能のレベルアップ	1.046	1.040	1.114	1.251	1.035
子育て支援	1.230	1.354	1.174	1.016	0.965
障がい者支援	1.034	0.891	1.107	1.048	1.043
商業	0.897	1.097	1.063	1.133	1.001
農業、漁業	0.770	0.984	1.017	0.930	0.942
広報	0.733	0.600	0.944	0.799	1.012
企業誘致、新技術の研究開発	0.713	0.888	0.891	0.962	0.924
住宅、宅地	0.852	0.927	0.857	0.900	0.842
観光	0.931	0.904	0.966	0.898	0.805
青少年育成	0.713	0.616	0.616	0.575	0.857
健康づくり	0.494	0.614	0.655	0.651	0.827
港湾	0.477	0.460	0.634	0.618	0.712
市民主体のまちづくり	0.609	0.645	0.661	0.626	0.622
文化活動	0.558	0.437	0.565	0.457	0.614
スポーツ・レクリエーション	0.558	0.512	0.629	0.481	0.557
国際交流・多文化共生	0.471	0.168	0.298	0.266	0.290
人権啓発、男女共同参画	0.402	0.242	0.339	0.271	0.272

行政サービスの満足度と重要度の相関図<20歳代>

年齢層別で満足度と重要度の相関をみると、20歳代では、**A**（満足度が低く、重要度が高い）に該当する項目は、「防災、災害対応」、「交通体系」、「都市機能のレベルアップ」等となっている。また、**B**（満足度が高く、重要度が高い）に該当する項目は、「消防・救急」、「子育て支援」、「学校教育」等となっている。

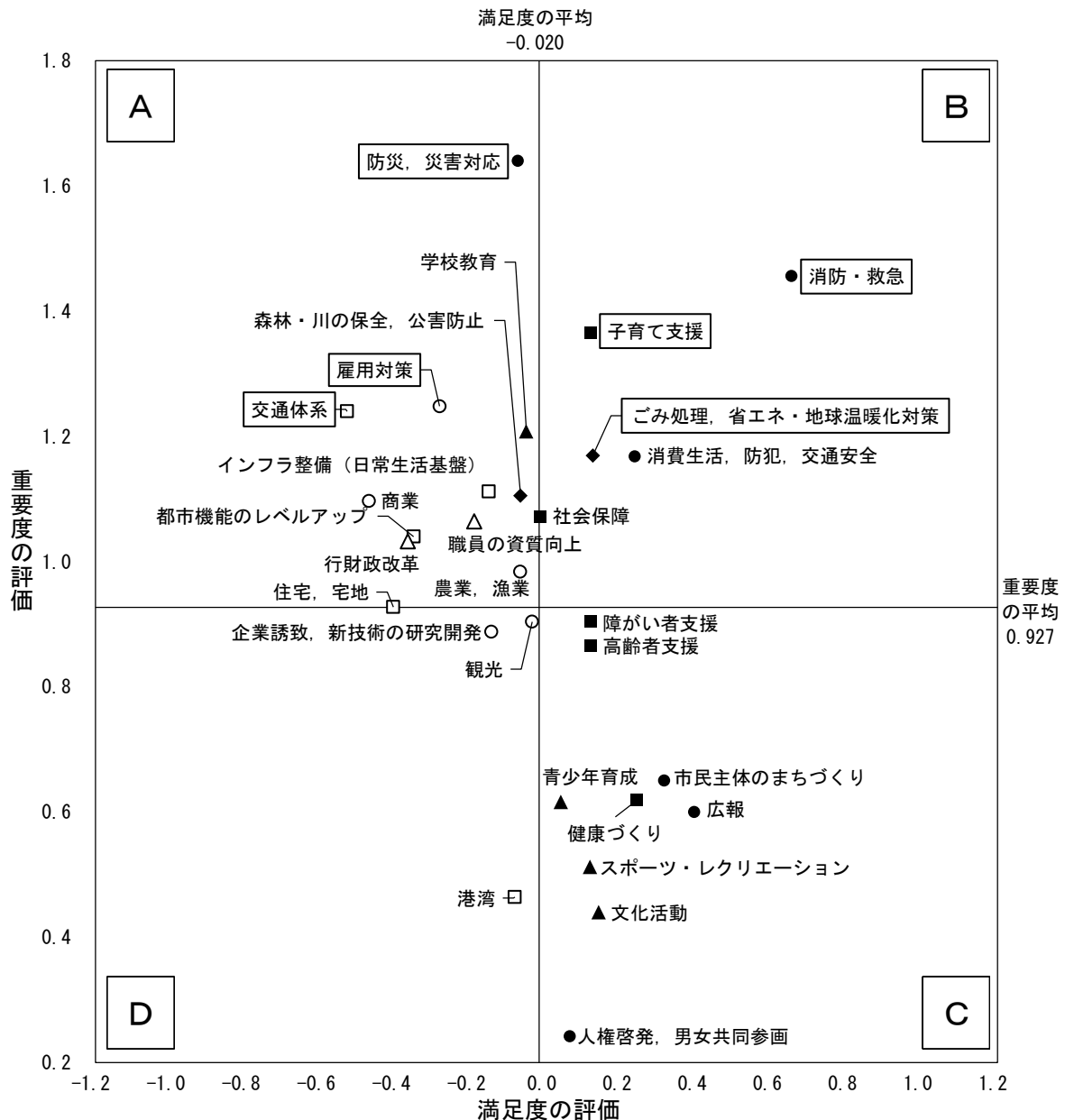
図表 45-8 行政サービスの満足度と重要度の相関図<20歳代>



行政サービスの満足度と重要度の相関図<30歳代>

30歳代では、**A**（満足度が低く、重要度が高い）に該当する項目は、「防災，災害対応」，「交通体系」，「雇用対策」等となっている。また、**B**（満足度が高く、重要度が高い）に該当する項目は、「消防・救急」，「子育て支援」，「ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策」，「消費生活，防犯，交通安全」となっている。

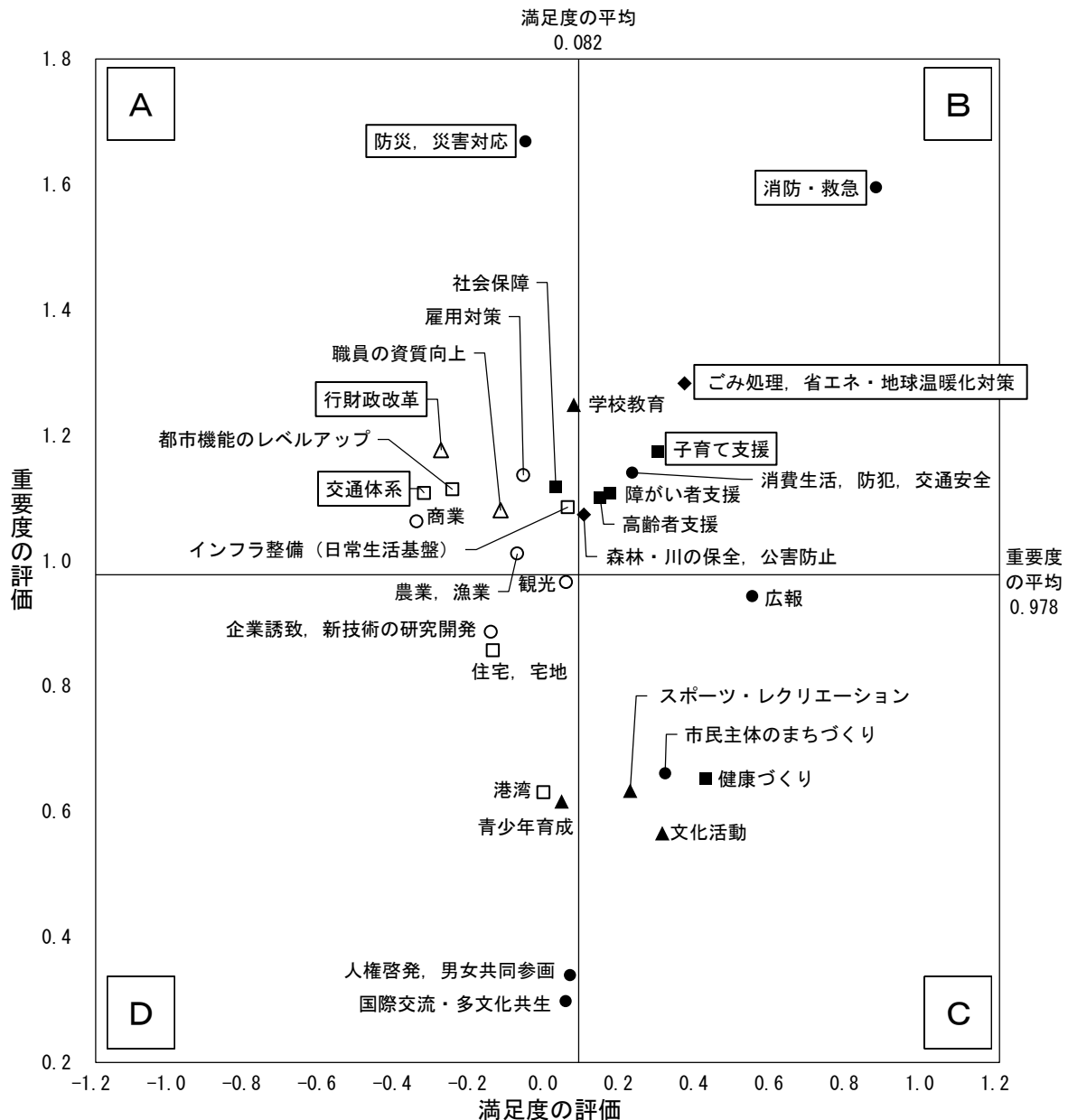
図表 45-9 行政サービスの満足度と重要度の相関図<30歳代>



行政サービスの満足度と重要度の相関図<40歳代>

40歳代では、**A**（満足度が低く、重要度が高い）に該当する項目は、「防災、災害対応」，「行財政改革」，「交通体系」等となっている。また、**B**（満足度が高く、重要度が高い）に該当する項目は、「消防・救急」，「ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策」，「子育て支援」等となっている。

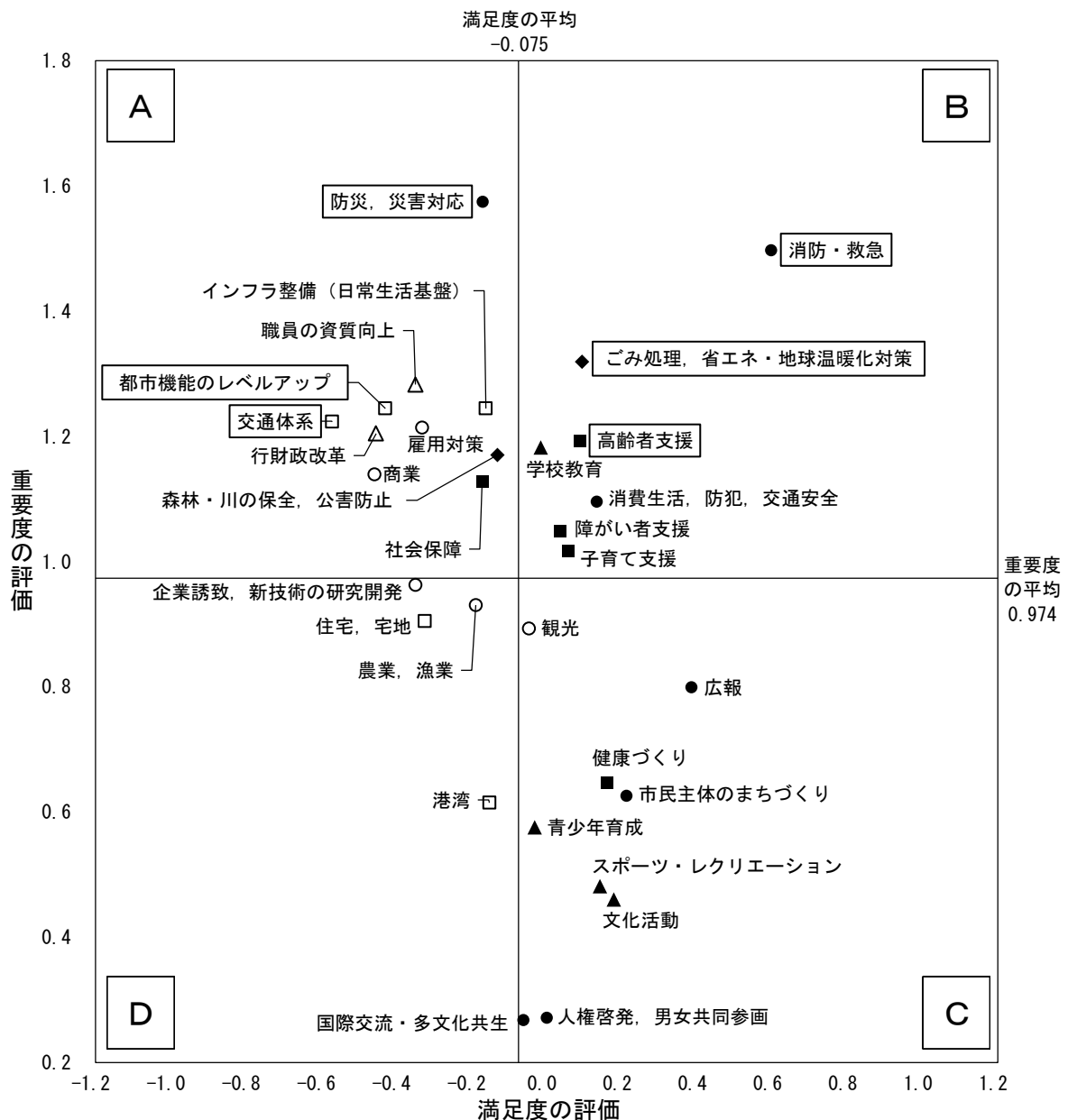
図表 45-10 行政サービスの満足度と重要度の相関図<40歳代>



行政サービスの満足度と重要度の相関図<50歳代>

50歳代では、**A**（満足度が低く、重要度が高い）に該当する項目は、「防災、災害対応」、「交通体系」、「都市機能のレベルアップ」等となっている。また、**B**（満足度が低く、重要度が低い）に該当する項目は、「消防・救急」、「ごみ処理、省エネ・地球温暖化対策」、「高齢者支援」等となっている。

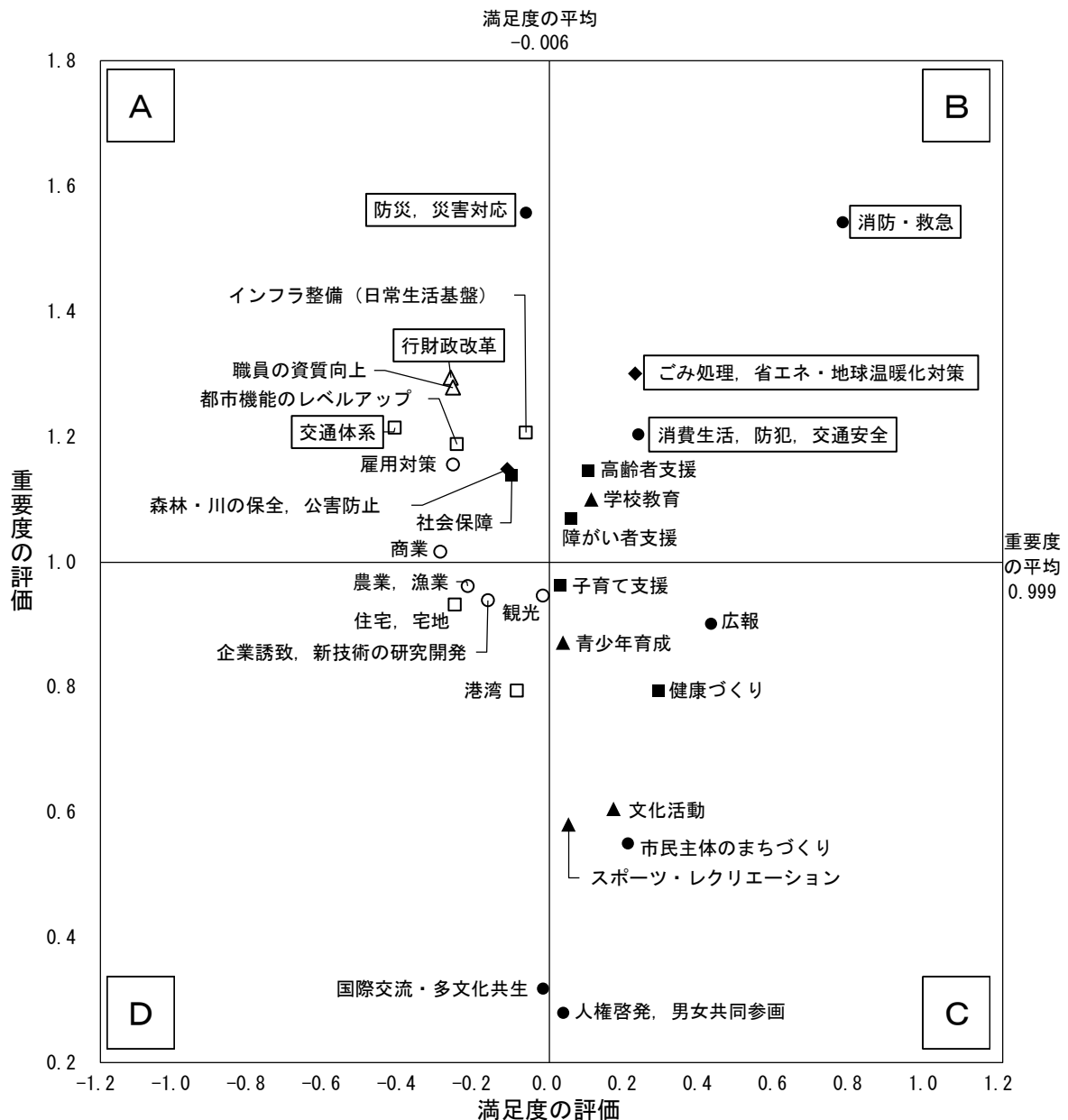
図表 45-11 行政サービスの満足度と重要度の相関図<50歳代>



行政サービスの満足度と重要度の相関図<60～64 歳>

60～64 歳では，**A**（満足度が低く，重要度が高い）に該当する項目は，「防災，災害対応」，「交通体系」，「行財政改革」等となっている。また，**B**（満足度が高く，重要度が高い）に該当する項目は，「消防・救急」，「ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策」，「消費生活，防犯，交通安全」等となっている。

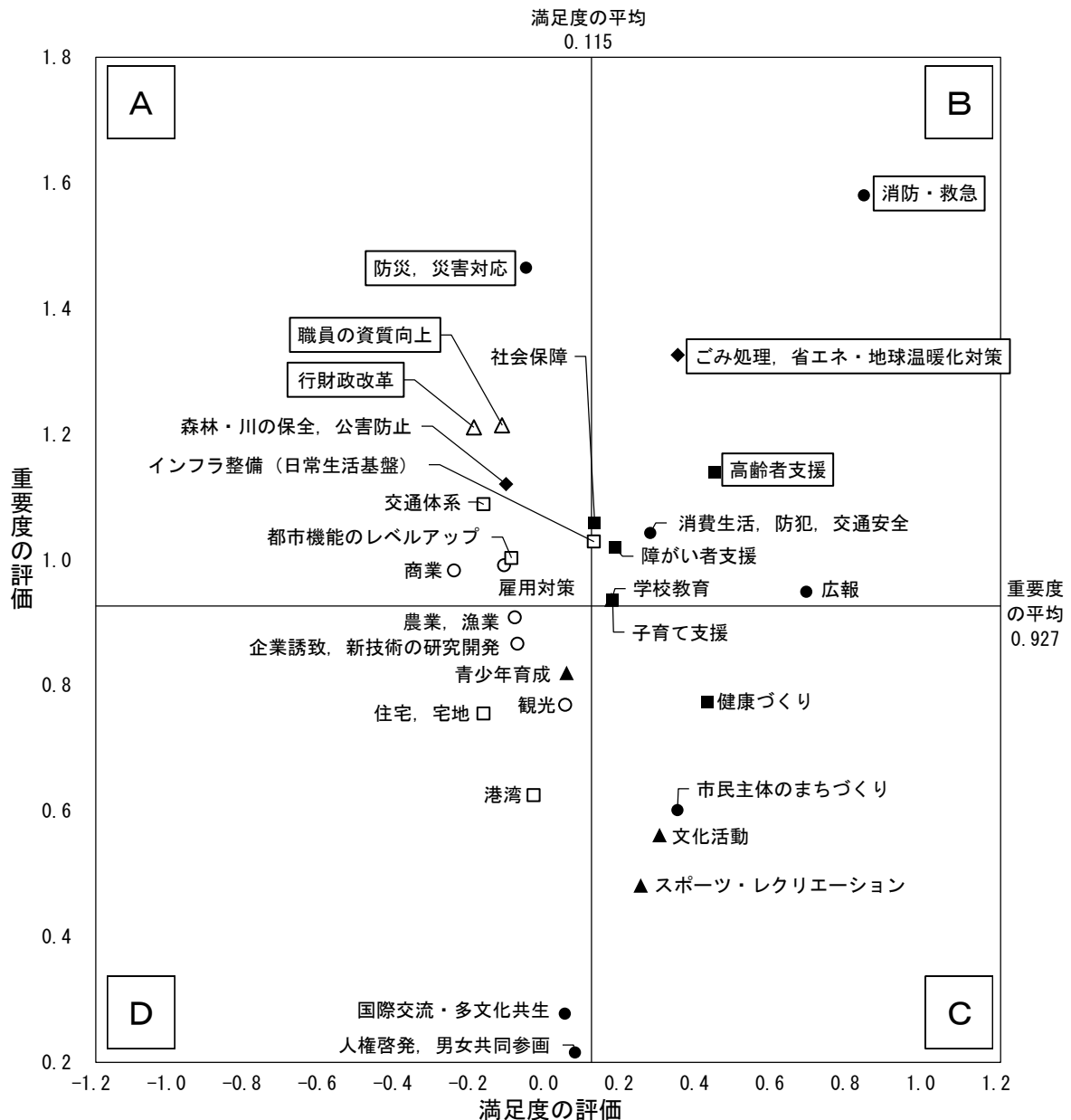
図表 45-12 行政サービスの満足度と重要度の相関図<60～64 歳>



行政サービスの満足度と重要度の相関図<65～74 歳>

65歳～74歳では、**A**（満足度が低く、重要度が高い）に該当する項目は、「防災、災害対応」、「行財政改革」、「職員の資質向上」等となっている。また、**B**（満足度が高く、重要度が高い）に該当する項目は、「消防・救急」、「ゴミ処理、省エネ・地球温暖化対策」、「高齢者支援」等となっている。

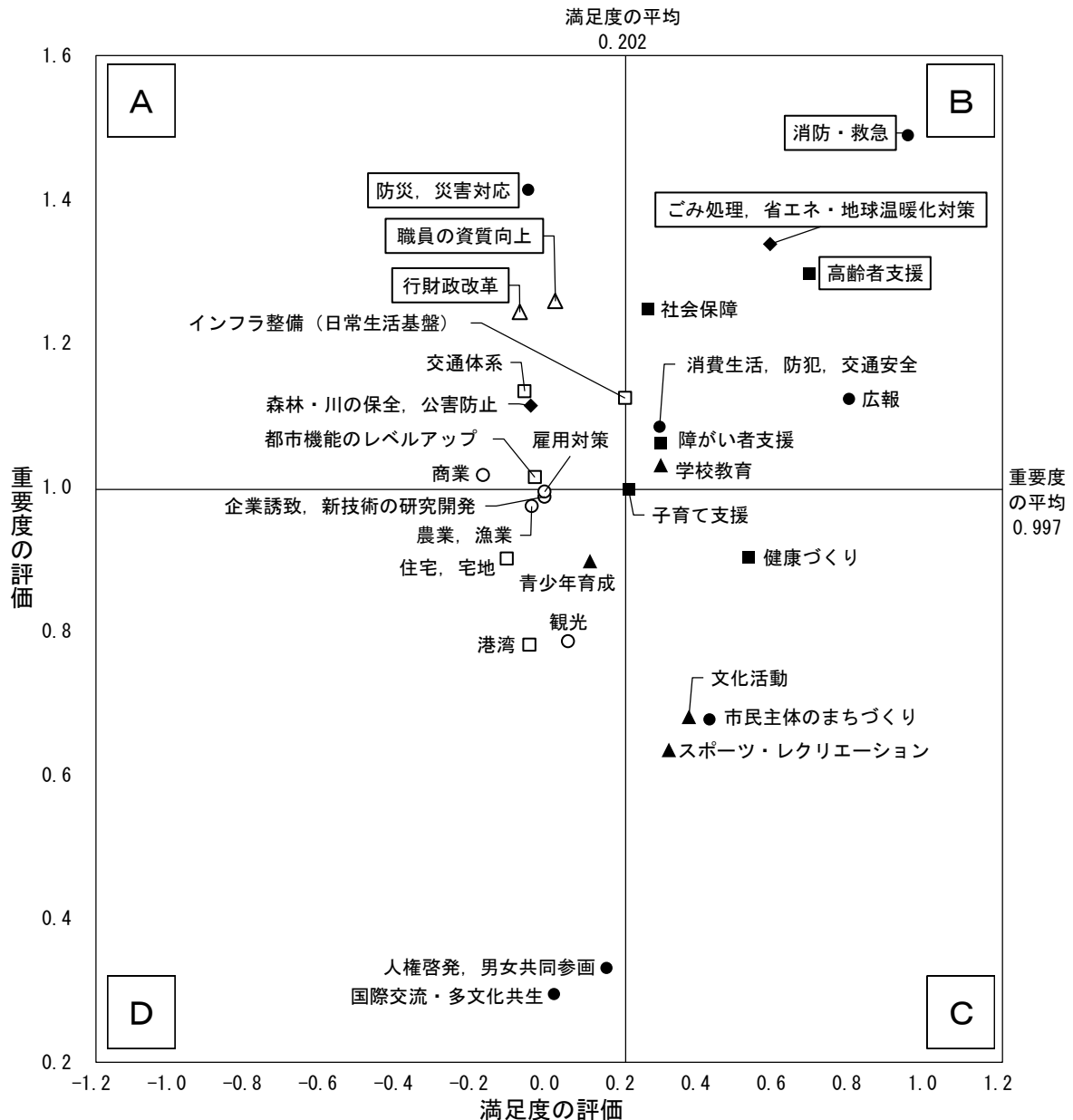
図表 45-13 行政サービスの満足度と重要度の相関図<65～74 歳>



行政サービスの満足度と重要度の相関図<75歳以上>

75歳以上では、**A**（満足度が低く、重要度が高い）に該当する項目は、「防災、災害対応」、「行財政改革」、「職員の資質向上」等となっている。また、**B**（満足度が高く、重要度が高い）に該当する項目は、「消防・救急」、「ごみ処理、省エネ・地球温暖化対策」、「高齢者支援」等となっている。

図表 45-14 行政サービスの満足度と重要度の相関図<75歳以上>



問46 今後、呉市がより住みよいまちになるためには、どんなことをしたらよいと思いますか。あなたのご意見をお聞かせください。

有効回収数1,577票のうち、660人（41.9%）から意見をいただいた。
 以下は、主要な意見を地区別に掲載したものである。
 なお、いただいた意見は、今後の市政運営の参考とする。

1 中央地区

主な意見・要望	性別	年齢
子育て支援をするべきだと思う。産みたくても後のことが心配だから産まない選択をする女性もいる。子育て支援にお金を投資すべきだと思う。妊婦支援は特にしてほしい。	女性	20 歳代
呉の経済安定のためには、企業誘致が最優先だと思う。観光も大事だと思うが、企業が増えれば雇用も増え人口減少対策になり、税収も増えるはずだ。ほかを見ても企業誘致に成功している地域は市も住民も潤っていて、とても住みやすい印象を受ける。呉駅前そごう跡地もそうだが、空いている土地は最大限利用して、少しでも企業や店が増えるような努力をしていただきたい。	男性	30 歳代
できればデパートがもっとほしい。そして、子供が外で安全に遊べる治安強化も重要だと思う。そのためには大きな公園やそのまわりに大人の目（住宅地）がしっかりある街が必要になるのではないかと思う。	女性	30 歳代
近年の人口減少により公共交通機関が維持できなくなり、不便になる地域が増えていると感じる。公共交通機関が減ると病院へ行くことも、買い物へ行くこともできなくなる人が増え、不便な地域となっていく。不便な地域を増やさないためにも公共交通機関を充実させるべきであると考えている。	女性	30 歳代
呉市内のイベントのサイトがないため、それぞれのイベントと提携して呉市内のイベントのサイトを作してほしい。更新も頻繁にしてほしい。	無回答	30 歳代
そごう跡地の早期の利用や大和ミュージアム付近に呉らしい飲食店をつくってもらいたい。	男性	40 歳代
スーパーマーケット、コンビニエンスストア等買い物をするための商業施設が総体的に少なく感じる。誘致等で商業施設の「空白地域」の解消が必要であると考えている。地球温暖化の影響で、昨年の豪雨のような異常気象が今後も発生する可能性が高いと思われる。山や河川に対する防災や電気、水道等の点検は勿論のこと、市民参加型の防災訓練も必要だと思う。	男性	40 歳代
豪雨災害で全国的に「陸の孤島」のイメージがついてしまっている。災害時の「海路」の安定確保をアピールしなければ、新規定住者は多くはのぞめないのではないか。	男性	40 歳代
自治会との関わりが薄く不安を感じる。もっと地域の人たちや子どもたちと交流できる機会があれば、参加してみたいと思う。	女性	40 歳代
高齢化が進んでいく中で、健康寿命を伸ばす取り組みが必要であると感じる。人間ドックや検診を若いうちから受けることで未病、予防、健康意識の向上に繋がると思うが、仕事や家事、育児、介護と毎日忙しくて経済的負担などを考えると、気軽に受診できない生活環境にある。これらを克服した仕組みがあるとよい。「いつでも、簡単に、受けたい検査が安く受けられる」、若いうちから自分の健康状態を知り、早期発見、早期治療につながれば、医療費の削減や介護人口の削減、いつまでも健康で働ける社会に変化していけると思う。	女性	40 歳代
今にも崩れて落ちそうな空き家たくさんある。何とか対策を取ってもらいたい。ケガをしてからでは遅い。	女性	40 歳代

主な意見・要望	性別	年齢
若い人材が広島や他県へ働きに行かなくても、呉の会社に就職できるようにしなければ人口減少は避けられない。雇用を拡大し、若い人が住みやすい市政を望む。	男性	50歳代
クレアラインの無料化、商業施設の招致、旧そごう跡地の早期新施設化、宿泊施設（ビジネスホテル等）の拡充をしてほしい。	女性	50歳代
いつも耳にするのは宿泊施設が足りないため、呉でゆっくり出来ないということである。	女性	50歳代
地域のつながりが希薄になっている。公民館での活動などを充実させてほしい。	男性	60～64歳
駅前（そごう跡地）を活用し、人が集まれる店を充実させてほしい。	女性	60～64歳
呉市の玄関である呉駅周辺の整備。特にそごうの整理開発は最重要課題だと思う。	男性	65～74歳
中央（商店街）に大型店があれば、自然と人も集まって来るのではないか。今は人通りも少なく寂しい。	女性	65～74歳
海と山に囲まれた町なので、自然と共存した産業を起し、若い世代の人が定住するようなまちにしてほしい。	女性	65～74歳
働くところを作るために工場を誘致する。呉市は昔に比べて働くところが少ない。	男性	75歳以上
公共交通機関の整備を充実させてほしい。（バス路線が少なく、便数も少ない）	男性	75歳以上
昨今事件・事故が多発している現在、特に人通りが少ない場所、地域の要所に早急に多数の防犯カメラを設置して頂きたい。	男性	75歳以上

2 吉浦地区

主な意見・要望	性別	年齢
高齢者の方々には、色々な人と知り合うイベントやボランティアの機会などを増やして生きがいを持ってもらい、健康に長生きできる環境作りが必要だと思う。健康寿命を延ばすことは市としても強みになると思う。リカレント教育の推進をして欲しい。私が知らないだけかもしれないが、今の呉には学び直す場がない。市民主導のイベント開催などを通じて、職場以外の人と出会う場を提供し、視野を広げてもらうのが良いと思う。	女性	40歳代
林業の活性化の強化。呉市全体の山を見ると、いずれも樹木及び草木が伸び放題であり、太陽光が地面に届かず、豪雨時には土砂災害の危険が相当高まってくる。断続的に木を間引き、太陽が地面にあたるくらいにすれば災害防止になる。	男性	65～74歳
呉そごう跡地の開発を早く進めてほしい。	女性	65～74歳
周りの人達を見て、結婚されていない35～50代の方が多くいる。少子化と言う前に、婚活の場を作って、結婚していただき、子供を育てていただける市にしてほしい。	女性	65～74歳
呉市を題材とした映画やアニメーションなどの影響もあると思うが、以前よりも街中が活気づいてきた。呉市の情報発信に期待している。呉市の良い所を映画やアニメで発信してほしい。	女性	65～74歳
老人、病人にはバスの乗り換えが苦痛である。出来るだけ多方面への直通バスがあれば助かる。	女性	75歳以上

3 警固屋

主な意見・要望	性別	年齢
他県と比較し、住民税が高く感じる。	男性	20歳代
自治会という団体がこのままでは成り立たない地区、地域がこれから増えていくと思う。今まで通りの活動ではなく、それぞれの地区、人数にあった自治会（小さく）に変えていくべきだと思う。	男性	65～74歳
空き家が増えているため、町全体の活性化が乏しく感じる。空き家の所有者に改善、指導を強制的に実施してほしい。空き家火災などが心配である。	男性	65～74歳
人口減少のせいか、空き家が多くなり、草・木が茂り地域が汚くなっているように思える。子供の頃、老人の方が定期的に仕事として掃除を行い、きれいになっていた。きれいな環境、高齢者の雇用促進として、このような部署を検討していただくのはいかがか。	女性	65～74歳
農地、道路などがイノシシに荒らされ、雨が降るとがけ崩れの原因となるため、イノシシ対策の検討をお願いする。	女性	65～74歳
高齢者がもっと街に出かけたくなるような仕組み（交通、イベント、店など）があるとよいと思う。保育所と高齢者のデイサービスを同じ場所や建物にするなど、交流があるといいと思う。	男性	75歳以上
旧軍港市転換法に基づいて「平和産業港湾都市」の実現に向け、呉市が「平和」をブランド化して内外にアピールする施策に取り組んでほしいと思う。呉市はこれまで「基地のまち」のイメージが強く、「平和」を実感し難い気がする。「基地のまち」から脱却するために徐々に「平和」を創り出す産業を誘致し、イメージを変えていくことができると思う。	女性	75歳以上

4 阿賀地区

主な意見・要望	性別	年齢
JRが一本しかないため、駅での入れ違いで待ち時間が発生する。これが解消されるともっと便利になると思う。	女性	20歳代
阿賀マリノポリスの事をもっと広めてほしい。知らない人がたくさんいるため、知ってもらいにぎやかになってほしい。	女性	20歳代
高齢者ばかりが増え、若者が減っている。若者を増やすのに最も重要なのは、働く場所の確保である。呉にある企業に元気がないため、若者が呉で働かず外に出ていく。企業を支援し、今ある企業を元気にするのが一番必要である。	女性	20歳代
呉市へのアクセス（公共交通）を増やしてほしい。福山⇄呉市のバス、広島市⇄呉市、クレアラインの本数が少ない。	女性	30歳代
中学生の親の負担軽減と子供たちの栄養確保のために給食の開始をしてほしい。	女性	30歳代
リフォームする補助をもう少し幅広く強化してほしい。また、地域の人とつながることができるような集まりを増やしてほしい。近所に顔見知りが増えると声をかけてもらえたり、いざというときに心強いし、暮らしやすい。	女性	40歳代
市民税が他市と比較して高い。市民税が高いため東広島市に住む人もいる。	女性	50歳代
駅前の空き家対策、戸建て住宅の老朽化も不安であるが、元そごう跡も早急に対策してほしい。ホテルやマンション等、百貨店や商業施設でなくても活用する方が活気が出ると思う。中通り商店街もさびれるばかり。出店のハードルを低くしてはどうか。	女性	60～64歳
宿泊施設を増やし、外から来る観光客に泊まってもらおうとよいと思う。	男性	65～74歳

主な意見・要望	性別	年齢
呉市に住んでくれる人をもっと求めるために、空き家をきれいにして住んでもらったり、家賃を安くして仕事を斡旋したり、永く住んでいる人との交流を促すなどの取組みをしてほしい。	女性	75歳以上

5 広地区

主な意見・要望	性別	年齢
通勤・通学時間帯のJR呉線の本数増加，道路の渋滞の緩和をしてほしい。	男性	20歳代
通退勤時の交通渋滞を緩和する取組を行ってほしい。市民税が他の市に比べ高いため下げてほしい。	女性	20歳代
子育てのしやすい町になってほしい。	女性	30歳代
公共交通機関の充実，クレアライン料金引き下げをしてほしい。	女性	30歳代
ショッピングモールを増やしてほしい。	女性	30歳代
もっと地域の人々，特に子供たちが交流できる場が欲しい。広い場所を提供していただいて，親子フリマなどのイベントなど，大人と子供と一緒に楽しみたい。	女性	30歳代
定年後や高齢者が活躍できる場があればよい。	女性	30歳代
自分から情報を探さないと入って来ないため不便である。特にネットが苦手なお年寄りなどは大変だと思うため，60歳以上の家にはチラシを配るなどアナログな情報発信手段があってもよいかもしれない。	女性	30歳代
保育所など，途中入園しやすくしてほしい。就職先の託児所があると良い。	無回答	30歳代
Uターン，Iターンに力を入れてほしい。	男性	40歳代
市民が今の呉に対して自由に意見を書いたりできる場所（インターネット上や市役所などに書く紙を設置する等々）があれば色々な意見が聞けて，より住みよい町づくりをするうえでの助けのひとつにでもなるのではないかと思う。	女性	40歳代
商業施設への無料交通機関等，車がなくても行き来しやすいまちにしてほしい。	女性	40歳代
歩道の整備をしてほしい。広地区は自転車，人，ともに多い割に，歩道が狭く段差がある。ベビーカーの移動が困難なところもある。平地であるため，もう少しきれいだといいなと思う。クレアラインの料金が高いため安くしてほしい。休日はよく使う。	女性	40歳代
旧そごうの活用，商業施設を誘致してほしい。広の人口が増えているため，歩道の整備をしてほしい。狭かったりデコボコがあり，自転車や車が危ない。海沿いなどにウォーキング，ランニングコースがあるとよい。	女性	40歳代
旧そごう跡地を新しい商業施設としてほしい。呉駅の活性化が進めば，にぎわいのある町になると思う。イノシシなどの害獣対策にも力を入れてほしい。被害にあってからでは遅いため，害獣対策にかかる費用の助成など，お願いしたいと思う。	女性	40歳代
分娩施設を維持してほしい。分娩施設を集約化するとますます出生数が減少すると思う。予算をつけて人員の確保をしてほしい。	女性	40歳代
私自身，働きながら子育てをしていて，一日仕事をして時間がないため，できるだけ情報はネットで確認する。少しでも早めに掲載して頂けたらと思う。	女性	40歳代
中学校を卒業するまで乳幼児等医療費受給を延長してほしい。	女性	40歳代
呉市の公共施設（プールなど）は高齢者には使いやすいと思う。その結果，子ども，中年は利用する人が少ないと聞いたため，そこは平等な何かを作してほしい。	女性	40歳代

主な意見・要望	性別	年齢
近場の公園も大切であるが、呉市内に「県立三次公園」のような多目的広場があったらいいと思う。小さな子どもや小中学生くらいまでが遊べる大型遊具やアスレチック風なものがあることにより、小さいころから思いっきり体を動かして遊ぶ喜びを多く体験できることで、大人になってからも体を動かすことが習慣化され、健康寿命も延びるのではないかと思う。	女性	40歳代
生活保護の基準を厳しくしてはどうかと思う。お金の援助ではなく、勤務先の紹介など、もう少し生産性のある援助にしてはどうか。本当に困っている人を助けるのはいいと思う。	女性	40歳代
災害時の防災無線や町内放送が、まったく聞き取れない。断水や公共交通の情報などは必ず防災メールで送ってほしい。	女性	50歳代
大型の水害が増えているが、浸水防止策に力を入れてほしい。	男性	65～74歳
災害に対して強い道路網とインフラを整備してもらいたい。	男性	65～74歳
色々な分野に取り組み、改善・改革されていると思うが、安芸灘大橋の無料化を早く進めてほしい。	男性	65～74歳
住みよい町にするにはやはり子供の教育だと思う。親は先生（学校）に全ておしつけるのではなく、親も親業を勉強すべきだと思う。また、先生（教師）の教育をもっとしていただきたい。子供と教師の関係をもっと密にし、教育委員会との関係をもっとオープンにして隠しごとのない教育関係を持ってもらいたい。	女性	65～74歳

6 仁方地区

主な意見・要望	性別	年齢
高齢者はタクシーを低額で利用できる環境作りをしてはどうか。バス停、駅までの徒歩も難しく、病院までの交通手段が少ない。	女性	20歳代
障害者に対する理解や難病患者に対する理解も進んでいるとは思えない。インフラが良くても、心のインフラはまだみだである。そこをなんとかするソフト面の充実を何かはかることはできないか。心のインフラ整備をお願いしたい。	女性	30歳代
スポーツ施設の充実が足りない。	女性	40歳代
最近イノシシなどの害獣が出る話をよく聞く。田畑が荒らされるなど身内にも少し被害が出ている。イノシシの駆除などもされていると思うが、追いついていないと思う。私にできることといえば、食べるくらいであるが、買える場所も少なく、料理方法もよくわからない。もう少し一般的になればと思う。	女性	50歳代
瀬戸内海の呉港として沿岸沿線の発展を願望する。	男性	75歳以上

7 宮原地区

主な意見・要望	性別	年齢
狭い道が多いため、区画整理を積極的に行ってほしい。	男性	30歳代
20年以上呉市に住んでいるが、買い物（消耗品以外）は、ほとんど広島市の方へ出ている。呉駅にあった「そごう」がなくなったことで、品揃えのよいデパートが少なくなった。そごう跡地にも同じようなデパート、もしくはそれに近い大きな商業施設ができてほしい。	女性	30歳代
災害に強い交通網、交通機関の整備を中心に市内外移動時間の短縮を図り、アクセスのよい街づくりが必要だと思う。	男性	50歳代
中通りのアーケードのところの道路が清潔ではない。もっと快適にしてほしい。	女性	65～74歳

主な意見・要望	性別	年齢
妻が不妊治療をしているが、助成金額、助成回数、共に足りないと感じる。検査開始から2年経過で終了というのも、もう少し延長してほしい。	男性	30歳代
市から地域団体（自治会等）への援助強化及び連携強化をしてほしい。	男性	30歳代
呉に来て1番最初に思ったのは、禁煙は当たり前の時代に、歩きたばこをしている人の多さにびっくりした。このような街では妊婦や子どもたちが、外を歩くのに健康に害を及ぼすと思うため、もう少し街全体で禁煙外来を増やしたり、健康について見直した方がいいと思う。また、街づくりの話し合いには、ずっと呉に住み続けている人たちでは気づかないようなことも多いと思うため、他県から来た人たちの意見も聞いた方がよりよい街になると思う。街全体はボランティアの人たちが清掃してくれているため、すごくきれいな印象を持った。	女性	40歳代

8 天応地区

主な意見・要望	性別	年齢
海上自衛隊との連携の強化（部隊、施設の誘致）をしてほしい。	男性	40歳代
私のところはスーパーがないため買い物が不便である。買い物ができなく、病院もなく、バスの回数も電車の数も少なく、食べる食堂もなく、車がない人は思うようにどこにも行けない。バスや電車の回数を増やしてほしい。お店も食べ物屋さんがあれば助かる。	女性	65～74歳
以前の様に日常生活に必要な物が買える店が出来てほしい。今はほとんど店がない。	女性	75歳以上

9 昭和地区

主な意見・要望	性別	年齢
今年出産し、初めての事ばかりで不安であったが、昭和まちづくりセンターでのイベントやくれくればを利用し、職員の方たちの声かけに何度も助けられた。子どもを産むまでは知らなかったが、呉でこんなに子育ての場が設けられているんだととても嬉しく、心強く感じた。これからも子育てに関する取組みは続けて欲しいし、もっと強化して欲しい。	女性	20歳代
呉市は子供がインフルエンザの予防接種をしても補助金が出ない。子供は1年間で2回接種しないといけないので少しでも補助があればすごく助かる。	女性	20歳代
税金が高い。もう少し負担を減らしてほしい。そごう跡地を有効に使ってほしい。	男性	30歳代
子供を育てやすい環境ではないと、子育て世代は住みたがらない。習い事や勉強をふれあいセンターなど（自治会）で安く習うことができたり、呉市だけの子育ての特権があると住みたいと思うし、子供も増える。	女性	30歳代
呉市外から移ってきたが、市の情報を得るのに呉市HPはとても情報検索し難い。情報がすぐに得られない。	女性	30歳代
税金を見直してほしい。焼山の道路をなるべく早めに整備してほしい。中学校の給食を支給してほしい。	女性	30歳代
子供を育てるのに安心した環境を作って他地域からも若い家族が生活してもらいたい。小さなことであるが、夜の街灯を増やして防犯の強化をしてほしい。また、元気な年寄りを増やして活躍できる場所を増やしていくなど、子供も大人もお年寄りも笑顔がはちきれんような呉市にしてほしい。	男性	40歳代
豪雨災害の爪痕が残っていたり、あちこちにブルーシートがあり不安である。今すぐには無理かもしれないが、安心して暮らせるように復旧・復興が進んでくれるようお願いしている。	女性	40歳代

主な意見・要望	性別	年齢
若い人が意見を言える、それが反映される呉市にしてほしい。若い人が将来を考えることが大事であると教育すべき。	女性	50歳代
高齢化・核家族化が進み、介護施設・老人ホームをたくさん作ってもらい、入りやすくしてほしい。	男性	60～64歳
人が集まるためには活発な経済活動が必要。新しい分野の企業誘致、新しい農林水産業を推進することが大事。人口減少を食い止めることを真剣に考え、それを解決することが市の発展の根本ではないかと思う。	男性	65～74歳
近くの工業団地に通勤する人が激増しており、交通渋滞を起こしている。通勤時間は道路を横断することも難しいため、道路事情の改善をお願いしたい。	男性	65～74歳
道路わきの側溝で蓋のないところがあるため、蓋またはグレーチングで覆うなど脱輪しないようにしてほしい。	女性	65～74歳
呉駅前に活気がないのが残念に思う。旧そごうのビルの活用を考えてほしい。何階かを全てスポーツ施設にすとか、映画館を入れるとか特色のある市場を作るとかいろいろやってみてほしい。	女性	65～74歳
年金をもらい始めるころには、まだ体も元気なのに社会への参加が高年齢のためなくなり、趣味に楽しみを見いだしているだけである。今後、高齢者が増え、私たちのように趣味もよいが、長い目で見るともっと社会貢献（ボランティアなど）、社会へ恩返しをしたいと思う。高齢者ができることも多くあるように思う。無料でもよいから、体を動かす仕事が何かあるとよいと思う。そうすると社会がイキイキとするし、認知症も少なくなるのではと思う。	女性	65～74歳
レング通りが人口減少傾向になっている。人が集まるイベントをしてはどうか。	女性	65～74歳
町の中の草、道路のそうじ等をしてほしい。高齢者等でボランティアで草取り等をしたら良いと思う。	女性	75歳以上

10 郷原地区

主な意見・要望	性別	年齢
家族連れで行けるレジャー施設、体験イベントなどを充実させてほしい。	男性	30歳代
生活保護の人が多く、私たちの税金が使用されて高くなるため、就労の支援などをより力を入れてほしい。	男性	40歳代
呉市道路を自転車専用道路などに整備してほしい。	男性	60～64歳

11 下蒲刈地区

主な意見・要望	性別	年齢
安芸灘大橋の通行料金の見直しをお願いしたい。島しょ部の住民には負担が大きすぎる。せめて住民は無料、もしくは、それが無理ならもっと料金を下げていただきたい。	女性	20歳代
橋代がもう少し安くなれば、島の人口も増えると思う。	女性	40歳代
橋の料金が低い。生活の負担になっている。	男性	50歳代
観光するところもあるが、食べる場所が少ないように思う。駐車場がなく、呉市で観光しても広島市内、東広島市で食事をしている。	女性	50歳代
病院、バスは絶対になくさないようにお願いしたい。	女性	65～74歳
イノシシ対策、安心して歩ける道路の整備、大潮対策をお願いする。	女性	75歳以上

12 川尻地区

主な意見・要望	性別	年齢
主要道路の渋滞がひどいため、信号の調整など改善が必要だと思う。呉市中心部の商業的にぎわいがだんだんなくなってきているように感じている。再開発が必要なのではないだろうか。	男性	20歳代
市民の意見箱の設置で本音を聞くとよいと思う。	男性	60～64歳
店が少なく、買い物が大変である。	女性	65～74歳

13 音戸地区

主な意見・要望	性別	年齢
飲食店が呉市内にしかないため島の方にも増えると良い。交通の便が良くないため、バスを増やす、タクシーの料金を減らすなどを考えてほしい。	男性	30歳代
自分の周りに子どもが少ない。子どもを産んでも安心できる子育てにかかる費用の助成、不妊治療医療の助成にお金を使い、子どもを増やし活気ある社会にしてもらいたい。	男性	65～74歳
市民の生の声を聞く機会を、増やしてほしい。	女性	65～74歳
山が荒れているため、山の掃除（イノシシ、水害、山崩れ）をしてほしい。	女性	75歳以上
お年寄りのために、バス停を近くに作ってほしい。	女性	75歳以上
子供達が減少し、廃校になって校舎がそのままになっている。各自治会に貸出し、老人行事又はグループホーム等の施設に利用したらよいのではないかと思う。	女性	75歳以上

14 倉橋地区

主な意見・要望	性別	年齢
若い男女がたくさんいる呉市で、独身男性と女性のためにもっと出会いをひろげて、結婚へ進展していくようなイベントなどをもっと多くしてほしい。子どももできて、人口が増えて、楽しく住みやすい呉市になってほしい。	男性	20歳代
交通の便は車に乗れる人はよいが、そうでない人には辛いと思う。通信環境が中心部と比べると非常に悪い。対策をお願いしたい。	男性	40歳代
JR呉駅近くをもう少しきれいにしてほしい。駅を降りてから、駅周辺にごみが落ちていたりして、町が汚いイメージがある。瀬戸内海の島は外国人に人気があると聞くため、島に来てもらうためにいろいろPRしてほしい。	男性	60～64歳

15 蒲刈地区

主な意見・要望	性別	年齢
安芸灘大橋の金額の値下げか、無料にしてほしい。子育て家庭は病院などで、広の方まで出ないといけないため負担が大きい。	男性	20歳代
「安芸灘大橋の無料」を一番望むところであるが、せめて料金をもう少し安くして、生活道路として使っている住民が、安価に暮らせるようにしてほしい。また、安くなれば観光客もより一層増えると思う。	男性	50歳代
安全で円滑な道路網の整備、空き家対策をしてほしい。	男性	60～64歳

16 安浦地区

主な意見・要望	性別	年齢
市民が楽に交流や活動ができる場所がほしい。	男性	20歳代
観光資源の有効活用と、それに伴う宿泊施設の拡充をしてほしい。自衛隊の海自カレーや護衛艦見学、呉鎮守府と艦これコラボイベント、この世界の片隅になど成功している例があるため、今後もそういったイベント誘致の働きかけをしていけば良い。	女性	20歳代
商業施設の誘致をしてほしい。災害後、主要スーパーの撤退で生活弱者がコミュニティを離れている。	男性	30歳代
少子化対策の強化・晩婚化の時代に、年齢制限や所得制限で不妊治療を諦める方もたくさんいるため、希望する方が妊娠できる環境にするべきである。	女性	30歳代
安浦町には店が少なすぎる。買い物は呉ではなく東広島に行ってしまう。	男性	40歳代
若い世代の人たちが、住みやすいまちづくりの整備を行ってほしい。例えば、交通網（JRの便の増加、高速道路の充実）等、広島市内への交通の利便さなどである。呉市はどこへ行くにも時間がかかり、有料道路もJRも高い。若い人たちはどうしても利便さを求めて広島市内の方、西部に流れがちである。もっと若い人たちが買い物しやすいショッピングモールなどを作るなど、魅力的な施設が必要である。	女性	40歳代
市中心部に行くのが、とにかく不便である（車を持っていない高齢者）。JRの増便か、市営バスの路線を延長してほしい。災害で閉店したスーパー、コンビニ、ドラッグストアがあり、買い物も不便。小さい橋が流されたままで、歩道のない国道を通らないとスーパーに行けないなど、早く改善してほしい。	女性	40歳代
野呂川ダムの整備、道路の整備促進（R34）、商業施設の誘致をお願いしたい。	男性	50歳代
生活バスの運行支援をしてほしい。	女性	65～74歳

17 豊浜地区

主な意見・要望	性別	年齢
瀬戸内海の自然を守る事が必要である。	女性	60～64歳
各自治会の要望にできるだけこたえてほしい。	女性	75歳以上

18 豊地区

主な意見・要望	性別	年齢
高齢化、過疎化が深刻な問題である。子供の数が激減している上に、その子が高校生になると通学のために通学費が負担となり、島外に移住するケースがままある。学費の援助はありがたいことであるが、実際には学費よりもそれ以外の必要経費のほうが大きい。若い世代が移住していくとますます高齢化が進み、必要な労働力の確保もむずかしくなっていく。まずは、若年層の流出をふせぐ手立てがほしい。	女性	60～64歳
呉中心部ばかりに集中しないで、人口減少の地域にも目を向けてほしい。	女性	75歳以上

令和元年度呉市民意識調査へのご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃から市政運営にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、呉市では、将来のまちづくりの方向性を示す「第5次呉市長期総合計画」の策定作業を進めています。この調査は、市民のみなさまが、現在の呉市をどのようにとらえ、またどのようなまちづくりを望んでいるのかなどについて、ご意見やお考えをお伺いし、「第5次呉市長期総合計画」の策定や今後の市政運営の基礎資料としたいと考えています。

つきましては、市内にお住まいの満20歳以上の方4,000人を統計的に無作為に選ばせていただき、調査票を送らせていただきました。

お手数をお掛けして誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年12月

呉市長 新原 芳明

【ご記入上の注意】

- 1 質問には、ご本人がお答えください。事情によりご本人の記入が困難な場合は、聞き取りするなど、ご家族の方などが記入してもかまいません。
- 2 ご回答は、番号に○印をつけてください。「その他」等の自由記入欄のある番号に○印をつけたときは、()内に内容をお書きください。
- 3 ご記入いただいた調査票は、**12月27日(金)**までに同封の返信用封筒に入れて、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- 4 この調査にはお名前を記入する必要はありません。回答結果は、数字で統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、回答いただいた内容は、本調査の目的以外に使用しません。
- 5 この調査に関するご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ・返信先】

呉市役所 企画部 企画課

担当：加登^{かど}、惣引^{そうひき}

〒737-8501 呉市中央4丁目1番6号

電話 0823-25-3274, 3273

呉市民意識調査 調査項目

お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身やご家族のことについて、お聞かせください。

あなたの性別をお聞かせください。	1 男性	2 女性	3 無回答		
あなたの年齢をお聞かせください。	1 20歳代 4 50歳代 7 75歳以上	2 30歳代 5 60～64歳	3 40歳代 6 65～74歳		
あなたがお住まいの地区をお聞かせください。	1 中央 6 仁方 11 川尻 16 蒲刈	2 宮原 7 吉浦 12 安浦 17 豊浜	3 警固屋 8 天応 13 音戸 18 豊	4 阿賀 9 昭和 14 倉橋	5 広 10 郷原 15 下蒲刈
あなたの職業をお聞かせください。	1 農林水産業の自営・家族従業者 2 商工，販売，サービス業の自営・家族従業者 3 開業医，弁護士，薬剤師等の個人事業者 4 会社員・団体職員 5 会社役員・団体役員 6 国家公務員 7 地方公務員 8 学生 9 家事専業 10 パート・アルバイト 11 無職 12 その他（ ）				
あなたの家族構成をお聞かせください。	1 1人世帯 2 1世代家族（夫婦やパートナーのみ） 3 2世代家族（親と子） 4 3世代家族（親と子と孫） 5 その他（ ）				
あなたの家族（同居）をお聞かせください。 （該当するすべてに○）	1 0～2歳児 4 中学生 7 社会人 10 無職 13 1～12の該当者はいない	2 3～5歳児 5 高校生 8 家事専業 11 高齢者（65～74歳）	3 小学生 6 大学生 9 パート・アルバイト 12 高齢者（75歳以上）		
あなたは呉市（合併前の旧町を含みます。）に通算して何年お住みですか。	1 2年未満 4 10年以上	2 2年以上 5 20年以上	3 5年以上		
あなたの通勤（職場），通学（学校）先はどちらですか。	1 呉市内 4 その他呉市外（ ）	2 広島市	3 東広島市 5 なし		
現在お住まいの居住形態をお聞かせください。	1 1戸建て持ち家 3 分譲マンション 5 社宅・官舎・寮 7 その他（ ）	2 1戸建て借家 4 賃貸マンション・アパート 6 公営住宅			

I. 呉市の住みやすさについて

問1 あなたは、呉市を「住みよい」まちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 住みよい | 2 どちらかといえば住みよい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい |
| 5 分からない | |

→ **問1-1** 上記問1で1～4に回答した方のみ

住みよい又は住みにくいと感じる要因は、何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 通勤, 通学 | 2 買い物環境 |
| 3 防犯上の理由 | 4 防災上の理由 |
| 5 子育て環境 | 6 教育環境 |
| 7 近所付き合いなど | 8 地域との交流 |
| 9 スポーツ環境 | 10 文化環境 |
| 11 医療環境 | 12 福祉環境 |
| 13 就業などの雇用環境 | 14 家賃・住宅価格等 |
| 15 自然環境 | 16 その他 () |

問2 あなたは、呉市に「愛着」を感じますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|---------|
| 1 感じる | 2 どちらかと言えば感じる | |
| 3 どちらかと言えば感じない | 4 感じない | 5 分からない |

→ **問2-1** 上記問2で1, 2に回答した方のみ

どんなところに愛着を感じますか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 1 自然 (山, 川, 海など) |
| 2 風景 (田んぼ, 畑, 公園, 街並み, 建物など) |
| 3 歴史・文化 (名所・旧跡, 神社仏閣, 文化財, 日本遺産など) |
| 4 地域活動 (祭り, 運動会など) |
| 5 子どもの頃の思い出 (同級生, 友人, 遊んだ場所など) |
| 6 郷土料理, 名物 |
| 7 その他 () |

問3 あなたは、お住まいの地域(ご近所)で、近年人口がどう変化していると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 かなり増えている | 2 やや増えている |
| 3 あまり変わらない | 4 やや減っている |
| 5 かなり減っている | 6 分からない |

問4 お住まいの地域（ご近所）での人口の変化について、どう思われますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|----------|
| 1 安心できる | 2 不安を感じる |
| 3 どちらとも言えない | 4 分からない |

→**問4-1** 上記問4で2に回答した方のみ なぜ不安を感じるのですか。（○はいくつでも）

- | |
|--------------------------------------|
| 1 にぎわいがなくなる |
| 2 普段の話し相手が減り、寂しくなる |
| 3 地域行事の開催や緊急時の安否確認、町内美化などの助け合いが難しくなる |
| 4 公共サービスが縮小され不便になる |
| 5 近隣の商店等が閉店し不便になる |
| 6 公共交通機関が維持できなくなり不便になる |
| 7 集落が消滅する恐れがある |
| 8 その他（) |

問5 人口減少を少しでも抑えるためには、どのような取組が必要だと思えますか。

（○は3つまで）

- | |
|---|
| 1 産業の競争力強化（企業誘致，農水産品のブランド化など） |
| 2 人材の発掘・育成（起業・創業支援，新規農業・漁業者への支援など） |
| 3 情報発信の強化（呉の産業PR，定住・移住情報の発信など） |
| 4 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援
（婚活事業への助成，不妊治療医療費の助成，妊産婦の健診・保健指導等の充実など） |
| 5 教育環境の充実（小中一貫教育，企業等と連携した本物体験など） |
| 6 定住・移住促進（新婚・子育て世帯への定住支援，移住希望者への住宅取得支援など） |
| 7 生活環境の充実（災害に強いまち，地域ぐるみの健康づくり，公共交通の運行支援など） |
| 8 その他（) |

問6 あなたは、今住んでいる地域に、これからも「住み続けたい」と思えますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|--------|
| 1 住み続けたい | 2 移りたい |
| 3 分からない | |

→**問6-1** 上記問6で2に回答した方のみ どの地域へ移りたいと思えますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|---------|
| 1 広島市 | 2 東広島市 |
| 3 廿日市市 | 4 江田島市 |
| 5 府中町・海田町・坂町 | 6 熊野町 |
| 7 その他県内（) | 8 県外（) |
| 9 呉市内（地区：) | |

→**問6-2** 上記問6で2に回答した方のみ

他の地域（市内，市外）へ移りたいと思う理由は、何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 通勤，通学 | 2 買い物環境 |
| 3 防犯上の理由 | 4 防災上の理由 |
| 5 子育て環境 | 6 教育環境 |
| 7 近所付き合いなど | 8 地域との交流 |
| 9 スポーツ環境 | 10 文化環境 |
| 11 医療環境 | 12 福祉環境 |
| 13 就業などの雇用環境 | 14 家賃・住宅価格等 |
| 15 自然環境 | 16 その他（) |

Ⅱ. 呉市の主要課題に対する意識について

(1) 健康づくり

問7 あなたは現在、健康であると感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても健康である | 2 まあまあ健康である |
| 3 どちらとも言えない | 4 あまり健康でない |
| 5 全く健康でない | |

問8 健康増進に向けて、あなたは現在、定期的な運動(1回30分以上の運動を週2回以上)をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

問9 あなたは、健康増進のための運動を行っていく上で、どのような環境整備が必要だと思えますか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1 各種運動教室・講座の充実(まちづくりセンターなど) |
| 2 市民イベント(ウォーキング大会など)の充実 |
| 3 地域でのサークル活動(ウォーキングなど)の充実 |
| 4 ウォーキング・ランニングコースの整備 |
| 5 トレーニングルーム・機器の整備 |
| 6 多目的広場・陸上競技場の整備 |
| 7 体育館の整備 |
| 8 屋内プールの整備 |
| 9 その他() |

問10 生活習慣病などの早期発見・早期治療に向けて、あなたは毎年、健康診査を受診していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 受診している | 2 受診していない |
|----------|-----------|

→**問10-1** 上記問10で2と回答した方のみ 健康診査を受診しない理由は、何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 受ける予定だったが、都合がつかなかった | 2 受診方法がわからなかった |
| 3 特に困ったことがなかった | 4 もし悪い結果がでたら怖い |
| 5 検査や診察が苦痛、恥ずかしい | 6 面倒 |
| 7 お金もったいない | 8 すでに医療機関で治療を受けている |
| 9 その他() | |

(2) 少子化対策・高齢化対策

問 11 呉市では1年間に生まれてくる子どもの数が減少しています（H20年度1,865人→H30年度1,280人）。あなたは、少子化を少しでも抑えるために、どのような取組を充実させたいと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1 総合的な結婚支援（出会いの場の提供，相談・支援体制の整備など） | 3 不妊に関する総合的な支援 |
| 2 出産・育児に関する医療体制の整備 | 5 子育てに係る総合的な相談体制の整備 |
| 4 保育サービス（保育所，一時預かり） | 7 保育料・学費の軽減 |
| 6 子育て世帯の交流の場（サロン）の設置 | 9 雇用・収入の安定 |
| 8 児童手当等の支援の拡充 | 11 出産・育児がしやすい職場の環境づくり |
| 10 教育環境の向上 | |
| 12 その他（ | ） |

問 12 呉市では高齢化が進展しています（H21年3月末：28.0%→H31年3月末：34.8%）。あなたは、高齢化社会に対応するため、どのような取組を充実させたいと思いますか。

（○は3つまで）

- | |
|-----------------------------|
| 1 高齢者の交流の場（サロン）の設置 |
| 2 高齢者の活躍の場の創出（再就職，ボランティアなど） |
| 3 介護予防事業（介護予防教室など） |
| 4 健康づくり活動（ウォーキングなど） |
| 5 高齢者への声かけ訪問 |
| 6 いきいきパス（バス運賃などの優待助成制度）の交付 |
| 7 移動支援（生活バスの運行支援など） |
| 8 生活支援（買い物，食事など） |
| 9 在宅介護サービス（デイサービス，家事支援など） |
| 10 施設介護サービス（特別養護老人ホームなど） |
| 11 その他（ |

(3) 人権尊重

問 13 性別・障がいの有無・国籍などを理由にした様々な差別があります。「差別」について、あなたのお考えに近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 差別はなくさなければならない | 2 差別は出来る限りなくすべきである |
| 3 差別があるのは仕方がない | 4 差別は社会にとって必要なものである |
| 5 分からない | |

問 14 身近な人が差別的なことを言うのを聞いたとき、あなたならどうしますか。（○は1つ）

- | |
|--------------------------|
| 1 そのことを注意し，理解が得られるよう話し合う |
| 2 そのことを注意し，人を交えて一緒に考える |
| 3 そんなことを言っではいけないと注意する |
| 4 何もしないで聞き流す |
| 5 その他（ |
| 6 分からない |

問 15 あなたは、次のような場面で、同和地区の人を意識することがありますか。
(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1 隣近所で生活するとき |
| 2 子どもが同和地区の子どもと遊んだりするとき |
| 3 同じ職場で働くとき |
| 4 従業員として雇うとき |
| 5 結婚するとき |
| 6 意識しない |

問 16 あなたは、次の人権課題の中で、特に取組が必要であると思うものは何ですか。
(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|---------------|-------|
| 1 女性 | 2 子ども | 3 高齢者 |
| 4 障がいのある人 | 5 同和問題 (部落差別) | 6 外国人 |
| 7 LGBT | 8 その他 () | |

※LGBT：レズビアン（女性の同性愛者），ゲイ（男性の同性愛者），バイセクシュアル（両性愛者），トランスジェンダー（性同一性障害を含む，体の性と心の性が一致しない人）の頭文字を取ったことば。同性も異性も好きにならない人，自分の性別や性的指向に確信が持てない人などを含めた，あらゆる性的少数者の総称

(4) 男女共同参画

問 17 あなたは、次にあげる分野で、男女が平等になっていると感じますか。それぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

	1 男性の方が 優遇されている	2 どちらかといえば 男性の方が 優遇されている	3 平等である	4 どちらかといえば 女性の方が 優遇されている	5 女性の方が 優遇されている	6 分からない
1 家庭生活	1	2	3	4	5	6
2 子育て	1	2	3	4	5	6
3 就職や職場	1	2	3	4	5	6
4 地域活動	1	2	3	4	5	6
5 学校教育	1	2	3	4	5	6
6 法律や制度	1	2	3	4	5	6
7 社会の慣習やしきたり	1	2	3	4	5	6
8 政治や政策決定の場	1	2	3	4	5	6
9 社会全体	1	2	3	4	5	6

(5) 教育

問 18 更なる教育環境の向上に向けて、今後、どのような取組を進めていけばよいと思いますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 教員の増員 | 2 スクールバスの運行 |
| 3 通学費への助成 | 4 学校統合のさらなる推進 |
| 5 小中一貫教育の実施 | 6 学校トイレの洋式化 |
| 7 校舎や体育館の整備 | 8 その他 () |

問 19 呉市では、子どもたちの豊かな人間性と自立心を育む「呉の教育」に取り組んでいます。
子どもたちの豊かな心を育むために、今後、どのような取組が必要だと思いませんか。

(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 年齢が違う子ども同士が交流する機会を増やすこと |
| 2 高齢者と交流する機会を増やすこと |
| 3 地域のよさ（自然，歴史，伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと |
| 4 子どもが「本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）」できる機会を増やすこと |
| 5 様々な仕事を体験できる機会を増やすこと |
| 6 その他 () |

(6) 市民協働

問 20 あなたは現在、活動の場所を問わず、何らかの地域活動に参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 参加している | 2 参加していない |
|----------|-----------|

→ **問 20-1** 上記問 20 で 1 に回答した方のみ

どのような地域活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|------------------|
| 1 自治会 | 2 老人会 |
| 3 女性会 | 4 地域まちづくり委員会・協議会 |
| 5 子ども会 | 6 祭り，運動会などの世話 |
| 7 PTA活動 | 8 ボランティア活動 |
| 9 NPO団体 | 10 その他 () |

問 21 今後、どのような地域活動に参加してみたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 自治会 | 2 老人会 |
| 3 女性会 | 4 地域まちづくり委員会・協議会 |
| 5 子ども会 | 6 祭り，運動会などの世話 |
| 7 PTA活動 | 8 ボランティア活動 |
| 9 NPO団体 | 10 その他 () |
| 11 参加したいとは思わない | |

問 22 どうすれば、地域活動に参加しやすくなると思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 活動内容や連絡先などをPRする | 2 活動団体からの声かけを行う |
| 3 世話役の持ち回りなどの負担を減らす | 4 会費の負担を減らす |
| 5 その他 () | |

問 23 人口減少や高齢化の影響により、自治会をはじめとするコミュニティの維持が難しくなっている地域がある中で、今後の呉市において、地域活動の維持や地域の課題解決に向けて、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 地域活動に参加していない人が参加しやすい環境づくり |
| 2 | 活動内容の情報発信 |
| 3 | 将来の担い手の確保(子どもや学生、外国人など) |
| 4 | 地域外からの担い手の確保 |
| 5 | 地域内外の団体等との連携 |
| 6 | 活動する場の確保や活動拠点の基盤整備 |
| 7 | 市役所からの人的・財政的支援の強化 |
| 8 | 地域活動維持のための自主財源確保への取組の促進 |
| 9 | その他() |

(7) 安全・安心

問 24 あなたは、市役所が発信している情報を、どのような方法で確認していますか。(〇はいくつでも)

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|---------------|
| 1 | 市政だより | 2 | テレビ | 3 | ラジオ |
| 4 | 防災行政無線 | 5 | ホームページ | 6 | SNS(フェイスブック等) |
| 7 | その他() | | | | |

問 25 台風や大雨のとき、避難情報を確認するようにしていますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---|-------------|---|---------|
| 1 | 確認するようにしている | 2 | 確認していない |
|---|-------------|---|---------|

→ **問 25-1** 上記問 25 で 1 に回答した方のみ

どのような方法で避難情報を確認していますか。(〇はいくつでも)

- | | | | | | |
|---|------------|---|--------|---|---------------|
| 1 | 携帯アプリ・メール等 | 2 | テレビ | 3 | テレビのデータ放送 |
| 4 | ラジオ | 5 | 防災行政無線 | 6 | SNS(フェイスブック等) |
| 7 | その他() | | | | |

問 26 自宅の近くの呉市が指定する避難所(学校、まちづくりセンターなど)を知っていますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---|-------|---|------|
| 1 | 知っている | 2 | 知らない |
|---|-------|---|------|

→ **問 26-1** 上記問 26 で 1 に回答した方のみ

自宅から避難所までの避難経路を確認していますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---|--------|---|---------|
| 1 | 確認している | 2 | 確認していない |
|---|--------|---|---------|

問 27 自分の自宅や職場、学校が災害に対して安全かどうか確認していますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---|--------|---|---------|
| 1 | 確認している | 2 | 確認していない |
|---|--------|---|---------|

→ **問 27-1** 上記問 27 で 1 に回答した方のみ

どのような方法で安全を確認していますか。(〇はいくつでも)

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|-----|---|----------|
| 1 | ハザードマップ | 2 | 防災情報サイト | 3 | 街歩き | 4 | 危険箇所表示看板 |
| 5 | その他() | | | | | | |

問 28 あなたの住んでいる地域では、次に掲げる災害について不安がありますか。それぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

	1 非常に不安	2 やや不安	3 あまり不安はない	4 全く不安はない	5 分からない
1 河川の氾らん, 低地部の浸水	1	2	3	4	5
2 山崩れ, 崖崩れ	1	2	3	4	5
3 高潮・津波, 沿岸部の浸水	1	2	3	4	5
4 地震	1	2	3	4	5
5 建物火災	1	2	3	4	5
6 林野火災	1	2	3	4	5

問 29 災害に備えて、日頃からどのような対策を行っていますか。（○はいくつでも）

- 1 防災について家族や地域で話し合っている
- 2 食料や懐中電灯など、非常時に持ち出すものを準備している
- 3 貴重品をすぐに持ち出せるよう準備している
- 4 風呂の水をためおきしている
- 5 家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している
- 6 学校や公園など、避難する場所を決めている
- 7 家族や近所の方との連絡方法を決めている
- 8 地域での防災訓練などに参加している
- 9 その他（)
- 10 何もしていない

問 30 あなたは、平成 30 年 7 月豪雨災害から復旧・復興が進んでいると思いますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 進んでいると思う | 2 ある程度進んでいると思う |
| 3 あまり進んでいないと思う | 4 進んでいないと思う |
| 5 分からない | |

→ **問 30-1** 上記問 30 で 3, 4 と回答した方のみ

復旧・復興が「あまり進んでいない」「進んでいない」と思う分野はどれですか。

（○はいくつでも）

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| 1 被災者の生活再建 | 2 住まいの再建 | 3 道路・河川・農地等の復旧 |
| 4 砂防・治山ダムの整備 | 5 上下水道設備の復旧 | 6 幹線道路・JRの機能強化 |
| 7 地域経済の活性化 | 8 観光 | 9 今後の災害への備え |
| 10 防災教育 | 11 その他（) | |

(8) 観光・交流

問 31 あなたは、多くの観光客の方に呉市へ来ていただくために、どのような取組が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 日本遺産などを活用した新たな観光メニュー（体験・お土産など）の充実 |
| 2 | 滞在時間を延長するための体験型観光や夜型観光の充実 |
| 3 | 映画・ドラマ等のロケ誘致，映画・アニメを活用した観光客誘致 |
| 4 | 観光客向けのイベント開催 |
| 5 | ホームページやSNSなどを活用した情報発信の充実 |
| 6 | 県内外での観光PRの推進 |
| 7 | サイクリストの受入態勢の充実 |
| 8 | インバウンド（外国人旅行者）の受入態勢の充実 |
| 9 | 観光地への公共交通の充実 |
| 10 | 観光地の駐車場やトイレ，案内表示の整備 |
| 11 | 新しい観光施設の整備 |
| 12 | 宿泊施設の誘致 |
| 13 | 観光ガイドの育成・充実 |
| 14 | その他（) |

(9) 農水産業

問 32 あなたは、食料品を購入するとき、広島県産や呉市産などの「地元産」を意識することがありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 意識することがある | 2 | 意識することはない |
|---|-----------|---|-----------|

問 33 呉市には、特色ある農水産物がたくさんあります。あなたが、呉市の特産品だと思う農水産物はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | | | | |
|----|-----------------|----|---------|----|----------|
| 1 | みかん | 2 | レモン | 3 | すもも |
| 4 | トマト | 5 | ねぎ | 6 | 大根 |
| 7 | キャベツ（広カンラ
ン） | 8 | オリーブ | 9 | タチウオ |
| 10 | かき | 11 | たこ | 12 | マダイ |
| 13 | オニオコゼ（呉おこ
ぜ） | 14 | ちりめんいりこ | 15 | 酒米（呉未希米） |
| 16 | その他（) | | | | |

問 34 あなたは今後、呉市の農水産業を発展させていくためには、どのような取組が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 市民が積極的に地元産を購入する
- 2 農水産業の新規参入者や後継者を育成する
- 3 法人化を進めるなど、農水産業の規模を大きくする
- 4 小規模な農水産事業者を支援する
- 5 農水産物を活用した「特産品」の開発を進める
- 6 農水産物の「ブランド化」を進める
- 7 農水産物の直売施設（朝市，産直市）を設置する
- 8 呉市内での流通を増やす
- 9 農水産物の生産基盤（農業団地，水揚げ施設など）を整備する
- 10 有害鳥獣対策を充実する（イノシシ対策など）
- 11 ドローンによる農薬散布など，先端技術を活用する
- 12 その他（)

問 35 あなたは、呉市の農水産業，農漁村に何を期待しますか。（〇はいくつでも）

- 1 新鮮な農水産物・食料の供給
- 2 自然環境の保全
- 3 子どもの教育への利用
- 4 美しい景観，やすらぎの空間の創出
- 5 農漁村の伝統文化の保存・継承
- 6 市民農園や遊漁船など，体験・レクリエーションの場の創出
- 7 雇用，就業の場の創出
- 8 稼げる農水産業への転換
- 9 その他（)
- 10 期待するものはない

（10）商工業

問 36 あなたは今後、呉市の商工業を発展させていくためには、呉市がどのような取組をする必要があると思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 企業誘致・留置による働く場所の確保
- 2 起業・創業のための支援
- 3 起業・創業したい方と，事業を引き継ぎたい方とのマッチング支援
- 4 人材の安定的な確保と人材育成の支援
- 5 経営基盤の強化（安定的な経営）に関する支援
- 6 新技術・新商品の開発支援
- 7 販路の拡大に関する取組支援
- 8 その他（)

(11) 環境

問 37 あなたは、普段の生活の中で、地球環境に配慮した取組として、何か行っていることはありますか。(○は1つ)

1 ある

2 ない

問 37-1 上記問 37 で 1 に回答した方のみ

具体的には、どのようなことに取り組んでいますか。(○はいくつでも)

- 1 省エネ家電・自動車の買い換え
- 2 家庭用燃料電池(エネファーム)の設置
- 3 ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の導入
- 4 徒歩や自転車による通勤・通学
- 5 公共交通機関の積極的な利用
- 6 再生可能エネルギー(太陽光・太陽熱発電設備等)の導入
- 7 リデュース(マイバッグ持参, 詰替商品の利用等)
- 8 リユース(中古品, フリーマーケットの利用等)
- 9 リサイクル(ごみの分別, 店頭回収の利用等)
- 10 食品ロスの削減
- 11 環境物品等の購入・利用
- 12 緑化(緑のカーテン等)の推進
- 13 美化(清掃活動等)の推進
- 14 節水, 節電
- 15 その他()

問 38 あなたが最も関心を持っている、あるいは気になっている環境分野は何ですか。

(○は1つ)

- 1 地球温暖化対策
- 2 動植物が生息する自然環境の保全
- 3 公害対策, 緑化・美化の推進
- 4 ごみの減量化と適正処理
- 5 自主的な環境保全活動
- 6 その他()

問 38-1 問 38 で選んだ環境分野を改善するためにどのような取組が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 規制や罰則の強化
- 2 補助や減税などの誘導策(省エネ設備への補助など)
- 3 個人や企業の自主的取組
- 4 情報提供(ホームページ, 市政だより, マニュアル配布, マスコミでの取り上げなど)
- 5 環境教育(自然体験, 研修)
- 6 その他()

(12) 公共施設

問 39 次に掲げる呉市の公共施設のうち、あなたがよく使う施設はどれですか。
(○はいくつでも)

- 1 社会教育施設 (図書館など), まちづくりセンター
- 2 芸術文化施設 (ホール, 美術館など)
- 3 スポーツ施設 (体育館, プール, テニス場など)
- 4 集会所 (老人集会所など)
- 5 公立下蒲刈病院, 国保診療所
- 6 福祉施設 (保育所, 放課後児童会, さざなみ苑, 身体障害者福祉センターなど)
- 7 観光施設 (大和ミュージアム, 野呂高原ロッジなど)
- 8 公園施設 (呉ポートピアパーク, グリーンヒル郷原, 公園など)
- 9 本庁舎・市民センター (窓口)
- 10 その他 ()
- 11 この1年くらい利用していない

問 40 次に掲げる呉市の公共施設のうち、重要だと思う施設はどれですか。(○はいくつでも)

- 1 社会教育施設 (図書館など), まちづくりセンター
- 2 芸術文化施設 (ホール, 美術館など)
- 3 スポーツ施設 (体育館, プール, テニス場など)
- 4 集会所 (老人集会所など)
- 5 公立下蒲刈病院, 国保診療所
- 6 福祉施設 (保育所, 放課後児童会, さざなみ苑, 身体障害者福祉センターなど)
- 7 観光施設 (大和ミュージアム, 野呂高原ロッジなど)
- 8 公園施設 (呉ポートピアパーク, グリーンヒル郷原, 公園など)
- 9 本庁舎・市民センター (窓口)
- 10 その他 ()

問 41 今後、呉市の公共施設の老朽化が急速に進み、維持費が増えると見込まれます。一方で、人口減少等の影響により厳しい財政環境が続き、公共施設をこれまでどおり維持していくことが難しくなる恐れもあります。あなたは、呉市の公共施設をどうしたらいいと思いますか。
(○はいくつでも)

- 1 「同じ目的」の公共施設を1つにまとめ、使わなくなった施設を廃止する
- 2 「違う目的」の公共施設を1つにまとめ、使わなくなった施設を廃止する
- 3 地域の防災のために必要な施設など、しっかり維持していく公共施設を決めて、その他の公共施設の維持は最小限にする
- 4 行政と民間事業者が連携して、少ない経費で施設を運営する
- 5 大きな補修や建替えが必要となる前に事前に小さな補修をして、できるだけ公共施設を長持ちさせる
- 6 自治会などに公共施設を引き渡し、地域に運営を委ねる
- 7 開館時間の短縮などにより運営費を削減し、維持補修などの費用に充てる
- 8 イベント等の工夫などにより利用者を増やし、維持補修などの費用に充てる
- 9 利用料金を引き上げて、維持補修などの費用に充てる
- 10 ニーズが低下した施設を廃止する
- 11 その他 ()

(13) 空き家対策

問 42 あなたは、空き家の増加に対応するため、どのような取組が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 空き家の流通促進のための相談（不動産の査定、税金、相続問題等）窓口の充実
- 2 空き家バンク（売却等を希望する者との橋渡しを行う仕組み）の充実
- 3 危険な空き家の解体費用への助成制度の充実
- 4 空き家の活用を促すためのリフォーム等の支援
- 5 危険な空き家の所有者に対する、改善指導の強化
- 6 改善がなされない危険な空き家を所有者等に代わり呉市が改善
- 7 空き家の管理は所有者等の責任であり、積極的な取組は必要ない
- 8 その他（)

(14) 高次都市機能

問 43 あなたは、呉市には、広島県の主要都市としてふさわしい施設や設備（高い水準の都市機能）が十分に備わっている、と感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1 感じている | 2 感じていない | 3 分からない |
|---------|----------|---------|

問 44 今後、こういった部分に力を入れて、都市機能を整備していくべきであると思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 安全で円滑な幹線道路網の整備
- 2 J R 呉線の機能強化
- 3 基幹バス・生活バスなどの充実
- 4 高等教育機関（大学など）
- 5 商業施設
- 6 宿泊施設
- 7 高速通信網や I T 環境の整備
- 8 インターネットによる届出・申請
- 9 その他（)
- 10 既に十分な都市機能が整備されており、新たな整備の必要はない

※次ページにも質問があります→

Ⅲ. 呉市の政策全般に対する満足度・重要度

問 45 次の表は、呉市が行っている様々な行政サービスの項目を示しています。あなたは、これらの項目について、現在、どれくらい満足していますか。また、今後のまちづくりを進めていく上で、どれくらい重要であると思われますか。あなたのお気持ちに最も近いものを、「満足度」・「重要度」からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
【記入例】健康づくり（ウォーキング大会，健診の受診促進，食育など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民生活分野										
1 市民主体のまちづくり（地域まちづくり委員会・協議会，地域行事（祭り，運動会，町内清掃）など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 人権啓発，男女共同参画（人権尊重，男女共同参画に関する講演会など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 消防・救急（救急・消防活動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 防災，災害対応（浸水対策，急傾斜地の崩壊対策工事など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 消費生活，防犯，交通安全（消費生活センター，防犯活動，交通安全運動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 国際交流・多文化共生（国際交流センターなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 広報（市政だより，市ホームページ，テレビ・ラジオ広報など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
福祉保健分野										
8 健康づくり（ウォーキング大会，健診の受診促進，食育など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 子育て支援（保育所，子育て支援センター，ファミリーサポートセンターなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 高齢者支援（介護予防事業，生きがい活動，いきいきパス（高齢者バス運賃助成）の交付など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 障がい者支援（障がい者の社会参加・自立の支援，交通費の助成など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 社会保障（生活保護，国民健康保険，介護保険など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
教育分野										
13 学校教育（小学校，中学校，呉高等学校の施設整備，小中一貫教育など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 青少年育成（講座の開催，青少年の非行防止啓発活動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 文化活動（ホール，美術館，博物館の管理・運営，イベントの実施など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 スポーツ・レクリエーション（スポーツ施設の整備，スポーツイベントの実施など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
自然環境分野										
17 森林・川の保全，公害防止（河川の浄化活動，騒音や水質・大気の汚染濃度の測定など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策（ごみ処理，資源物回収，家庭用燃料電池（エネファーム）設置補助など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業分野										
19 企業誘致，新技術の研究開発（企業誘致・留置，新技術・新商品の開発支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 農業，漁業（遊休農地対策，新規参入者や後継者の育成，特産品のブランド化など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 観光（インバウンド・観光客誘致，観光案内・PR，イベント開催など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 雇用対策（就労支援，雇用環境の整備など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 商業（商店街の活性化，小売業，流通業，起業・創業支援への支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市基盤分野										
24 都市機能のレベルアップ（幹線道路網の整備，高速通信網やIT環境の整備など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 インフラ整備（日常生活基盤）（上下水道，身近な生活道路，公園の維持管理など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26 住宅，宅地（居住環境の整備，区画整理による宅地開発，空き家対策など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27 交通体系（交通渋滞の緩和，バスなど公共交通機関の運行など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28 港湾（高潮対策，呉港へのクルーズ誘致など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

